事	業コード		786		課コード		0704	会計和	重別	一般会計				予算(の種類	□政策		経常	□なし
1.	事業の概要(F	PLAN)																	
	1 × 10 100 × 10		() 市 世 月	基本事業 手	賀沼沿いの斜面林の保	字				実施計画へ	.o		+ 0 =		(a) ÷n =m 42	±m -+	· † 17 (18)	23 TIP = W	
			①事業名		賀沼沿い斜面林維持管理	#				位置づけ			●有 〇無 ——————		②部課名		部・公園組		
			③事業主体 ⑤事業期間	●市 (〇その他(~				対象地区 	Į.	■我孫子	■天王台	■湖北 3 人	■新木 (換算人数	口布	-	口全市 0.2 人)	
(1)事	業概要		⑦事業費	総事業費		0 千円				当該(開始) 年		(当 初)	5	,381 千円	(うち人件	費		740 千円)	
			(人件費含む)									(変更後)		千円	(うち人件			千円)	
			⑧施策の位置づけ	施策 コード	11201		プロジェクト の位置づけ	重点 1		基本計画地区 ·画への位置		•	●有 〇無		部門別計画へ 位置づけ	·の (計i	画名) 緑(の基本計画	
(2)目前	· 约		施策目的·				ため、手賀沼沿いの斜面 本来の豊かな自然環境を			事業目的			斜面林を公園や緑地の場を提供する。	地として保全	全することによ	り、手賀沼	の原風景	を確保すると	ともに市民にや
			展開方向	「手賀沼沿い	斜面林保全条例」に基	づき、地権者の理解と	協力を得ながら指定の拡	充を図る。管理費	の助成			・条例に基づ	く指定緑地の拡充る	を図る。					
				など指定緑地の	の所有者に対する支援	を行なうとともに取得	した緑地における適切な	維持管理を図る。		当該年度		・取得した緑 行 う 。	地における草刈、村	枯木の伐採、	植生の復元を	目指した植	植等適切	な維持管理を	市民参加により
(3)事	業内容		内 容							執行計画	i	・指定緑地に	おける損害賠償保限	険の加入や原	所有者に対する	管理費の即	加尔等支援	を行なう。	
										当該年度		指定及び取得	した斜面林面積					想定值	6. 5
										活動結果指	標							ha 実績値	5. 5
	成目標(期待する原 	成果)	条例により指定や	取得した斜面林	達成[の適切な維持管理を行	目標(期待する成果) う。				指標種類 直接		指定及び取得	指 した斜面林面積	標			単位 ha	(5) 現況値 5. 5	(6)目標値
	3年度 103年度		条例により指定や	取得した斜面林	の適切な維持管理を行	う。				直接		指定及び取得	した斜面林面積				ha	5. 5	6.7
	1 4年度		手賀沼の原風景を	確保するととも	に市民にやすらぎや憩	いの場を提供する。				直接		指定及び取得	した斜面林面積				ha		7
		±1,4±					維持管理を拡充していく	必要がある。また	、緑地)+ •#						
(/)争	業実施上の課題と ───────────────────────	对心	取侍の財源催休と		交付金の活用、緑の基: 	並の払允なとを進める				代替案検言	iT		O有 ●無				A.T	for other	
			政	平成31年度	金額(千円)	政	令和 2年度 内 容		決算額(千	円) 政		内	·和 3年度 	金額(千円) 政		令和 4 ————————————————————————————————————	年 度	金額(千円)
			東 斜面林賠償責任	壬保険	20	02 斜面林賠償責任	壬保険	143		120 斜		倍償責任保険	T	1	(集) (43 (43 (43 (44 (44 (44 (44 (44 (44 (44	賠償責任係			143
			: 管理業務委託# : 斜面林育成助成		9i 2, 5	00 管理業務委託 99 斜面林育成助所		900 2, 598				勞委託料 育成助成金		9 2, 5		務委託料 育成助成金	Ž		900 2, 598
	±+	他内容																	
(8)施1	-車項	用																	
		/13																	
	7 Mr. /	**		N 21	0.7		A =1	0.041		540		A =1		0.0			=1		0.041
	国庫	決算)額 支出金 支出金	補助率		3, 70	0 補助率 0 補助率	合 計 0 % 0 %	3, 641 0	ა,	549 0 補助 0 補助		合 計	0 %	3, 6	0 補助率 0 補助率	<u> </u>	計	0 %	3, 641 0
(9) 財派	百内部 走	之山金 記債 投財源	充当率		3.70	0 充当率	0 %	3, 641	2		当率		0 %	3. 6	0 充当率			0 %	3, 641
	その化	BM /// 他の財源 人数(人)	□特会 □受	益 口基金 口その	の他		益 口基金 口その他	0 0.2	,		□特会	基口 益受口 差	金 口その他	,		会 口受益	□基金□]その他	0, 2
(10)人	_{// 弗生} 正職員	人件費 員報酬額			1, 7			1, 740		740				1, 7					1, 740
事業費(臨時職 予算(決算)額+正	員賃金額 職員人件費)			5, 4	0		0 5, 381	5,	0 289				5, 3	0 881				0 5, 381
([位費用 事業費/活動結果			840.15千円/	⁄ha		827. 85千円/ha		961	1. 64									
2.	事業の評価(ロ	O+CHECK)																
	評価項目		手賀辺辺10の斜面	林什 水辺や農		前 評 価	をつくりだしている。し	かし 近年でけま	▲①車	前確認での	相定と		・ 価(評価結果に	応じ、改善領	案検討(拡充も	含む))			改善検討
(1)事業が今必要で	ある理由・	地の高度利用等に	よる宅地化の傾	向が強まり、いたると	ころで緑のつながりが	が分断されつつある。市で 、公園・緑地として活用	は「手賀沼沿い斜	0②事			このり どおりでなかっ	た						〇要
	背景は?(事業の						た緑地の適正な維持管理		<想定と				でなかった原因> 市の資源となった手	- 賀沼沿い斜	面林を地権者の	の協力のも	と保全する	ることにより、	●不要
					*等では実施できない	<その他の内容:	>		口①民	間企業、N	PO.	市民団体等で	観を維持している。 な実施できなかった。		施の具体的な内				
必要			□提供主	体が市しかない	ことが定められている				□③市	īが先導役と		ければ実効性が たことで市民へ		支払、耳	基づく指定面積 取得した緑地の				
144) 市が実施する必	要性は	□その他		r-r + 7	(7.0% orbin)			□④市			施策の目標の実	現に貢献した	援など	実施した。				0.75
	あるか?			導で進めること	により実効性が得られ		>		□⑥サ			呆された 給基盤が確保さ	れた						〇要 ●不要
			サービ	スが保証される	とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の	LTC			<u>□</u> ⑦そ <そのf	・ <u>の他</u> 他の内容>									
				図られる	り以来・旭東の日保の														
				参加・協働の)内容		工夫の具体的な内容					動の具体的な内 とられる場合に			参加	・協働の程	度・内容		
参加			〇①事業計画時に 〇②事業実施時に			市民ボランティ	アによる緑地の維持管理		ボラン	ティアによる	る草刈	をはじめとした	た維持管理作業等の の保存・保全が行わ		初期待した以				
· 市	民の参加や市民 と 夫しているか?	との協働を	○③管理・運営に ●④市民の自主的						ている。	•				03当	初の期待以下				〇要
働の(作	本制づくり)		○⑤市民と共同で ○⑥その他	で事業を実施										<期待し	した以上となっ	た理由/非	明待以下で	あった原因>	●不要
夫			<その他の内容>						-										
				77.5.4.0	_		T- 60 bbb						_			em ide	en di		
			■①自然環境を生				取組む内容 林を適切に維持管理するこ	ことにより、鳥をは		沿い斜面林る	を適切		ることにより、本市		定どおり	環境への	記慮		
環境環	境に配慮して事業	業を進めて	■②生き物と共存 ■③手賀沼を意識	載している	,	じめとする生物の	の生息環境を保全する。			の景観を維持 に繋がった。		野鳥をはじめる	とした生物の生息環		定どおりでな				
	るか?		■④環境負荷低源 □⑤その他	載に貢献している	5									く想定と	どおりでなかっ	た原因>			○ 要 ● 不要
慮			<その他の内容>						1										
			理识标(a) /ba)	口捶床(小) (。	(a)	日博佐の可	**************************************			` * r			○①目標値達成	<u> </u>					
,.	· = -=		現況値(a)(ha)	目標値(b)(h	□①客観的なデ	ータ・事実に基づき記			実績値	连办 直(f) (ha)	ì	達成率(%)	●②目標値未達						
(1)目標設定は適切	lか?	5. 5	6. 5	口③現況値との	べ実現性が乏しい値で 差が小さい値ではない	Λ.	し現ではの美生		г г	((f/b×100)	- <目標を達成した 手賀沼斜面林の打			因>			—— ○要 ●不要
					日後週当な比較同等の水準	である	交対象例における目標値(と現況値の差)と	ļ ;	5. 5		84. 62			_				
			対策実施によ 事業費(c)(千円)	よる事業費削減 事業費削減額	i(d) □①国・県助成		予定の対策 □⑤PFI等民間資	本の活用	中结店	実施 (g) (千円)	型状況 ■対	才事業費(%)	○①想定事業費●②概ね想定事○③想定事業費	業費以内		事業費の削 の想定どお		ついて	
効 (2)事業費削減のエ	+を! で	事来質(C)(干円) 5,381	(千円)		の対応 の削減策の実施	□⑥受益者負担 □⑦その他			, 289	((g/c) × 100 98. 29	しの思定争未負	<u> 足工吧</u>		の想定どお			
率 (2 性	いるか?	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		川減率(%)	□④民間委託 <削減の内容>					理由等>		30. 23			<想定どお	り削減でき	きなかった	原因>	〇要 ●不要
			1	. 46															
					(0)		=1 /2/r -1- v.*			gyde -	F/Tr >==		○①目標値以上	. /=	目標値以上とな	った理由	(日播店)	下でねった。	田>
(3)目標値を実現す 投じる事業費は			目標値対事業費	学(e) 単位 費用単位		計算方法 目標値×費用単位/事業		宝绿	達成 責値 (h)		付目標値(%)	○①目標値以上○②目標値と同●③目標値以下	程度 手賀	■標値以上とな 買沼斜面林の指			こくのつに原	〇要
	(目標対費用)		0. 12	_	ha 10万円	○②複数年度の指標	票:(目標値一現況値)×費	用単位/事業費		0. 1	((h/e) × 100 83. 33	ラシロホビのド						●不要
3.	事後評価										1								
	状どおり推進	〇拡充	〇縮小		休止 〇廃止	○事業手法見直し	〇その他(事業完了な	ど)											
					評価コメント								改善策	及び展開方	印				
評裁	孫子市の特徴的な	な緑地として	て、良好な環境を維	持するため、今	伎も推進し(いく必要	ກາຫຈຸ													

陳氏弟 3 万							7 争未計1										
事業コート		787		1	果コード	070-	4	会計種	別一般	会計			予算	の種類 ■	■政策	□経常	□なし
1. 事業の	D概要(PLAN)																
		①事業名	基本事業	er to small it is						計画への 置づけ	● 排	i O無		②部課名	都市部・公	園緑地課	
		③事業主体	個別事業■	手賀沼遊歩道 〇その他	_ : :) ④対象:		■我孫子	■天王台	□湖北	□新木	□布佐	□全市	
(1)事業概要		⑤事業期間			令和	2年度 ~			⑥担当	職員数			2 人	(換算人数		0.1 人)	
(1) + x m x		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			100,310 千円			当該(開始)年度	(当 初) (変更後)		1,981 千円	(うち人件費		870 千円) 千円)	
			施策		44000	重点プロジ	ェクト		基本計	計画地区別		- 05	TI	部門別計画への	(31 = 5)		
		⑧施策の位置づけ	コード	(011-21	11202	への位置	づけ	重点 2	計画へ	の位置づけ	● 			位置づけ		緑の基本計画	*
(2)目的		施策目的 · 展開方向	向上を図りる	ます。また、	、手賀沼に親し	、周辺の歩道や公共サイン める交流拠点としての活用	が期待される手賀流	召親水広場、鳥の博	物館 事	業目的	市内外から多く の修繕を行い、			木の根による舗装σ 再整備する。)隆起で个陸だ	**生じている遊歩	追の修繕や路)
			手賀沼遊歩	道は、手賀沼	沼公園から五本	公園などの公共施設や手賀 松公園下までの約4.7k	mの緑道で、年間を	上通して手賀沼を訪	れる		木の根や老朽化	により隆起した	遊歩道の舗	装や崩れた路肩の修	§繕を、危険!	生のある箇所から	修繕する。
			老朽化した	箇所の改修を	を行い、利用者	業は、手賀沼遊歩道に設置 の利便性の向上を図るとと			と連 当	該年度							
(3)事業内容		内 容		16年度: I	トイレ水洗化工	事 16年度~17年度:			+画	行計画							
			修繕工事	3 0 年度:	舗装修繕工事、	・トイレ(若松)整備工事 3 1 年度:舗装修繕工事			禁	該年度	舗装及び路肩修	繕工事			14 /-	想定值	100
			令和2年度	~:右松弟 2	2遊歩道の整備					結果指標						実績値	10
(4)達成目標(期待する成果)	舗装及び路肩修繕	工事		達成目	標(期待する成果)				標種類 直接	工事の進捗率	#	標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
	-	実施設計に基づく		設の整備							整備工事の進捗	率			%	0	
令和 3年度		手賀沼を一周する			完了し、多くの	人が利用する。				直接	遊歩道の利用者				- 90		10
令和 4年度	ξ	7,7,12	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	DX - 1 1111 C 2						_	2,2,1,,,,,,						10
(7)事業実施上	この課題と対応								代複	替案検討	O#	●無					
			平成31年	F度			令和 2年度	,	,		令和	3年度			令和	1 4年度	
		束:	内 容		金額(千円)	策		予算額(千円) 湯		策:	内 容		金額(千円	策:	内容	}	金額(千円)
		*:舗装及び路肩修 県と協議(若枚			1, 028			1, 111	1, 001		び路肩修繕工事 議(若松第2遊歩	道)	1, 5	556 * 舗装及び路 0 県と協議	8肩修繕工事 (若松第2遊⋬	歩道)	1, 566 0
	実施内容																
(8)施行事項																	
	費用																
	予算(決算)額	<u> </u>	計		1, 028		<u></u>	1, 111	1, 001		合 計		1, 5	556	合 計		1, 566
	国庫支出金県支出金	補助率 補助率		0 %		110.11	0 % 0 %	0	0	補助率 補助率		0 %		0 補助率 0 補助率		0 %	0
(9) 財源内訳	起債 一般財源	充当率		0 %	1, 028		0 %	111	0 1, 001	充当率		0 %	1, 5	0 充当率		0 %	1, 566
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受	益 口基金 口名	その他	0.1	1 7 1	基金 □その他	1, 000	0.1	□特金	会 □受益 □基金	□その他	0.	0 □特会[□受益 □基金	〕□その他	C
(10) 人件費等	正融昌人从弗				880			870 0	870 0				1, 3	0			0
事業費(予算(決	臨時職員賃金額 算)額+正職員人件費)				1. 908)		1, 981	1, 871				2 8	0			1, 566
(11)単位費用			19.08千円	I/%	1,000		. 81千円/%	1,001	18. 71					701			1,000
)評価 (DO+CHECK)															
割	平価項目				事 :						事後評	価(評価結果に	応じ、改善	案検討(拡充も含む	3))		改善検討
						であり、四季を通じて、市				認での想定							
	「今必要である理由・	な水辺空間を創出	する。また、	老朽化や樹々	木の根の成長に	ため、手賀沼遊歩道の安全により、舗装版の傷んでいる	箇所や路肩の崩れて	ている箇所がある			どおりでなかった						O要
背景は	は?(事業の必要性)	ため、修繕を行っ 遊歩道の整備が市			を広域レクリエ	ニーション空間としていくた	め、手質冶を一周で	することができる			ヨ/想定どおりでた ごないよう、舗装値		した。				●不要
		●①民間企業、♪				<その他の内容>					、市民団体等では			施の具体的な内容・			
必 要			体が市しかなり		められている				□③市が先	導役となっ	ければ実効性がな たことで市民へ普		遊歩道(の管理者である市か	バ、整備を行 ^っ	う必要があった。	
44	€施する必要性は	□その他								援が政策・	施策の目標の実現	に貢献した					
あるか		○②自治体である (理由) □市が主	導で進めるこ	とにより実効					□⑥サービ		保された 給基盤が確保され	<i>t</i> =					〇要 ●不要
(III)	他000安任/		施・提供する。 スが保証され		、良質で安定し	<i>t</i> =			□⑦その他 <その他の内								
		口市が支 実現が	援することに。 図られる		施策の目標の												
		□その他	参加・協働	の内容			その具体的な内容				動の具体的な内容			会 tip . 44	働の程度・内	2交	
4		〇①事業計画時に	市民の参画有	手り		19	、小六仲町は内谷		参加 該当なし	・協働が考え	えられる場合には	その内容)		的期待した以上	☆ ソ 住		
参加・ま足の会	加めませいのはない	○②事業実施時に ○③管理・運営に	市民の参画有	19									●②≝	初期待したとおり 初の期待以下			
協工夫して		〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	りな活動と連携											した以上となった理	型由/期待以 ⁻	下であった原因>	〇要 ●不要
働 (体制づく エ 夫	. 9)	●⑥その他														- -	
^		<その他の内容> 該当なし															
			配慮の社	規点			取組む内容			宝施!	した具体的な内容			頂	意への配慮		
		□①自然環境を生	Eかしている			手賀沼に親しみ、よりま		安心して利用でき				利用できるよう(定どおり			
環境環境に配	慮して事業を進めて	□②生き物と共存 ■③手賀沼を意識	厳している	. 7		るよう整備を進める。			備した。					!定どおりでなかっ			
環境に配 環境に配 いるか? 配 虚		□④環境負荷低洞 □⑤その他	或に頁献してい	'ক									<想定	どおりでなかった原	< 囚5		○ 要 ● 不要
慮		<その他の内容>															
		現況値(a)(%)	目標値(b)		①客観めたギー	目標値の妥当性の -タ・事実に基づき設定して				達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未返					
(1)目標部	设定は適切か?	0	100		②現況値と比べ	−ダ・爭美に基づさ設定して ×実現性が乏しい値ではない ≜が小さい値ではない			実績値(f)((f/b × 100)			達成となった原因>	•		— ○要 ●不要
			100			対象が有る場合、比較対象例	別における目標値(と	:現況値の差)と	100		100	事前調査を実施	し、舗装修約	善工事を実施した。			●小安
		対策実施によ	 - る事業費削減			実施予定の対				実施状況		○①想定事業費 ●②概ね想定事			費の削減対策	まについて	
効		事業費(c)(千円)	事業費削減 (千円)	=	①国・県助成制 ②現有体制での	D対応 □]⑤ P F I 等民間資]⑥受益者負担	本の活用	実績値(g)(=		対事業費(%) (g/c)×100	●②概ね想定 ○③想定事業者		●①事前の想 ○②事前の想			
率 (2)事業費	を と と と と と と と して と と して と り こ と り こ り こ り こ り こ り こ り こ り り こ り こ	1, 981	△73		④民間委託	□削減策の実施□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1⑦その他		1, 871		94. 45			<想定どおり肖	減できなか・	った原因>	O要
・ いるか性	· •	事業費肖	減率(%)		削減の内容>				<超過理由等	等>							●不要
		Δ;	3. 83														
			目標値対事業	曹 (e)			計算方法			達成状況		〇①目標値以	<u> </u>	 標値以上となった	理由/目標((眞以下であった原□	因>
	重を実現する為に る事業費は適正か?		山市但刈爭禾		費用単位	●①単年度の指標:目標値	i×費用単位/事業		実績値(h) ×	対目標値(%)	●②目標値と同 ○③目標値以	司程度		H 17K III	- 55 2 12111	〇要
	対費用)	5. 05		%	10万円	○②複数年度の指標:(目:	標値一現況値)×費	用甲位/事業費	5. 34		(h/e) × 100 105. 74						●不要
3. 事後部	平価	<u> </u>							J. 0T		/ .						
●現状どお		〇縮小	〇結合(〇休止	〇廃止	○事業手法見直し ○·	その他(事業完了な	<i>ك</i> ان									
- to m				評価コメン	ント							改善领	き及び展開方	向			
評し手質沼に	かいいかレソリエー	ノコノエ间に9るだ	い、女主じ状:	心み士貝冶は	∞少垣で利用で	きるように、引き続き推進	: U C V · \ 0										

	第3号						評価表(令									
事	業コード	790		課コード		0704	会計	種別 -	一般会計			予算の	種類 □□	汝策	■経常	口なし
1.	事業の概要(PLAN)															
		○ ★#₽	基本事業					3	実施計画への		+ 0 =			+n -+ +n	E142 14.59	
		①事業名	個別事業 古	T利根沼周辺の保全と整	備				位置づけ	•	有 〇無	C	②部課名	都市部・公	園緑地課	
		③事業主体	●市	〇その他(-No.5 (- -				対象地区	□我孫子	□天王台	■湖北		□布佐	口全市	
(1)事	業概要	⑤事業期間			成25年度 ~			(6)	担当職員数	(当 初)	2. 3	3 人	(換算人数 (うち人件費		0.17 人)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円			当	á該(開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費	<u> </u>	千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	11301	1	直点プロジェクト	重点 1	基	本計画地区別) 有 〇無		部門別計画への	(計画名) 1	禄の基本計画	
		②応束の位置 217	コード			への位置づけ			画への位置づけ	7		/D A 7 1	位置づけ			
(2)目	约	施策目的 · 展開方向	辺の保全など	の核となる事業を推進	します。また、くら	らしの中で自然が感じ	谷津ミュージアムや古利 られるよう、「手賀沼沼	い斜面	事業目的		の良好な自然環境を 習などの場としても					でさる場とする
		327373173					<mark>∘その維持管理に対する助</mark> ≀。また、市民が散策や自			・古利根沼周	辺保全基本計画に基	づき、保全	活用を進める。			
)場などとして活用でき)いては、主としてみど			·樹木管理や水辺周辺の草 。	刈等の	当該年度		辺の清掃、植生管理 接する枯木伐採など				間を通じて実施	する。
(3)事	業内容	内 容	また、豊かな実施する。	自然環境の景観美化を	啓発する観点から、	毎年市が主催し、行	i政と市民参加による水辺	清掃を	執行計画	・古利根沼水	辺清掃を年1回、市	民の参加を	募集し実施する。			
										保全活用面積					想定值	20
								,	当該年度 活動結果指標	Principle (see				単位	ha 実績値	19. 3
(4) 達	成目標(期待する成果)			達成	目標(期待する成果))			指標種類		指	標		単位	(5)現況値	(6)目標値
当	該年度	用地を取得、整備	するとともに適	適正な維持管理を行う					直接	保全活用面積				ha	19. 3	20
令:	和 3年度	整備・保全を図る	とともに適正な	に維持管理を行う					直接	保全活用面積				ha		20
令:	和 4年度	古利根沼及び周辺	の自然環境を保	R全するとともに必要な	整備を実施すること	とで市民が安全に利用]することができる。		直接	保全活用面積				ha		20
/7) 市:	**字作しの細節しが広								/ <u>\</u> ## \$\ \		· + ♠無			<u> </u>		
(/)争:	業実施上の課題と対応								代替案検討)有 ●無					
		The state of the s	平成31年原		, 7L		2年度				和 3年度		Th:		4年度	
		束:	内 容	金額(千円	策:	内容	予算額(千円)		策	内		金額(千円)	策:	内 容		金額(千円)
		古利根公園樹才土地賃借料			708 土地賃借料		100 708	7	708 土地賃		市心不平	10 70	8 土地賃借料		^ †	100 708
		損害賠償保険* 消耗品	†		71 損害賠償保 16 消耗品		47 16		9 消耗品			4	6 消耗品	科		47 16
		通信運搬費			7 通信運搬費		7		7 通信運	E搬費			7 通信運搬費			7
	実施内容															
(8)施:																
	Į į m															
	予算(決算)額	4	· 計		002	合 計	878	5	834	合 計		87	8	合 計		878
	国庫支出金県支出金	補助率 補助率	(0 %	0 補助率 0 補助率	0			0 補助率		0 % 0 %		0 補助率		0 % 0 %	0
(9) 財	起信	充当率		0 %	0 充当率	0			0 充当率		0 %	87	0 充当率		0 %	0 878
	その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口そ	-の他	0 □特会 □	□受益 □基金 □その)他 0		0 □特	会 口受益 口基	金 口その他		0 □特会 □	受益 口基金	□その他	0
(10) J	換算人数(人) 正職員人件費			0. 1, 4			0. 17 1, 479		. 17 479			0. 1 1, 47	9			0. 17 1, 479
	鳴託 順員 報酬額 臨時職員賃金額				0		0		0				0			0
	(予算(決算)額+正職員人件費) 上位費用		119.9千円/	2, C	398	117.85千円/	2, 357	2, 3 119.	313			2, 35	7			2, 357
	事業費/活動結果指標) 事業の評価(D0+CHECK)	\	119. 9 17	· IIa		117.00 []	iia	113.	. 04							
۷.)			* = =			<u> </u>		+ # ==	in the second		IASI (II I A L)	,		
	評価項目	古利根沼仕 市民	が親しみ顔える		前評価	更があり 「古利根?	 周辺保全基本計画」に基	●①事	前確認での想定		価(評価結果に応	じ、改善系	検討(拡充も含む))		改善検討
()事業が今必要である理由・	づき、自然環境の	保全と活用のた	とめの整備を計画的に実	施していく必要があ	ある。特に護岸の整備	は、沼べりに隣接する民 いな自然環境を保全・維持	0②事		Eどおりでなかっ	<i>t</i> =					〇要
	背景は?(事業の必要性)			推持管理活動や景観美化				<想定と		由/想定どおりで	でなかった原因> 他の自然環境の保全の	∩ため ギ =	いこくマのやった	但かがこ 維ま	+ 毎 理 む 宇 佐 !	●不要
		○①尺間△巻 ▶		体等では実施できない				好な環境	きを維持できた。	0	は実施できなかった		の具体的な内容・必			R
必		(理由) 口法令等	で市が実施する	ることが定められている	<その他の内	谷ノ		■②市;	が主導で進めな	いければ実効性が	なかった	緑と水辺	が一体となった我孫	系子市の自然	の中でも特に貴	重な
要		□提供王□その他	体が市しかない	`				促	進された	ったことで市民へ		地域であ	り、保全・活用の必	少要性か高い	0	
性 (2	2) 市が実施する必要性は あるか?	●②自治体である	市が推進すべる	きである	くその他の内	容>			の支援が政策・ ービス水準が確	施策の目標の実 全保された	現に貢献した					〇要
	(市実施の必要性)			:により実効性が得られ :とにより、良質で安定				□⑥サ- □⑦そ(共給基盤が確保さ	れた					●不要
			スが保証される 援することによ	。 い政策・施策の目標の				くその他	也の内容>			•				
			図られる													
		二(7)尼	参加・協働の	の内容		工夫の具体的	な内容			動の具体的な内 えられる場合に			参加・協働	の程度・内	容	
参		〇①事業計画時に 〇②事業実施時に			みどりのボラ	ンティアが主体的に	維持管理を行っている。	緑のボラ		主的に森や水辺の	3その内容))維持管理・清掃活動		□期待した以上 □期待したとおり			
	「民の参加や市民との協働を	○③管理・運営に	市民の参画有り	IJ				でた期的	バー大心 ししい	v 0			刃期待したとおり 刃の期待以下			
協して	注表しているか? 本制づくり)	●④市民の自主的 ○⑤市民と共同で		している								<期待し	た以上となった理由	3/期待以下	であった原因>	○要 ●不要
の工夫		〇⑥その他														
		<その他の内容>														
			配慮の視	点		取組む内容	容		実施	した具体的な内	容		環境・	への配慮		
		■①自然環境を生	かしている			辺の自然環境を保全	することで、鳥をはじめ		理作業時に収集	する落ち葉・枯枝	支は堆肥場へ集積し、	●①想定	≘どおり			
環境環	 環境に配慮して事業を進めて	■②生き物と共存 □③手賀沼を意識	ましている	7	9る生さ物の	生息環境を守る。			間伐した際の 側に努めている。		∖利用するなど、廃Ϡ		こどおりでなかった			
^ I ~	るか?	□④環境負荷低洞 □⑤その他	ぬに貢献している	ত								<想定ど	おりでなかった原因	S >		〇 要 ● 不要
慮		<その他の内容>						1								
				(ha)		の妥当性のチェック			達成状況	. =	●①目標値達成 ○②目標値未達成					
		現況値(a)(ha)	目標値(b)(l	■金数性	·_ /2 · = =			実績値	(f) (ha)	達成率(%) (f/b×100)	く目標を達成した		ボとなった原因>			O要
())目標設定は適切か?	現況値(a)(ha)		口②現況値と	データ・事実に基づい とべ実現性が乏しいける ときだいよいはるは	値ではない										
()目標設定は適切か?		目標値(b)(h	□②現況値とは □③現況値とは □④適当な比較	とべ実現性が乏しい D差が小さい値では 交対象が有る場合、	値ではない ない	目標値(と現況値の差)と	19	9. 3	96. 5	概ね計画に沿った					●不要
(1)目標設定は適切か?	現況値 (a) (ha)		□②現況値とは	比べ実現性が乏しい ○差が小さい値では 交対象が有る場合、」 ≛である	値ではない ない	目標値(と現況値の差)と	19	9.3 実施状況		〇①想定事業費未	用地確保が ・満	できている。	の削減対策	こついて	●不要
))目標設定は適切か?	現況値 (a) (ha)	20 る事業費削減 事業費削減額	□②現況値とは □③現況値とは □④適当な比 同等の水2	とべ実現性が乏しい の差が小さい値では 交対象が有る場合、 達である 実 、対象を持ちます。	値ではないないない はい 比較対象例における 施予定の対策	等民間資本の活用		実施状況	兄 対事業費(%)		用地確保が 満 費以内	できている。 事業費 ●①事前の想定	どおり	<u> </u>	●不要
効) 目標設定は適切か?	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ	20	□②現況値とは □③現況値とは □④適当な比ま 同等の水込 ■②現有体制 □③維持管理	とべ実現性が乏しい の差が小さい値では 交対象が有る場合、 達である 実 、対象を持ちます。	値ではないないない ない 比較対象例における 施予定の対策	等民間資本の活用	実績値(実施状況	兄	①①想定事業費未●②概ね想定事業	用地確保が 満 費以内	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定	!どおり !どおりでな:	かった	
効率(治		現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2,357	20 - る事業費削減 事業費削減額 (千円)	□②現況値とは □③現況値とは □④適当な比彰 同等の水差 ②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とべ実現性が乏しいの 力差が小さい値では 対象が有る場合、 達である 実 茂制度活用 での対応 費の削減策の実施	値ではない ない 比較対象例における 施予定の対策 □⑤ P F I 章	等民間資本の活用	実績値(実施状況 (g) (千円)	兄 対事業費(%) (g/c)×100	①①想定事業費未●②概ね想定事業	用地確保が 満 費以内	できている。 事業費 ●①事前の想定	!どおり !どおりでな:	かった	●不要 ○要 ●不要
効率(公	2)事業費削減の工夫をして	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費消	20 る事業費削減 事業費削減額 (干円) 41 減率(%)	□②現況値とは □③現況値との □④適当な比制 同等の水2 ■②現存を制 □③現存等型 □④民間委託	とべ実現性が乏しいの 力差が小さい値では 対象が有る場合、 達である 実 茂制度活用 での対応 費の削減策の実施	値ではない ない 比較対象例における 施予定の対策 □⑤ P F I 章	等民間資本の活用	実績値(実施状況 (g) (千円)	兄 対事業費(%) (g/c)×100	①①想定事業費未●②概ね想定事業	用地確保が 満 費以内	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定	!どおり !どおりでな:	かった	O要
効率(治	2)事業費削減の工夫をして	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費消	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41	□②現況値とは □③現況値との □④適当な比制 同等の水2 ■②現存を制 □③現存等型 □④民間委託	とべ実現性が乏しいの 力差が小さい値では 対象が有る場合、 達である 実 茂制度活用 での対応 費の削減策の実施	値ではない ない 比較対象例における 施予定の対策 □⑤ P F I 章	等民間資本の活用	実績値(実施状況 (g) (千円)	兄 対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費者 ●②概ね想定事業 ○③想定事業費起	用地確保が 満 き費以内 び過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定 ○②を計の想定	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	O要 ● 不要
効率性	2)事業費削減の工夫をして	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費消	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41 制減率(%) 71	□②現況値とは □③現況値とは ■③第四な比割 同等の水差 (d) □①国・県助 ■②現存特管理 □④民間等理 □④民間の内容>	とべ実現性が乏しい の差が小さい値では 交対象が有る場合、」 達である 実 技制度活用 での対応 費の削減策の実施	値ではないないない 比較対象例における 上較対象例における 一⑤ P F I ¶ 「⑥ 受益者」 「⑦ その他	亨民間資本の活用 負担	実績値(実施状況 g) (千円) 313 里由等> 達成状況	兄 対事業費 (%) (g/c) × 100 98. 13	①①想定事業費未●②概ね想定事業	用地確保が 満 養費以内 図過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	O要 ●不要
効率性	 2) 事業費削減の工夫をしているか? 3) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? 	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費前	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41 減率(%) 71 目標値対事業費	□②現況値とは □③現況値とは □③現況値とは 同等の水差 (d) □①国・県助 ■②現有体制 □③維持管理 □④民間委託 <削減の内容> (e) 費用単位	とべ実現性が乏しいの差が小さい値では、 交対象が有る場合、」 達である まである まである 実 大制度活用での対応 での対応 での削減策の実施	値ではないないない 比較対象例における 施予定の対策 □⑤ P F I 章 □⑥ 受益者 章 □⑦ その他	亨民間資本の活用 負担	実績値(2. <超過玛	実施状況 g) (千円) 313 里由等> 達成状況	兄 対事業費 (%) (g/c) × 100 98. 13	○①想定事業費者 ●②概ね想定事業 ○③想定事業費起	用地確保が 満 養費以内 図過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定 ○②を計の想定	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	O要 ● 不要
効率性	2) 事業費削減の工夫をして いるか? 3) 目標値を実現する為に	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費消	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41 減率(%) 71 目標値対事業費	□②現況値とは □③現況値とは ■③第四な比割 同等の水差 (d) □①国・県助 ■②現存特管理 □④民間等理 □④民間の内容>	とべ実現性が乏しいの差が小さい値では、 交対象が有る場合、」 達である まである まである 実 大制度活用での対応 での対応 での削減策の実施	値ではないないない 比較対象例における 施予定の対策 □⑤ P F I 章 □⑥ 受益者 章 □⑦ その他	等民間資本の活用 負担 立/事業費	実績値(2, <超過理	実施状》 (g) (千円) 313 2日由等> 達成状》	R 対事業費 (%) (g/c) × 100 98. 13	○①想定事業費者 ●②概ね想定事業費 ○③想定事業費 ○③想定事業費 ○③包標値以上 ●②目標値と同程	用地確保が 満 養費以内 図過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定 ○②を計の想定	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	O要 ● 不要
効 率 性 (;	 2) 事業費削減の工夫をしているか? 3) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? 	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費前	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41 減率(%) 71 目標値対事業費	□②現況値とは □③現況値とは □③現況値とは 同等の水差 (d) □①国・県助 ■②現有体制 □③維持管理 □④民間委託 <削減の内容> (e) 費用単位	とべ実現性が乏しいの差が小さい値では、 交対象が有る場合、」 達である まである まである 実 大制度活用での対応 での対応 での削減策の実施	値ではないないない 比較対象例における 施予定の対策 □⑤ P F I 章 □⑥ 受益者 章 □⑦ その他	等民間資本の活用 負担 立/事業費	実績値(2, <超過理	実施状況 (g) (千円) 313 組由等> 達成状況 値 (h)	R 対事業費 (%) (g/c) × 100 98. 13 R 対目標値 (%) (h/e) × 100	○①想定事業費者 ●②概ね想定事業費 ○③想定事業費 ○③想定事業費 ○③包標値以上 ●②目標値と同程	用地確保が 満 養費以内 図過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定 ○②を計の想定	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	O要 ● 不要
劝 率性	2) 事業費削減の工夫をして いるか? 3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2,357 事業費背 1.	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41 減率(%) 71 目標値対事業費	□②現況値とは □③現況値とは □③現況値とは (回等の水2) (回答の水2) (回答の水2) (回答の水2) □③規持管理 □③規持管理 □④民間委託 (回径民間委託 (回径民間を計 (回径尺間を計 (回径に対	とべ実現性が乏しいの差が小さい値では、 交対象が有る場合、」 達である まである まである 実 大制度活用での対応 での対応 での削減策の実施	値ではないないい 比較対象例における (応予定の対策 (原予定の対策 (原子) (RF)	序民間資本の活用 負担 立/事業費 値)×費用単位/事業費	実績値(2, <超過理	実施状況 (g) (千円) 313 組由等> 達成状況 値 (h)	R 対事業費 (%) (g/c) × 100 98. 13 R 対目標値 (%) (h/e) × 100	○①想定事業費者 ●②概ね想定事業費 ○③想定事業費員 ○③目標値以上 ●②目標値以上同利 ○③目標値以下	用地確保が 満費以内 過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減 標値以上となった理	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	O 要 ● 不 要
効率性 (()	2)事業費削減の工夫をしているか? いるか? 3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用) 事後評価	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費前 1.	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41 制減率(%) 71 目標値対事業費	□②現況値とは □③現況値とは □③現況値とは 同等の水 (d) □①国・県助 ■②現有特管理 □④民間等・(本制) □③財子・(本制) □列子・(本制) □列子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・	とべ実現性が乏しい をがする場合、」 達である 実 支制度活用 での対応 後の削減策の実施 ●①単年度の指 ○②複数年度の ○事業手法見直し	値ではないないはいいでは、	等民間資本の活用 直担 立/事業費 値)×費用単位/事業費 禁完了など)	実績値(2, <超過理	実施状況 (g) (千円) 313 組由等> 達成状況 値 (h)	R 対事業費 (%) (g/c) × 100 98. 13 R 対目標値 (%) (h/e) × 100	○①想定事業費者 ●②概ね想定事業費 ○③想定事業費員 ○③目標値以上 ●②目標値以上同利 ○③目標値以下	用地確保が 満 養費以内 図過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減 標値以上となった理	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	○ 要 ● 不要
3 . ●野	2) 事業費削減の工夫をしているか? 3) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) 事後評価 状どおり推進 〇拡充	現況値(a) (ha) 19.3 対策実施によ 事業費(c) (千円) 2.357 事業費前 1.	20 る事業費削減 事業費削減額 (千円) 41 制減率(%) 71 目標値対事業費	□②現況値とは □③現況値とは □③現況値とは 同等の水 (d) □①国・県助 ■②現有特管理 □④民間等・(本制) □③財子・(本制) □列子・(本制) □列子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・(本制) □③財子・	とべ実現性が乏しい をがする場合、」 達である 実 支制度活用 での対応 後の削減策の実施 ●①単年度の指 ○②複数年度の ○事業手法見直し	値ではないないはいいでは、	等民間資本の活用 直担 立/事業費 値)×費用単位/事業費 禁完了など)	実績値(2, <超過理	実施状況 (g) (千円) 313 組由等> 達成状況 値 (h)	R 対事業費 (%) (g/c) × 100 98. 13 R 対目標値 (%) (h/e) × 100	○①想定事業費者 ●②概ね想定事業費 ○③想定事業費員 ○③目標値以上 ●②目標値以上同利 ○③目標値以下	用地確保が 満費以内 過	できている。 事業費 ●①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減 標値以上となった理	どおり どおりでな: 或できなかっ	かった た原因>	○ 要 ● 不要

录式第3号							争務争:	耒評恤	表(令	FLI Z:	牛皮)									
事業コード		792		謂	果コード		0704		会計	種別	一般会計	†			予算	算の種類	Į [〕政策	■経常	□なし
1. 事業の	概要 (PLAN)																			
		(1) 声 带 2	基本事業 緑	化推進事業	<u> </u>						実施計画		-	± 0-		@±-	= ■ Ø	±n++-	V = 63 TrF==	
		①事業名	個別事業 緑	化推進							位置づ		•	有 〇無		②部	課名	都市部・台	公園緑地課	
		③事業主体	●市	〇その他	()	④対象地区		□我孫子	口天王台	口湖北		□新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要		⑤事業期間				~					⑥担当職員	1数	(当 初)		3 人		換算人数 うち人件費		5,220 千円)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円					当該(開始	台)年度	(変更後)		7, 700 千円 千円		うち人件費		千円)	
		@## = // III *//	施策			重,	点プロジェクト				基本計画	地区別					別計画への	(51 = 5)		
		⑧施策の位置づけ	コード		11401	,	への位置づけ		重点なし		計画への位		•				位置づけ		緑の基本計画	
(2)目的		施策目的・				民、事業者の主体 、地区計画や緑地					事業目	目的	緑豊かなまちて 的が市民参加し						共公益施設の敷地	内の緑化を積
		展開方向	緑化を進めま		- 道的な役割が	期待される公共公	益施設における植	首載や花壇づ	くりなどを市民	参加に			駅前ロータリー	- 公園 その	他公共施設に	おける	花壇用の苗木	等の配布	植栽等の工事を行	· う .
(3)事業内容		内 容	より行ってい の植栽工事を 知識や技術を	る。市は、 行っている 習得しても	樹木や花の苗 る。更に、民有 もらい緑化を推	木、種子、プラン 地の緑化を推進す	ターなどを提供す るため、ガーデニ	rるとともに ニングなどの	緑化に乏しい公 緑の講習会を開	共施設	当該年 執行計 当該年 活動結果	F度 十画 F度	・第1四半期へ ・第3四半期へ ・緑の講習会 ・経町暦を通じて 花壇用苗木やな	第2四半期 第4四半期 年8回開催 緑化協議の受	夏・秋用 冬・春用 付・審査・完	月苗木、 月苗木、 記了検査	種子の配布、 球根、種子の の実施	配布数数	型 ケ所 想定値 実績値	J.
(4)達成目標(期	待する成果)		'			標(期待する成果)					指標種				指 標			単化	立 (5)現況値	(6)目標値
当該年度		地域ぐるみで一体的	的に緑化を図る	ことにより	り、緑豊かなま	ちなみをつくる。					直接	€	花壇用苗木等の)提供により緑	化を図ってい	いる公共	公益施設数	τĒ	F 48	
令和 3年度		地域ぐるみで一体的	的に緑化を図る	ことにより	り、緑豊かなま	ちなみをつくる。					-		花壇用苗木等の)提供により緑	化を図ってい	いる公共	公益施設数			
令和 4年度		地域ぐるみで一体的	的に緑化を図る	ことにより	り、緑豊かなま	ちなみをつくる。					-		花壇用苗木等の)提供により緑	化を図ってい	いる公共	公益施設数			
(7)事業実施上 <i>の</i>	の調整と対応										代替案標	捻 計	0	有●無						
(7) 争未关ル工0.	7休退こ別心										10百米1	快配								
		-L:	平成31年月	变		:		令和 2年度			:			3年度		-	<u>.</u> :		和 4年度	1
		束	内 容		金額(千円)	政 策	内 容			決算額((千円) 政策		内 容	l .	金額(千	芽	X	内 :	容 ——————	金額(千円
		消耗品費 植栽・移植工事			2, 000 90	植栽・移植コ			2, 000 90		88		多植工事費		2,	90	消耗品費 植栽・移植			2, 0
(8)施行事項	実施内容 費 用	縁の講習会委託 緑化協議	**		390	緑の講習会多緑化協議	菱乱料		390			緑の講習	省会委託料 養			390	緑の講習会緑化協議	委託料		3
_	予算(決算)額		h 計		2, 480		合 計		2, 480		2, 221		승 하		2,	, 480		合 計		2, 4
L	国庫支出金 県支出金	補助率	C	0 % 0 %	0	補助率		0 %	0		0 1	補助率 補助率		0 % 0 %		0	補助率 補助率		0 % 0 %	
(9) 財源内訳	起債 一般財源	充当率	C	0 %	2, 480	充当率		0 %	2, 480		2, 221	充当率		0 %	2.	. 480	充当率		0 %	2, 4
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 □基金 □そ	の他	0, 6	□特会 □	受益 口基金 口ぞ	の他	0		0 0.6	□特会	:□受益 □基金	∶□その他		0 0.6	□特会□	□受益 □基:	金 □その他	0
(10) 人件費等	正職員人件費				5, 280				5, 220		5, 220					, 220				5, 2
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0				0		0					0				
事業費(予算(決算) (11)単位費用)額+正職員人件費)		155 248 /	<u> </u>	7, 760		154千円/	<u> </u>	7, 700		7, 441 218, 85				7,	, 700				7, 7
	舌動結果指標) 	<u> </u>	155. 2千円/	ケΜ			104十円/	ケガ		2	218. 85									
2. 争果の	評価(DO+CHECK	.) 								<u> </u>										
評価	■項目 	緑豊かな街並みを	0/7/-/ L III	T # 43 14 0 /5	<u> </u>	前評価	生 中の 土 ツナ トロ	4.7.0±44.0	49 + 1 > 4 > 1 - T# /C		事前確認で	(小村内)		価(評価結果	に応じ、改善	善案検討	(拡充も含む	?))		改善検
	今必要である理由・ ? (事業の必要性)	するかが課題であ	る。地域ぐるみ	で一体的な	な緑化を図るた	め、生垣や花木な	ど宅地内緑化を進	進めるととも		: O② <想5	事前確認で	での想定とした理由	このり ごおりでなかった /想定どおりで 市民参加により	なかった原因〉						○要 ●不弱
必 要 性 (2) 市が実施	をする必要性は	口その他	で市が実施する 体が市しかない	ことが定め 、		<その他の内容				□2 □3 ■4	市が主導で 市が先導役 促進された 市の支援が	ご進めなけ ととなった に が政策・旅	市民団体等ではければ実効性がなった。ことで市民へ音	かった 資及が一層			体的な内容・ 地の緑化に使		由> や樹木の植栽を実	
あるか? (市実施	? の必要性)	サービス ■市が支持	導で進めること 施・提供すること なが保証される 援することによ 図られる	により実効 とにより、	. 良質で安定し	くその他の内容	*>			□ 6	サービス水 サービスの その他 の他の内容	D安定供給	たされた 合基盤が確保され	ıt.						○要 ●不動
			参加・協働の	D内容			工夫の具体	的な内容					の具体的な内容 られる場合には				参加・協	働の程度・	内容	
参加・ 市民の参加・ 市民の参加 工夫していい (体制づくり		○①事業計画時に ○②事業実施時に ○②管理・選当に ●④市民と共同で ○⑤市民と共同で ○⑥その他	市民の参画有り 市民の参画有り な活動と連携し	IJ		広報やHP、出育	前講座などで周知	や関心を高め	かる。	り組み		なまちづ	し、市民が自主 くりを推進する			当初期行当初の持した以外の緑化へ	対する意識は 響による活動	高まってき	下であった原因> ているが、新型コ より目標値に達す	ロナ
			配慮の視	点			取組む	内容				実施し	た具体的な内容	!				竟への配慮		
環境に配慮のいるか?	して事業を進めて	■①自然環境を生 □②生き物と共布 □③手賀沼を意識 ■④環境負荷低減 □⑤その他	かしている している むしている			みどり豊かな後	行づくりを推進す			組み、		や公園、 まちづく	街路その他公共 りを推進するた	施設等の緑化に	も継続 O②			t:		 ○要 ● 不見
		現況値(a)(ヶ所)	目標値(b)(ヶ				妥当性のチェック	7			ì	達成状況		○①目標値道 ●②目標値未						
(1)目標設定	とは適切か?					-タ・事実に基づき 実現性が乏しい値				実績	値(f)(ヶ所		達成率(%) (f/b×100)			\# -P :	<u>, , ,</u>			O要
- I prince		48	50		③現況値との差	が小さい値ではな 対象が有る場合、比	il)	る目標値(と	現況値の美)と		34		68		対する意識は	は高まっ	てきているが	、新型コロ	ナウイルスの影響	● 不 ³
		41 200	7 ** ** ***		同等の水準で	きある		ME(C				±+		る活動自粛な 〇①想定事業		値に達				
効 _平 (2)事業費肖 いるか?	削減の工夫をして ?	事業費(c)(千円) 7,700 事業費削	- る事業費削減 事業費削減額 (千円) 60 減率(%)		①国・県助成制 ②現有体制での ③維持管理費の ④民間委託 組滅の内容>	度活用 対応	画予定の対策 □⑤ P F □⑥受益 ■⑦そのf		の活用		值 (g) (千円 7, 441 過理由等>	(事業費(%) (g/c)×100 96.64	●②概ね想定 ●③想定事業	官事業費以内		事業 ●①事前の想 ○②事前の想 想定どおり削	定どおりで	なかった	 ○要 ●不動
	を実現する為に 事業費は適正か? 費用)		目標値対事業費			●①単年度の指標 ○②複数年度の指		単位/事業費		身	達 実績値(h) 0.46		目標値(%) (h/e)×100 70.77	○①目標値以 ○②目標値と ●③目標値と	: 同程度 新	規に市		できた数が	直以下であった原 少ないため、今後	
3. 事後評値	T																			
●現状どおり:	-	〇縮小(O結合 O	休止	〇廃止 (○事業手法見直し	○その他(3	事業完了なと	<i>:</i>)											
	- 1470			評価コメン	ント		- •	, .,,,,						改善	き策及び展開ス	方向				
		7 + み かはほんの				を推進する効果は	高いため、今後も	も継続してい	١<.											

様式第3号	17						事務事業評価	五表(令和	1 2	年度)									
事業コー	۴	797		課コート	"		0704	会計和	重別	一般会	計			7	9算の種類		□政策	□経常	■なし	,
1. 事業(の概要(PLAN)																			
11 420	7 May (1 = 11)	0.7.5	基本事業							実施計	画への	_			0.1-1		45.45			
		①事業名	個別事業 生	E産緑地事務						位置	<u>i</u> づけ		有 〇無		②部記	果名	都市部	・公園緑地課		
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他(~)	④対象地 ⑥担当暗		□我孫子	□天王台	□湖北 3 人		□新木 	□布佐	●全市		
(1)事業概要		⑦事業費	公市									(当 初)		1,479 千		ち人件費		1,479 千円)		
		(人件費含む)	総事業費			0 千円				当該(開	開始)年度	(変更後)		千	円 (?	うち人件費		千円)		
		⑧施策の位置づけ	施策コード	61	1001		プロジェクト の位置づけ	重点なし			画地区別)位置づけ	0	有 ●無			別計画への 位置づけ	(計画名	緑の基本計画	Ī	
(2) E 65		施策目的·					ル区域では、都市計画で 要な見直しを行います。			市 #	÷ = 66	生産緑地の買耳	取申出にあたっ	って当該土地	の買取に	よる有効なえ	舌用の可能	性を検討・照会で	する。	
(2)目的		展開方向	は、自然環境	竟の保全・創出に刻	努めるとと	ともに、新たな都市の	要な見直しを行います。 の発展を担う都市的土地 としての買い取り検討、	利用について検討	します		目的	年間 たるじ 9	豊か中山がちょ	。た坦会にた	产经协注/	- 甘ベノチ9	きまたなら			
						プラガルら公園 は と 者への斡旋までを		公共肔政寺用地と	CCO		 体年度	年間を通じ、『 ・申出者に対す ・庁内外への『	する手続き概要	要と必要な書	類の説明		死さを打り	0		
(3)事業内容		内 容									計画	・申出者への道・買い取らなり								
(0) 爭未自告		rı p r										・斡旋不調の ^は 事務処理件数					除へ	#8 cf	- / -	
											k年度 b果指標	事物是程 什如					È	単位 件 実約		0
(4)達成目標	(期待する成果)	VENUE / 14.51 PT	A +4+++ (=)			票(期待する成果)				指標	栗種類			指 標	ini stri		È	单位 (5) 現況信	直 (6)	目標値
当該年度		遅滞なく検討・照:								直	接	申出件数に対し						件	0	1
令和 3年月	· 	遅滞なく検討・照									_	申出件数に対し						件		1
令和 4年月	要 ————————————————————————————————————	遅滞なく検討・照:	芸・料碇を行り	い、中田石に連知	9 a. 							申出件数に対し	し週切に事務が	心理を行つに	111 叙			件		1
(7)事業実施。	上の課題と対応									代替	案検討	0	有 ●無							
			平成31年	度			令和 2年度					令和	和 3年度					令和 4年度		
		束:	内 容	金額		束:	内 容	予算額(千円)	決算額	Я Я	友:	内 名	3	金額(-	策	:	内	容	金額	頁(千円)
		生産緑地事務			0	生産緑地事務		0		0	生産緑地	地事務			0	生産緑地	事務			0
	実施内容																			
(8)施行事項	費用																			
	予算(決算)額		計 計		0	4	計	0		0	<u> </u>	合 計			0	<u> </u>	合	1		0
	国庫支出金	補助率 補助率		0 %	0	補助率	0 %	0		0	補助率	н н	0 % 0 %		0	補助率		0 %		0
(9) 財源内訳	起債	充当率		0 %	0		0 %	0		0	充当率		0 %			充当率		0 %		0
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受拍	益 口基金 口そ	の他	0.17	□特会 □受	益 口基金 口その他	0, 17		0 0.17	□特会	会 口受益 口基金	並 □その他		0 0.17	□特会	口受益 口	基金 □その他		0. 17
(10) 人件費等	正職昌人姓弗				1, 496			1, 479		1, 479					1, 479					1, 479
事業費(予算(決	臨時職員賃金額				1, 496			1, 479		0					0					1, 479
(11)単位費用 (事業費)] /活動結果指標)		1,496千円/	/件	Í		1,479千円/件			0										
2. 事業(の評価 (DO+CHECK)																		
	評価項目					了評 価							価(評価結集	果に応じ、改	善案検討	(拡充も含	む))		3	改善検討
(1)		生産緑地の主たるができるため、生				ら30年が経過した	時は、市に対して買取り	の申出をすること			での想定。 での想定。	どおり どおりでなかった	t <u>-</u>							
	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)											1/想定どおりで	なかった原因]>						〇要 ●不要
		●①民間企業、N		体笙でけ宝梅でき	+>1>	<その他の内容>						適切に対応した。 、市民団体等で1	+実施できた	かった「ノ声	宝体の目	体的な内容	・必亜性の	理由人		
必		(理由) ■法令等		ることが定められて		くての他の内容と				②市が主導	草で進めな!	、市民団体等でで ければ実効性がす たことで市民へ	なかった					する一連の事務	であるた	
要性(2)市が3		口その他								促進され	た	施策の目標の実践		07.						
あるが		○②自治体である (理由) □市が主			导られる	<その他の内容>	>			うサービス	(水準が確									〇要 ●不要
市美	発施の必要性)	口市が実施		ことにより、良質で		÷				プその他 の他の内		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
		口市が支		- より政策・施策の[目標の					.,										
		□その他		の内容			工夫の具体的な内容					動の具体的な内容				参加・ 4	協働の程度	・内容		
4		〇①事業計画時に	に市民の参画有	IJ			エ人の共体的な内容		該当	<u>参加・</u> なし	協働が考え	えられる場合には	はその内容)			た以上		ri ti		
参 加 ・ 市民の参	☆加や市民との協働を	○②事業実施時に ○③管理・運営に	こ市民の参画有	IJ											②当初期待 ③当初の期	けたとおり 日待以下	l			
協働(体制づ	いるか?	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で		している										<期	待した以.	上となった	理由/期待	以下であった原		〇要 ●不要
協働の工夫		●⑥その他							4											
		<その他の内容> 該当なし																		
			配慮の視	1点			取組む内容				実施し	した具体的な内容	\$		2.4-		境への配慮	Ĭ		
環		□①自然環境を生 □②生き物と共有	すしている						該当	なし					①想定どま ②想定どま	らり らりでなかっ) t=			
境環境に配]慮して事業を進めて	□③手賀沼を意識 □④環境負荷低減		a										<想	定どおり	でなかった	原因>			○要
の 配 慮		■⑤その他							1										'	● 不要
		<その他の内容> 該当なし																		
		現況値(a)(件)	目標値(b)((件)		目標値の妥	当性のチェック				達成状況		○①目標値							
(1)目標語	設定は適切か?					タ・事実に基づき設 実現性が乏しい値で			実績	績値(f)(作	平) I	達成率(%) (f/b×100)	●②目標値	未達成 成した理由/	土法子!	٠, + Em				〇要
		0	1	□④適当	な比較対象		、 対象例における目標値(と現況値の差)と		0		0	<日標を達成 生産緑地の買				-			●不要
		対策実施によ	 よる事業費削減		の水準で		5定の対策				実施状況		〇①想定事			事美	業費の削減	対策について		
効		事業費(c)(千円)	事業費削減額 (千円)		県助成制が体制での対		□⑤ P F I 等民間資 □⑥受益者負担	本の活用	実績	賃値(g)(千		対事業費(%) (g/c)×100	●②概ね想 ○③想定事	定事業費以内 業費超過	. •	●①事前のた ○②事前のた		でなかった		
率 (2)事業	費削減の工夫をして	1, 479	17		管理費の	削減策の実施	口⑦その他			1, 479		100						かった原因>		〇要
性	יי ני	事業費削	減率(%)	<削減のア					<超	過理由等	>					* 1	_ 3	·		●不要
		1.	. 14																	
			目標値対事業費	費 (e)			 計算方法				達成状況		O①目標値					標値以下であった	-原因>	
投じ	直を実現する為に る事業費は適正か?			単位 費用単			目標値×費用単位/事業		9	実績値(h)	文	村目標値(%)	○②目標値 ●③目標値	と同程度		り買取申しと				〇要 ●不要
	対費用)	0. 07		件 10万F		∪⊌複数平度の指標	:(目標値-現況値)×費	(カギツ/ 事業費		0		(h/e) × 100 0								●小安
3. 事後記	评価								1											
●現状どお	り推進 〇拡充	〇縮小)休止 O廃」	Ł C)事業手法見直し	〇その他(事業完了な	ど)												
主産緑地	法に基づく事務であ	り、今後も引き続き		評価コメント									改	善策及び展開	万问					
価								ı												

录式第3号				事務事	莱評価表(令	和 2年度)					
事業コード	801		課コード	0704	会計	種別 一般会計			予算の種類	□政策 □経常	■なし
1. 事業の概要(PLAN)											
, pro-	(1) 本华 5	基本事業				実施計画・	への	A # 0 #	(C) +n=m -	如士如《西海》	
	①事業名	個別事業 緑の基準	本計画の進行管理			位置づり		●有 〇無	②部課名	都市部・公園緑地課	
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 ○その	の他(平成25	5年度 ~) ④対象地区 ⑥担当職員	□我孫∃		湖北 □新木 3 人 (換算人数	□布佐 ■全市 0.16 人)	
(1)事業概要	7事業費		十八八				(当 初)		3 八 (揆昇八級)2 千円 (うち人件費		
	(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)	(変更後)		千円 (うち人件費	千円)	
	8施策の位置づけ	施策	62101	重点プロジェクト	重点 2	基本計画地		○有 ●無	部門別計画への	(計画名) 緑の基本計画	
	1545	コード 公園・緑地が持つ	機能に配慮し、市内に	への位置づけ に残る貴重な樹林地や城跡、古墳が	」 などの歴史的・文化的資源を	計画への位		策の基本となっている緑	位置づけ 位置づけ の基本計画の進行管理を	 実施し、公園緑地政策の方向性	を確認、検証
(2)目的	施策目的 · 展開方向	ながら、市街地で	公園が不足している-	一部の区域において公園の整備を を進めるとともに、主要公園にお	倹討します。また、誰もが安	で 事業目的		XV = 11 C 0 2 C 0 0 10	WO THE TOTAL PARTY	X 200 01 2 2 2 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	
		緑の基本計画の基準	本方針や施策方針にそ	そって、関連施策が展開されている ているかなど、現状を確認、検証し	るかどうか、また、緑の将来	像や目	H26に見直し	した緑の基本計画を市内	内部をはじめ広く周知し、	緑を一層豊かにするために施策	東を実行する。
		た、市の基本計画	や都市計画マスターフ	プラン、「整備開発、及び保全のフ	方針等」との整合を図ること	:が法的 当該年月					
(3)事業内容	内 容	に規定されている。	ことから、これらの豚	関連計画との整合を図るため、必要	そに応じて見直しを行う。	執行計員					
						当該年	緑の基本計	画の進行管理		想定值	
						活動結果				単位 回 実績値	
(4)達成目標(期待する成果)	U001-日志 I I + 4	3の其 十 製画 # 末中		票(期待する成果) 周知させ、施策を実行していく。		指標種類	日志 1 4.43	,	標 けに則り、施策を実行する	単位 (5)現況値	(6)目標値
当該年度				周知させ、他束を美行していく。 		直接			「に則り、施束を美仃する	° 🔲 1	
令和 3年度		置づけられた施策の				直接				0	
令和 4年度	緑の基本計画にお	ける緑の確保目標量	を達成する			直接	緑の確保目	標の達成度		%	1
(7)事業実施上の課題と対応						代替案検	討	○有 ●無			
		平成31年度			令和 2年度			令和 3年度		令和 4年度	
	政:	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(千円)	決算額(千円) 政			☆額(千円) 政	内 容	金額(千円)
	策: : 施策の進行管理		0	策: P3 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	0	束:	施策の進行管理	4	策: 0 施策の進	行管理	32 132 (1 1 1)
						1	緑の基本計画改定年	度の検討	0 * 緑の基本	計画策定準備	
実施内容											
(8) 施行事項 費 用											
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計 0 %	0		0 % 0		合 助率	計 0 %	0 補助率	合 計 0 %	
県支出金	補助率	0 %	0	補助率	0 % 0 0 % 0	0 補	助率 当率	0 % 0 %	0 補助率 0 充当率	0 % 0 %	
(9) 財源内訳 -般財源 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		益 口基金 口その他	0	□特会 □受益 □基金 □	0	0			0	□受益 □基金 □その他	
換算人数(人)	口付去 口文:		0. 16 1. 408		0. 16 1. 392	0. 16 1. 392	口付云 口文堂 口:	基並 口での他	0. 16 1, 392	口支盤 口を並 口ての他	0. 10
(10) 人件費等			0		0	0			0		(
│ 臨時職員賃金額 事業費(予算(決算)額+正職員人件費			0 1, 408		0 1, 392	0 1, 392			0 1, 392		1, 392
(11)単位費用 (事業費/活動結果指標)		1,408千円/回		1,392千円	/0	1, 392					
2. 事業の評価(DO+CHEC	CK)										
評価項目			事前	京評 価			事 後	評 価 (評価結果に応じ	じ、改善案検討(拡充も含	(む))	改善検討
				直しを行い、緑の施策体系を進める 関連計画との整合性を図りながら、			の想定どおり の想定どおりでなか	った			
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)		他部門との連携を図	るための進行管理が必	必要である。		<想定どおりとし	た理由/想定どおり	りでなかった原因>			○要 ●不要
						平成26年6月網	の基本計画見直し5	完了後、基本方針に基づ	いた施策を行っている。		
必		N P O、市民団体等でで市が実施すること		<その他の内容>			NPO、市民団体等 進めなければ実効性	では実施できなかった がなかった	<市実施の具体的な内容 都市緑地法に基づく法定	・必要性の理由> 『計画であり、緑を総合的かつ計	+画的
要		体が市しかない	2 7500 540 500				となったことで市民		に確保していく上で必要		
性 (2)市が実施する必要性は			÷ 7	(7.0 th 0.0 mm)		□④市の支援が	政策・施策の目標の	実現に貢献した			0.77
あるか? (市実施の必要性)	(理由) 口市が主	る市が推進すべきであ 導で進めることによ	り実効性が得られる	<その他の内容>			学が確保された 安定供給基盤が確保	された			〇要 ●不要
(1)57,000 2 (12)	サービ	スが保証される	より、良質で安定した	3		□⑦その他 <その他の内容>	•				-
	実現が	援することにより政策 図られる	策・施策の目標の								
	□その他		8	T+084	的た内容		ロ・協働の具体的な		sta ±m	拉働の程度・中央	
	〇①事業計画時(参加・協働の内容 こ市民の参画有り	1	工夫の具体 みどりの基本計画では、基本方		参加・協働	動が考えられる場合	にはその内容)	参加・ 〇①当初期待した以上	協働の程度・内容	
参加	〇②事業実施時に	こ市民の参画有り		進める」を定め、市民が主体と 。みどりのボランティア団体間	:なった緑づくりを進めてい	る ている。また、市	ī民ボランティアへ0	の支援として、民有地緑	●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下	Ŋ	
・ 市民の参加や市民との協働を 協 工夫しているか? (体制づくり)		内な活動と連携してい	いる	ど、団体間で活動を協力し合え ていく。市では、公園や公共施	るネットワークづくりを進	め 活動への花苗等の	供給や、年間を通し			理由/期待以下であった原因>	○要 ◆ ●不要
働 (体制づくり) エ	〇⑥その他	· ァホヒヘル		りを継続していく等、緑の保全			. CANO C CV.O.		.M., O. M. L. & J.	. エガ・からな 1 くの ノに原囚ノ	●小安
工 夫 	<その他の内容>			°		1					
					±		mut	.		## 0 == #	
	□①自然環境を生	配慮の視点 生かしている		取組む 水辺や緑は、鳥をはじめとする		し 緑の基本計画を推	実施した具体的な 進する事で市内に原		●①想定どおり	環境への配慮	
環 境・環境に配像して事業を進める	■②生き物と共存	字している		て重要な役割を果たしている。 ドを緩和する役割もあり、今ま	また、都市のヒートアイラ	ン ランド現象の緩和	コなど環境を保全・こ	枚善し、生物の生息地・	○②想定どおりでなか・	ots	
^児 環境に配慮して事業を進めて の いるか?	て ■ ④ 環境負荷低源 □ ⑤ その他			に取り組む必要がある。				_, •	<想定どおりでなかった	原因>	 ○ 要 ● 不要
環境に配慮して事業を進める の いるか? 配慮	<その他の内容>					4					→ 小安
	- この他の内谷>										
	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)		目標値の妥当性のチェック	ל	達	成状況	●①目標値達成	1		+
(1)目標設定は適切か?				タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない		実績値(f)(回)	達成率(%) (f/b×100)	〇②目標値未達成			O要
(17 日 bk by vc 10 岩面 利力, :	1	1	□③現況値との差:	実現ほかとしい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	る日標値(と租辺値の美)し	1	100	平成26年6月に見		基本方針に基づく施策を実施した	●不亜
		7 = 416.44.4	日後週当な比較対	ある	♥ロ1赤値(こ状が11世の左)と			ら、次の緑の基本計	画見直しへの情報収集を	している。	
		よる事業費削減 事業費削減額(d)	□①国・県助成制	実施予定の対策 度活用 □⑤ P F	I等民間資本の活用		施状況 対事業費(%)	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費	費以内	業費の削減対策について 想定どおり	
効	事業費(c)(千円)	(千円)	■②現有体制での □③維持管理費の	対応 □⑥受益	者負担	実績値(g)(千円)	(g/c) × 100	〇③想定事業費超過		想定どおりでなかった	
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	,	16	□④民間委託			1,392	100		<想定どおり	削減できなかった原因>	 ○要 ●不要
性	事業費削	削減率(%)	<削減の内容>			< ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					●不要
	1	. 14									
		目標値対事業費(e)		計算方法	去	幸		〇①目標値以上		た理由/目標値以下であった原図	.因>
(3)目標値を実現する為に		単位		●①単年度の指標:目標値×費用	単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%)	●②目標値と同程E ○③目標値以下			O要
投じる事業費は適正か?			1	○②複数年度の指標:(目標値-3	t沉恒)×實用単位/事業費	- S-2011 VIV	(h/e) × 100	- 0 - 1			●不要
投じる事業費は適正か? (目標対費用)	0. 07	回	10万円			0. 07	100	1			
(目標対費用)	0. 07	0	10万円			0.07	100				
		〇結合 〇休止		○事業手法見直し ○その他(事業完了など)	0. 07	100				
(目標対費用) 3. 事後評価 ●現状どおり推進 ○拡打	℃ ○縮小	〇結合 〇休止評価:	 〇廃止 C		事業完了など)	0. 07	100	改善策及で	び展開方向		
(目標対費用) 3. 事後評価	℃ ○縮小	〇結合 〇休止評価:	 〇廃止 C		事業完了など)	0.07	100	改善策及び	び展開方向		

事業コード								• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2年度)								
		803		ā	課コード	0704		会計種別	一般会計	-			予算σ	の種類	□政策	■経常	□なし
1. 事業の概要(P	PLAN)																
		①事業名	基本事業						実施計画		● #	i O無		②部課名	都市部・公	周級地理	
	L			民の森維技					位置づ								
	-	③事業主体 ⑤事業期間	●市 (〇その他	(~)	④対象地区 ⑥担当職員		□我孫子	■天王台	■湖北 3 人	□新木 (換算人数	■布佐	0.4 人)	
(1)事業概要	-	⑦事業費	総事業費			0.70			当該(開始)		(当 初)	9,	982 千円	(うち人件費		3,480 千円)	
	-	(人件費含む)	松争未复			0 千円			3改(開始)	7年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		62101	重点プロジェクト への位置づけ	1	直点 2	基本計画地計画への位		●有	ī 〇無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	緑の基本計画	
			公園・緑地が			 に残る貴重な樹林地や城跡、古墳			L					や自然体験活動な		受する場を創出す	るため、市民
(2)目的		展開方向	利用できるよ	う公園の/	バリアフリー化を	-部の区域において公園の整備を を進めるとともに、主要公園にお	おける遊具の充実	を図り、子どもた:	5	的		アと共に整備・維					
						民の森について、市民が利用しや を行う。また、中里及び岡発戸市					・市民の森3ヶ ・施設及び火災		枯木伐採、	竹林の間伐等の維	持管理		
			る草刈り等の物	管理を行っ	っていることから	5、布佐での実施を検討する。			当該年) 執行計i		・地権者に対す	る報償及び奨励金	きの支払い				
(3)事業内容		内 容															
									当該年		適切に維持管理	された緑地面積			単位	想定值	
	##)				法 战日捷	票(期待する成果)			活動結果			指	標		単位	実績値	(6)目標値
当該年度		多くの市民に利用し	してもらう		建 灰口标	R (朔时9 句以本)			直接		適切に維持管理		175		ha	3	(0)口标但
令和 3年度		多くの市民に利用し	してもらう						_		適切に維持管理	された緑地面積					
令和 4年度		多くの市民に利用し	してもらう						_		適切に維持管理	された緑地面積					
7和 44及																	
(7)事業実施上の課題と	対応								代替案椅	 食討	O有	●無					
			平成31年度	ŧ		:	令和 2年度				令和	3年度			令和	和 4年度	
		朿:	内 容			政 内 容	予		額(千円) 政策	40 W +h	内 容		金額(千円)	策 :	内 容	ş	金額(千円)
		報償費 役務費			805 374	報償費 役務費(保険料)		805 315	299		(保険料)		80 31	15 役務費(保	保険料)		80 31
		委託料 負担金補助及び	交付金		4, 957 363	委託料 負担金補助及び交付金		5, 019 363		委託料 負担金補	前 助及び交付金		5, 01 36	,	カ及び交付金		5, 01 36
宝旅	施内容																
(8) 協行車項																	
費	ж																
予質 (決算)額	<u> </u>	計		6, 499	合 計		6, 502	6. 442		合 計		6, 50	2	合 計		6, 50
国庫	支出金	補助率 補助率	0	%	0,433	補助率	0 % 0 %	0 0	0 補	甫助率 甫助率		0 % 0 %	,	0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	0, 00
(0) 財源内部 起	⊒債			%	0	新即 率 充当率	0 %	0	0 充	用助平 充当率		0 %		0 充当率		0 %	(
その他	受財源 也の財源	□特会 □受益	益 □基金 □その	の他	6, 499 0	□特会 □受益 □基金 □	こその他	6, 502 0	6, 442 0	□特会	: □受益 □基金	口その他		0 □特会[□受益 □基金	全 □その他	6, 502
(10) 人 供弗奎 正職員	(数(人) (人件費				0. 4 3, 520			0. 4 3, 480	0. 4 3, 480				0. 3, 48				0. 4 3, 480
鳴託甁」	員報酬額員賃金額				0			0	0					0			(
事業費(予算(決算)額+正期 (11)単位費用	職員人件費)		0.504.75-5		10, 019	0.405.5-		9, 982	9, 922				9, 98	32			9, 982
(事業費/活動結果			2,504.75千円。	/ha		2, 495. 5 T	-円/ha		3, 307. 33								
2. 事業の評価(D	JU+GHEGK)					_											<u> </u>
評価項目					事前						事後 評	価(評価結果に応	でじ、改善案				
		市民の森け 市の名	を例に上り指定	1 ている((早左緑州等の内	「評価	いつ 森内での白	火休 除活動が	1 車前確認で	の相定と	まり			長棟討(払允も含む	3))		改善検討
(1) 車業が合心亜で		可能な樹林地を選択	定し整備したもの	ので、現る	在、岡発戸、中里	所有者の理解協力が得られ、か 里、布佐の3ヵ所を開設している	る。維持管理の内	字は、広場・ (●①事前確認で ○②事前確認で		ごおり ごおりでなかった		9 9 4 4 4 4 4	€棟討(孤允も含む	3))		
(1)事業が今必要で 背景は?(事業の	ある理由・	可能な樹林地を選択 園路周辺の草刈や村 者から明るい森にし	定し整備したもの 古木の伐採が中が してほしいとの	ので、現る 心であり、 要望がある	在、岡発戸、中里 、管理面積は約3 る。こうした中、	所有者の理解協力が得られ、か 星、布佐の3ヵ所を開設している 3ha程度で3ヵ所全体約7.5haの 中里ではH15年から、岡発戸でI	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の	容は、広場・ ため、利用 ドランティア く)②事前確認での 想定どおりとし	の想定とした理由	ざおりでなかった <u>/</u> 想定どおりでな	いった原因>		・検討(孤允も含む	3))		改善検言 ○要 ●不要
	ある理由・	可能な樹林地を選択 園路周辺の草刈や村 者から明るい森にし の参加により森の覧 よる維持管理費の影	定し整備したもの 古木の伐採が中が してほしいとの 管理作業も始ま 削減とともに子	ので、現る 心であり、 要望があっており、 供やお年	在、岡発戸、中里 、管理面積は約3 る。こうした中、 、市としては布佐 寄り、女性が安心	所有者の理解協力が得られ、か 星、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの 中里ではH15年から、岡発庁で 生も含め活動場所の拡大を検討し らして利用できる森づくりを進め	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市民参加に 市	D②事前確認では 想定どおりとし 民が安心して利	の想定と した理由. 利用でき	ごおりでなかった /想定どおりでな る森を目指し維持	いった原因> 特管理を行った。					O要
	ある理由・	可能な樹林地を選別 園路周辺の草刈や村 者から明るい森にしの参加により森の別よる維持管理費の計 〇①民間企業、N (理由) □法令等で	Eし整備したもの 古木の伐採が中か してほしいとの 管理作業も始ま <u>削減とともに子</u> PO、市民団体 で市が実施する。	ので、現 心であり、 要望があっ ないなおり、 供やお年 は等では実	在、岡発戸、中里 、管理面積は約3 る。こうした中、 、市としては布佐 寄り、女性が安心 実施できない	所有者の理解協力が得られ、か 星、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの 中里ではH15年から、岡発戸でし 生も含め活動場所の拡大を検討し	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市民参加に 市	②事前確認での 想定どおりとし 民が安心して利 3①民間企業、 ■②市が主導で	の想定と した理由 利用でき NPO、 進めなけ	ごおりでなかった /想定どおりでなる森を目指し維持 市民団体等では ければ実効性がな	なかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった	< 一く市実施 要綱に基	▣の具体的な内容・ ■の具体的な内容・	必要性の理E 品力のもと設置	置した施設である	○要 ●不要
背景は?(事業の	ある理由・	可能な樹林地を選別 園路周辺の草刈や村 者から明るい森にしの参加により森の別よる維持管理費の計 〇①民間企業、N (理由) □法令等で	定し整備したもの 古木の伐採が中か してほしいとの 管理作業も始ま 削減とともに子 PO、市民団体	ので、現 心であり、 要望があっ ないなおり、 供やお年 は等では実	在、岡発戸、中里 、管理面積は約3 る。こうした中、 、市としては布佐 寄り、女性が安心 実施できない	所有者の理解協力が得られ、か 星、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの 中里ではH15年から、岡発庁で 生も含め活動場所の拡大を検討し らして利用できる森づくりを進め	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア < 市民参加に 市 る。	②事前確認で 想定どおりとし 民が安心して和 ③1①民間企業、 ■②市が主導で 3③市が先導役 促進された	の想定と した理由 利用でき NPO、 進めなった	ごおりでなかった /想定どおりでな る森を目指し維邦 市民団体等では ければ実の性がな こことで市民へ普	ぶかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層	を <市実施 要綱に基 どりのポ の伐採、	iiの具体的な内容・ もづき、地権者の協 ボランティア等によ 竹林の間伐などそ	必要性の理 る力のもと設 い、広場や でった。また、	置した施設である 園路周辺の草刈、	●不要 ●不要
背景は?(事業の必要性 (2)市が実施する必	ある理由・ の必要性)	可能な樹林地を選別 園路周辺の草刈や村 者から明るい森にし の参加により森の 金維持管理業、N (理由) □法令等で □提供主体	定し整備したもの されの伐採が中の とでほしいとの。 管理体とともに団を PO、市を であれたしいない をあれたしいない	ので、現ので、現り、であり、ですがあり、 で望れおり、 はいまではいません。 はいまではいます。 のでは、現れまでは、 では、現れまでは、までは、現れまでは、現れまでは、現れまでは、現れまでは、現れまでは、までは、では、では、では、では、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、	在、岡発戸、中里 、管理面積は約3 る。こうした中、 、市としては布佐 寄り、女性が安心 実施できない	所有者の理解協力が得られ、か 星、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの 中里ではH15年から、岡発庁で 生も含め活動場所の拡大を検討し らして利用できる森づくりを進め	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市民参加に 市 市。	②事前確認で 想定どおりとし 民が安心して和 ③1①民間企業、 ■②市が主導で 3③市が先導役 促進された	の想定と した理由 利用でき NPOなけた と と い 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ごおりでなかった 一想定どおりでなかった 一想定どおりで 表森を目指し維邦 市民団体等では ければ実効性がな こことで市民へ普 造策の目標の実現	ぶかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層	を <市実施 要綱に基 どりのポ の伐採、	Eの具体的な内容・ もづき、地権者の悩 ドランティア等によ	必要性の理 る力のもと設 い、広場や でった。また、	置した施設である 園路周辺の草刈、	○要 ●不要 。み 枯木 は必
背景は?(事業の	ある理由・ D必要性) 要性は -	可能な樹林地型水 園路周辺の草刈や木 の参りにより森の を動により森の のよる維持管理費の計 〇①民間企業、N (理由) □提供主体 □ 足供の他	を したもの という	ので、現りで、現りである。 であがあり、年等とが定ちます。 でよります。 でよります。 でよります。	在、岡発戸、中野 年、管理の をいる。このは できない できない をいる。 できない がいる。 がし。 がいる。 がいる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がし。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 は、 がし。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 「市民参加に 市 る。	②事前確認で 想定どおりとし 民が安心して利 ③10民間企業、 ■②市が主導で 33市が先導及 促進された 1④市のビス水	の想定と し し り 用 の り り り り り り り り り り り り り り り り り	ごおりでなかった 一想定どおりでなかった 一想定どおりで 表森を目指し維邦 市民団体等では ければ実効性がな こことで市民へ普 造策の目標の実現	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した	を <市実施 要綱に基 どりのポ の伐採、	iiの具体的な内容・ もづき、地権者の協 ボランティア等によ 竹林の間伐などそ	必要性の理 る力のもと設 い、広場や でった。また、	置した施設である 園路周辺の草刈、	○要 ●不要 ・み ・枯木 は必
背景は?(事業の 必 要 性 (2) 市が実施する必 あるか?	ある理由・ D必要性) 要性は -	可能な樹林地車が構体地車が構作を削り、 ・ では、 ・ では、	を したもの という	の心要っ供等ことではおりあり年またといる。 でいかい はいかい はいかい ありまました おいまい ありまり いかい かいまい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア < 市 市 も る。	②字前確認では 想定どおりとし 民が安心して利 「民間企業、 「②市が主導で 日のでは 「②市が生みで 日のでする 「日のでは 「日のでは 「日のでは 「日のでは 日のでは 日のでは 日のでは 日のでは 日のでは 日のでは 日のでは	の 想定 し し い の は の の は の の は の の は の に の の は の に 。 に の に 。 に に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	ごおりでなかった	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した	を <市実施 要綱に基 どりのポ の伐採、	iiの具体的な内容・ もづき、地権者の協 ボランティア等によ 竹林の間伐などそ	必要性の理 る力のもと設 い、広場や でった。また、	置した施設である 園路周辺の草刈、	○要 ●不要 。み 枯木 は必
背景は?(事業の 必 要 性 (2) 市が実施する必 あるか?	ある理由・ D必要性) 要性は -	可能な樹林地立な樹林地立な樹林地立な樹木の本の本の森にはり時の明らい時により現在の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本	定し整備性とした中心 は大ち中心 に変列を に変列	の心要っ供等ことではおりあり年またといる。 でいかい はいかい はいかい ありまました おいまい ありまり いかい かいまい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア < 市 市 も る。	②事前確認では 想定どおりとし 民が安心して和 ①(民間企業。 ②(3)市が主導程 促進さ支援水。 13(1)・13(1) (((((((((((((((((((((((((((((((((の 想定 し し い の は の の は の の は の の は の は の は の は の は の は の は の に が に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	ごおりでなかった	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した	を <市実施 要綱に基 どりのポ の伐採、	iiの具体的な内容・ もづき、地権者の協 ボランティア等によ 竹林の間伐などそ	必要性の理 る力のもと設 い、広場や でった。また、	置した施設である 園路周辺の草刈、	○要 ●不要 。み 枯木 は必
背景は?(事業の 必 要 性 (2) 市が実施する必 あるか?	ある理由・ D必要性) 要性は -	可能な樹林地立な樹林地立な樹林地立な樹林地立な神林地立な神体である。	定し整備性とした中心 は大ち中心 に変列を に変列	の心要っ供体で、 でにと りの心で望てやでががおおは定 ありよりに	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 左も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から緑の している。今後は	容は、広場・ ため、利用 ドランティア < 市 市 も る。	②事前確認では 想定どおりとして 民だ安心して和 ②では、 「②市が生たと、 「②市が生き、 「②中からに、 「③では、 「③では、 「③では、 「③では、 「○でものでする。」 「○でものでする。」 「○でものでする。」 「○でものでする。」 「○でものでする。」 「○でものでする。」 「○でものでする。」 「○できる。 「○でき。 「○できる。 「○でき。 「○できる。 「○できる。 「○できる。 「○でき。 「○ 「○ 「○ 「○ 「○ 「○ 「○ 「○ 「○ 「○	の し 利 R D D D D D D D D D D D D D	ごおりでなかった /想定と目指し維オ市民民団体等がなき 市民民団体等がが民の実ではよったとの実際のの大きなのでは、 を表もといる。 の具体的な内容	なかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た	を <市実施 要綱に基 どりのポ の伐採、	⑥の具体的な内容・ もづき、地権者の協 ミランティア等によ 竹林の間伐などぞ て業者委託を行っ	必要性の理 る力のもと設 い、広場や でった。また、	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不要 。み 枯木 は必
背景は?(事業の 必要性 (2)市が実施する必 あるか? (市実施の必要性	ある理由・ D必要性) 要性は -	可能な樹林地立な樹林地立な樹林地立な樹林地立な神代表のない森にはより理費の時により理費の時では、 ○①民間企業へ等工程の他 ●②自治体である。(理由)□市がが支がして、 ■市が対して、 ■市が対して、 ■市が対して、 □では、 □では、 □では、 □では、 □では、 □では、 □では、 □では	を は かく は か	の心要っ供等ことの必要っ供等にとりの心をいまればないであり、年まであらればない。 ない	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 左も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	5。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から為の している。今後は かていく必要があ	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市 市民参加に 市	② 事前確認でした。 想定どおりして利 民だ安心 企業導降化が失さ支援の 1② 市が先さ支援へが 13③ 保間・サービスの 13・サービスの その他の内容 > 参加し加森、 発声市民の森、	の想理のというのでは、ののでは、これで、これで、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	があった 一想定とおりでなかった 一想定とおりでなる森を目指し維持 市民団体等ではないない。 市民団体等ではないないない。 第年の日には、 一部ではないない。 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) つポランティアに	と <市実施要綱に基状の伐採、要に応じ	をの具体的な内容・はでき、地権者の協 でき、でき、地権者の協 でランティア等によ が林の間伐などぞ で業者委託を行っ 参加・協 初期待した以上	必要性の理に る力のもと設言 らり、広場や でった。また、 いた。	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不要 。み 枯木 は必
背景は?(事業の 必 要 性 (2)市が実施する必 あるか? (市実施の必要性	ある理由・ の必要性) 要性は 生)	可聞な情知の電子を主体を表する。 「中国のは、	を は かく は か	の心要っ供等こ きにと り 内リリカの心要っ供等こ きにと り 内リリカのいちはままと る実り ・ 別のの アリカののであれば、 策 でいる アン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 左も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	5。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から為の している。今後は かていく必要があ	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市 あ。	② 事前確認でした。 想定どおりして利 民だ安心 企業導降化が失さ支援の 1② 市が先さ支援へが 13③ 保間・サービスの 13・サービスの その他の内容 > 参加し加森、 発声市民の森、	の想理のというのでは、ののでは、これで、これで、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	があった 一想定とおりでなかった 一想定とおりでなる森を目指し維持 市民団体等ではないない。 市民団体等ではないないない。 第年の日には、 一部ではないない。 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」	はかった原因> ・特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	と マ を を の の で の で で の で で の で で の で で の で に よ に な の で の で に な の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	画の具体的な内容・ もづき、地権者の協 ミランティア等によ 竹林の間伐などぞ て業者委託を行っ 参加・協	必要性の理に る力のもと設言 らり、広場や でった。また、 いた。	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不要 ・み 枯木 は必 ○要 ●不要
背景は?(事業の 必 要 性 (2)市が実施する必 あるか? (市実施の必要性	ある理由・ の必要性) 要性は 生)	可能な樹切の草が特別の車が特別の車を別別の車を別別の車が時間の場合りり理ない。 ○①民間企業の第二の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の	を は かい さとこるよい は 協 画画画地 は の の り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り り か と か と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き と と こ る よ と に な し か り す り す り す り す り す り す り す り す り す り	の心要っ供等こ きにと り 内リリカの心要っ供等こ きにと り 内リリカのいちはままと る実り ・ 別のの アリカののであれば、 策 でいる アン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 左も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	5。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から為の している。今後は かていく必要があ	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市 あ。	②事前確認でした。 を	の想理のというのでは、ののでは、これで、これで、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	があった 一想定とおりでなかった 一想定とおりでなる森を目指し維持 市民団体等ではないない。 市民団体等ではないないない。 第年の日には、 一部ではないない。 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) つポランティアに	た <市実施 要	画の具体的な内容・ もづき、地を構名のは でき、サインでは、サインでは、 では、 でででは、 ででは、 をかい、 をかい、 をかい、 をかい、 をかい、 をかい、 をかい、 をかい	必要性の理 ら は らり、広場や で で で で で で で で で で で に の に の に ま た 、 に ま た 。 ま た 。 た 。 で に の た に の た に の た に の に る に の に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に 。 に に に に に に に に に に に に に	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不要 。み 枯木 は必
# 背景は?(事業の 必 要 性 (2) 市が実施する必まあるか? (市実施の必要性 を	ある理由・ D必要性) 要性は 生)	可園な情知の電が構成のでは、	を は かい さとこるよい は 協 画画画地 は の の り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り り か と か と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き と と こ る よ と に な し か り す り す り す り す り す り す り す り す り す り	の心要っ供等こ きにと り 内リリカの心要っ供等こ きにと り 内リリカのいちはままと る実り ・ 別のの アリカののであれば、 策 でいる アン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 左も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	5。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から為の している。今後は かていく必要があ	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市 あ。	②事前確認でした。 を	の想理のというのでは、ののでは、これで、これで、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	があった 一想定とおりでなかった 一想定とおりでなる森を目指し維持 市民団体等ではないない。 市民団体等ではないないない。 第年の日には、 一部ではないない。 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) つポランティアに	た <市実施 要	画の具体的な内容の もづき、地権者の協 パランティア等によ 竹林の間伐などれ て業者委託を行っ 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理 ら は らり、広場や で で で で で で で で で で で に の に の に ま た 、 に ま た 。 ま た 。 た 。 で に の た に の た に の た に の に る に の に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に 。 に に に に に に に に に に に に に	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不不要 ・み ・枯木 は必 ○要 要要 ● 不不要
************************************	ある理由・ D必要性) 要性は 生)	可能な樹切の草が特別の車が特別の車を別別の車を別別の車が時間の場合りり理ない。 ○①民間企業の第二の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の	を は かい さとこるよい は 協 画画画地 は の の り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り り か と か と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き と と こ る よ と に な し か り す り も の り り す り す り す り す り す り す り す り す か と と こ る よ と い か と と こ る よ と い か と と こ る よ と い か と と こ る よ と い か と と こ る よ と に な か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と で い か と と な な か と か と か と か と か と か と か と か	の心要っ供等こ きにと り 内リリカの心要っ供等こ きにと り 内リリカのいちはままと る実り ・ 別のの アリカののであれば、 策 でいる アン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 左も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	5。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から為の している。今後は かていく必要があ	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市 あ。	②事前確認でした。 を	の想理のというのでは、ののでは、これで、これで、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	があった 一想定とおりでなかった 一想定とおりでなる森を目指し維持 市民団体等ではないない。 市民団体等ではないないない。 第年の日には、 一部ではないない。 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」 「は、日本の森はよみどりの。」	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) つポランティアに	た <市実施要別に基本の を関いるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	画の具体的な内容の もづき、地権者の協 パランティア等によ 竹林の間伐などれ て業者委託を行っ 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理 ら は らり、広場や で で で で で で で で で で で に の に の に ま た 、 に ま た 。 ま た 。 た 。 で に の た に の た に の た に の に る に の に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に 。 に に に に に に に に に に に に に	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不不要 ・み ・枯木 は必 ○要 要要 ● 不不要
# 背景は?(事業の 必 要 性 (2) 市が実施する必まあるか? (市実施の必要性 を	ある理由・ D必要性) 要性は 生)	可園な情知の電が構成のでは、	を は かい さとこるよい は 協 画画画地 は の の り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り 有 り り か と か と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な か き と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と か と と こ る よ と に な し か き か き と と こ る よ と に な し か き と と こ る よ と に な し か り す り も の り り す り す り す り す り す り す り す り す か と と こ る よ と い か と と こ る よ と い か と と こ る よ と い か と と こ る よ と い か と と こ る よ と に な か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と と こ る な よ で い か と で い か と と な な か と か と か と か と か と か と か と か	の心要っ供等こ きにと り 内 リリー であがおおに 政 なりに 政 ない なりに 政 容 いい はい ない ない ない からしい からしい からしい からしい からしい からしい からしい からし	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 是、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容>	る。維持管理の内 半分にも満たない はH24年から後の している必要があ かていく必要があ	容は、広場・ ため、利用 ドランティア 市 あ。	②事前確認でした。 を	の し利 R 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 R A 大田 A 大田 R 大田 R 大田 の の な 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ごおりでなかった 「想定を目は体生ではないではおりを発生を目が、	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) つポランティアに	た <市実施要別に基本の を関いるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	画の具体的な内容ではできた。 をできたいな性である。 できたいないではなどでは、 では、 では、 をかいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがりを、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでは、 とがいまでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	必要性の理に る力のもと設 らり、広場や でった。また、 のた。	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不不要 ・み ・枯木 は必 ○ ●不不要
# 背景は?(事業の 必 要 性 (2) 市が実施する必まあるか? (市実施の必要性 を	ある理由・ D必要性) 要性は 生)	可園を	を は か さとして	の心要っ供等こ きにと り 内 リリー であがおおに 政 なりに 政 ない なりに 政 容 いい はい ない ない ない からしい からしい からしい からしい からしい からしい からしい からし	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 見、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容> 工夫の具体 みどりのボランティアによる値 なんではい斜面体に	る。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施	容は、広場用 で 市	②事前確認でした。 思民が出た。 「日民間では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	の し利 N進と 政準安 / 加働中司 中の	ごおりでなかった	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) のボランティアに など管理作業が行っ	と	配の具体的な内容が をいき、いかを できたいすでではなどでできた。 できたができたができた。 では、できないでは、 をかいないでは、 をかいないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 できないできた。 では、 できないできた。 できないでは、 できないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	必要性の理は のありの広場や いのでである。 のでである。 は のの程度・グ を を のの配慮	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不不要 ・み ・枯木 は必 ○要 要要 ● 不不要
背景は?(事業の 必要性 (2)市が実施する必 あるか? (市実施の必要性 市民人しづくり)	ある理由・ D必要性) 要性は 生)	可園者のよる「民間では、一個では、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、	E ta	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 気切りあり年ま定 る実り ・ か	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 見、布佐の3ヵ所を開設している 3 ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容> 工夫の具体 みどりのボランティアによる結	る。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施	容は、広場用 で 市	②事前確認でした。 は民が出た。 は民間では、大きないでは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の し利 N進と 政準安 / 加働中司 中の	ごおりでなかった	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) のボランティアに など管理作業が行っ	と	をの具体的な内容が をいき、いかでは、 できたができた。 できたがないではなどでは、 できたができます。 参加・協 初期特をしたとおり がかがあり、 たいとなった理 定とどおりでなかっ	必要性の理は の は の は と 談 に り、	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要要要 ● 不不要要要 ● 不不要要要
背景は?(事業の 必要性 (2)市が実施する必当 あるか? (市実施の必要性 市民人しづくり)	ある理由・ D必要性) 要性は 生)	可園とは、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中で	E ta	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 気切りあり年ま定 る実り ・ か	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 見、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容> 工夫の具体 みどりのボランティアによる値 なんではい斜面体に	る。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施	容は、広場用 で 市	②事前確認でした。 思民が出た。 「日民間では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	の し利 N進と 政準安 / 加働中司 中の	ごおりでなかった	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) のボランティアに など管理作業が行っ	と	配の具体的な内容が をいき、いかを できたいすでではなどでできた。 できたができたができた。 では、できないでは、 をかいないでは、 をかいないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 できないできた。 では、 できないできた。 できないでは、 できないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	必要性の理は の は の は と 談 に り、	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○要 ●不不要 ・み ・枯木 は必 ○要 要要 ● 不不要
## (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施の必要性 (2) 市が実施の必要性 (2) 市が実施の必要性 (4) 市民の参加や市からでは、(本制づくり)	ある理由・ の必要性) 要性は 生) との協働を	可園者のよる「東京 中国	E ta	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 気切りあり年ま定 る実り ・ か	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 見、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容> 工夫の具体 みどりのボランティアによる値 なんではい斜面体に	る。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施	容は、広場用 で 市	②事前確認でした。 思民が出た。 「日民間では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	の し利 N進と 政準安 / 加働中司 中の	ごおりでなかった	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) のボランティアに など管理作業が行っ	と	をの具体的な内容が をいき、いかでは、 できたができた。 できたがないではなどでは、 できたができます。 参加・協 初期特をしたとおり がかがあり、 たいとなった理 定とどおりでなかっ	必要性の理は の は の は と 談 に り、	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○ 要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更
背景は?(事業の 必要性 (2)市が実施する必当 あるか? (市実施の必要性 市民人しづくり)	ある理由・ の必要性) 要性は 生) との協働を	可園からの下等は他のある主教が、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では	E ta	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 気切りあり年ま定 る実り ・ か	在、管理市場では、中野の では、 では、 では、 できまれる。 市と 女性が できない できない できない できない できない できない できない できない	所有者の理解協力が得られ、か 見、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容> 工夫の具体 みどりのボランティアによる値 なんではい斜面体に	る。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施	容は、広場用 で 市	②事前確認でした。 思民が出た。 「日民間では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	の し利 N進と 政準安 / 加働中司 中の	ごおりでなかった	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) のボランティアに など管理作業が行っ	と	をの具体的な内容が をいき、いかでは、 できたができた。 できたがないではなどでは、 できたができます。 参加・協 初期特をしたとおり がかがあり、 たいとなった理 定とどおりでなかっ	必要性の理は の は の は と 談 に り、	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○ 要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更
背景は?(事業の 必要性 (2)市が実施する必当 あるか? (市実施の必要性 市民人しづくり)	ある理由・ の必要性) 要性は 生) との協働を	可園からの下等は他のある主教が、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では	E ta	の心要っ供等こ きにと り 内 リーン 点 いから は 策 容 いい ない 年 ま で ま で よ に と り で ない からい は 策 る ま り ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・	在 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	所有者の理解協力が得られ、か是、布佐の3カ所を開設している3 ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討したして利用できる森づくりを進め < その他の内容>	5。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施 む内容 などの緑の保存に などの緑の保存に などの緑の保存に	容は、広場用 で 市	②事前確認でした。 は民が生きない。 は民が生きない。 は民が生きない。 は、日本のでは、日	の し利 N進と 政準安 / 加働・司 字希 K K B L B E C L D A K K C L B E C L D A K	だおりでなかった / でなかった / でなかり でと とまる をまる では では では では では では では で	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) のボランティアに よど管理作業が行:	と	をの具体的な内容が をいき、いかでは、 できたができた。 できたがないではなどでは、 できたができます。 参加・協 初期特をしたとおり がかがあり、 たいとなった理 定とどおりでなかっ	必要性の理は の は の は と 談 に り、	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○ 要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更
***	ある理由・ の必要性) 要性は 生生 との協働を	可園者のよる「東京 で	定は大しき判Pで本 市等を入景図 市市市な事 にていい献 はるすさと 協 毎の参し実施 にていい献 はるすさと 協 毎の参し実施 配 ていい献 を民民民活業 配していい献 有有有携 の の の の の の の の の の の の の の の の の	の心要っ供等こ fick り 内))) 「	在、名、高明 (本)	所有者の理解協力が得られ、か 担、布佐の3カ所を開設している 3 ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸で1 生も含め活動場所の拡大を検討し して利用できる森づくりを進め <その他の内容> エ夫の具体 みどりのボランティアによる値 なりのボランティアによる値 保存緑地、手質沼沿い斜面林 じめとする生き物の生息環境	5。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施 む内容 などの緑の保存に などの緑の保存に などの緑の保存に	C	②事前確認でした。 は民が生きない。 は民が生きない。 は民が生きない。 は、日本のでは、日	の し利 Z進と 政準安 / 加働・司 実命 kx 定 由き O なっ ・確供 働え市草 しな しな 沢 浸	だおりでなかったが、 では おり で と ま は な に な に な に な に な に な に な に な な に の の な れ が な に の の な な に の の な は な の か は に い の な な い か り り な な い か は い か な な り り な な い か な な り り 求 か な な り り な な か り り 存 が な な り り な な か り り 存 で な な に り の か な な か り り ぞ が か な か り す か な な り り な か な な り り ぞ が か な か り す で な な か り す で な な か か な か り す か な な り り 深 が か な か り す か な な り り 深 が か な か り す か な な り り 深 が か な か り す か な か り す か な か り す か な か り す か な か り す か な か り す か な り り で か か な り り で か か な か り す か な り り で か か な り り で か か な り り で か か な り り で か か か か な り り で か か か な り り で か か か な り り で か か か な り り で か か か な り り で か か か か な り り で か か か か か り す か か か か か か か か か か か か か	はかった原因> 特管理を行った。 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) のプランティアに はど管理作業が行: でる自然環境に配。 ○①1目標値違茂達 ●②2目標値未達が	と	配の具体的な内容が できた。 できたができた。 できたができた。 できたができた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	必要性の理論に対している。 のおいた。また、 のかた。 のを使・が のを使・が ので配慮 たた。	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	● Anticle O ● 要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要
必要性 (2)市が実施する必当 (2)市が実施する必当 (2)市が実施の必要性 (2)市が実施の必要性 (2)市が実施する必当 (本)	ある理由・ の必要性) 要性は 生生 との協働を	可園から (理	定は大しき判Pで本 市等を入景図 市市市な事 にていい献 はるすさと 協 毎の参し実施 にていい献 はるすさと 協 毎の参し実施 配 ていい献 を民民民活業 配していい献 有有有携 の の の の の の の の の の の の の の の の の	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 気 の 本 ロー ■ ロー	在、名、、寄りに は いっぱい は いっぱい は いっぱい は いっぱい は いっぱい で いっぱい で いっぱい で いっぱい で いっぱい で いっぱい で は で の いっぱい で の いっぱい で の いっぱい で の は で の は で で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で と と と と と と と と と と と と と と と と で で と が で と に で の は で と と と と と と と と と で で と が で と いっぱい で らら な と と の は で と は で と と と と と と と と と と と と と と と	所有者の理解協力が得られ、か良、布佐の3ヵ所を開設している3 na程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸では生も含め活動場所の拡大を検討しいして利用できる森づくりを進めるその他の内容> 「大きの他の内容> 「大	る。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施 む内容 むなどの緑の保存に などでる。	は、広場用大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力<	② 事前 確認 と	の し利 Z進と 政準安 / 加働・司 実命 kx 定 由き O なっ ・確供 働え市草 しな しな 沢 浸	だおりでなかった / でなかった / でなかった / でなおり / でなおり (本	はかった原因> ・特管理を行った。 実施できなかった 大かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) フィックランティ業が行った。 (ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	は マップ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの具体的な内容が をいき、いかでは、 できたができた。 できたがないではなどでは、 できたができます。 参加・協 初期特をしたとおり がかがあり、 たいとなった理 定とどおりでなかっ	必要性の理能の現代のはない。 ののではという。 ののでは、いった。 ののでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	○●不不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更
必要性 (2)市が実施する必当 (2)市が実施する必当 (2)市が実施の必要性 (2)市が実施の必要性 (2)市が実施する必当 (本)	ある理由・ の必要性) 要性は 生生 との協働を	可園者のよる「東京 で	E ta	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 気 の 本 ロー ■ ロー	在、名、、寄りに は いっぱい は いっぱい は いっぱい は いっぱい は いっぱい で いっぱい で いっぱい で いっぱい で いっぱい で いっぱい で は で の いっぱい で の いっぱい で の いっぱい で の は で の は で で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で と と と と と と と と と と と と と と と と で で と が で と に で の は で と と と と と と と と と で で と が で と いっぱい で らら な と と の は で と は で と と と と と と と と と と と と と と と	所有者の理解協力が得られ、か良、布佐の3カ所を開設している3 ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、同発戸では生も含め活動場所の拡大を検討しいして利用できる森づくりを進めるその他の内容> 「大きの他の内容> 「大	る。維持管理の内 半分にも満たない は分に4年から今後は かていく必要があ 体的な内容 維持管理の実施 む内容 むなどの緑の保存に などでる。	は、広場用大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大方の大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力大力<	②②事前 部 記 として ** *** ** *** *** *** *** *** *** ***	の し利 R と 由き Oなつ ・ が定 は のなっ ・ が のなっ ・ が のなっ ・ が のなっ ・ が の の に の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	ごおりでなかった が では おりでな おりで で が おり で と で は な に な に な に な に な に な に な に な の は い な な の は い な な の は い な な い か な な り り な な い か な な り り な な り り な な り り な な り り な な か り り 存 が な か り り 育 で は で か い か い か い か な か り り 育 で は で か い か い か い か な か り り 存 で は で か い か い か い か な か り り 育 で は で か い か い か い か い か い か い か い か い か い か	はかった原因> ・特管理を行った。 実施できなかった 実施できなかった アカスが一層 にする。 にする。 では今後、 その内容) マンデー業が行った。 でもなかった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもながった でもなができながった でもながでもながった でもながでもながった でもながでもながった でもながでもながった でもながでもなががった でもながでもながった でもながでもながった でもながでもながった でもながでもながった でもながでもながった でもながでもながでもながでもながでもながでもながでもながでもながでもながでもなが	は マップ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	画の具体的な権等にできる。 をできたできる。 をできたできる。 をできたできる。 参加・上のでは、とでできる。 参加・上のでは、とでできる。 参加・上のでは、とのできる。 一般では、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	必要性の理能の現代の場合により、ため、 はの を は と は を は と は な が は と は か に ま た 、 は か の 配慮 た に ほ と め 。	置した施設である 動路周辺の草刈、 高木や越境枝等	● Anticle O ● 要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要
を加・協働の工夫 環境への配慮 環境への配慮 環境の配慮 環境の である かっこう である かっこう である である である かっと できない しゅう	ある理由・ D必要性) 要性は t e c の協働を t c c c c c c c c c c c c c c c c c c	可園都者のよる○(理	を は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 気 の	在、る、寄尾を はた中布安心 を はた かん を に の と と と い を がる と と い を がる と に かん を に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の	所有者の理解協力が得られ、か良、布佐の3ヵ所全体約7.5haの3 1ha程度で3ヵ所全体約7.5haの3 中里ではH15年から、岡発戸では 生も含め活動場所の拡大を検討と して利用できる森づくりを進め くその他の内容> エ夫の具体 みどりのボランティアによる は保存線地、手質沼沿い斜面林に じめとする生き物の生息環境 はめとする生き物の生息環境 はからい値ではない まがいさい値ではない まがいさい値ではない まがいさい値ではない まがいる「と、比較対象例においる。 実施予定の対策	5。維持管理の内 半分に作る満らでは、 は分に4年から今要があったいいく必要があった。 体的な特管理の実施 ないなどのる。 などでる。	容 は 、	② 事前 確認 と	の し利	ごおりでないった / では おりでは おりで と おりで を は おりで を は おりで を な おりで を な な な な に な な に な な な な に な な な な な な	はかった原因> ・特管理を行った。 実施できなかった 大変がった 大変がかが一層 にた にていた (マロ内容) では、 ででは、 ででは、 でででは、 でででは、 でででででは、 でででででする。 でででできなかった。 でできなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できるかった。 できるかった。 でででは、 ででででででででできる。 ででできるがでできる。 ででできるがででできる。 ででできるでででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるでできるでできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるででできるででできるででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででできるででででできるででででできるでででできるででできるででででできるででででできるででできるでででできるででででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるでででできるでででできるででででできるでででできるででででできるででででできるででできるででででできるでででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででででできるででででできるでででできるでででできるででででできるでででででで	は マップ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	回具体的な権害等にできる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」できる。 「できる。。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。。」できる。 「できる。。」できる。 「できる。。 「できる。。。 「できる。。 「できる。。。 「できる。。。 「できる。。 「できる。。。。。 「できる。。。。。。。。。。	必要性の理論の理論によった。 動の程度・ があった。 動のの程度・ があった。 動のでは、 ののでは、 のので	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	● Antidu O ● 要要要要要要要要要要要要要要
を加・協働の工夫 環境への配慮 (1)目標設定は適切:	ある理由・ の必要性) 要性は 生 の協働を ・ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	可園都名のよる「東京 で	を は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 「	在、名、高原 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	所有者の理解協力が得られ、かと、 布佐の3カ所全体約7.5haの3中里ではH15年から、 同発戸では生も含め活動場所を構設している 大きな できな できな かかり のボランティアによる がからい がからい はないがからな 生き物の生息環境 でいきないがからない ないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいます。 実施予定の対策 度活用 口⑤ PF 対応 口⑤ PE 対応	5。維持管調の内はのは、 は分に4年から、要があります。 体体的特管理の内はのは、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	容 は 、	②② *** *** *** *** *** *** *** *** ***	の し利	だおりでない。	はかった原因> 実施できなかった。 実施できなかった。 実施できなかった。 大きがった。 でするなかった。 でするながった。 でするなながでするなながでするなながでする。 でするなながでするなながでするなながでする。 でするなながでするなながでするなながでするななななななななななななななななななな	は マップ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	画の具体的な権等に対する。 をできたでする。 をできたでする。 をできたでする。 参加・協力を表示でする。 参加・上では、またでする。 参加・上では、またでする。 では、またでする。 では、またでする。 では、またでする。 では、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	必要性の理論の理論によった。 動の程度・ があった。 動のの程度・ があった。 動のでは、 ののでは、 のので	置した施設である 園路周辺の草刈、 高木や越境枝等	● Anta Anta Anta Anta Anta Anta Anta Anta
を加・協働の工夫 環境への配慮 (2) 事業のの配慮 (2) 事業のの工法 (1) 目標設定は適切の工法 (1) 目標設定は適切の工法 (2) 事業ののエニュー (3) 事業ののエニュー (3) 事業ののエニュー (4) 事業のの配慮 (2) 事業ののエニュー (4) 事業のの配慮 (4) 事業のの配慮 (4) 事業のの配慮 (4) 事業のの配慮 (4) 事業の配慮 (4)	ある理由・ の必要性) 要性は 生 の協働を ・ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	可園者のよる「大阪 (理由) □ 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	記れているるした。 を大きないでは、一点では、大きないでは、ままないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の心要っ供等こ きにと り 内 フラフィー 気 a a a a a a a a a a a a a a a a a a	在、る、寄見施的 はや中布安心 (1) (1) (2) (3) (3) (4) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	所有者の理解協力が得られ、かと、 布佐の3カ所全体約7.5haの3中里ではH15年から、 同発戸では生も含め活動場所を構設している 大きな できな できな かかり のボランティアによる がからい がからい はないがからな 生き物の生息環境 でいきないがからない ないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいます。 実施予定の対策 度活用 口⑤ PF 対応 口⑤ PE 対応	5。維持管調の内はのは、 は分に4年から、要があります。 体体的特管理の内はのは、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	C	② 事前 確認 と	の し利	ごおりでないった / では おりでは おりで と おりで を は おりで を は おりで を な おりで を な な な な に な な に な な な な に な な な な な な	はかった原因> ・特管理を行った。 実施できなかった 大変がった 大変がかが一層 にた にていた (マロ内容) では、 ででは、 ででは、 でででは、 でででは、 でででででは、 でででででする。 でででできなかった。 でできなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できるかった。 できるかった。 でででは、 ででででででででできる。 ででできるがでできる。 ででできるがででできる。 ででできるでででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるでできるでできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるででできるででできるででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででできるででででできるででででできるでででできるででできるででででできるででででできるででできるでででできるででででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるでででできるでででできるででででできるでででできるででででできるででででできるででできるででででできるでででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででででできるででででできるでででできるでででできるででででできるでででででで	は マップ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	回具体的な権害等にできる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」では、できる。 「できる。」できる。 「できる。。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。。」できる。 「できる。。」できる。 「できる。。 「できる。。。 「できる。。 「できる。。。 「できる。。。 「できる。。 「できる。。。。。 「できる。。。。。。。。。。	必要性の理談やでもよ場合にある。 おいまた はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと	置した施設である別の 高本 や越境枝等	○● ○● ○●
を要性 (2) 市が実施する必然の (市 実施する必然の (市 実施する必然の) (本) を取り、 (本	ある理由・ の必要性) 要性は 生 の協働を ・ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	可園都名のよる「東京 で	記れているるした。 を大きないでは、一点では、大きないでは、ままないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の心要っ供等こ きにと り 内 フラフィー 気 a a a a a a a a a a a a a a a a a a	在、る、寄尾的 対 、 施	所有者の理解協力が得られ、かと、 布佐の3カ所全体約7.5haの3中里ではH15年から、 同発戸では生も含め活動場所を構設している 大きな できな できな かかり のボランティアによる がからい がからい はないがからな 生き物の生息環境 でいきないがからない ないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいます。 実施予定の対策 度活用 口⑤ PF 対応 口⑤ PE 対応	5。維持管調の内はのは、 は分に4年から、要があります。 体体的特管理の内はのは、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	C	②②事前 辞 いと で	の し利	だおりでない。	はかった原因> ・特管理を行った。 実施できなかった 大変がった 大変がかが一層 にた にていた (マロ内容) では、 ででは、 ででは、 でででは、 でででは、 でででででは、 でででででする。 でででできなかった。 でできなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できるかった。 できるかった。 でででは、 ででででででででできる。 ででできるがでできる。 ででできるがででできる。 ででできるでででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるでできるでできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるででできるででできるででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででできるででででできるででででできるでででできるででできるででででできるででででできるででできるでででできるででででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるでででできるでででできるででででできるでででできるででででできるででででできるででできるででででできるでででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででででできるででででできるでででできるでででできるででででできるでででででで	は マップ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	Eの具体的な権等に対する。 を	必要性の理談やでもよ場合にある。 おいまた はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと	置した施設である別の 高本 や越境枝等	み木必み木必●●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●
必要性 (2) 市が実施する必当 (2) 市がるのでは (2) 市がるのでは (4) では (4) では (4) では (5)	ある理由・ の必要性) 要性は 生) との協働を ・ とがっ	可園者のよる「大阪 (理由) □ 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	記れているようでは、 さとにいるよい でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でい	の心要っ供等こ きにと り 内 フラフィー 気 a a a a a a a a a a a a a a a a a a	在、る、寄尾的 対 、 施	所有者の理解協力が得られ、かと、 布佐の3カ所全体約7.5haの3中里ではH15年から、 同発戸では生も含め活動場所を構設している 大きな できな できな かかり のボランティアによる がからい がからい はないがからな 生き物の生息環境 でいきないがからない ないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいます。 実施予定の対策 度活用 口⑤ PF 対応 口⑤ PE 対応	5。維持管調の内はのは、 は分に4年から、要があります。 体体的特管理の内はのは、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	C	②②事前 辞 いと で	の し利 R A と 由き Oなつ ・ が中里の を の と 由き Oなつ ・ が中里の に 。 に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	だおりでない。	はかった原因> ・特管理を行った。 実施できなかった 大変がった 大変がかが一層 にた にていた (マロ内容) では、 ででは、 ででは、 でででは、 でででは、 でででででは、 でででででする。 でででできなかった。 でできなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できるかった。 できるかった。 でででは、 ででででででででできる。 ででできるがでできる。 ででできるがででできる。 ででできるでででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできる。 ででできるでできるでできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできる。 ででできるででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるででできるででできるででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででできるででででできるででででできるでででできるででできるででででできるででででできるででできるでででできるででででできるででできるででできるででできるででできるでででできるででできるでででできるでででできるででででできるでででできるででででできるででででできるででできるででででできるでででできるでででできるでででできるでででできるでででできるででででできるででででできるでででできるでででできるででででできるでででででで	は マップ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	Eの具体的な権等に対する。 を	必要性の理談やでもよ場合にある。 おいまた はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと	置した施設である別の 高本 や越境枝等	み木必み木必●●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●
必要性 (2) 市が実施する必当 (2) 市が高大 (本部のの工夫 環境への配慮 (1) 目標設定は適の工 (1) 目標設定は適の工 (2) 事いるか (3) 事業の (4) 事業の (5) 事業の (要性は 要性は 要性は を が を を が を も して して して して して して して して して して	可園都名のよる「東京 で	記れているようでは、 さとにいるよい でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でい	の心要っ供等こ そにと り 内 (d) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	在、る、寄尾的 対 、 施	所有者の理解協力が得られ、かと、 布佐の3カ所全体約7.5haの3中里ではH15年から、 同発戸では生も含め活動場所を構設している 大きな できな できな かかり のボランティアによる がからい がからい はないがからな 生き物の生息環境 でいきないがからない ないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいはないがからいます。 実施予定の対策 度活用 口⑤ PF 対応 口⑤ PE 対応	る。維持管理の内はの内はの内はの内はの内はの内はの内はの内はのいたのでは、	C	② 想民	の し利 R A と 由き Oなつ ・ が中里の を の と 由き Oなつ ・ が中里の に 。 に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	だおりでない。	はかった原因> ・特管理を行った。 実施でた。 実施でためるが、 実施でためるが、 にたいったが、 できなかったのできなかった。 できなかったのできなかった。 できなかったのできなかった。 できなが、 できながが、 でががが、 でがががが、 でがががが、 でががががががががが、 でがががががががががが	は	E	の名よりである。 の名といった。	置した施設である人 の本のであった原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因>	
必要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市がる実施の必要性 (2) 市がる実施の必要性 (2) 市がる大学を作った。 (1) 目標 (3) 目標 (4) 目標 (4) 目標 (4) 目標 (5) 目標 (5	要性 some to the some to the	可園者のよる「東京 (中国) 「	記れていたいという。 には、「空神」のでは、 できるなどの いっという。 には、いっという。 には、いっという。 には、いっという。 には、いっという。 には、いっという。 には、いっという。 には、いっという。 には、いっといいが、 できるなどの いっという。 には、いっとい。 には、いっという。 には、いっといっという。 には、いっという。 には、いっという。 には、いっという、こという、こという、こという、こという、こという、こという、こという、こ	の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 点 の心要っ供等こ きにと り 内 リー・ 「	在、る、寄りに かい	所有者の理解協力が得られ、かと、布佐の3カ所全体約7.5haの3 1ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、広大を検討としている。 中里では出15年から、広大を検討としている内容 <その他の内容> エ夫の具体 みどりのボランティアによる。 保存緑地、手質沼沿い斜面林にじめとする生き物の生息環境・ 日標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏してはないがからい人をしてはない。 かがっさい場合、比較対象例においまかがする場合、比較対象例においまがから、比較対象例においまがいまい。 「医活用」「「医・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	5。維持管理の内はのからは、100mmの保持でも満ちの内容には、100mmの保持でも満ちら今要がから今要がから今要がから今要がからの保存には、100mmの保持でする。 なおを守った なおを守った なおを守った なを守った なおをを守った なおををする。 なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った ながらまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	C	② 想民	の L N I Z 進と 一政準安 / 加働・司辺 実命 に	だおりでなかった / では / でな	はかった原因> 実施でた。 実施できなかった 実施できなかった アカス に する に た (又内内ラ) では、 アボケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アボケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケー では、 アゲケ	は マッピの要と 「	の具体的な権等によれて をいうき、ティースのでは、まで、 をいうでは、まで、では、まで、では、まで、では、まで、では、まで、では、まで、では、まで、では、まで、は、は、は、は	の名よりである。 の名といった。	置した施設である人 の本のであった原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因>	○● ○● ○● ○●
水 要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市がるのでは、 (2) 市がるのでは、 (4) 日標設定は適切には、 (1) 日標設定は適切には、 (1) 日標設定は適切には、 (2) 事いるかと、 (3) 日標値を実現する。	要性 some to the some to the	可園都名のよる「東京 で	記れているという。 こされて作という。 こう相似のでは、できないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	の心要っ供等こ きにと り 内)) て 「	在、る、寄りに かい	所有者の理解協力が得られ、かと、	5。維持管理の内はのからは、100mmの保持でも満ちの内容には、100mmの保持でも満ちら今要がから今要がから今要がから今要がからの保存には、100mmの保持でする。 なおを守った なおを守った なおを守った なを守った なおをを守った なおををする。 なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った ながらまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	C	②②	の L N I Z 進と 一政準安 / 加働・司辺 実命 に	だおりでは 大る 市民ばと 日本 中本 に に な に ま さ 能 を は に な な に ま で が 本	はかった原因った。 実施でた。 実施でたを 実かった。 実施でた。 実かった。 実施でききまかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をもった。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は マッピの要と 「	E	の名よりである。 の名といった。	置した施設である人 の本のであった原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因>	○● ○● ○● ○●
が要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市がる実施の必要性 (2) 市がる実施の必要性 (2) 市がる大学を作った。 (本来ののとつがないり) にたく (本来のとしづくくり) してでは、 (本来のとしづくくり) にたい (1) 目標設定はよ適切が (2) 事い (3) 目投じは (3) 目投じは (3) 目投じは (3) 目投じは (3) 目投じは (3) 目投じは (3) 目状に (4) を実現すばに (4) を実現すばに (5) を表します。 (5) を表します。 (6) を表します。 (6) を表します。 (7) を表します。 (7) を表します。 (1) 目標 (2) を表します。 (3) 目標 (3) を表します。 (4) を表します。 (4) を表します。 (5) を表します。 (5) を表します。 (5) を表します。 (6) を表します。 (6) を表します。 (6) を表します。 (6) を表します。 (7) を表します	要性 some to the some to the	可園者のよる「東京 (中国) 「	記れているという。 こされて作という。 こう相似のでは、できないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	の心要っ供等こ だにと り 内)) て 点 ら a) □■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	在、る、寄車施 ら か	所有者の理解協力が得られ、かと、布佐の3カ所全体約7.5haの3 1ha程度で3カ所全体約7.5haの3 中里では出15年から、広大を検討としている。 中里では出15年から、広大を検討としての内容 <その他の内容> エ夫の具体 みどりのボランティアによる。 保存緑地、手質沼沿い斜面林にじめとする生き物の生息環境・ 日標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している。 までいたがいさい場から、比較対象例においるがいさいはない。 まがから、比較対象例においるがいさいは合う、比較対象例においるがいさいはない。 まがから、比較対象例においる。 東施予定の対策 度活用 □⑤ その対策 度活用 □⑥ その対策 の実施 □⑦ その	5。維持管理の内はのからは、100mmの保持でも満ちの内容には、100mmの保持でも満ちら今要がから今要がから今要がから今要がからの保存には、100mmの保持でする。 なおを守った なおを守った なおを守った なを守った なおをを守った なおををする。 なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った ながらまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	C	② 想民	の L N I Z 進と 一政準安 / 加働・司辺 実命 に	だおりでなかった / でない おりでれる 市 R 民 団 体	はかった原因った。 実施でた。 実施でたを 実かった。 実施でた。 実かった。 実施でききまかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をもった。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は マッピの要と 「	E	の名よりである。 の名といった。	置した施設である人 の本のであった原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因>	○● ○● ○● ○●
参加・協働の工夫 環境(の配慮 (1))目標設定は適のの工 (2)事いの (2)事いの (2)事いの (3)目標に標準する (3)目標に標準を (3)と (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	要性 some to the some to the	可園都名のよののPN ・	記れている。 では、	の心要っ供等こ だにと り 内)) て 点 ら a) □■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	在、る、寄りに から を	所有者の理解協力が得られ、かとしている。 「の有性の多のではいいではないがいから、上でいるとはでいるとは、 「のではいいではないがいから、一般では、 「のではないがいから、一般では、 「のではないがいから、一般では、 「のではないがいから、一般では、 「のではないがいから、一般では、 「のではないがいから、一般では、 「のではないがから、「のではないがから、「のではないがから、「のではないがから、「のではないがから、「のではないがからないがからないがからないがからないがからないがからないがからないがから	5。維持管理の内はのからは、100mmの保持でも満ちの内容には、100mmの保持でも満ちら今要がから今要がから今要がから今要がからの保存には、100mmの保持でする。 なおを守った なおを守った なおを守った なを守った なおをを守った なおををする。 なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った なおをを守った ながらまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	C	② 想民	の L N I Z 進と 一政準安 / 加働・司辺 実命 に	だおりでなかった / でない おりでれる 市 R E は	はかった原因った。 実施でた。 実施でたを 実かった。 実施でた。 実かった。 実施でききまかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をかった。 をもった。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は マッピの要と 「	E	の名よりである。 の名といった。	置した施設である人 の本のであった原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因>	○● ○● ○● ○●
が要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市がる実施の必要性 (2) 市がる実施の必要性 (2) 市がる大学を作っている。 (1) 目標としている。 (1) 目標設定は適適のエミ (2) 事い (3) 目投目であず費用 (3) 目投目であず費はであず費はであず費はであずり推進 (3) 目投げを事業用 (3) 目投げを事業用 (3) 目投げを事業 (4) 単現状どおり推進 (5) 単現状どおり推進	要性) 要性) のが のが をを のが をを のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	可園者のよる (東京	記されている。 では、	の心要っ供等こ きにと り 内	在、る、寄尾的 かい	所有者の理解協力が得られ、かとしている。 「所有者の理解協力が得られている。 「の名をできません。」 「のるというないる。」 「のるというないるいるないる。」 「のるというないる。」 「のるというないる。」 「のるというないる。」 「のるというないる。」 「のるというないる。」 「のるというないるいる。」 「のるないるいる。」 「のるないるいるいる。」 「のるないるいるいるいるいるいるいるいる。」 「のるないるいるいるいるいるいるいるいる。」 「のるないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるい	5。 # ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	C	② 想民	の L N I Z 進と 一政準安 / 加働・司辺 実命 に	だおりでなかった / でない おりでれる 市 R E は	はかった原因った。 実施でた。 実施でた。 実施でた。 実施でた。 実施でた。 実施でた。 実施でた。 実施でするなかった。 ででするなかった。 ででするなかった。 をかった。 ででは、なかった。 をのが、でででは、できまれる。 ででは、できまれる。 では、では、では、できまれる。 では、では、できまれる。 では、では、できままます。 では、では、できままます。 では、では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できまままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 では、できままます。 できまままます。 できまままます。 できまままます。 できままままままます。 できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	は マッピの要と 「	ではようでは、 では、この、 は、このでは、ようでは、 では、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	の名よりである。 の名といった。	置した施設である人 の本のであった原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因> 「ないった 原因>	○● ○● ○● ○●

事務事業評価表(令和 2年度)

事業コート	*	804			課コード		0704	会計種	f別 一般:	会計			予算()種類	■政策	□経常	口なし
1. 事業の	O概要(PLAN)																
11 720	745.4 -1007		基本事業	親しみのあ	5る公園、緑地の	 整備			実施	計画への				0.1	4-14-		
		①事業名	個別事業	気象台記念	公園の整備					置づけ	•	●有 〇無		②部課名	都市部・	公園緑地課	
		③事業主体	●市	○その他) ④対象:		□我孫子	口天王台 [□湖北	■新木	□布佐	口全市	
(1)事業概要		⑤事業期間 ⑦事業費			—————————————————————————————————————	16年度 ~			⑥担当!	職員数	(当 初)	1.9	2 人	(換算人数 (うち人件費		0.1 人)	
		(人件費含む)	総事業費		1	107,080 千円			当該(開始)年度	(変更後)		311 千円	(うち人件費		870 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策		62101		プロジェクト	重点2		画地区別		●有 ○無		部門別計画への	(計画名)緑の基本計画・	環境基本計画
]] -	ー 地が持つ機能			の位置づけ 2や城跡、古墳などの歴史			の位置づけ		園整備計画に基づき	帯倍や開	位置づけ 史などの特徴を			
(2)目的		施策目的 · 展開方向	ながら、市	市街地で公園	が不足している-	一部の区域において	で 公園の整備を検討します ・主要公園における遊具の	。また、誰もが安心	ひして 事	業目的	X 3 1 1 1 2 1	国正帰り国に至 20	· **** (- III	文なとの行政と	1 // 10 11 6 /	に7.2.年間で四心。	
			気象台記念	念公園基本計	↑画で位置づけた┣	岡田武松記念館の塾	賃備は、安全・安心の公園					、剪定が必要な樹木					
			わないこと	ことし、現状	. 抱えている個本の	の適正な管理・整備	で行っていく。			該年度		にある樹木の健全育 0㎡の樹林地ゾーンの			0		
(3)事業内容		内容							執行	行計画							
									गर	該年度	公園の樹木育	成管理率				想定值	i 57
										^{該年及} 結果指標					単	全位 % 実績値	
(4)達成目標(期待する成果)				達成目	標(期待する成果)			指	標種類			標		单	单位 (5)現況値	(6)目標値
当該年度		整備計画見直しの							ī	直接	公園の樹木育					% 57	7 57
令和 3年度	Į.	樹木の適正な管理							ī	直接	公園の樹木育				'	%	85
令和 4年度	Ę	多くの人たちに多								直接	公園の樹木育	成管理率				%	90
(7)事業実施上	-の課題と対応	公園の基本計画に 、記念館の必要性				隣センター整備時に	二岡田武松氏に関するブー	えも整備されたこと		李検討		O有 ●無					
	T		平成31				令和 2年度	:			<u> </u>	和 3年度				令和 4年度	
		政	内容	十尺	金額(千円)	政	内容	予算額(千円)	決質額(千円)	政	内		金額(千円)	政	内		金額(千円)
		策 整備計画見直し			312 TOR (1 1 1/	策 整備計画見直	**	了开取(111)	人并取(111)	× :	画見直しの検討	_	<u>ππ</u> κ(111)	策:	見直しの検討	* *	<u> </u>
		* 樹林地の樹木管			1, 997		管理(剪定)(3月減額補	941	941		の樹木管理(剪		2, 1	2 * 樹林地の			2, 112
	実施内容																
(8)施行事項	費用																
	j //																
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	合 計	0 %	1, 997		<u>合計</u> 0%	941	941	補助率	合 計	0 %	2, 1	0 補助率	合	<u>†</u> 0 %	2, 112
(0) H. T	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %	0	1110-22 1	0 % 0 %	0	0	補助率 充当率		0 %		0 補助率 0 充当率		0 %	0
(9)財源内訳	一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 ■基金 □	コその他	497 1, 500		益 口基金 口その他	941	941 0		会 □受益 ■基:	金 口その他	2, 1	2	□受益 ■៛	ま金 □その他	2, 112
	換算人数(人) 正職員人件費	ONA OX.		3 (0) 2	0. 1 880			0. 1 870	0. 1 870		X 0 X = 4.		0.			<u></u>	0. 1 870
(10)人件費等	嘱託職員報酬額				0			0	0					0			0
	│ 臨時職員賃金額 算)額+正職員人件費)				0 2, 877			1, 811	0 1, 811				2, 9	0 2			2, 982
(11)単位費用			37. 36 +	-́円∕%					31, 77								
(事業費/	(活動結果指標)						31.77千円/%		01.77								
		0	37.66				31.77千円/%		01.77								
2. 事業の	/活動結果指標)))	97.90		事前	前評価	31.77千円/%		1		事後評	・価(評価結果に応	じ、改善家	接討(拡充も含	む))		改善検討
2. 事業の	/活動結果指標))評価 (DO+CHECK	平成13年3月、国力	からの譲与と	: 買収で市有均	地となり、平成14	4年3月供用開始した	- 気象台記念公園(4.3ha		●①事前確		どおり		じ、改善家	接討(拡充も含	む))		改善検討
2. 事業の	/活動結果指標) D評価 (DO+CHECK P価項目 パ今必要である理由・	平成13年3月、国が の提言が「気象台	からの譲与と	: 買収で市有均 備計画検討懇	地となり、平成14 愚談会」から平成1	4年3月供用開始した 17年3月提出された			●①事前確 ○②事前確	認での想定	どおり どおりでなかっ	te	じ、改善済	接討(拡充も含	む))		O要
2. 事業の	/活動結果指標))評価 (DO+CHECK F価項目	平成13年3月、国が の提言が「気象台	からの譲与と	: 買収で市有均 備計画検討懇	地となり、平成14 愚談会」から平成1	4年3月供用開始した 17年3月提出された	- 気象台記念公園(4.3ha		●①事前確 ○②事前確 <想定どおり	認での想定	だおり どおりでなかっ 由/想定どおりて			接討(拡充も含	t))		
2. 事業の計	/活動結果指標) D評価 (DO+CHECK P価項目 パ今必要である理由・	平成13年3月、国がの提言が「気象台のオープンスペー	からの譲与と 記念公園整 の - スを活かし、 N P O 、市民	: 買収で市有5 備計画検討懇 、防災機能を	地となり、平成14 &談会」から平成1 を持つ公園として1 実施できない	4年3月供用開始した 17年3月提出された	- 気象台記念公園 (4.3 h a のを踏まえて事業を実施す		●①事前確 ○②事前確 <想定どおり 広大な芝生の	認での想定 リとした理由 リオープンス 業、NPO	どおり どおりでなかっ 由/想定どおりで スペース及び敷地 、市民団体等で	た でなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった	を行った。	の具体的な内容	・必要性の		○要 ●不要
2. 事業の (1)事業か 背景は	/活動結果指標) D評価 (DO+CHECK P価項目 パ今必要である理由・	平成13年3月、国がの提言が「気象台のオープンスペーンでは、15年間企業、「気象台のオープンスペーンでは、15年間では、15年には、15年	からの譲与と からの譲与と 一スを活かし、 NPO、市民 で市が実施す に体が市しかな	: 買収で市有は 備計画検討懇 、防災機能を と団体等では写 することが定	地となり、平成14 &談会」から平成1 を持つ公園として1 実施できない	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。	- 気象台記念公園 (4.3 h a のを踏まえて事業を実施す		●①事前確 ②②事前確 <想定どおり 広大な芝生の ■①民間企 □②市が先 □③市が先	認での想定 リとした理由 ウオープンス 業、NPO 導で進めな 導役となっ	ぎおり ぎおりでなかっ 由/想定どおりて スペース及び敷り	た でなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった	を行った。	の具体的な内容	・必要性の	理由> 者である市が行う』	○要 ●不要
2. 事業の (1)事業か 背景は 必要	ど活動結果指標) シ評価 (D0+CHECK	平成13年3月、国がの提言が「気象台のオープンスペーンでは、「気象台のオープンスペーンでは、「理由」のは一般性主には、「理由」のは、「理由」のは、「現代を表現して、」では、「現代を表現して、「現代を表現して、「現代を表現して、」では、「現代を表現して、「現代を表現して、また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。ま	からの譲与とは記念公園整体-スを活かし、 NPO、市民で で市が実施で はが市しかな	: 買収で市有は 備計画検討想 、防災機能を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	地となり、平成1 関談会」から平成 を持つ公園として 実施できない とめられている	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。	- 気象台記念公園 (4.3 h a のを踏まえて事業を実施す		●①事前確 ○②事前確 <想定どおり 広大な芝生の ■①民間な □②市がかた ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	認での想定 リとした理由 ウオープンス 業、NPO 等で進めなっ れた	どおりでなかっ とおりでなかっ 由/想定どおりで スペース及び敷り 、市民団体等で ければ実効性が	た でなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層	を行った。 <市実施 公園の整	の具体的な内容	・必要性の		○要 ●不要 必要が
2. 事業の (1)事業が 背景は 必要性(2)市がす	ど活動結果指標))評価 (D0+CHECK	平成13年3月、国がの提言が「気象台のオープンスペーンでは、15年間企業、「気象台のオープンスペーンでは、15年間では、15年には、15年	からの譲与と 記念公園整修 一スを活かし、 NPO、市民 で市が実施な を体が市しかな 3 る市が推進す	・買収で市有は 備計画検討懇 、防災機能を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	地となり、平成14 懇談会」から平成 上持つ公園として! 実施できない とめられている	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。	- 気象台記念公園 (4.3 h a のを踏まえて事業を実施。 >		●①事前確 ○②事前確 ○②事前確 <想定どおり 広大な芝生の □②市が主 □③市が主 に進ささ □④市の・ビ	認での想定 リとした理はストリングでは、 アロンでは、	どおり どおりでなかっ 由/想定どおりで スペース及び敷り 、市民団体等で ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	た でなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	を行った。 <市実施 公園の整	の具体的な内容	・必要性の		○要 ●不要
2. 事業の (1)事業が 背景は 必要性(2)市がす		平成13年3月、国がの提言が「気象台のオープンスペークで表情を楽しい。 (理由) □ は法件主 □ 日本である(理由) ■市が実	からの譲与とは からの譲いを から念がいし、 アPO、実施が で体がが でが進めた る導で進供する るに で進供する で進供する	で 買収で市有は 開計画検討制 では では では では では では ででは ででとい ここ ここ ここ ここ ここ ここ ここ ここ ここ こ	地となり、平成14 懇談会」から平成 上持つ公園として! 実施できない とめられている	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。 <その他の内容	- 気象台記念公園 (4.3 h a のを踏まえて事業を実施。 >		●①事前確値 ○②事前確値 <想定どおり 広大な芝生の ②市がが先 □②市がが先 □③市の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	認での想定 」とした理由 業、NPO 業、選のでの 業、選ので のは ない ない ない ない ない ない ない ない ない な	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりで スペース及び敷り 、市民団体等で ければで市民へ 施策の目標の実 保された	た でなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	を行った。 <市実施 公園の整	の具体的な内容	・必要性の		○要 ● 不要 必要が
2. 事業の (1)事業が 背景は 必要性(2)市がす	ど活動結果指標))評価 (D0+CHECK	平成13年3月、国かの提言が「気象への大力でである。 ○①民間企業、「のの大力である。 ○②自治性の ○②自治性の ○②自治性の ○②自治性の ○○回じる ○○回	からの譲与とを からの譲与を からのな園し、 NPので で が市で を で が で を で を を の で を の の の が の の が の が の が の が の が の が の が の が の で に を の で に を の で に を の で に を の で に を の で に を の で に を の で に を の で に に の に に に に に に に に に に に に に	: 買収で市有計 講計画検能を ・ は ・ は ・ で ・ で ・ で ・ とこと ここと ここと ここと ここと ここと ここと ここと	地となり、平成16 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない とめられている を効性が得られる	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。 <その他の内容	- 気象台記念公園 (4.3 h a のを踏まえて事業を実施。 >		●①事前確確	認での想定 した理は 、NPなった進めなった。 業で役となった。 の状態をはないない。 としたが、というではない。 はないない。 はないないは、はないない。 はないないは、はないないは、はないないは、はないないは、はないないは、はないないは、はないないは、はないないは、はないないは、はないないは、はないないないは、はないないは、はないないないは、はないないないは、はないないないは、はないないないない	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ スペース及び敷切 、市民団体等でければで市民へ 施策の目標の実保された 徐金盤盤が確保さ	た でなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	を行った。 <市実施 公園の書 ある。	の具体的な内容	・必要性の		○要 ● 不要 必要が
2. 事業の (1)事業が 背景は 必要性(2)市がす	ど活動結果指標))評価 (D0+CHECK	平成13年3月、国かの提言が「気象への大力でである。 ○①民間企業、「のの大力である。 ○②自治性の ○②自治性の ○②自治性の ○②自治性の ○○回じる ○○回	からの譲与とは、 からの譲与をは、 からのなるを活かし、 下で市が市しいを でではながった。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	: 買収で市有計 講計画検能を ・ は ・ は ・ で ・ で ・ で ・ とこと ここと ここと ここと ここと ここと ここと ここと	地となり、平成1・	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。 <その他の内容	- 気象台記念公園 (4.3 h a のを踏まえて事業を実施。 >		●①事前確値 ○②事前値 <想定 芝 生の ②は力 民間企計 ○②市がが先さ ○③市がが先さ支ご ○⑤サウの他 ○○のを備・	認での想を は 理力 とした 理力 とした 理力 とした 理力 ア O なった でんと でん 変が でん といる できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷料 、市れは実で市民へ たことで自標の実 保まされた 総集された 総基盤が確保さ よ、公園管理者で	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	を行った。 <市実施 公園の書 ある。	の具体的な内容	・必要性の		○要 ● 不要 必要が
2. 事業の (1)事業が 背景は 必要性(2)市がす	ど活動結果指標))評価 (D0+CHECK	平成13年3月、国がの規言が「気象への規言が「気象へのオープンスペーの1 民間企法・等には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	からの譲与とは、 からの譲与をし、 から念はあし、 トア市のが実力をがった。 このでは、 は供いている。 このでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	質収で市有5 講計画検機能を ・ ではまない ・ でよいことではいるではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいい	地となり、平成1・	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	工夫の具体的な内容	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前でを ○②事前でを ○②事前でを ○②を ○③では、 ○○では、	認での想を理なっての想を理なっての想を理なっての表をできます。 N では とした アン・ でいる でいる でいます でいる でいます できます アン・ 企画 の でいる アン・ でいる アン・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷地 、市民団体効性が たたことで市民へ 施策の1た 施保された ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった。 なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容)	を行った。 <市実施 公園の割 ある。	の具体的な内容 備・維持管理は 参加・	・必要性の	者である市が行う』	○要 ● 不要 必要が
2. 事業の (1)事業計量は 必要性 (2)市が集めるが、(市実)	ど活動結果指標))評価 (D0+CHECK	平成13年3月、国かの提言が「気象台のオープンスペーンでは、「気象台のオープンスペーンでは、「理由」 □ は法保の他・でから、「理由」 □ 市がいて、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	からの譲与を修し、 から念法がした。 トラではがいました。 トラではがは、 トラではがは、 大学では、 というでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地となり、平成1・	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	- 気象台記念公園(4.3h a のを踏まえて事業を実施で	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前でを ○②事前でを ○②事前でを ○②を ○③では、 ○○では、	認での想を理なっての想を理なっての想を理なっての表をできます。 N では とした アン・ でいる でいる でいます でいる でいます できます アン・ 企画 の でいる アン・ でいる アン・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷地 、市民団体効性が たたことで市民へ 施策の1た 施保された ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかったなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が	を行った。 《市実版公園の書 ある。 がある。	の具体的な内容 備・維持管理は 参加・ の期待した以上 の期待したとお	・必要性の :、公園管理: : 協働の程度・	者である市が行う』	○要 ● 不要 必要が
2. 事業の (1)事業計 必要性 (2)市がある実 ***		平成13年3月、国かの提言が「気象台のオープンスペーク①民間企業へ等等には、「関本の性をであれます。」 ■市がいてでは、「理由の性をであれます。」 マーマー マーマー マーマー マーマー マーマー マーマー マーマー マー	からの譲りを からの譲りを からの念活か いか。 いがました。 いがました。 からでは、 がました。 からでは、 がました。 ができるできる。 ができるできる。 ができる。 ができる。 からでは、 ができる。 からのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	で市有地域を ででででででは、 ではないででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	工夫の具体的な内容	する。広大な芝生	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではなった。 □②ますががまさまでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	認での想を理なっての想を理なっての想を理なっての表をできます。 N では とした アン・ でいる でいる でいます でいる でいます できます アン・ 企画 の でいる アン・ でいる アン・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷地 、市民団体効性が たたことで市民へ 施策の1た 施保された ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった。 なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容)	を行った。 《市実版公園の書 ある。 がある。	の具体的な内容 備・維持管理は 参加・ の期待した以上	・必要性の :、公園管理: : 協働の程度・	者である市が行う』	○要 ● 不要 必要が
2.事業の (1)事背景は 必要性 (2)市あ(市あ)市工(体制のしてづく(体制)のようでは (2)市がる方実が (2)市がる方実が (3)中では (4)中では (5)中では (6)中では (7)中では (8)中では (9)中では (2)中では (2)中では (4)中では (5)中では (6)中では (7)中では (8)中では (9)中では (1)中では (1)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (3)中では (4)中では (5)中では (4)中では (5)中では (4)中では (5)中では (5)中では (6)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (1)中では (2)中では (2)中では (4)中では (4)中では (5)中では (5)中では (6)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では<		平成13年3月、国台の提言が「気象台のオープンスペーク・ (理由) □ (平市が現が □ (平市の場合) ○ (平市民のと共同のの) (平市民のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏の)	からの譲事をといいます。 おいらの譲り という はいまま という はいまま という はいまま という はいまま という はいまま という はいまま という はいます こく おいまま という はいます こく はいます という という はいます という	で	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	工夫の具体的な内容	する。広大な芝生	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではなった。 □②ますががまさまでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	認での想を理なっての想を理なっての想を理なっての表をできます。 N では とした アン・ でいる でいる でいます でいる でいます できます アン・ 企画 の でいる アン・ でいる アン・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷地 、市民団体効性が たたことで市民へ 施策の1た 施保された ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった。 なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容)	を行った。	の具体的な内容 備・維持管理は 参加・ の期待した以上 切期待したとお 切の期待以下	・必要性の :、公園管理: :、公園管理:	者である市が行う』	○要 ● 不要 ○要 ● 不不要
2.事業の 計算 (1)事業景は 必要性 (2)市がある実 市市民人ののでで 参加・協当 本工夫 本工夫 本工夫 本工夫 本工夫 本工夫 本工夫 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 3 ・ 3 ・ 4 ・ 3 ・ 4 ・ 4 ・ 5 ・ 5 ・ 5 ・ 5 ・ 5 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 7 ・ 6 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 6 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7		平成13年3月、国かの提言が「気象や一の提言が「気象やーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	からの譲りをといい。 からのの譲りをといい。 からの念活からの念活から、 からの念活から、 がっていい。 からのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	工夫の具体的な内容	する。広大な芝生	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではなった。 □②ますががまさまでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	認での想を理なっての想を理なっての想を理なっての表をできます。 N では とした アン・ でいる でいる でいます でいる でいます できます アン・ 企画 の でいる アン・ でいる アン・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷地 、市民団体効性が たたことで市民へ 施策の1た 施保された ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった。 なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容)	を行った。	の具体的な内容 備・維持管理は 参加・ の期待した以上 切期待したとお 切の期待以下	・必要性の :、公園管理: :、公園管理:	者である市が行う』	○要 ● 不要 ○要 ● 不不要
2.事業の (1)事背景は 必要性 (2)市あ(市あ)市工(体制のしてづく(体制)のようでは (2)市がる方実が (2)市がる方実が (3)中では (4)中では (5)中では (6)中では (7)中では (8)中では (9)中では (2)中では (2)中では (4)中では (5)中では (6)中では (7)中では (8)中では (9)中では (1)中では (1)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (3)中では (4)中では (5)中では (4)中では (5)中では (4)中では (5)中では (5)中では (6)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (1)中では (2)中では (2)中では (4)中では (4)中では (5)中では (5)中では (6)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では<		平成13年3月、国台の提言が「気象台のオープンスペーク・ (理由) □ (平市が現が □ (平市の場合) ○ (平市民のと共同のの) (平市民のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同のの) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏のと共同の) (中氏の)	からの譲りをといい。 からのの譲りをといい。 からの念活からの念活から、 からの念活から、 がっていい。 からのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	工夫の具体的な内容	する。広大な芝生	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前では 広大な	認での想を理なっての想を理なっての想を理なっての表にできます。 N では という アン・ N では といる では 大変 では 大変 が 定供 できる 大変 から 大変 が できる から から は いっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい はんしゅう かい はんしゅう かい はんしゅう はんしゅう かい	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷地 、市民団体効性が たたことで市民へ 施策の1た 施保された ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった。 なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容)	を行った。	の具体的な内容 備・維持管理は 参加・ の期待した以上 切期待したとお 切の期待以下	・必要性の :、公園管理: :、公園管理:	者である市が行う』	○要 ● 不要 ○要 ● 不不要
2.事業の (1)事背景は 必要性 (2)市あ(市あ)市工(体制のしてづく(体制)のようでは (2)市がる方実が (2)市がる方実が (3)中では (4)中では (5)中では (6)中では (7)中では (8)中では (9)中では (2)中では (2)中では (4)中では (5)中では (6)中では (7)中では (8)中では (9)中では (1)中では (1)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (2)中では (3)中では (4)中では (5)中では (4)中では (5)中では (4)中では (5)中では (5)中では (6)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (1)中では (2)中では (2)中では (4)中では (4)中では (5)中では (5)中では (6)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では (7)中では<		平成13年3月、国かの提言が「気象や一の提言が「気象やーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	からの譲りをといい。 からのの譲りをといい。 からの念活からの念活から、 からの念活から、 がっていい。 からのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ででは、 ででは、 ででは、 では、 では、 では、 では、 では	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	工夫の具体的な内容	する。広大な芝生	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前では 広大な	認	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりな スペース及び敷地 、市民団体効性が たたことで市民へ 施策の1た 施保された ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容) 基本計画を策定してし	を行った。	の具体的な内容 備・維持管理は 切期待した以上 切別期待したとおり 切の期待以下 た以上となった	・必要性の :、公園管理: :、公園管理:	・ 内容	○要 ● 不要 ○要 ● 不要
名 事業の (1)事書書 (1)事書書 (2)市あ市 市本工(本報の日本) 市工(本報の日本) (2)のより (2)市がる実 (2)のより (2)のより (3)のより (2)のより (4)のより (4)の日本 (4)の日本		平成13年3月、国生のの提言が「気象台のオープンスペーの提言が「気象台のオープンスペーのでは、「関ロに関い、「関いを法している。」「理由のでは、「本のでは、」」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」 「本のでは、」 「本のでは、」 「本のでは、」 「本のでは、」 「本のでは、」 「本のでは、」 「本のでは、」」 「本のでは、」 「本のでは、、」 「本のでは、」 「本のでは、、」 「本のでは、、」 「本のでは、、」 「本のでは、、」	からの譲りをといいます。 という という はいました はいました はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した 17年3月提出された整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容	で気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できる) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前を確定 <想定とおりの は大のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認での想を 理な アクラス マンス マンス マンス マンス マンス マンス マンス マンス マンス マン	どおりでなかっ 由/想定とおりでなかっ 由/想定とびりでなかって、ベース及び敷切った。 中国 は 一次 は 一	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかったなかった 音及が一層 現に貢献したれた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容) 基本計画を策定してい	を行った。	の具体的な内容 の場合をでは の関係をできます。 の別期待したとなった の別期によるできます。 の別の別期によるできます。 を必要するできます。 の見体的な内容 のの別の別にはなった。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできまするできます。 を必要するできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできまするできまするできまするできまするできまする	・必要性の3:、公園管理: 、公園管理: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ 内容	○要 ● 不要 ○要 ● 不要
必要性 参加・協働のH夫 場別 (1)事業品 (2) 市がる事 市工(体 市工(体 (2)市の日本		平成13年3月、国かの提言が「気象へ」 の提言が「気スペー の提言が「シスペー (理由) □ (理由) □ (本法提供の他を法提供の他を注理のと明し、「中華・大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かいに かいに かいに かいに かいに かいに かいに かいに	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した17年3月提出された整備を進める。	で気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できる) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前を確定 <想定とおりの は大のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認での想を理なっての想を理なっての。 ・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ は、一ス及び敷料 、市民団実効市と たにといて、 施策のまた をでいる。 とでいる。 とでいな。 とでいる。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容) 基本計画を策定してい	を行った。	の具体的な内容 では 一番 では で で なか・ で なか で なか	・必要性の。 、公園管理・ 協働の程度・ 理由/期待!	・ 内容	○要 ● 不要 ○要 ● 不要
必要性 参加・協働のH夫 場別 (1)事業品 (2) 市がる事 市工(体 市工(体 (2)市の日本	ン活動結果指標) シ評価 (D0+CHECK F価項目 パ今必要である理由・ な?(事業の必要性) 定施する必要性は ハ? 施の必要性)	平成13年3月、国台の提言が「気みへ」 ○①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	かいに かいに かいに かいに かいに かいに かいに かいに	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した17年3月提出された整備を進める。	で気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できる) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前を確定 <想定とおりの は大のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認での想を理なっての想を理なっての。 ・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ は、一ス及び敷料 、市民団実効市と たにといて、 施策のまた をでいる。 とでいる。 とでいな。 とでいる。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容) 基本計画を策定してい	を行った。	の具体的な内容 の場合をでは の関係をできます。 の別期待したとなった の別期によるできます。 の別の別期によるできます。 を必要するできます。 の見体的な内容 のの別の別にはなった。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできます。 を必要するできまするできまするできます。 を必要するできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 をとをできまするできまするできまするできまするできまするできまするできまするできまする	・必要性の。 、公園管理・ 協働の程度・ 理由/期待!	・ 内容	○要 ● 不要 ○要 ● 不不要
必要性 参加・協働の工夫 環境ないます。 最近の大人 市工(体 本の大人 市工(体 日本 市工(本 日本 市工(本 日本 日本	ン活動結果指標) シ評価 (D0+CHECK F価項目 パ今必要である理由・ な?(事業の必要性) 定施する必要性は ハ? 施の必要性)	平成13年3月、国台ーの提言が「気スペーの提言が「気スペークで表現の上で表現の日本のでは、 「等主性の 「理由」 □ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	か記った。 のの譲りをという。 のの念だが、では、 のの念だが、ですいがが、 でも、がでもがが、できないです。 のでは、 のでは、 のでは、 でも、ができないでする。 のののの動きを、 してて貢献にいい献いる。 にににいめで、 のののの動きを、 してて貢献にいい献いる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでで。 ののででを、 のので	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した17年3月提出された整備を進める。	で気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できる) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前を確定 <想定とおりの は大のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認での想を理なっての想を理なっての。 ・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ は、一ス及び敷料 、市民団実効市と たにといて、 施策のまた をでいる。 とでいる。 とでいな。 とでいる。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容) 基本計画を策定してい	を行った。	の具体的な内容 では 一番 では で で なか・ で なか で なか	・必要性の。 、公園管理・ 協働の程度・ 理由/期待!	・ 内容	○要 ● 不要 ○要 ● 不要 ○ 要 ● 不
必要性 参加・協働のH夫 場別 (1)事業品 (2) 市がる事 市工(体 市工(体 (2)市の日本	ン活動結果指標) シ評価 (D0+CHECK F価項目 パ今必要である理由・ な?(事業の必要性) 定施する必要性は ハ? 施の必要性)	平成13年3月、国台のの提記を 13年37月、国台の提記を 13年37月、国会会の 13年37月、国会会の 13年37月、国会会は 13年37月、国会会会は 13年37月、国会会会会は 13年37月、国会会会会会会 13年37月、国会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	か記った。 のの譲りをという。 のの念だが、では、 のの念だが、ですいがが、 でも、がでもがが、できないです。 のでは、 のでは、 のでは、 でも、ができないでする。 のののの動きを、 してて貢献にいい献いる。 にににいめで、 のののの動きを、 してて貢献にいい献いる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでで。 ののででを、 のので	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地となり、平成14 悬談会」から平成 を持つ公園として 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定して 施策の目標の	4年3月供用開始した17年3月提出された整備を進める。	で気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できる) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前を確定 <想定とおりの は大のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認での想を理なっての想を理なっての。 ・	どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ は、一ス及び敷料 、市民団実効市と たにといて、 施策のまた をでいる。 とでいる。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。 とでいな。	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容) 基本計画を策定してい	を行った。	の具体的な内容 では 一番 では で で なか・ で なか で なか	・必要性の。 、公園管理・ 協働の程度・ 理由/期待!	・ 内容	○要 ● 不要 ○要 ● 不要 ○ 要 ● 不
必要性 参加・協働のH夫 場別 (1)事業品 (2) 市がる事 市工(体 市工(体 (2)市の日本	ン活動結果指標) シ評価 (D0+CHECK F価項目 パ今必要である理由・ な?(事業の必要性) 定施する必要性は ハ? 施の必要性)	平成13年3月、国台のの提記を 13年37月、国台の提記を 13年37月、国会会の 13年37月、国会会の 13年37月、国会会は 13年37月、国会会会は 13年37月、国会会会会は 13年37月、国会会会会会会 13年37月、国会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	か記った。 のの譲りをという。 のの念だが、では、 のの念だが、ですいがが、 でも、がでもがが、できないです。 のでは、 のでは、 のでは、 でも、ができないでする。 のののの動きを、 してて貢献にいい献いる。 にににいめで、 のののの動きを、 してて貢献にいい献いる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでで。 ののででを、 のので	で 市有地域 で は で で 検	地となり、平成14 懇談会」から平成1 懇談会」から平成1 実施できない 実施できないる を効性が得られる り、良質で安定し 施策の目標の	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容 た 環境に配慮した	気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できまえて事業を実施できままた。) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画である。 取組む内容 構造とする。	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前を確定 <想定とおりの は大のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認 しとした N 進 は 単 ス O なっ で を は 単 ス O なっ で で と い と で と で が 定 供 世 ン P めなっ 策 が定 供 理 ン P めなっ で で は は 考 方 意 と ・	どおりでなかっ 由スペース はまり でなかっ は が でなかっ は が でなかっ は でない で は で は なび 等 で は なび 等 で は ない ない は た に ない ない は た に ない ない は た に ない ない は ない ない は ない ない は ない ない は ない は	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理をは実施できなかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、はその内容) 基本計画を策定してい	を行った。	の具体的な内容 では 一番 では で で なか・ で なか で なか	・必要性の。 、公園管理・ 協働の程度・ 理由/期待!	・ 内容	○要 ● 不要 ○要 ● 不要 ○ 要 ● 不
② 要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 をしていく は でいる 実 が ま は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ン活動結果指標) シ評価 (D0+CHECK F価項目 パ今必要である理由・ な?(事業の必要性) 定施する必要性は ハ? 施の必要性)	平成13年3月、国生のの提言が「気みペークでは、13年3月、国生のの提言が「気みペークでは、13年3月、日本の提供ののオープンのでは、13年3月、13	か記ス NFで体 A る導施ス接図 A 下で体 A る導施ス接図 A 下で A なずこそれ 加 ののの動を 配 ていい献	で	地となり、平成1/8 懇談会」からでは 実施できない。 実施られている に対している。 できない。 を対している。 できない。 をなな。 できない。 できない。 できない。 できない。 をもない。 できない。 をもない。 をもない。 をもない	4年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。 <その他の内容 くその他の内容 た 環境に配慮した	一気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画である。 取組む内容 構造とする。	する。広大な芝生	●①事前確確 ○②事前確確 ○②事前を確定 <想定とおりの は大のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認・ と ・	どおりでなかっ 由スペース は 対 は は ない かっ は えい が は 定 と と と と と と と と と と と な び 等 か は な かっ は た な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に が な か な に が な に が な に が な に が な に が な に が な に が な に が な に が な に が な い な に が な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に が な に か な な な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な に か な な な な	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、 はその内容) 基本計画を策定してし	を行った。 < 市裏の	の具体的な内容 の偏・維持管理は 参加・ が期期待したとい たいとい たい以上となった をどおりりでなかった まりでなかった	・必要性の記念の配慮の配慮のでは、	・ 内容	● 不 要 要
② 要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 をしていく は でいる 実 が ま は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK P価項目 《今必要である理由・ な?(事業の必要性) を施する必要性は い? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? (リ)	平成13年3月、国生のの提言が「気みペークでは、13年3月、国生のの提言が「気みペークでは、13年3月、日本の提供ののオープンのでは、13年3月、13	か記ス トライン は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	で	地となり、平成1/8 懇談会」か園として『 実施できない。 実施られている。 学のできない。 会別では、 のののでは、 のののでは、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 ののでをない。 の	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。	一気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できる。) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で 取組む内容 構造とする。	を策定している。	●①事前確確 ○②事前前を活なりの ○②まだ お生で といる はまた では は できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	認・ と ・	どおりでなかっ 由人 を で と で と で と で な かっ 由人 で と で な かっ 由人 で と で な か かっ と で と で な で か かっ に た で に た で で に た で で に た で で に た で で に た で で に た で で に た で で で で	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理をは実施できなかった 普及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、はその内容) 基本計画を策定してい	を行った。	の具体的な内容は 参加・ 参加・ 参加・ とたとない が が かい とおり でなかった とこと おりでなかった はおりでなかった かんたい ない かんたい ない かんたい ない	協働の程度・ 環境への配慮 った 原因>	・内容以下であった原因と	○要 ● 不 要 ○ 要 要 要
② 要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 をしていく は でいる 実 が ま は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK P価項目 《今必要である理由・ な?(事業の必要性) を施する必要性は い? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? (リ)	平成13年3月、国台のの提示が「シスペー」 (理由) □ (理由) □ (本法提供の を注提化のでがある主提化のでかが、 「等主他ののでは、 「等主他のでは、 「等生他のでは、 「等生他のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等等性のでは、 「等性のでは、 」」 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」」 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」」 「等性のでは、 「等性のでは、 」」 「等性のでは、 「等性のでは、 」」 「等性のでは、 「等性のでは、 」」 「	か記ス マー	ででででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	地となり、平成1/8 懇談会」か園として『 実施できない。 実施られている。 学のできない。 会別では、 のののでは、 のののでは、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 会別では、 ののできない。 ののでをない。 の	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容 た パブリックコメ 環境に配慮した 環境に配慮した ・現性がい値合、比 が象がする場合、比 ・まない値なと ・まない値なと ・まないがある場合、比 ・まないがある場合、比	一気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で 取組む内容 構造とする。	を策定している。	●①事前確確 ②②事前前を ○②事前前を ○②事前前を ○②またる ○③では ○○③では ○○③では ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	認 世ン P O なっ 学 で 使供 世	どおりでなかっ 由ノ を で は で ない かっ は で ない かっ は で ない 教 は で ない 教 は で ない 教 は で ない 教 は で は で ない	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理をは実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、はその内容) 基本計画を策定してい ●①目標値達成 ○②目標を達成した: 広大な芝生のオー	を行った。 く市実成者 がある。 の①①当当当 へ割等し の②②当 へ想定と を建プンペースペールスペールスペールスペールスペールスペールスペールスペールスペールスペ	の具体的な内容は 参加・ 上 という はいます かい はいます かい はいます かい はいます かい はいます かい はいます かい はい ない かい ない かい ない かい ない ない かい ない	協働の程度・公園管理・ 協働の程度・ 理由/期待・ 環境への配慮 った。原因〉	・内容 以下であった原因ご	○要 ● 不 要 ○ 要 要 要
② 要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 をしていく は でいる 実 が ま は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK P価項目 《今必要である理由・ な?(事業の必要性) を施する必要性は い? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? (リ)	平成13年3月、国名の の	か記ス N F C 体	で	地となり、平成1/8 懇談会」の園としして、 実施できない。 実施できない。 実施できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できない。 を対し、 できなとの較対 できなとの較対	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出された 整備を進める。 <その他の内容 <その他の内容 た パブリックコメ 環境に配慮した 環境に配慮した 「実現性がし値なといった」 にない。 はない。	一気象台記念公園(4.3h aのを踏まえて事業を実施できる。) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で 取組む内容 構造とする。	を策定している。	●①事前確確 ○②事前前を	認	どおりでなかっ 由ノ を で は で ない かっ は で ない かっ は で ない 教 は で ない 教 は で ない 教 は で ない 教 は で は で ない	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を はなかった であった できなかった できるかった できるが にまなかった である市が行う必要が ないの内容策定してし のの内容策定してし のの内容策定してし ののではながらない。 である市が行う必要が ないであるでは である市が行う必要が ないの内容では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では で	を行った。 く公ある。 「本を表する。」 「本のでは、」」、「本のでは、「本のでは、」」、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」」」 「本のでは、「本のでは	の具体的な内容は 参加・ 上 という はいます かい はいます かい はいます かい はいます かい はいます かい はいます かい はい ない かい ない かい ない かい ない ない かい ない	協働の程度・ 環境への配慮 った 原因>	・内容以下であった原因と	○要 ● 不 要 ○ 要 要 要
名 事業の計算 (1) 事業 (2) 事事背 事背 市 がる(支) 市 あ (1) 市 あ (1) 下 人 (2) 市 あ (1) 下 人 (4) 原 (4) 原 (5) の (5) 原 (5)		平成13年3月、国からの提言が「シスペーーの提言が「シスペーー」 (理由) □ (型) □	か記ス R P 市 が 市 で 上 で は で は で よ で よ る 導施 ス ま で よ る 事 業 要	で	地となり、平成1/8 最談に対している。 東京のは、 東京のな 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のな 東京のは、 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・の他の内容 「ブブリックコメ 「環境に配慮した 「環境に配慮した。 「実践れさいる場合できん。はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	一気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。) 工夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画でではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではない	を策定している。	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前前を対 の②を対 は大 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	認 せい	どおりでなかっ 相交 ではいかい はない かっと が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	たでなかった原因〉 也内樹木の維持管理をは実施できなかった 音及が一層 現に貢献したれた である市が行う必要が 容(又は今後、はその内容策定してし を本計画を策定してし ・	を行った。 く公ある。 「本を表する。」 「本のでは、」」、「本のでは、「本のでは、」」、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」」」 「本のでは、「本のでは	の具体的な内容は の側体的特管理は 参加・ をかいように が別期待した以上と下った でというでなかった でというでなかったがありでなかったがありでなかったがありでなかったがありでなかったがありでなかったがあります。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	協働の程度・ 環境への配慮 った 原因>	・内容 以下であった原因ン 理を行った。 対策について	○要 ● 不要 ○要 ● 不要 ○ 要 要 要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率 必要性 参加・協働のH夫 場合の配慮 (1) おより 市本工(体 環境への配慮 (1) おより である実施 おより である。 (2) 事い まる である。 (2) 事い まる である。 (2) 事の (3) 事の (4) 事の (5) 事の (6) 事の (7) 事の (8) 事の (9) 事の (1) 事の (2) 事の (2) 事の (2) 事の (3) 事の (4) 事の (5) 事の (6) 事の (7) 事の (7) 事の (8) 事の (9) 事の (1) 事の (2) 事の (3) 事の (4) 事の	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK F価項目 パ今必要である要性) 変施する必要性は ハ? たの必要性) 加や市民との協働を いいり) 虚して事業を進めて	平成13年3月、国台のの提示が「シスペー」 「理由」 □ 「本市が「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	か記ス R P 市が が 正 2 を	で	地とならない。 「なとという。 では、	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・の他の内容 「ブブリックコメ 「環境に配慮した 「環境に配慮した。 「実践れさいる場合できん。はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	「気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。」 エ夫の具体的な内容 エ夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画できる。 取組む内容 構造とする。 を当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(予定の対策 □⑥受益者負担	を策定している。	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではおりの ②は大くのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認 せい	どおりでなかっ 相交 スペース スペース スペース スペース スペース スペース 及び 歌地 スペース 及び 歌地 たった を保給基盤 が 確保 子 本 な 園 管理 本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を はなかった であった できなかった できるかった できるが にまなかった である市が行う必要が ないの内容策定してし のの内容策定してし のの内容策定してし ののではながらない。 である市が行う必要が ないであるでは である市が行う必要が ないの内容では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では で	を行った。 く公ある。 「本を表する。」 「本のでは、」」、「本のでは、「本のでは、」」、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」」」 「本のでは、「本のでは	の具体的な内容は 参加・ の 以上 とない かった 以上とない かった なび 数 でなかった が なかった が なかった が なかった が なかった が なかった が なかった が でなかった が でんかった かんり できます できます できます できます できます できます できます できまます できます でき	協働の程度・公園を開発した。 ない園の配慮を表現である。 ない園の配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないのの配慮を表現である。 ないののの配慮を表現である。 ないののの配慮を表現である。 ないののののののである。 ないのののののである。 ないののである。 ないののである。 ないののである。 ないののである。 ないののである。 ないののである。 ないので。 ないので。	・内容 以下であった原因ン 理を行った。 対策について	○要 ● 不 ● 要 ○ 要 ● 不 ● 要 ○ 要 ○ 要 ○ 要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 が要性 参加・協働のH夫 が要素 (2) かる実 参びく (1) 事業 ままり ままり (2) 事業 ままり ままり (2) 事業 ままり ままり (2) 事業 ままり ままり (2) 事業 ままり ままり	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK F価項目 パ今必要である要性) 変施する必要性は ハ? たの必要性) 加や市民との協働を いいり) 虚して事業を進めて	平成13年3月、国台のの提示が「シスペー」 「理由」 □ 「本市が「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	か記ス R P 市 が 市 で 上 で は で は で よ で よ る 導施 ス ま で よ る 事 業 要	で	地となり、平成1/8 最談に対している。 東京のは、 東京のな 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のな 東京のは、 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東京のな 東	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・の他の内容 「ブブリックコメ 「環境に配慮した 「環境に配慮した。 「実践れさいる場合できん。はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	「気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。」 エ夫の具体的な内容 エ夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画できる。 取組む内容 構造とする。 を当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(予定の対策 □⑥受益者負担	を策定している。	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前前を対 の②を対 は大 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	認 せい	どおりでなかっ 相交 ではいかい はない かっと が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を はなかった であった できなかった できるかった できるが にまなかった である市が行う必要が ないの内容策定してし のの内容策定してし のの内容策定してし ののではながらない。 である市が行う必要が ないであるでは である市が行う必要が ないの内容では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では で	を行った。 く公ある。 「本を表する。」 「本のでは、」」、「本のでは、「本のでは、」」、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」」」 「本のでは、「本のでは	の具体的な内容は 参加・ の 以上 とない かった 以上とない かった なび 数 でなかった が なかった が なかった が なかった が なかった が なかった が なかった が でなかった が でんかった かんり できます できます できます できます できます できます できます できまます できます でき	協働の程度・公園を関する。 ・、公園を、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ご 里を行った。 対策について	O 要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率 必要性 参加・協働のH夫 場合の配慮 (1) おより 市本工(体 環境への配慮 (1) おより である実施 おより である。 (2) 事い まる である。 (2) 事い まる である。 (2) 事の (3) 事の (4) 事の (5) 事の (6) 事の (7) 事の (8) 事の (9) 事の (1) 事の (2) 事の (2) 事の (2) 事の (3) 事の (4) 事の (5) 事の (6) 事の (7) 事の (7) 事の (8) 事の (9) 事の (1) 事の (2) 事の (3) 事の (4) 事の	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK F価項目 パ今必要である要性) 変施する必要性は ハ? たの必要性) 加や市民との協働を いいり) 虚して事業を進めて	平成13年3月、国からの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提供の他を法提供の他を記提供の他の中でがったが、「単一のでは要求である。」 ●①19事では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中	か記ス R P 市が が 正 2 を	で	地とならない。 「なとという。 では、	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・の他の内容 「ブブリックコメ 「環境に配慮した 「環境に配慮した。 「実践れさいる場合できん。はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	「気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。」 エ夫の具体的な内容 エ夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画できる。 取組む内容 構造とする。 を当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(予定の対策 □⑥受益者負担	を策定している。	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではおりの ②は大くのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認 せい	どおりでなかっ 相交 ではいかい はない かっと が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を はなかった であった できなかった できるかった できるが にまなかった である市が行う必要が ないの内容策定してし のの内容策定してし のの内容策定してし ののではながらない。 である市が行う必要が ないであるでは である市が行う必要が ないの内容では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では であるでは では で	を行った。 く公ある。 「本を表する。」 「本のでは、」」、「本のでは、「本のでは、」」、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」」 「本のでは、」」」」 「本のでは、「本のでは	の具体的な内容は 参加・ の 以上 とない かった 以上とない かった なび 数 でなかった が なかった が なかった が なかった が なかった が なかった が なかった が でなかった が でんかった かんり できます できます できます できます できます できます できます できまます できます でき	協働の程度・公園を関する。 ・、公園を、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ご 里を行った。 対策について	○要 ● 不 ● 要 ○ 要 ● 不 ● 要 ○ 要 ○ 要 ○ 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) 事い 事い 業者があれる実施 また では、 (2) 事い 事い まる まる (2) 事い まる (2) 事い まる (2) 事い まる (2) 事い まる (3) 事い まる (4) 事い まる (5) 日本 まる (6) 日本 まる (7) 日本 まる (8) まる まる (7) 日本 まる (8) まる まる (9) はいのこと まる (1) 日本 まる (2) まる まる (3) まる まる (4) まる まる (5) まる まる (6) まる まる (7) まる まる (2) まる まる (3) まる まる (4) まる まる (5) まる まる (7) まる まる (8) まる まる (9) まる まる (1) まる <td>ど活動結果指標) D評価 (DO+CHECK P価項目 《今必要である要性) を称する必要性は い? 施の必要性) 加いや市民との協働を いいり) 虚して事業を進めて 登定は適切か?</td> <td>平成13年3月、国からの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提供の他を法提供の他を記提供の他の中でがったが、「単一のでは要求である。」 ●①19事では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中</td> <td>か記ス R P 市が が 市で・</td> <td>で は で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td> <td>地とならない。 「なとという。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td>4年3月供用開始した17年3月供用開始した17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <その他の内容 <その他の内容 「実現性」のは、比にない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、</td> <td>「気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。」 エ夫の具体的な内容 エ夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画できる。 取組む内容 構造とする。 を当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(予定の対策 □⑥受益者負担</td> <td>を策定している。</td> <td>●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではおりの ②は大くのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ</td> <td>認 せい</td> <td>だおりでなかっ は</td> <td>たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要を なくの内容 は本の内容 は本の内容 は本の内容 は本の内容 は本の力容 は本の一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は</td> <td>を行った。 く (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)</td> <td>の の の の の の の の の の の の の の</td> <td>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>者である市が行うが ・内容 以下であった原因ご 里を行った。 対策について</td> <td>②要不要要</td>	ど活動結果指標) D評価 (DO+CHECK P価項目 《今必要である要性) を称する必要性は い? 施の必要性) 加いや市民との協働を いいり) 虚して事業を進めて 登定は適切か?	平成13年3月、国からの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提供の他を法提供の他を記提供の他の中でがったが、「単一のでは要求である。」 ●①19事では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中	か記ス R P 市が が 市で・	で は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	地とならない。 「なとという。 では、	4年3月供用開始した17年3月供用開始した17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <その他の内容 <その他の内容 「実現性」のは、比にない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	「気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。」 エ夫の具体的な内容 エ夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画できる。 取組む内容 構造とする。 を当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(予定の対策 □⑥受益者負担	を策定している。	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではおりの ②は大くのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認 せい	だおりでなかっ は	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要を なくの内容 は本の内容 は本の内容 は本の内容 は本の内容 は本の力容 は本の一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は一つ は	を行った。 く (本)	の の の の の の の の の の の の の の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ご 里を行った。 対策について	②要不要要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 (2) 事い およびの配慮 (1) 事い 日標記 (2) 事い 日標記 (3) 事がる実力 日標記	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK F価項目 パ今必要である要性) 変施する必要性は ハ? たの必要性) 加や市民との協働を いいり) 虚して事業を進めて	平成13年3月、国からの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提供の他の表達機ののオープ・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	か記ス No in	で は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	地とならい。 「中国 で	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・のの他の内容 た 「プブリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロッ	- 気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施である。	を策定している。	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前ではおりの ②は大くのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	認 とオ 業導導化版スス 容維 生態メン 実の しつ N進と では 第一次 P のな 策 が達安 ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかっ 由スペ、市はでは、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 に、 では、	たでなかった原因> 也内樹木の維持管理を は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又の内容策定してし の(1) 目標標値値成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成	を行った。 く (本)	の の の の の の の の の の の の の の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ン 単を行った。 対策について でなかった いった原因>	○ 要要要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 がる実施 かる実施 かる実施 およれのより 市本工体 環境るかから は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 は、 は、 ないのより は、	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK F価項目 《今必要である要性) 《作事業の必要性は 、で、 、で、 、の必要性) が、で、 ないでは ないでは	平成13年3月、国からの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提言が「シスペーーの提供の他の表達機ののオープ・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	か記ス No in	で は で で は で で は で で は で で は で で は で で よ に と の りりり し て い な の の りりり し て い な の の りりり し て い な の の の の の の の の の の の の の の の の の の	地とならい。 「中国 で	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・のの他の内容 た 「プブリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロッ	□ 気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。 エ夫の具体的な内容 ントを踏まえ、基本計画で 取組む内容 構造とする。 を当性のチェック 設定しない、 対象例における目標値() 下定の対策 □ ⑤ P F I 等民間資 □ ⑥ 受益を他 計算方法	を策定している。	●①事前確値 ○②事前確値 ○②事前を注 ○②を送れて、日本のでは、1000円ののでは、1000円ののでは、1000円ののでは、1000円ののでは、1000円ののでは、1000円のでは、10000円のでは、1000円	認 とオ 業導導化版スス 容維 生態メン 実の しつ N進と では 第一次 P のな 策 が達安 ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	だおりでなかっ は	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、はその内容) 基本計画を策定してし の(2)目標標値値未記を 本式の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	を行った。 く (本)	の の の の の の の の の の の の の の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ン 単を行った。 対策について でなかった いった原因>	○ 要要要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 がるます。 本のしずるかいにより、 (1) 事からあり、 はの記念 (2) からます。 はの記念 (2) からます。 はのより、 (2) からます。 はの記念 (3) 保証機能で標準を表する。 まるのとは、 (4) は、 はの記念 (5) は、 は、 (4) は、 は、 (5) は、 は、 (5) は、 は、 (6) は、 は、 (7) は、 は、 (8) は、 まるのとは、 (9) は、 は、 (1) は、 は、 (2) は、 は、 (3) は、 は、 (4) は、 は、 (5) は、 は、 (6) は、 は、 (7) は、 は、 (8) は、 は、 (5) は、 は、 (6) は、 は、 (7) は、 は、 (7) は、 は、 (7) は、 は、 (7) は、 は、 (8) は、 は、 (9) は、 は、	ン活動結果指標) ン評価(DO+CHECK F価項目 《今必要である要性) 《令必要業の必要性は 、完施する必要性は 、完施の必要性) 加やわか? は適切か? 虚して事業を進めて なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった	平成13年3月、国会のの提言が「久々へ」 ○①取得 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	か記ス No in	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	地となり、平成1/8 と会り、東成1/8 と会り、東流1/8 と会り、東流1/8 を表でされている。 できない。 を現現できない。 を現現できない。 ののできなとと比水。 助いできなとと比水。 ののできなとと比水。 ののできなとといか。 ののできなとのできない。 ののできなとといか。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできなとのできない。 ののできない。 ののできない。 のでをない。 のできない。 のでをない。 のでをない。 のでをない。 のでをない。 のでをない。 のでをない。 のでをない。	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・のの他の内容 た 「プブリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロッ	- 気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施である。	を策定している。	●①事前確確	認 とオ 業導導化版スス 容維 生態メン 実の しつ N進と では 第一次 P のな 策 が達安 ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	だおりでなかっ は	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、はその内容) 基本計画を策定してし の(2)目標標値値未記を 本式の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	を行った。 く (本)	の の の の の の の の の の の の の の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ン 単を行った。 対策について でなかった いった原因>	○ 要要要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 がる実施 かる実施 かる実施 およれのより 市本工体 環境るかから は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 事いのより は、 は、 は、 ないのより は、		平成13年3月、国会のの提出では、13年3月、国会のの提出では、13年3月、国会のの提出では、13年3月、国会のの提出では、13年3月、国会ののでは、13年3月、	か記ス No in	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	地と会つの では、	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月提出る。 <その他の内容 <その他の内容 <・のの他の内容 た 「プブリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックコメメリックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロックロッ	- 気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施である。	を策定している。	●①事前確確	認 とオ 業導導化版スス 容維 生態メン 実の しつ N進と では 第一次 P のなな 策が定安 ト 前 が ト の の の の の の の の の の の の の の の の の の	だおりでなかっ は	たでなかった原因> 他内樹木の維持管理を は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた である市が行う必要が 容(又は今後、はその内容) 基本計画を策定してし の(2)目標標値値未記を 本式の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	を行った。 く (本)	の の の の の の の の の の の の の の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ン 単を行った。 対策について でなかった いった原因>	○ 要要要
2 ・ 事業 (1) ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		平成13年3月、国会のの提言が「久々へ」 ○①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	か記ス トで体 る 高導施ス 接回 あいまた は 日 画画 連施 かい ののの かい で ない は な は な は な で な で な で な で な で な で な で な	で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で よ に	地となりか園ととしています。 中国 では、	4年3月供用開始した 17年3月供用開始した 17年3月進 2 その他の内容 2 その他の内容 2 その他の内容 た パブリックコメ 3 環境に配慮した 3 環境に配慮した 9 実施がい値合、実施 16対別削減策の実施 16対別削減策の実施 17 単年度のの指標指 2 でのできる。 18 でのできる。	「気象台記念公園(4.3 h a のを踏まえて事業を実施できる。 マントを踏まえ、基本計画でである。 取組む内容構造とする。 取組む内容をではいい、 対象例における目標値(予定の対策 □⑤受益の他 コープ・マの地域ではない。 「日標値域である。 コード 「日標値域である。 「日標値域である。 「日標値域である。」 「日標値域である。」 「日標値域である。」 「日標値域である。」 「日本ではない。 「日本ではない。」 「日本ではないまない。」 「日本ではない。」 「日本ではないまない。」 「日本ではない。」 「日本ではないまない。」 「日本ではないまない。」 「日本ではないまない。」 「日本ではないまないまない。」 「日本ではないまないまない。」 「日本ではないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	を策定している。 と現況値の差)と は本の活用 養費 用単位/事業費	●①事前確確	認 とオ 業導導化版スス 容維 生態メン 実の しつ N進と では 第一次 P のなな 策が定安 ト 前 が ト の の の の の の の の の の の の の の の の の の	だおりでなかっ は	たでなかった原因> 他内樹木の維持をできなかった 原因> 他内樹木の作 できなかった 音及が一 現に す献した れた である市が行う必要が 容(又は今谷) 基本計画を策定して の(2)目標標値に成成 の(2)目標を達生の東京を表現 の(3)根定 本式 の(3)根定 を発生事業を表現 の(3)は の(3)目標値には の(3)は の(3)は の(3)は の(4)は の(5)は の(5)は の(5)は の(6)は の(7)は の(7)は の(7)は の(7)は の(7)は の(7)は の(8)は の(7)は の(8)は の(8)は の(9)は の(を行った。 く	の の の の の の の の の の の の の の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	者である市が行うが ・内容 以下であった原因ン 単を行った。 対策について でなかった いった原因>	②要要要

休八男 37										2年度)									
事業コー	F	805			課コード		0704		会計種別	一般会計				予算	算の種類]政策	■経常	口なし
1. 事業	の概要(PLAN)		T	T															
		①事業名	基本事業個別事業	緑化推進 緑の基金	-					実施計画へ 位置づけ		● 有	〇無		②部課	!名	都市部・	公園緑地課	
		③事業主体	●市	Oその ⁶	他()	④対象地区		□我孫子	口天王台	□湖北		新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要		⑤事業期間 ⑦事業費				~				⑥担当職員数	(필	当 初)		3 人		算人数 ち人件費		0.15 人)	
		(人件費含む)	総事業費			480 千円				当該(開始)	年度(変	変更後)		2,205 千円) (j	ち人件費		1,305 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		11301		重点プロジェクト への位置づけ	·	直点 1	基本計画地間計画への位置		〇有	●無			引計画への 置づけ	(計画名)	緑の基本計画	
(2)目的		施策目的・					う、市民との連携に くらしの中で自然が					好な自然環境で	を保全し、緑	と市民生活の	問和を図	るため、公	 園の整備や	 □緑地の確保を行	う財源に充てる。
(2) 日町		展開方向	林保全条例	列」と「緑:	地等保全及び緑地	地の推進に関する	、らしの中で日然だ る条例」に基づく排 を確保することを目	旨定やその維持管理	里に対する助成な	لغ		基金で買取りる	をした樹林地	などのPRを	さる				
			。これまで	で市の出資	金と市民、団体、	、企業など多くの	D方々の寄付により D方との用地取得費	り積み立てが行われ	れている。また、			本金で見取りる イベント時に 市役所、市内野	おける募金活	動。	. 7 000				
(3)事業内容	!	内 容					2 0 2 17 11 2 17 17 2	C. =, Z. 1. 0 0 1 1 1	- 0	執行計画	ī -:	水の館に設置さ	された観光双		川用料を基	金に積み立	てる。		
										当該年度	. 基:	金目標額						想定值	72, 353
										活動結果指	標							位 千円 実績値	83, 500
(4)達成目標 当該年度	(期待する成果)	良好な自然環境を	保全し、市脈	民にやすら		目標(期待する成 提供する	果)			指標種類直接		金目標額		指標				位 (5)現況値 90,500	(6)目標値 72,353
令和 3年										_							- '	11 00,000	0
令和 4年										_									0
(7) 東孝宝坂	上の課題と対応									代替案検討	<u>+</u>	 O有	· O無		Τ				
(7) 争未关ル	上の味趣と対応		ਯ ⇔21	上午中				令和 2年度		八百采俠	נים							新 4年度	
		政	平成31 内 容	1年度	金額(千円)) 政			算額(千円) 決算	額(千円) 政		内 容	3年度	金額(千)	円) 政		内	計和 4年度 	金額(千円)
		寄付金		be:77≅⊞\	20				200	891 寄	付金		カル・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・			寄付金			200
		観光双眼望遠鏡	見利用料(于)	頁冶詸)	13	38 観光双眼 緑の基金	望遠鏡利用料(手資 利子	[冶謀)	144 9		光双眼室 の基金利	遠鏡利用料(手 子	質冶課)			観光双眼望緑の基金利		料(手賀沼課)	144 9
						【3月補	正】緑の基金積立	金	547										
	実施内容																		
(8)施行事項																			
	予算(決算)額	<u> </u>	計		33	38	合 計		900	900		수 計			353		合 言	+	353
	国庫支出金県支出金	補助率 補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	0	0 補足	助率 助率		0 % 0 %		0 :	補助率		0 % 0 %	0
(9) 財源内訴	一般財源	充当率		0 %	33			0 %	0 900	900	当率		0 %		353	充当率		0 %	0 353
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	□ 金基□ 益	□その他	0. 1	15	□受益 □基金 □]その他	0 0. 15	0. 15	□特会□	□受益 □基金	□その他		0 0. 15	□特会□	□受益 □基	金 口その他	0. 15
(10)人件費等	鳴託職員報酬額					0			1, 305	1, 305				1,	0				1, 305
事業費(予算() (11)単位費月	│ 臨時職員賃金額 快算)額+正職員人件費)				1, 65	0 58			0 2, 205	2, 205				1,	, 658				0 1, 658
(事業費	ヮ :/活動結果指標)		0.02千円	1/千円			0.03千円	/ 工田		0. 03									
							0.00 1	I/ TD		0.00									
	の評価 (DO+CHECK)			*	* * * /=	0.00 1	IV TH		0.00		声 	压 /部压铁田		£ \$P 40 54	(## * + A+			小羊ሎ科
	の評価 (DO+CHECK _{評価項目}	市内に残された貴			り消失する恐れの		どを適時に取得し、	将来にわたって		●①事前確認での)想定どお			に応じ、改善	善案検討	(拡充も含む	;))		改善検討
(1)事業	評価項目 が今必要である理由・		基づく基金で	である。今	り消失する恐れの	のある樹林地なる	どを適時に取得し、	将来にわたって	的なPRと募 (●①事前確認での ○②事前確認での)想定どお)想定どお	り けでなかった			善	(拡充も含む	?))		〇要
(1)事業	評価項目	市内に残された貴に運用する条例に	基づく基金で	である。今	り消失する恐れの	のある樹林地なる	どを適時に取得し、	将来にわたって	的なPRと募 (<	●①事前確認での)想定どお)想定どお た理由/ホ	り りでなかった 想定どおりでな	いった原因〉	>			•)))		
(1) 事業背景	評価項目 が今必要である理由・	市内に残された貴に運用する条例に 金活動を推進している	基づく基金でいく必要がでいく必要がで	である。今 ある。 !団体等でに	り消失する恐れの 後、より多くの す ま実施できない	のある樹林地など 市民、団体、企業	どを適時に取得し、 業の理解と協力を得 のではないである。	将来にわたって	的なPRと募(●①事前確認での ○②事前確認での 想定どおりとしる の貴重な財産とこ ○①民間企業、N	が 想定どお)想定どお た理由/を なっている	り りでなかった 想定どおりでな る樹林地の保全 民団体等では	なかった原因〉 とについて、 if 実施できなか	> 市民の意識が ₁	高まって	いる。	必要性の理		○ 要 ●不要
(1)事業	評価項目 が今必要である理由・	市内に残された貴に運用する条例に 金活動を推進している の①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主信	基づく基金でいく必要がる いく必要がる IPO、市民で市が実施す 体が市しかが	である。今 ある。 !団体等では することが	り消失する恐れの 後、より多くの す ま実施できない	のある樹林地など 市民、団体、企業	どを適時に取得し、 業の理解と協力を得 のではないである。	将来にわたって	的なPRと募(●①事前確認での ②事前確認での 想定どおりとして の貴重な財産とす ②10、日間企業。で進 ③10、日間企業。で進 ③11、日間企業。で進 ③11、日間企業。で進	り想定どお り想定どお た理由/を なっている IPO、市 もめなけれ	り りでなかった 想定どおりでな る樹林地の保全 「民団体等では は実効性がなっ	なかった原因〉 とについて、 if 実施できなか かった	> 市民の意識が ・った <市実 募金に	高まって ミ施の 具体 こ対する利	いる。	必要性の理が主導で必	並める必要性があ	○ 要 ●不要
(1)事業 背景 必要性(2)市が	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	市内に残された貴に運用する条例に、金活動を推進している 〇①民間企業、N (理由) □法令等	基づく基金でいく必要がを いく必要がを IPO、市民で市が実施で 体が市しかな	である。今 ある。 ! 団体等では することが ない	り消失する恐れな 後、より多くので は実施できない 定められている	のある樹林地など 市民、団体、企業	ビを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容>	将来にわたって	的なPRと募 く 市	●①事前確認での ○②事前確認での 想定どおりとして の貴重な財産とで □①民間企業、N ■②市が主導で進	D想定どお D想定どお た理由/**な たなって、けいる TPOなった はめなった な策・施策	は りでなかった 想定どおりでなる 樹林地の保全 民団体等では ば実効性がなった とで市民へ普 の目標の実現	なかった原因と とについて、『 実施できなか かった 及が一層	> 市民の意識が ・った <市実 募金に	高まって ミ施の 具体 こ対する利	いる。 体的な内容・ 抗控除等、市	必要性の理が主導で必	並める必要性があ	○要●不要
(1)事業 背景 必要性(2)市がる	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	市内に残された貴に運用する条例に 金活動を推進して(の①民間企業、N (理由) □ 法令等 □ 提供也 ●②自治体でが主 □ 市が実!	基づく必要がで IPO、実し で体が市が推進の 進さるで が導施・提供するで	である。今 ・団体等では すない でよい でよにに ることと	り消失する恐れび 後、より多くので ま実施できない に定められている	のある樹林地など 市民、団体、企業 <その他の <その他の	ビを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容>	将来にわたって	的なPRと募 「 市 ー ー ー ー ー ー ー	●①事前確認での ○②事前確認での ②事前確認での 「想定どおり産と」 ③①民間企業。で進 ②市が生き導役と 促進された (促進された (促進された (の)の一ビススの等 (の)の他	り想定どおお 理立て 、けたな 「POなっ 施保」で ・ 施保さい で ・ で は で で ・ で で で ・ で で で ・ で で で ・ で で で ・ で で ・ で で ・ で で ・ で で か い か い か い か い か い か い か い か い か い	りりでなかった 関定どおりでな る樹林地の保全 民団体等ではは ば実効性がなけ とで市民へ普 の目標の実現し	なかった原因> まについて、 if 実施できなか かった 及が一層 に貢献した	> 市民の意識が ・った <市実 募金に	高まって ミ施の 具体 こ対する利	いる。 体的な内容・ 抗控除等、市	必要性の理が主導で必	並める必要性があ	○要 ●不要
(1)事業 背景 必要性(2)市がる	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?	市内に残された貴に運用する条例に、 金活動を推進して(・	基い ロード はいません おうない はい ロード はい	である。今 団体等では すない でよい でよこと こるれる	り消失する恐れん 後、より多くのす は実施できない 定められている る 実効性が得られる	のある樹林地などまれて、団体、企業	ビを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容>	将来にわたって	的なPRと募 「 市 ー ー ー ー ー ー ー	●①事前確認での ②事前確認での 想定どおりとしたの貴重な財産との ①②市が主導導でと ②③市がきさ導でと ②③市がきる場でである。 ③③・日本のも選が来る。 ③③サービスの安	り想定どおお 理立て 、けたな 「POなっ 施保」で ・ 施保さい で ・ で は で で ・ で で で ・ で で で ・ で で で ・ で で で ・ で で ・ で で ・ で で ・ で で か い か い か い か い か い か い か い か い か い	りりでなかった 関定どおりでな る樹林地の保全 民団体等ではは ば実効性がなけ とで市民へ普 の目標の実現し	なかった原因> まについて、 if 実施できなか かった 及が一層 に貢献した	> 市民の意識が ・った <市実 募金に	高まって ミ施の 具体 こ対する利	いる。 体的な内容・ 抗控除等、市	必要性の理が主導で必	並める必要性があ	○要 ●不要 る基金
(1)事業 背景 必要性(2)市がる	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?	市内に残された貴に運用する条例に、 金活動を推進して(・	基づくが という	である。今 は国体等である。 であるい。 でよいまでよりとことにといる。 でよりよいな策	り消失する恐れな後、より多くので は実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し	のある樹林地などまれて、団体、企業	どを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容>	将来にわたっても 得るために、積極的	的なPRと募 「 市 ー ー ー ー ー ー ー	●①事前確認での ○②事前確認での ○②事前確認での ・想定どおりり産と ○①民間企業・導導役と 「②市が先さ援へれた 「④市の支ススル準 「⑤サービススの安 「③・サービスの安 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想定定と 想想定と を でなっ IPAなっ ・ 施保と を が が で が で が で が が で が が が が が が が が が が が が が	り りでなかった 想定どおりでなる 樹林地の保全 民団体等では ば実効性がなっ とで市民へ の目標の実現! のれた 盤が確保されっ	なかった原因と またできなか かった 及が一層 に貢献した	> 市民の意識が ・った <市実 募金に	高まって ミ施の 具体 こ対する利	いる。 *的な内容・ 税控除等、市 で関の整備や	必要性の現金 が主導でが 緑地の保全	進める必要性があ∙ と等に活用。	○要 ●不要 る基金
(1)事業 背景 必要性(2)市がる	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?	市内に残された貴に運用する条例に に運用する条例に 金活動を推進して((理由) □ は (理由) □ は (理由) ■ 市が実 サービン 実現が(基づく必 (本) 本	である。今 である。 今 である。 今 でかん はっぱい べこさにといい でんにといい 政策	り消失する恐れな後、より多くので は実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し	のある樹林地など 市民、団体、企業 <その他の <その他の るした	どを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容> 内容>	将来にわたって任 导るために、積極的	的なPRと募 「市 I	●①事前確認での ②事前確認での ②事前確認での 想定どおりとした の貴重な対対産、 ②③市が生されが、 ●②の市が生さ援スれた ③⑤サービスの ●③・サービスの その他の内容 との他の内容 との他の内容 を協動・協働	想定定と を を で で で で で で で で で で で の ななな で で で の ななな で に に に に に に に に に に に に に	りりでなかった 思定どおりでなる 格林地の保全 民ぼ文が年代へ 民でではなぎ のの目標の実現 のれた 盤が確保された 異体的ななになる 異体のなっては それる場合による	なかった原因ン にこいて、デ 実施できなか かった 及が一層 に貢献した た	ト 市民の意識が っった <市実 募金に を活用	高まって ミ施の 具体 こ対する利	いる。 *的な内容・ 税控除等、市 機関の整備や 参加・協	必要性の理が主導で必	進める必要性があ∙ と等に活用。	○要 ●不要 る基金
(1)事業景 必要性(2)市かる (市5)	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か? 実施の必要性)	市内に残された貴に運用する条例に、 金活動を推進して(の①民間企業、N (理由) □提供主会の他 ●②自治体である(理由) ■市かが実に □市が実に □市が実に □をの他	基い P 市が	である 団すな べこさんこ 働 有有り	り消失する恐れな後、より多くので は実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し	のある樹林地などの市民、団体、企業	どを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容>	将来にわたっても 得るために、積極的 体的な内容 知、公共施設等へ	内なPRと募 (市 市	●①事前確認での ②事前確認での ②事前確認での 想定どおりとした の貴重な対対産、 ②③市が生されが、 ●②の市が生さ援スれた ③⑤サービスの ●③・サービスの その他の内容 との他の内容 との他の内容 を協動・協働	想定定と を を で で で で で で で で で で で の ななな で で で の ななな で に に に に に に に に に に に に に	りりでなかった 思定どおりでなる 格林地の保全 民ぼ文が年代へ 民でではなぎ のの目標の実現 のれた 盤が確保された 異体的ななになる 異体のなっては それる場合による	なかった原因と について、デ 実施できなか かった 及が一層 に貢献した た	ト 市民の意識が マった <市事会に を活用	高まって 実施の具々 に対する利して、4 当初期待	いる。 めな内容・市 控除等、市 と図の整備や も した以上 したとより	必要性の現金 が主導でが 緑地の保全	進める必要性があ∙ と等に活用。	○要 ●不要 る基金
(1)事業 背景 必要性(2)市がる がある(市)	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か? 実施の必要性)	市内に残された貴に運用する条例には選用を推進して「日本のでは、「日本	基い P で体 高導施ス援図 市底が がでとり P 市がが がで 提保なる か ののの動い を R 民民活 は 歯 画画連	である はない べこるれこ 働 有有有携 かい きにと り 内 りりりして が るりよ 策 容	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地などの市民、団体、企業	どを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容> 「内容>	将来にわたっても 得るために、積極的 体的な内容 知、公共施設等へ	内なPRと募 (市 市	●①事前確認での ②事前確認での ②事前確認での 想定どおりとした の貴重な対対産、 ②③市が生されが、 ●②の市が生さ援スれた ③⑤サービスの ●③・サービスの その他の内容 との他の内容 との他の内容 を協動・協働	想定定と を を で で で で で で で で で で で の ななな で で で の ななな で に に に に に に に に に に に に に	りりでなかった 思定どおりでなる 格林地の保全 民ぼ文が年代へ 民でではなぎ のの目標の実現 のれた 盤が確保された 異体的ななになる 異体のなっては それる場合による	なかった原因と について、デ 実施できなか かった 及が一層 に貢献した た	ト 市民の意識が ラった <市実 第金に を活用	高まって 実施の具な利 に対すて、 全 当初期期待 当当初の期	いる。 本的な内容・市 税控除等、市 を加・協 した以上 したとおり もしたとおり	必要性の取が主導でが 緑地の保全	進める必要性があ∙ と等に活用。	○要● ● 不要
(1)事業 背景 必要性(2)市がる がある(市)	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か? 実施の必要性)	市内に残された貴に運用する名様している主義を発生している。 ○①民間企業、Nのでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	基い Pで体 の導施ス援図 では、 Pの市がができ、 ができ、 ができ、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	である はない べこるれこ 働 有有有携 かい きにと り 内 りりりして が るりよ 策 容	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地などの市民、団体、企業	どを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容> 「内容>	将来にわたっても 得るために、積極的 体的な内容 知、公共施設等へ	内なPRと募 (市 市	●①事前確認での ②事前確認での ②事前確認での 想定どおりとした の貴重な対対産、 ②③市が生されが、 ●②の市が生さ援スルスの安 ③のサービスの中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中	想定定と を を で で で で で で で で で で で の ななな で で で の ななな で に に に に に に に に に に に に に	りりでなかった 思定どおりでなる 格林地の保全 民ぼ文が年代へ 民でではなぎ のの目標の実現 のれた 盤が確保された 異体的ななになる 異体のなっては それる場合による	なかった原因と について、デ 実施できなか かった 及が一層 に貢献した た	ト 市民の意識が ラった <市実 第金に を活用	高まって 実施の具な利 に対すて、 全 当初期期待 当当初の期	いる。 本的な内容・市 税控除等、市 を加・協 した以上 したとおり もしたとおり	必要性の取が主導でが 緑地の保全	性のる必要性があら と等に活用。 内容	○要● ● 不要
(1)事業 背景 必要性(2)市がる の市3	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か? 実施の必要性)	市内に残された貴に運用する条例には選用を推進して「日本のでは、「日本	基い Pで体 の導施ス援図 では、 Pの市がができ、 ができ、 ができ、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	である はない べこるれこ 働 有有有携 かい きにと り 内 りりりして が るりよ 策 容	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地などの市民、団体、企業	どを適時に取得し、 業の理解と協力を利 内容> 「内容>	将来にわたっても 得るために、積極的 体的な内容 知、公共施設等へ	内なPRと募 (市 市	●①事前確認での ②事前確認での ②事前確認での 想定どおりとした の貴重な対対産、 ②③市が生されが、 ●②の市が生さ援スルスの安 ③のサービスの中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中	想定定とおお たな 理由 C に 市れこ を保格 と で は P らなっ で ・ ・ ・ ・ ・ 体 保 を を で と が 考え か に り の らった か に り で か に か と か と か と か と か と か と か と か と か と	りりでなかった 思定どおりでなる 格林地の保全 民ぼ文が年代へ 民でではなぎ のの目標の実現 のれた 盤が確保された 異体的ななになる 異体のなっては それる場合による	なかった原因と について、デ 実施できなか かった 及が一層 に貢献した た	ト 市民の意識が ラった <市実 第金に を活用	高まって 実施の具な利 に対すて、 全 当初期期待 当当初の期	いる。 本的な内容・市 税控除等、市 を加・協 した以上 したとおり もしたとおり	必要性の取が主導でが 緑地の保全	性のる必要性があら と等に活用。 内容	○要● ● 不要
(1)事業 背景 必要性(2)市がる の市3	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か? 実施の必要性)	市内に残された貴に運用する発進して(理用) □ はまった では、 ○①民間企業令保主(理由) □ は、 ○②自治 ■ 市市中市実現の他 ○②事業業事産時に ○③衛市民のと共 ○③衛市の他 ○②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基い P で体 お	である 回すな べとこる 働 有有有携! の視点 本こ なよに 政 容 でよい 政 容 している は 政 容 している は 、	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地なとまった。	どを適時に取得し、 業の理解と協力を得 内容> 内容> 工夫の具 による市民への別 設置された観光双	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 知、公共施設等 知、公共施設等 知・記述鏡の利用料	内なPRと募 (市)	●①事前確認での ②事前確認での ②事前確認での 想定量なりとし ③②市が発生を ②②市が発生で 促布の支援の ③③サービル ③⑤サービル ○⑤サービル ○⑥サービル ・協働 ・表別を ・事業者によ ・事業者によ	想想 たな Poなっ ・確供 Man	りりでなかった。 思定とはなりでなかった。 思ではなりで保全 にはというではないではない。 にはというではないではないではない。 にはというではないではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはというではない。 にはな。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはな。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	なかった原因と について、 i 実施できなか かった 層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	ト 市民の意識が っった く市す 募金に を活用 〇① ○② ○③ ○③	高まって 保証 の 具 の 利 の 利 明 待 得 期 明 待 待 期 り し た 以 」	いる。 は他な内容・ は他な所容・ は他ないない。 をかいた。 をかいたといる はたとなった はたとなった はなった では、 はないないない はないないない はないないない はないないない はないないないない	必要性の取が主導でが 緑地の保全	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	○要● ● 不要
必要性 参加・協働の工夫 参加・協働の工夫	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か? 実施の必要性)	市内に残された貴に では、	基い Pで体 高導施ス接図 市市市が が進提保るれ 加 ののの動を 配 てい と	である 回すな べとこる 働 有有有携! の視点 本こ なよに 政 容 でよい 政 容 している は 政 容 している は 、	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地なとまった。	どを適時に取得し、 業の理解と協力を得 内容> 内容> 工夫の具 による市民への問 設置された観光双	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 知、公共施設等 知、公共施設等 知・記述鏡の利用料	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認での ②事前確認での ②事前確認での 想定量ととして ②の事が終までは、 ■②市が発きでは、 ■②市が発きでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	想想 たな 早の なな なまか に	りりでなかった と で な 全 と で は と で で な 全 と で は な き 音 の れ 生 が 確 保 と さ の れ 整 が 確 保 と さ か な 合 に が を 合 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 で な と で の れ 整 が な か な か な か な か な か な か な か な か な か な	なかった原因と について、 i 実施できなか かった 層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	ト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	高まって 具る なて 人 の 見の ない という 見い がい がい がい がい がい かい	いる。 は他な内容・ は他な所容・ は他ないない。 をかいた。 をかいたといる はたとなった はたとなった はなった では、 はないないない はないないない はないないない はないないない はないないないない	必要性のが主導でが会場地の保全 働の程度・ ・	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	○要 ●不要 る基金 ○要 ●不要
必要性 参加・協働の工夫 参加・協働の工夫	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴に に運用を推進して(の「限間企業令機のして(の「限間企業令機の他のでは、 の「限間のでは、 の「限間のでは、 の「のでは、 の	基い Pで体 5・導施ス援図 下市市な事 にていい なきない 下流 推め供証こる か ののの動を にていい なっているる で	である 団すな べこるれこ 働 有有有携! の視 るりよ	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地なとまった。	どを適時に取得し、 業の理解と協力を得 内容> 内容> 工夫の具 による市民への別 設置された観光双	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 知、公共施設等 知、公共施設等 知・記述鏡の利用料	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での③②事前確認での③②事前確認での 想定量重にといる。 ■②日本が生きを選ぶる。 ■②日本が生きを選ぶるのでのである。 ■②日本が生きを選ぶるのである。 ■②日本が出る。 ■③日本が出る。 ■③日本が出る	想想 たな 早の なな なまか に	りりでなかった と で な 全 と で は と で で な 全 と で は な き 音 の れ 生 が 確 保 と さ の れ 整 が 確 保 と さ か な 合 に が を 合 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 で な と で の れ 整 が な か な か な か な か な か な か な か な か な か な	なかった原因と について、 i 実施できなか かった 層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	→ 市民の意識が ・った ・	高まって 保証 当当当 手した 以 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	いる。 は対象等 は対象を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	必要性の形象 がお主導では 縁地の保全 動の程度・ 由/期待以 着への配慮	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	○ 要 ● 不 要 る 基 金 ○ 要 要 要 要
必要性 参加・協働の工夫 参加・協働の工夫	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴にでは、N等に金活動を推している。	基い Pで体 5・導施ス接図 にこれで事 にいい献く P 市が が進火する か ののの動を 配 ていい献 を参参をと 配 ていい献 するさと は 極か するさと は 極 画画画連施 のる してて貢 のる て で かんしょ でんしょ かんしょ かんしょう しょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	である 団すな べこるれこ 働 有有有携! の視 るりよ	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地なとまった。	どを適時に取得し、 業の理解と協力を得 内容> 内容> 工夫の具 による市民への別 設置された観光双	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 知、公共施設等 知、公共施設等 知・記述鏡の利用料	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での③②事前確認での③②事前確認での 想定量重にといる。 ■②日本が生きを選ぶる。 ■②日本が生きを選ぶるのでのである。 ■②日本が生きを選ぶるのである。 ■②日本が出る。 ■③日本が出る。 ■③日本が出る	想想 たな 早の なな なまか に	りりでなかった と で な 全 と で は と で で な 全 と で は な き 音 の れ 生 が 確 保 と さ の れ 整 が 確 保 と さ か な 合 に が を 合 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 で な と で の れ 整 が な か な か な か な か な か な か な か な か な か な	なかった原因と について、 i 実施できなか かった 層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	→ 市民の意識が ・った ・	高まって 保証 当当当 手した 以 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	いる。 kthick shape shap	必要性の形象 がお主導では 縁地の保全 動の程度・ 由/期待以 着への配慮	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	○要要要
必要性 参加・協働の工夫 環境へ 市工体制 環境へ	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴に に運用を推進して(の「限間企業令機のして(の「限間企業令機の他のでは、 の「限間のでは、 の「限間のでは、 の「のでは、 の	基い Pで体 5・導施ス接図 にこれで事 にいい献く P 市が が進火する か ののの動を 配 ていい献 を参参をと 配 ていい献 するさと は 極か するさと は 極 画画画連施 のる してて貢 のる て で かんしょ でんしょ かんしょ かんしょう しょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	である 団すな べこるれこ 働 有有有携! の視 るりよ	り消失する恐れ 後、より多くの は ま実施できない 定められている る 実効性が得られる り、良質で安定し ・ 施策の目標の	のある樹林地なとまった。	どを適時に取得し、 業の理解と協力を得 内容> 内容> 工夫の具 による市民への別 設置された観光双	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 知、公共施設等 知、公共施設等 知・記述鏡の利用料	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での③②事前確認での③②事前確認での 想定量重にといる。 ■②日本が生きを選ぶる。 ■②日本が生きを選ぶるのでのである。 ■②日本が生きを選ぶるのである。 ■②日本が出る。 ■③日本が出る。 ■③日本が出る	想想 たな 早の なな なまか に	りりでなかった と で な 全 と で は と で で な 全 と で は な き 音 の れ 生 が 確 保 と さ の れ 整 が 確 保 と さ か な 合 に が を 合 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 か な の を 本 で な と で の れ 整 が な か な か な か な か な か な か な か な か な か な	なかった原因と について、 i 実施できなか かった 層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	→ 市民の意識が ・った ・	高まって 保証 当当当 手した 以 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	いる。 kthick shape shap	必要性の形象 がお主導では 縁地の保全 動の程度・ 由/期待以 着への配慮	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	○ 要要要
必要性 参加・協働の工夫 参加・協働の工夫	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴にでは、N等に金活動を推している。	基い Pで体 5・導施ス接図 にこれで事 にいい献く P 市が が進火する か ののの動を 配 ていい献 を参参をと 配 ていい献 するさと は 極か するさと は 極 画画画連施 のる してて貢 のる て で かんしょ でんしょ かんしょ かんしょう しょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	である 団すな べこるれこ 働 有有有携! つね いくこるれこ し 政 内りりりして いまにと り 政 容 いる (千円)	り消失する恐れば後、より多くのでは は実施できない。 な実施できない。 な実効性が得られない。 り、良質で安定します。 で、施策の目標の	のある樹林地などまである。	どを適時に取得し、 業の理解と協力を名 内容> 「内容> 「たよる市民への周設置された観光双 取組よる自然環境の保	将来にわたって任 导るために、積極的 体的な内容 知、公共施設等へ 知と遠鏡の利用料 む内容 む内容	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での 想定責量 『②市市経ささを選挙を選挙を担じる。②③では、1000年のでのできる。 「日本のでは、1000年のでは、	想想 たな P あな 策が定 は考所	りりでなかった 想象 付 でな全 はなぎ という でな全 はなき でな という でな という でな という でな といった を はい という でな という でき はい という という という はい という という はい という という という はい という という はい という という はい はい という はい という はい という はい という はい という はい はい という はい という はい はい という はい はい という はい という はい はい はい はい という はい	なかった原因と について、 i 実施できなか かった 層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	ト ・	高まって 保証 当当当 手した 以 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	いる。 kthick shape shap	必要性の形象 がお主導では 縁地の保全 動の程度・ 由/期待以 着への配慮	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	○ 要 ● 不 要 る 基 金 ○ 要 要 要 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 ポープ はいっぱん ではいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴には	基い Pで体 お pin A 大 g m km が で が な c y c y c y c n h m が が t i y c y c y c n h m が が t i y c y c y c n h m が が t i y c y c y c n h m が が t i y c y c n h m が が t i y c y c n n o n o n o n o n o n o n o n o n o	である はない さい きょう しゅう である はない さい さい はい ない きょしと り め の りりりして いっぱい ない はい ない	り消失する恐れん 後、より多くのす は実施できない できない できない できない できない できない できない できない	のある樹林地なと 市民、団体・企業 くその他の るした 本報、の館に 事事性が乏し	どを適時に取得し、 業の理解と協力を名 内容> 工夫の具 に設置された観光双 取組 よる自然環境のチェミ が必要と いではない	将来にわたって任 导るために、積極的 体的な内容 知、公共施設等へ 知と遠鏡の利用料 む内容 む内容	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認でのの②②事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での③②まず、ではとは、②③までは、まず、ではといる。②③は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	想想 たな P しかな 策が定 ・ がる 実に保	りりでなかった。 思定がはいかった。 思定がは、またでなくでなくでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	なかった原因に まいった原因に でたた をかった一層 した (そのの保全等) ●①②(目目標標準を達し ●②()(目標標準を達し ・「「できる」。	ト 民の意識が ・ つた ・ 京金活用	高 に対し と は想想 と は は な と と こ こ で は な な と と と こ さ な な な な な な な な な な な な な な な な な な	いる。 ** ** * * * * * * * * * *	必要性の形容を がお主導では 縁地の保全 動の程度・ 由/期待以 着への配慮	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	る基金 ○ 要不要要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 ポープ はいっぱん ではいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴に では では では では できます できます できます できます できます できます できます できます	基い Pで体 a・導施ス援図 carachors にいい献るするさと Ben がで・がで・がすら 参 民民民活業 してて貢献でいい献るしてて貢献を参参を実	である 団すな べこるれこ 働 有有有携: つ視 い (千年) のりりりして かっと こる は からし	り消失する恐れで 後、より多くのす は実施できない る 実効性が得られた で質の の目標の の目標の る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る る できない る る できない る る できない る る できない る る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る できない る の の の の の の の の の の の の の	のある樹村林	どを適時に取得し、 業の理解と協力を名 内容> 工夫の具 に設置された観光双 取組 よる自然環境のチェミ が必要と いではない	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 知、公共施設等へ 知、遠鏡の利用料 む内容 全。	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での 想定責量 『②市市経ささを選挙を選挙を担じる。②③では、1000年のでのできる。 「日本のでは、1000年のでは、	想想 たな P し し し し し し し し し し し し し し し し し し	関の はいかった 想像 はいかった という でない かった という でない かった という でない おり でない はい	なかった原因のでは、では、なかった原因のでは、では、なかないでは、では、なかないでは、では、ながないでは、では、ながないでは、では、ながないでは、ながないでは、では、ないないでは、では、ないないでは、では、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないないでは、ないないないでは、ないないないでは、ないないないでは、ないないないないでは、ないないないないでは、ないないないないないないでは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ト	高 に対し と は想想 と は は な と と こ こ で は な な と と と こ さ な な な な な な な な な な な な な な な な な な	いる。 ** ** * * * * * * * * * *	必要性の形容を がお主導では 縁地の保全 動の程度・ 由/期待以 着への配慮	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	○ 要要要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 ポープ はいっぱん ではいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴に では では では では できます できます できます できます できます できます できます できます	基い Pで体 5 ip im A ip	である 団すな べこるれこ 働 有有有携! つ視 ふくころれこ しまな からりりりして いころれこよ し の内 りりりして いころれこ 大 の内 りりりして いころれころ (千円) (53) 滅	り消失する恐れ(後、より多くのする ま実施られている。 を実められている。 を実められている。 を実められている。 を実められている。 を実められている。 できない。 を実められている。 できない。 を実現現のは値とのもでしたの数でしたの数でしたの数でしたの数ではの。 できない。	のある樹樹林地な企動の市民、団体体体、企動を開始体体、企動を開始体体、企動を開始体体、企動を開始体体、企動を開始を開始を開始を開始した。	どを適時に取得し、 と、と、 でででである。 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	将来にわたって作品を含まっています。 特を含まれている。 体的な内容を 知い、公共施設等へ対 知い、公共施設の利用料 む内容 なった。	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での③②の表示が失さな対対を表示である。②②の表示が失さを選ぶるののでは、「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	想想 たな PL かな 策が定 ・ がる 実に保	明りでなかった 想定 が かった を と が かった を と が かった を と で な 全 と で な 全 と で な かった な 中 で な かった な 中 で な かった な かった な かった か で な かった か で な かった か か か か か か か か か か か か か か か か か か	ないった原因とでは ににになった原因とできた。 になったのできた。 になったのできた。 になったのできた。 になった。 になった。 になった。 になった。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののでは、これののは、)では、 できた。 (をのののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、)では、 (をののでは、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)	ト民の意識が ・	高 を と	いる。 *** ** ** ** ** ** ** ** **	必要性のでは 動の程度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性める必要性があら と等に活用。 内容 以下であった原因:	る基金 ○ 要不要要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 がる市工体制 環い (1)事情 (1)目 (2)ああ市工体制 境への配慮 (1)目 (1)目 (2) (1)日 (2) (2) (3) (3) (4) (4) (5) (4) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (2) (1) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (7) (4) (8) (4) (7) (1) (8) (1) (9) (1) (1) (1) (2) (1)	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か? をかの必要性は かを をいるが をいるが でいるが でいるが でいるが に応して 事業を進めて きない に応して を変われる になる になる になる になる になる になる になる になる になる にな	市内に残された貴にでは、	基い Pで体 お pin A to	である は	り消失する恐れば り消失する恐れば 後、よ実施できない る 実が自身では できない る 実が自身では できない る 実効性が質質で 標のの できる。 実別性が質質で できる。 でもれている。 できない。 る 実別できない。 る 実別できない。 る 実別できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できない。 る できる。 でき。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。	のある樹団体 本体、企業 がある 樹田体 な企業 がある、	どを適時に取得し、 とでででである。 ででは、大きなでは、大きなできない。 では、大きなでは、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 では、大きなできなできない。 では、たきなできない。 では、たきなできなできない。 では、たきなできないできない。 では、たきなできなできなできなできない。 では、たきなできなできなできなできなできなできなできない。 では、ためなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできな	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 体的な公共施設等へ 知思望遠鏡の利用料 む内容 全。	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での 想で、	想想 たな P しなっ ・確供	はりでなかった を は と は と は と は と は と は と は と は と は と は	はいった原因のでは、ではいった。 ではいていています。 ではいている かいない できる	ト民の意識が ・	高 を	いる。 *** ** ** ** ** ** ** ** **	必が緑地の程度 で、 因 で で と と で と と で と と で と と と と と と と と	はある必要性があると等に活用。 内容 以下であった原因:	O 要 要 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 ※ (2) ああ市 市工体制 ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほ	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? くり)	市内に残された貴にでは、	基い Pで体 5 - 導施ス援図	である 回すな べこるれこ 働 有有有携 回れ いくころれこ は 策 容 いくころれ は 東 容 いくころれ は 東 で よに 政 内 りりりして いくろう で よい 東 ない は 東 の 内 りりりして いくろう は 東 の 内 りりりして いくろう は 東 の 内 りりして いくろう は 東 の 内 りりして いくろう は 東 の 内 り の か いくろう は 東 の 内 り の か の の の の の の の の の の の の の の の の の	り消失する恐れできない。 る実り・施策の目標のの 「①②③現週当の場合では、このでは、などとと較差には、できない。」 「②③現現週当の場合では、できない。」 「②③現現週当の場合では、できなどとの数には、できなどとの数には、できない。」 「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	のある樹団体 本体、企業 がある 樹田体 な企業 がある、	どを適時に取得し、 とでででである。 ででは、大きなでは、大きなできない。 では、大きなでは、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 では、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 のでは、大きなできない。 では、大きなできなできない。 では、たきなできない。 では、たきなできなできない。 では、たきなできないできない。 では、たきなできなできなできなできない。 では、たきなできなできなできなできなできなできなできない。 では、ためなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできな	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 体的な公共施設等へ 知思望遠鏡の利用料 む内容 全。	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での③②の表示が失さな対対を表示である。②②の表示が失さを選ぶるののでは、「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	想想 たな P しなっ ・確供	はりりでなかった。 思な樹木 でな全にはというでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ないった原因とでは ににになった原因とできた。 になったのできた。 になったのできた。 になったのできた。 になった。 になった。 になった。 になった。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののでは、これののは、)では、 できた。 (をのののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、)では、 (をののでは、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)	ト民の意識が ・	高 を	いる。 本体性 の	必が緑地の保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はある必要性があると等に活用。 内容 以下であった原因:	る基金 ○ 要不要要
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 がるずかる市が 成果大体制 (1) 事事 業果 がる市工(体制 (2) 事業 業界 がるできる (1) 目標 事業 (2) 事業 業	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) と実施する必要性はか? 実施の必要性はから実施の必要性が をないるが。 との協働を にいるか? ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市内に残された側にでは、	基い Pで体 5 - 淳施ス援図 市市 1 位 5 - 2 を 3 を 3 を 3 で 4 と 1 は 6 回画画連施 2 で 5 を 5 を 5 と 5 で 5 で 6 で 7 と 7 と 7 と 7 と 7 と 7 と 7 と 7 と 7 と 7	である 回すな べこるれこ 働 有有有携 回れ いくころれこ は 策 容 いくころれ は 東 容 いくころれ は 東 で よに 政 内 りりりして いくろう で よい 東 ない は 東 の 内 りりりして いくろう は 東 の 内 りりりして いくろう は 東 の 内 りりして いくろう は 東 の 内 りりして いくろう は 東 の 内 り の か いくろう は 東 の 内 り の か の の の の の の の の の の の の の の の の の	リ消失する恐れれる。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでものでする。 はたいのでする。 はたいのでする。 はたいのでする。 はたいのでする。 はたいのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのではなななななななななななななななななななななななななななななななななな	のある樹団体 本体、企業 がある 樹田体 な企業 がある、	どを適時に取得し、 とでででである。 は、よる自然環境の保 は、よる自然環境のののでは、 は、よる自然環境のでいい。 ないはない対象のでは、 は、とには、 を記された。 のでは、は、 のでは、は、 のでは	将来にわたって任 身るために、積極的な内容 体的な公共施設等へ 知思望遠鏡の利用料 む内容 全。	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での 想定責量「②完市市経ささなりを選問のでのでは、※ で後と 「公司のでは、 「」のでは、 「」のでは、」のでは、 「」のでは、 「」	想想 たな P しなっ ・確供	はりでなかった を は と は と は と は と は と は と は と は と は と は	ないった原因とでは ににになった原因とできた。 になったのできた。 になったのできた。 になったのできた。 になった。 になった。 になった。 になった。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののは、これののは、)では、 できた。 (そのののでは、これののは、)では、 できた。 (をのののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、 できた。 (をののでは、)では、)では、 (をののでは、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、)では、)では、 (をののでは、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)	ト民の意識が ・	高 を	いる。 本体性 の	必が緑地の保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性があらと等に活用。 内容 以下であった原因: は策について なかった	る基金 ○● 要不要要要 要不要要 要不要要 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 ※ (2) ああ市 市工体制 ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほか・ほ	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) と実施する必要性はか? 実施の必要性はから実施の必要性が をないるが。 との協働を にいるか? ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市内に残された貨に ・	基い Pで体 市導施ス援図 市市か市 がで、提図 下で体 市導施ス援図 市市から事 にていい献 標の では、	である 目すな べこるれこ 働 有有有携 ひ視 い (153) 減 減円 47	リ消失する恐れれる。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 は定めるとのでする。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでもれる。 はたでものでする。 はたいのでする。 はたいのでする。 はたいのでする。 はたいのでする。 はたいのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのではなななななななななななななななななななななななななななななななななな	のある樹団体 本体、企業 がある 樹田体 な企業 がある、	どを適時に取得し、 で理解と協力を名 ででである。 「内容>」 「大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きではないが対象では、大きではないが対象では、大きではないが対象では、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きに	将来にわたって任 身るために、積極的 な内容 な内容 な力の な対し、 な対し、 な対し、 な対し、 な対し、 な対し、 な対し、 な対し、 ながし、	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②事前確認での②②②表示を記述を対対 業導導れが先さ支援ススス □②③②をある □○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	想想 たな P あな 策が定 ・ がる	明りでなかった 思な はとで はとで はな はな はな はな はな はな はな はな	ないったに実か及い こまた (その) (その) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	ト民の意識が「 ・	高 に対し 当当当 け	いる。 なな除いを かは を を を を を に に に に に に に に に に に に に	必が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑が緑	性のる必要性があった原因: は	る基金 ○● ■ ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 がるする 第二人の記念 (1)目標準 事よる はいから 1(1)目標準 事よる 標準	評価項目 が今必要である理由・ が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は 実施の必要性) 参加やおのの必要性) 参加である。 参加である。 参加である。 を定くり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市内に残された貨に ・	基い Pで体 5 - 淳施ス援図 市市 1 位 5 - 2 を 3 を 3 で 4 と 1 に 1 に 1 で 4 と 1 に 1 に 1 で 5 で 4 と 1 に 1 に 1 で 5 で 5 で 5 で 6 で 7 と 7 と 7 と 7 と 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に	である は	り消失する恐れできない。 る実り ・ 施策の 目標の のできない のできない のできない が質 の目標 のの はなどとといる のできない が質 の目 現親親適高等の値値なの水 が にして いる できたして いる の	のある樹田体 な企業 が	どを適時に取得し、 とでででである。 は、よる自然環境の保 は、よる自然環境のののでは、 は、よる自然環境のでいい。 ないはない対象のでは、 は、とには、 を記された。 のでは、は、 のでは、は、 のでは	将来にわたって任 身るために、積極的 体的な公共施設の 知思望遠鏡の列用料料 む内容 全。	内なPRと募 (一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	●①事前確認でのの2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での3 ではといる での4 では、ではといる では、ではといる では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	想想 たな P あな 策が定 ・ がる 実に保	明りでなかった。 思格 は と のれ盤	はたに にたに にたた (その) なかみが 声 にた (で) にたた (で) にたた (で) にたた (で) にたた (で) (で) (で) にたた (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	ト	高 を	いる。 な特別を かした以 な	必が緑地 働の 由 気 と 因 費定ど 減 理理 のの配慮 対対 で は 対対 で は 対対 で は 対対 が が が が が が が が が が が が が が が が が	性があらと等に活用。 内容 以下であった原因: は策について なかった	る基金 ○● ■ ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 がるす業景 がる市がる市が、 がるする 乗り、 (1) 目標 事がる事業の (2) い 目投じ、 (3) 日報 業の (4) 日報 業の (5) 日報 業の (6) 日報 第次の (7) 日報 第次の (8) 日報 第次の (9) 日報 第次の (10) 日報 第次の (11) 日本 第次の (12) 日報 第次の (13) 日報 第次の (14) 日報 第次の (15) 日報 第次の (16) 日報 第次の (17) 日報 第次の (18) 日報 第次の (19) 日報 第次の (10) 日報 第次の (11) 日報 第次の (12) 日報 第次の (13) 日報 第次の (14) 日報 第次の (15) 日報 第次の (16) 日報 第次の (17) 日報 第次の (18) 日報 第次の (18) 日報 第次の (19) 日報 第次の (10) 日報 第次の (11) 日報 第次の (12) 日報 第次の (13) 日報 第次の (14) 日報 第次の	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は を変性の必要性) 参加やおのの必要性) 参加である。 を変性は を変性の をないまたのは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	市内に残された貨に ・	基い Pで体 5 導施ス援図 市市な事 では、 1 で体 5 導施ス援図 市市な事 では、 1 で体 5 導施ス援図 市市な事 にていい献 値 72、3 費削千 6 会 事業 (%) 2、99 目 2、99 目 7、90 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	である 目すな べこるれこ 働 有有有携 ひ視 い (153) 減 減円 47	リ消失する恐れれる。 は定めるとのでするといいる。 は定められるにいる。 は定められるにいる。 は定められるにできないいる。 はできないい。 はできない。 はでをなない。 はできななななななななななななななななななな	のあるる樹木地な企動の市民、「一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	どを適時に取得し、 でででである。 ででである。 では、大きでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	将来にわたって作品を含まって作品を含まっています。 「特別では、 積極的な 内容 では、	内なPRと募 (一十二) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	●①事前確認でのの 想の 事事 という とした。 「でのの 想の 見 に とってのの 想の 見 に とってのの 想の 見 に まな な り 財産 業 導 導 れ 援 水 水 安 まな に 保 市 中 少 中 の 他 の 内 の で の で の で の で の で の で の で の で の で	想想 たな P あな 策が定 がる 実に保	明りでなかった 思格	はたいった原因のできた。 (You have a fine fine fine fine fine fine fine fine	ト	高 を	いる。 な特別を かした以 な	必が緑地 働の 由 気 と 因 費定ど 減 理理 のの配慮 対対 で は 対対 で は 対対 で は 対対 が が が が が が が が が が が が が が が が が	性 は かった原因: は なかった原因: は なかった に ながった に なかった に ながった に ながった に なかった に ながった	る基金 ○●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 がるする事業景 がる市がる市がる市工(体制・にかいます) (1) 目標 事業の (2) 市あ市 日投信 (3) 目投信 (4) 日本 第二 (5) 日本 日投信 (6) 日本 第二 (7) 日本 第二 (8) 日本 第二 (9) 日本 第二 (10) 日本 第二 (11) 日本 第二 (12) 日本 第二 (13) 日本 第二 (14) 日本 第二 (15) 日本 第二 (16) 日本 第二 (17) 日本 第二 (18) 日本 第二 (19) 日本 第二 (10) 日本 第二 (11) 日本 第二 (12) 日本 第二 (13) 日本 第二 (14) 日本 第二 (15) 日本 第二 (16) 日本 第二 (17) 日本 第二 (18) 日本 第二 (19) 日本 第二 (10) 日本 第二 (11) 日本 第二 (12) 日本 第二 (13) 日本 第二 (14) 日本 第二 (15) 日本 第二 (16) 日本 第二 (17) 日本	評価項目 が今必要である理由・は?(事業の必要性) を変を変を要性はからである要性はからである。 を要性はからである。 を変をしているが、 は適切かっ を変としている。 は適切がっ を変としている。 は適切がっ を変としている。 ないののエー夫をしている。 ないののエー夫をしている。ないのでは、ないでは	市内に残された貨に ・ 「理用 「	基い Pで体 5 導施ス援図 市市な事 では、 1 で体 5 導施ス援図 市市な事 では、 1 で体 5 導施ス援図 市市な事 にていい献 値 72、3 費削千 6 会 事業 (%) 2、99 目 2、99 目 7、90 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	である 回すな べこるれこ 働 有有有携! D視 い (千3 滅滅類) 47 とこる は 策 でよに 政 容 (153 減 類 (1) 47 とこる は 3 (1) 47 とこる は 4 (1) 4	リ消失する恐れ(の) では、 は、 は	のあるる樹木地な企動の市民、「一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	どを適時に取得し、 と、と、でででは、 は、と、は、と、では、は、は、、大のでは、は、は、、大のでは、は、は、、大のでは、は、は、、大のでは、は、は、、大のでは、は、は、、大のでは、は、、大のでは、は、は、大のでは、は、大きには、は、は、大きには、は、大きには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	将来にわたって作品を含まって作品を含まっています。 「特別では、 積極的な 内容 では、	内なPRと募 (一十二) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	●①事前確認でのの2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での2 まず での3 ではといる での4 では、ではといる では、ではといる では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	想想 たな P あな 策が定 がる 実に保	はりりでなかった。 思格林地の保全 にはというで保全 にはというではない。 思格林地の保全 にはというではない。 ははというではない。 はないではない。 はないではない。 はないではない。 はないない。 はないないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないないない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないない。 はないないないない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	はたに にたに にたた (その) なかみが 声 にた (で) にたた (で) にたた (で) にたた (で) にたた (で) (で) (で) にたた (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	ト	高 を	いる。 な特別を かした以 な	必が緑地 働の 由 気 と 因 費定ど 減 理理 のの配慮 対対 で は 対対 で は 対対 で は 対対 が が が が が が が が が が が が が が が が が	性 は かった原因: は なかった原因: は なかった に ながった に なかった に ながった に ながった に なかった に ながった	Sample of the property of the
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 がるす業景 がる市がる市が、 がるする 乗り、 (1) 目標 事がる事業の (2) い 目投じ、 (3) 日報 業の (4) 日報 業の (5) 日報 業の (6) 日報 第次の (7) 日報 第次の (8) 日報 第次の (9) 日報 第次の (10) 日報 第次の (11) 日本 第次の (12) 日報 第次の (13) 日報 第次の (14) 日報 第次の (15) 日報 第次の (16) 日報 第次の (17) 日報 第次の (18) 日報 第次の (19) 日報 第次の (10) 日報 第次の (11) 日報 第次の (12) 日報 第次の (13) 日報 第次の (14) 日報 第次の (15) 日報 第次の (16) 日報 第次の (17) 日報 第次の (18) 日報 第次の (18) 日報 第次の (19) 日報 第次の (10) 日報 第次の (11) 日報 第次の (12) 日報 第次の (13) 日報 第次の (14) 日報 第次の	評価項目 が今必要である理由・ が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は 大変を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して	市内に残された貴にでは、	基い Pで体 5 導施ス援図 市市な事 では、 1 で体 5 導施ス援図 市市な事 では、 1 で体 5 導施ス援図 市市な事 にていい献 値 72、3 費削千 6 会 事業 (%) 2、99 目 2、99 目 7、90 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	である 回すな べこるれこ 働 有有有携! D視 い (千3 滅滅類) 47 とこる は 策 でよに 政 容 (153 減 類 (1) 47 とこる は 3 (1) 47 とこる は 4 (1) 4	リ消失する恐れ(の) では、 は、 は	のあるる樹木地な企動の市民、「一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	どを適時に取得し、経常の理解と協力を名をできます。 「はない では、 というでは、 といういうでは、 というでは、 といういは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは	将来にわたって作品を含まって作品を含まっています。 「特別では、 積極的な 内容 では、	内なPRと募 (一十二) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	●①事前確認でのの 想の 事事 という とした。 「でのの 想の 見 に とってのの 想の 見 に とってのの 想の 見 に まな な り 財産 業 導 導 れ 援 水 水 安 まな に 保 市 中 少 中 の 他 の 内 の で の で の で の で の で の で の で の で の で	想想 たな P あな 策が定 がる 実に保	明りでなかった 思格	はたに にたに にたた (その) なかみが 声 にた (で) にたた (で) にたた (で) にたた (で) にたた (で) (で) (で) にたた (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	ト	高 を	いる。 な特別を かした以 な	必が緑地 働の 由 気 と 因 費定ど 減 理理 のの配慮 対対 で は 対対 で は 対対 が が が が が が が が が が が が が が が が が	性 は かった原因: は なかった原因: は なかった に ながった に なかった に ながった に ながった に なかった に ながった	Sample of the property of the
必要性 参加・協働の工夫 環境(の配慮 効率性 がる市) (1)事情 がる市) がる市工(体制 環い (1)目 事 で (3)目投 (1)目 事 で (3)目投 (1)目 を で (4)目 を で	評価項目 が今必要である理由・ が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は 大変を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して	市内に残された貴に 市内に残され条連しては のでは、	基い Pで体 市導施ス援図 市市かず が進・保険の で	である は	リ消失する恐れのです。 はまま できない る できない る できない る できない が質 の 目標 の か は	のある。 「本学文字がいる 「本学文字がの 「本学文字がいる 「本学文字がいる	どを適時に取得し、後の理解と協力を名をできる。 「内容 > 「大きの 具 間 で の で い は 、 実施 予定 「	将来にわたって作品を含むために、積極的な内容を設利用料料 む 全。	内なPRと募 (一十二) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	●①事前確認でのの 想の 事事 という とした。 「でのの 想の 見 に とってのの 想の 見 に とってのの 想の 見 に まな な り 財産 業 導 導 れ 援 水 水 安 まな に 保 市 中 少 中 の 他 の 内 の で の で の で の で の で の で の で の で の で	想想 たな P あな 策が定 がる 実に保	明りでなかった 思格	はたに (You have been seed as a seed of the seed of th	ト	高 に	いる。 な特別を かした以 な	必が緑地 働の 由 気 と 因 費定ど 減 理理 のの配慮 対対 で は 対対 で は 対対 が が が が が が が が が が が が が が が が が	性 は かった原因: は なかった原因: は なかった に ながった に なかった に ながった に ながった に なかった に ながった	Sample of the property of the

様式第3 .	号 				事務 事	莱 評価表(令和	2年度)							
事業コー	- ド	807		課コード	0704	会計種	引 一般会計			予算(の種類 [□政策	■経常	□なし
1. 事業	の概要(PLAN)													
		①事業名	基本事業				実施計画への		●有 〇無		②部課名	都市部・公	公園緑地課	
		③事業主体		手づくり公園事業 			位置づけ) ④対象地区	□我孫子		□湖北	□新木	□布佐	■全市	
		⑤事業期間	O 113	() 图 (~		⑥担当職員数	口权标丁		5 人		באַ וויים	0.25 人)	
(1)事業概要	2	⑦事業費	総事業費		0 千円		当該(開始)年度	(当 初)	3	3,013 千円	(うち人件費		2,175 千円)	
		(人件費含む)						(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	. 施策 コード	62102	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地区別 計画への位置づ		O有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(2)目的		施策目的・		みやすい公園とするた の自主的な活動を広げ	め、地域住民の主体的な公園づく	I り活動を支援するとともに、公	園管 事業目的	地域のニーズ	にあった特色ある	公園づくりを	市民が主体的に進	めることで、	L 、公園づくりを通	近じた市民交流や
(2)日的		展開方向				国が地域に しょても切かものし				1084	100周			
			よう、市民と行政	政が協働で公園づくり	や市民活動の場として活用し、公園を行なう。市は、手づくり公園活	動団体が行う地域のニーズにあ	った	• 既任治勤也]体 手づくり公園:	10回体、	12公園			
(a) 			特色のある公園では、供を行なう。	つくりを積極的に応援	するため、公園づくりに必要な物は	品の父付や貸し出し、各種の情	報提 当該年度 執行計画							
(3)事業内容	ř	内容												_
							当該年度 活動結果指標]活動団体の継続維	持		単位	地 % 想定值 実績値	100
(4)達成目標	票(期待する成果)			達成目	標(期待する成果)		指標種類		指	福 標		単位	1	(6)目標値
当該年度	Ę	既存活動団体と協	力し地域のニーズ	にあった特色ある公園	づくりを更に進める。		直接	既存活動団体	の継続維持			%	100	100
令和 3年	度	既存活動団体と協	力し地域のニーズ	にあった特色ある公園	づくりを更に進める。		直接	既存活動団体	の継続維持			%		100
令和 4年	=度	既存活動団体と協	力し地域のニーズ	にあった特色ある公園	づくりを更に進める。		直接	既存活動団体	の継続維持			%		100
(7) 東衆宇坎		手づくり公園活動 が少ない)等の問		齢者が多く若い世代が	少ない。また、手づくり公園活動	に参加する市民が少ない(応募	団体 代替案検討		 ○有 ●無					
(7) 争未关加	正の課題と対応	か少ない 寺の同					八首条検討							
		Titr :	平成31年度	A#F (7 FF)	Th.	令和 2年度 	Market (- m) Th		和 3年度	A # (7 m)	Titr:		和 4年度	A# (T III)
		策 (22) 手づく	内 容 り公園事業	金額(千円)	策	予算額(千円) 決 838	束:	内 2) 手づくり公園		金額(千円)) 策 38 (22) 引	内名		金額(千円)
			公園:11公園		手づくり公園:12公園		1 1 1	手づくり公園: 1				り公園: 1		
	実施内容													
(8)施行事項	5													
	* 費用													
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	<u>含計</u> 0%	839 6 0		0 % 0	691	合 計	0 %		38	合 計	0 %	838
	県支出金起債	補助率 充当率	0 %			0 % 0	0 補助率 0 充当率		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	0
(9) 財源内部	一般財源		益 口基金 口その他	839		838	691	- 持会 口受益 口基		8	38	□受益 □基金		838
	換算人数(人)	口行云 口交红	単 口基並 口での10	0. 25	5	0. 25	0. 25	付云 口叉盆 口基	並 口ての他	0. 2	25	」文金 口奉	並しての他	0. 25
(10) 人件費	鳴託城貝報酬額			2, 200 0)	2, 175	2, 175 0				0			2, 175 0
事業費(予算(臨時職員賃金額 決算)額+正職員人件費)			0 3, 039		3, 013	2, 866			3, 0	13			3, 013
						-,								
(11)単位費 (事業費	用 聲/活動結果指標)		30.39千円/%	1	30.13千円		28. 66							
(事業費)	30.39千円/%		30.13千円		28. 66							
(事業費	[/活動結果指標])	30.39千円/%		30.13千円		28. 66	事後訊	平 価(評価結果に	応じ、改善家	を検討(拡充も含む	3))		改善検討
(事業費	を で で で で で で で で で で で で で で の に の に の に	市内の公園は、ほ	とんどが街区公園と	事 育と呼ばれる小規模なも	前 評 価ので、施設内容が画一的で特色が、	//% なく、市民にとって身近な空	●①事前確認での想	定どおり		応じ、改善家	客検討(拡充も含む	3))		改善検討
(事業費 2. 事業 (1) 事業	ン活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 はが今必要である理由・	市内の公園は、ほ間にも関わらず十: 落ち葉、害虫被害	とんどが街区公園 分に利用されていた 、防犯等の課題から	事 育 と呼ばれる小規模なも ないのが現状です。ま ら、公園が地域住民に	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、た、公園内に捨てられるゴミ、犬・とって必ずしも有益な施設になっ	/% なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした	●①事前確認での想 ○②事前確認での想	定どおり 定どおりでなかっ	た	応じ、改善家	を検討(拡充も含む	3))		〇要
(事業費 2. 事業 (1) 事業	之/活動結果指標) の 評価 (D0+CHECK 評価項目	市内の公園は、ほ間にも関わらず十落ち葉、害虫被害 街区公園を地域の本事業が必要です。	とんどが街区公園。 分に利用されていた 、防犯等の課題から 身近な特色のある分。手づくり公園活動	事 削 と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に公園といいくため、動が行われている公園	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬だとって必ずしも有益な施設になっ 市民の自主的な活動を支援し、特別は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想	定どおり 定どおりでなかっ 里由/想定どおり	でなかった原因>				onts.	
(事業費	ン活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 はが今必要である理由・	市内の公園は、ほ間にも関わらず十、落ち葉、害虫被害 街区公園を地域の。本事業が必要です。 地域のまちづくり 〇①民間企業、N	とんどが街区公園な 分に利用されていた 、防犯等の課題から 身近な特色のある4 。活動に参加る市下 NPO、市民団体等	事 信と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に公園としていくため、動が行われている公園 長の輪を広げています Fでは実施できない	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬だとって必ずしも有益な施設になっ 市民の自主的な活動を支援し、特別は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした到 地域住民が参加するる □①民間企業、NP	定どおり 定どおりでなかっ 里由/想定どおりことで公園に対し、 O、市民団体等で	た でなかった原因> より愛情を持ち、れ には実施できなかっ	を壇など地域た │ <市実施	にあった整備と維 画の具体的な内容・	持管理が行れ	由>	〇要 ●不要
(事業費	ン活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 はが今必要である理由・	市内の公園は、ほ間にも関わらず十書では、害虫地域のまちずりのでは、「理由」のでは、「理由」の提供主は、「理由」の提供主は、「は、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、「は、」には、「は、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、「は、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」は、」には、」には、「は、」は、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」は、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、は、は、は、	とんどが街区公園の 分に利用されていれ、防犯等の課題かる。 ・手づくり公園活動に参加する市手 ドアの、市民団体を は、下で市が実施すること 体が市しかない	事 信 と呼ばれる小規模なも ないのが現状です。ま ら、公園が地域住民に 公園としていくため、 動が行われている公園 民の輪を広げています	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、た、公園内に捨てられるゴミ、犬・とって必ずしも有益な施設になっ市民の自主的な活動を支援し、特別は、市が管理している時に比べて、。	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加するこ □①民間企業、NP □②市が主導で進 ○③市が先導役とな	定どおり 定どおりでなかっ 里由/想定どおりことで公園に対し、 O、市民団体等でなければ実効性が	った でなかった原因> より受情を持ち、れ には実施できなかっ なかった	を壇など地域た │ <市実施	にあった整備と維	持管理が行れ	由>	〇要 ●不要
(事業費	で ア価 (DO+CHECK 評価項目 まが今必要である理由・ とは?(事業の必要性)	市内の公園は、ほ間にも関わらず十まち葉、害虫被害街区公園をも変ですり、 の①民間企業、「というですり、 の①民間企業、「というですり、 の②民間企業、「というですり、	とんどが街区公園の 分に利用されていれ、防犯等の課題かる。 ・手づくり公園活動に参加する市手 ドアの、市民団体を は、下で市が実施すること 体が市しかない	事 信と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に公園としていくため、動が行われている公園 長の輪を広げています Fでは実施できない	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、た、公園内に捨てられるゴミ、犬・とって必ずしも有益な施設になっ市民の自主的な活動を支援し、特別は、市が管理している時に比べて、。	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした到地域住民が参加するる □①民間企業、NP □②市が主導で進め	定どおり 定どおりでなかっ 里由/想定どおり・ ことで公園に対し、 〇、市民団体等でなければ実効性かったことで市民へ	たでなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった 普及が一層	た □ <市実旅 た □ <市実旅 花苗等の	にあった整備と維 画の具体的な内容・	持管理が行れ	由>	〇要 ●不要
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要 性 (2)市かる	之活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 なが今必要である理由・ はな(事業の必要性) べ実施する必要性は かつ?	市内の公園は、ほ間にも関わらず十まち葉、害虫被害 街区公園を基本を要でより、 の①民間企業、トロールはのまちでもり、 の①民間企業、トロールはの他	とんどが街区公園の 分に利用されていれ、防犯等時色のの国語の 。手ができりのの国語の 。活動に参加する市形 NPO、市民団体こと 体が市しかない る市が推進すべきで	事 自 と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に 公園としていくため、動が行われている公園 民の輪を広げています では実施できない とが定められている	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬だとって必ずしも有益な施設になっ市民の自主的な活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 □①民間企業、NP □②市が主導で進とな 促進された ・ ④市の支援が政策 □⑤サービス水準が	定どおりでなかった。 理由/想定どおりでとで公園に対し、 O、市民団体等でなければとです。 ・・施策の自体の実施保された。	でなかった原因〉 より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった 普及が一層	た □ <市実旅 た □ <市実旅 花苗等の	にあった整備と維 画の具体的な内容・	持管理が行れ	由>	O要 ●不要
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要 性 (2)市かる	た活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 はか今必要である理由・はは?(事業の必要性)	市内の公園は、ほに間にも関わられています。 間にも関わらまではできるでは、「本事を対しています。 本事を対していますがある。 「理由」のでは、「はないます。」 「はないますがある。」 「はないますがある。」 「はないますがある。」 「はないますがある。」 「はないますがある。」 「はないますがある。」 「はないまする。 「はないまする。 「はないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	とんどが街区公園ないは、 とんどが街区公園ないいのでは、 かけいのでは、 かけいののの国語では、 のでは、	事 作と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に公園としていくため、動が行われている公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬だとって必ずしも有益な施設になっ市民の自主的な活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 □①民間企業、NP □②市が生導役とな 促進された ■④市の支援が政策 □⑤サービスの安定 □⑦その他	定どおりでなかった。 理由/想定どおりでとで公園に対し、 O、市民団体等でなければとです。 ・・施策の自体の実施保された。	でなかった原因〉 より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった 普及が一層	た □ <市実旅 た □ <市実旅 花苗等の	にあった整備と維 画の具体的な内容・	持管理が行れ	由>	○要 ●不要
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要 性 (2)市かる	之活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 なが今必要である理由・ はな(事業の必要性) べ実施する必要性は かつ?	市内の公園は、ほーには、またのの公園は、は、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	とんどが街区公園の 分に利用さないが、 りた利用されまで、 りまずづ参加・日本では りまずづ参加・日本では かまででは かまでは かった。 では がまた。 では が進度ない では がよって では がよって では がまた。 では では では では では では では では では では では では では	事 前と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に公園としていくため、動が行われている公園との輪を広げています。では実施できないとが定められている	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬だとって必ずしも有益な施設になっ市民の自主的な活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想 ②事前確認での想 ②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 □①民間企業、NP □②市が主導で進な 促進された ■④市の支援水準が □⑤サービスの安定	定どおりでなかった。 理由/想定どおりでとで公園に対し、 O、市民団体等でなければとです。 ・・施策の自体の実施保された。	でなかった原因〉 より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった 普及が一層	た □ <市実旅 た □ <市実旅 花苗等の	にあった整備と維 画の具体的な内容・	持管理が行れ	由>	○要 ●不要 fわれ
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要 性 (2)市かる	之活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 なが今必要である理由・ はな(事業の必要性) べ実施する必要性は かつ?	市内の公園は、ほーには、またのの公園は、は、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	とんどが街区公園の 分に利用されます。 身、手づ参加を引きの公園る 活動に参市長田田田は 下中が参加を引きが表現である。 活動に参加を日本を 下中が本まります。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	事 自 と呼ばれる小規模なも ないのが現状です。ま ら、公園が地域住民に 公園としていくため、 動が行われている公園 民の輪を広げています そでは実施できない とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬だとって必ずしも有益な施設になっ市民の自主的な活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした到 □①民間企業、NP□②市が主導導ととな 促進された ■④市の支援が政策 □⑤サービスル安定 □⑦その他 <その他の内容>	定どおりでなかっ 理由/想定どおりでとない。 とで公園団体等に対し、 の、市民間の効性がったことでのはければとで目標が性がった。 ・施策の目標の実 供給基盤が確保さ	でなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た □ <市実旅 た □ <市実旅 花苗等の	にあった整備と維 画の具体的な内容・	持管理が行れ	由>	○要 ●不要 fわれ
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要 性 (2)市かる	之活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 なが今必要である理由・ はな(事業の必要性) べ実施する必要性は かつ?	市内の公園は、ほードードでは、は、は、ボードでは、またまでは、です。 では、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまではではでは、またまではではではではではではではではではではではではでは、またまではではではでは、またまではではではでは、またまではではではではではではではではではではではではではではではで	とんどが街区公園の 分に利用されていれ、防犯等特色の公園を 身まずの参加を持色の公園を 計動に参加を団体を 下下市が参加を では、 下下市が地では では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	事 前と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に公園としていくため、動が行われている公園民の輪を広げていますでは実施できないとが定められている こまり実効性が得られるにより、良質で安定し政策・施策の目標の	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、た、公園内に捨てられるゴミ、犬、とって必ずしも有益な施設になっ 市民の自主的な活動を支援し、特 は、市が管理している時に比べて 。 <その他の内容>	なく、市民にとって身近な空 描などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める 見違えるような公園になり、	●①事前確認での想 ②事前確認での想 ②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 □①民間企業、NP □②市が主導で進な 促進された ■④市の支援水改革 □⑤サービスの安定 □⑦その他 <その他の内容>	定どおりでなかっっ 理由 / 想定 におりでなかっっ 理由 / 想定 におりして という にいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	でなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった でなかった 思現に貢献した はれた	た壇など地域 た (市実施 花苗等の た。	にあった整備と維 他の具体的な内容: の支給や必要物品の 参加・協	持管理が行れ	由> 、円滑な活動が行	O要 ●不要
(事業費 2. 事業 (1)事情 があた。 (1) 事情 (2) 市かる (市)	之活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 なが今必要である理由・ はな(事業の必要性) べ実施する必要性は かつ?	市内の公園は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	とんどが街区公園の とんどが街区公口の かけれますでは 身に を があいますりの公園の では のいかので のいかので のいかので のいかので のいかので では のいかで では のいかで では のいので では では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので では のいので のいので のいので のいので のいので のいので のいで でいっかで は のいで のいで でいっかで に のいで に のいで に のいで に のいで に のいで に に に に に に に に に に に に に	事 前と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園が地域住民に公園としていくため、動が行われている公園民の輪を広げていますでは実施できないとが定められている こまり実効性が得られるにより、良質で安定し政策・施策の目標の	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬だとって必ずしも有益な施設になっ市民の自主的な活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、 くその他の内容>	なく、市民にとって身近な空 猫などの黄害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める 見違えるような公園になり、	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加するこ ○①民間企業、ア ○②市が生導で役とな 促進されたた ④市の支援が政準が □⑤サービスの安定 ○⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・1	定どおりでなかっっ 理由 / 想定 におりでなかっっ 理由 / 想定 におりして という にいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	でなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった でなかった 思現に貢献した はれた	た で	にあった整備と維 他の具体的な内容。 D支給や必要物品の	持管理が行れ 必要性の理 の貸与により	由> 、円滑な活動が行	○要 ●不要 fわれ
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要 性 (2)市かる (市:	プ活動結果指標) の評価 (DO+CHECK 評価項目 まが今必要である理由・ とは?(事業の必要性) ない。 ないました。 はないないである。 はないないである。 ないである。 ないではないである。 ないではないではないである。 ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	市内の公園は、ほずには、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	とんどが街田の公園の 分にが明まないが 、身。活動のでは、 が防犯等特とりかに見かる活動のでは、 を主動して、 を主動して、 を主動して、 を主動した。 で体が、 で体が、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がにた、公園内に捨てられるゴミ、犬にとって必ずしも有益な施設になった日は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの黄害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める 見違えるような公園になり、	●①事前確認での想 ②②事前確認での想 ②②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 □①民間企業、NP □②市が主導役と 促進された ■④市の支援がされた ■⑤サービスの安定 □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協働が 地域住民の参加により	定どおりでなかっっ 理由 / 想定 におりでなかっっ 理由 / 想定 におりして という にいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	でなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった でなかった 思現に貢献した はれた	た でき ○①当当	にあった整備と維 他の具体的な内容・ の支給や必要物品の 参加・協 初期待した以上	持管理が行れ 必要性の理 の貸与により	由> 、円滑な活動が行	○要 ●不要 fわれ
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要 性 (2)市かる (市:	一次活動結果指標) の評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はいで、事業の必要性) が実施する必要性は かかっ 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	市内の公園は、は、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	とんどが街区公園の公園の公園の公園の公園の公司の公園の公司の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の一個の公園の一個の公園の一個の公園の一個の公園の一個の公園の一個の公園の一個の公園の一個の公園の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がにた、公園内に捨てられるゴミ、犬にとって必ずしも有益な施設になった日は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの黄害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める 見違えるような公園になり、	●①事前確認での想 ②②事前確認での想 ②②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 □①民間企業、NP □②市が主導役と 促進された ■④市の支援がされた ■⑤サービスの安定 □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協働が 地域住民の参加により	定どおりでなかっっ 理由 / 想定 におりでなかっっ 理由 / 想定 におりして という にいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	でなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった でなかった 思現に貢献した はれた	た でき ○①当 ・ ② ② 当	にあった整備と維 画の具体的な内容・ の支給や必要物品の 参加・協 初期待したとより	持管理が行れ 必要性の理)貸与により	由> 、円滑な活動が行 内容	●
(事業業 2. 事業 (1)事事情 必要性 (2)市かる市 ・ ホエ、 ・ ののに	一次活動結果指標) の評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はいで、事業の必要性) が実施する必要性は かかっ 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	市内の公園は、ほ・ボートのの公園は、はず・大田間落ち葉、雪を必要でくり、「大田園」 ○①(民間 ○②(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	とんどが街区公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がにた、公園内に捨てられるゴミ、犬にとって必ずしも有益な施設になった日は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの黄害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める 見違えるような公園になり、	●①事前確認での想 ②②事前確認での想 ②②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 □①民間企業、NP □②市が主導役と 促進された ■④市の支援がされた ■⑤サービスの安定 □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協働が 地域住民の参加により	定どおりでなかっっ 理由 / 想定 におりでなかっっ 理由 / 想定 におりして という にいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	でなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった でなかった 思現に貢献した はれた	た でき ○①当 ・ ② ② 当	にあった整備と維 をの具体的な内容・ の支給や必要物品の 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初初期待したとおり	持管理が行れ 必要性の理)貸与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○要 ● 不要 「
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要性(2)市かる市	一次活動結果指標) の評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はいで、事業の必要性) が実施する必要性は かかっ 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	市内の公園は、は、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	とんどが街区公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がにた、公園内に捨てられるゴミ、犬にとって必ずしも有益な施設になった日は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 猫などの黄害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色のある公園づくりを進める 見違えるような公園になり、	●①事前確認での想 ②②事前確認での想 ②②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 □①民間企業、NP □②市が主導役と 促進された ■④市の支援がされた ■⑤サービスの安定 □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協働が 地域住民の参加により	定どおりでなかっっ 理由 / 想定 におりでなかっっ 理由 / 想定 におりして という にいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	でなかった原因> より愛情を持ち、れ は実施できなかっ なかった でなかった 思現に貢献した はたた	た でき ○①当 ・ ② ② 当	にあった整備と維 をの具体的な内容・ の支給や必要物品の 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初初期待したとおり	持管理が行れ 必要性の理)貸与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○要 ● 不要 「
(事業費 2. 事業 (1)事業 背景 必要性(2)市かる市	一次活動結果指標) の評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はいで、事業の必要性) が実施する必要性は かかっ 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	市内の公園は、ほ・ボートのの公園は、はず・大田間落ち葉、雪を必要でくり、「大田園」 ○①(民間 ○②(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	とんどが街区公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公園の公	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がにた、公園内に捨てられるゴミ、犬にとって必ずしも有益な施設になった日は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 描などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色の違えるような公園になり、 のではない状況です。 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした理 地域住民が参加する。 ○①民間企業、で進め □③市が生導で役と 値市の支援が改革が □⑥サービスの安 □③・サービスの安 実施した参加・指 働が 地域住民の参加により た。	定どおりでなかっっ 理由 / 想定 におりでなかっっ 理由 / 想定 におりして という にいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	でなかった原因〉 より愛情を持ち、 れ はは実施できなかっ ななかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容) 管理を行うことがで	た でき ○①当 ・ ② ② 当	にあった整備と維 他の具体的な内容の 力製待したとより 初期待したとより 初期待したとより 初の期待以たった 一た以上となった 一た以上となった 一	持管理が行れ 必要性の理)貸与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○ 要 ● 不 要
②・事業業 ②・事業業 (1)事情景 ・ 本本の ・ 本の ・ も ・ 本の ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ も	一次活動結果指標) の評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はいで、事業の必要性) が実施する必要性は かかっ 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	市内の公園は、ほ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんどが街区公園の公園の公園の公園の公園の公司の公司の公司の公司の公司の公司の公司の公司の公司の公司の公司の公司の公司の	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬、とって必ずしも有益な施設になっ市民の自主のな活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 描などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色の違えるような公園になり、 のではない状況です。 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ・地域住民が参加する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおりでなかっっ 理由 / でではおり でなかっっ 理由 / ででから 想定 に 対し、 のなった 神氏域 で 日本 が で の は か に か に か に か に か に か に か に か に なった ・ 確 供 給 働 の 具 本 の あ も の あ ら れ の の 適 正 な に し た 具 体 的 な 内 に た し た 具 体 の な 内	でなかった原因〉より愛情を持ち、在は実施できなかった音及が一層。現に貢献したまれた 容(又は今後、はその内容) 管理を行うことがで	た でき ○① 当当	にあった整備と雑 をの具体的な内容を の支給や必要物品の 参加・協 初期特したとと が初期特したとより 初初期特別となった到 た以上となった到 定どおり	持管理が行れ 必要性の理)貸与により 動の程度・F 理由/期待以	由> 、円滑な活動が行 内容	○要 ● 不要 「
②・事業 ②・事業 ②・事業 ②・事業 ※加・協働の工夫	一次活動結果指標) の評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はいで、事業の必要性) が実施する必要性は かかっ 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんどが街なの公園のが、 とんだが街では、 とんにいては、 かいでは、 のいでは、 のい	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬、とって必ずしも有益な施設になっ市民の自主のな活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 描などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色の違えるような公園になり、 のではない状況です。 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 <想定どおりとした ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおりでなかっっ 理由 / でではおり でなかっっ 理由 / ででから 想定 に 対し、 のなった 神氏域 で 日本 が で の は か に か に か に か に か に か に か に か に なった ・ 確 供 給 働 の 具 本 の あ も の あ ら れ の の 適 正 な に し た 具 体 的 な 内 に た し た 具 体 の な 内	でなかった原因〉より愛情を持ち、在は実施できなかった音及が一層。現に貢献したまれた 容(又は今後、はその内容) 管理を行うことがで	た でき ○①当当当 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	にあった整備と維	特管理が行れ 必要性の理り 賞与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○ 要 ● 不 要 ○ 要 要 ○ ● 不 要
②・事業 ②・事業 ②・事業 ②・事業 ※加・協働の工夫	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) ない。 実施する必要性は かか? 実施の必要性)	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんどが街なの公園のが、 とんだが街では、 とんにいては、 かいでは、 のいでは、 のい	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬、とって必ずしも有益な施設になっ市民の自主のな活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 描などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色の違えるような公園になり、 のではない状況です。 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ・地域住民が参加する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおりでなかっっ 理由 / でではおり でなかっっ 理由 / ででから 想定 に 対し、 のなった 神氏域 で 日本 が で の は か に か に か に か に か に か に か に か に なった ・ 確 供 給 働 の 具 本 の あ も の あ ら れ の の 適 正 な に し た 具 体 的 な 内 に た し た 具 体 の な 内	でなかった原因〉より愛情を持ち、在は実施できなかった音及が一層。現に貢献したまれた 容(又は今後、はその内容) 管理を行うことがで	た でき ○①当当当 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	にあった整備と雑 をの具体的な内容を の支給や必要物品の 参加・協 初期特したとと が初期特したとより 初初期特別となった到 た以上となった到 定どおり	特管理が行れ 必要性の理り 賞与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○ 要 ● 不 要
2. 事 (1) 事 書 景 (2) ホーム協働の H 夫 環境へ (2) ホーム (本) ・	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) ない。 実施する必要性は かか? 実施の必要性)	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんだが明されています。 と人に対するは、 と人に対するは、 とかに対するは、 とかに対するは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	事 前 と呼ばれる小規模なもまないのが現状です。まら、公園が地域とほに公園との輪を広げていまる公園民の輪を広げています。では実施できないとが定められている。 おり実められている おり実め 良質で安安 の策・施策の目標の容	前 評 価ので、施設内容が画一的で特色がた、公園内に捨てられるゴミ、犬、とって必ずしも有益な施設になっ市民の自主のな活動を支援し、特は、市が管理している時に比べて、	なく、市民にとって身近な空 描などの糞害、公園内樹木の ていない状況です。こうした 色の違えるような公園になり、 のではない状況です。 他のな内容 ののな内容 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ・地域住民が参加する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおりでなかっっ 理由 / でではおり でなかっっ 理由 / ででから 想定 に 対し、 のなった 神氏域 で 日本 が で の は か に か に か に か に か に か に か に か に なった ・ 確 供 給 働 の 具 本 の あ も の あ ら れ の の 適 正 な に し た 具 体 的 な 内 に た し た 具 体 の な 内	でなかった原因〉より愛情を持ち、在は実施できなかった音及が一層。現に貢献したまれた 容(又は今後、はその内容) 管理を行うことがで	た でき ○①当当当 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	にあった整備と維	特管理が行れ 必要性の理り 賞与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○ 要 要 要
②・事業業 ②・事業業 (1)事情景 ・ 本本の ・ 本の ・ も ・ 本の ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ も	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) ない。 実施する必要性は かか? 実施の必要性)	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんだが街区公園は、 とんに利取等特別の名詞を は近手可能の公園を は近手可能の公園を は近手可能の公園を は近手で体がです。 は進め供証ととこるよりは では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	事 自 と呼ばれる小規模なも ないのが現状です。ま ら、公園としていくため 動が行われている公園 民の輪を広げていま ができない とが定められている まり実 が使 のは実施できない とが定められている まりまり、 施策の目標の 容	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が た、公園内に捨てられるゴミ、大 とって必ずしも有益な施設になっ 市民の自主的な活動を支援し、特 は、市が管理している時に比べて 。 <その他の内容>	なく、市民にとって身近な空間などの養害、公園内樹木のていない状況です。こうした色のある公園づくりを進める見違えるような公園になり、 (本の本の) (本の本の) (本の本の) (本の本の) (本の本の本の) (本の本の本の本の) (本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の	●①事前確認での想 ②②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 □③定計を対 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □④では、 □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加	定どおりでなかった。 理由と いか では おりし でなった を は は で で と が は で で と で で で と で で で で で で で で で で で で	でなかった原因〉、 れでなかった原持ち、 れのより でなかった原持ちなかった原持ちなかった。 はなかっ一層 思現に貢献した。 まれた マスト は なからで で で で で で で で で で で で で で で で で で で	た でき ○①①当当当 (本)	にあった整備と維	特管理が行れ 必要性の理り 賞与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○ 要 要 要
②・事業業 ②・事業業 (1)事情景 ・ 本本の ・ 本の ・ も ・ 本の ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ も	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) ない。 実施する必要性は かか? 実施の必要性)	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんだが明されています。 と人に対するは、 と人に対するは、 とかに対するは、 とかに対するは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	事 間と呼ばれる小規模なもないのが現状です。まら、公園としていくため、国ががわれている公園民の輪を広げていますでは実施できないとが定められている。 おり実り 良質で を	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色がにた、公園内に捨てられるゴミ、大きとって必ずしも活動を支援し、特による、市が管理している時に比べて、。 <その他の内容> 工夫の具体 市民の自主的な活動に、市が教料、レンガ等の支給、草刈機の 取組む	なく、市民にとって身近な空間などの養害、公園内樹木のていない状況です。こうした色のある公園づくりを進める見違えるような公園になり、 (本の本の) (本の本の) (本の本の) (本の本の) (本の本の本の) (本の本の本の本の) (本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③定とだが多加する。 □③市が生導で役とな 個市の支援が水政準の一でスのの世 <その他の内容> 実施した参加・計 参加・協働がま 地域住民の参加によりた。	定どおりでなかった。 理由というでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	でなかった原因〉より愛情を持ち、在は実施できなかった音及が一層。現に貢献したまれた 容(又は今後、はその内容) 管理を行うことがで	た でき ○①当当当当 (にあった整備と維	特管理が行れ 必要性の理り 賞与により	由> 、円滑な活動が行 内容	○ 要 要 要
2. 事 (1) 背 市 あ (市 :	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) ない。 実施する必要性は かか? 実施の必要性)	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんどが街区公園の (大)	事	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、た、公園内に含するはなた。大きで、公園内に含するはないで、大きで、公園内に含まりな活動を支援し、特に、市が管理している時に比べて、。 <その他の内容> <その他の内容> 大 「大・の他の内容> 「大・の他の	なく、市民にとって身近な空間などの養害、公園内樹木のていない状況です。こうした色のある公園づくりを進める見違えるような公園になり、 (本の本の) (本の本の) (本の本の) (本の本の) (本の本の本の) (本の本の本の本の) (本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の	●①事前確認での想 ②②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 □③定計を対 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □④では、 □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥を加・ □⑥では、 □⑥を加・ □⑥を加	定どおりでなかった。 理由と いか では おりし でなった を は は で で と が は で で と で で で と で で で で で で で で で で で で	でなかった原因>、 れ でなかった原因>、 れ でなかった原因>、 れ でなかった原因>、 れ が は 実施できなかっ 一	た でき ○① リック でき ○② リック でき ○③ リック でき ○④ リック いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	にあった整備と維	持管理が行れ 必要性の理り)貸与により 動の程度・F 理由/期待以 意への配慮 た	由> 、円滑な活動が行 内容	○ ● 不不要要
2. 事 (1) 背 市 あ (市 :	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) をかっと要性はかっと要性の必要性) をかっまたの必要性)	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんだが街区公園は、 とんに利取等特別の名詞を は近手可能の公園を は近手可能の公園を は近手可能の公園を は近手で体がです。 は進め供証ととこるよりは では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	事 もまに はい は で は ない は で は い は で は い ない な	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、た、公園内に捨てられるゴミ、な、大きとって必ずしもな活動を支援し、なっちに、市が管理している時に比べて、 ・	なく、市民にとって身近な空間などの養害、公園内樹木のていない状況です。こうした色のある公園になり、 とのある公園ではないない最近である。 見違えるような公園になり、 のののでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③定とだが多加する。 □③市が生導で役とな 個市の支援が水政準の一でスのの世 <その他の内容> 実施した参加・計 参加・協働がま 地域住民の参加によりた。	定どおりでなかった。 理由/をとおりでなかった。 理由/をとおりでなかった。 理由/でなり、市にはというでは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	でなかった原因>、 れ でなかった原因>、 れ でなかった原 原	た でき ○①① 想想 「は成 「でき ○②②③ 「 「 「 「 「 「 「	にあった整備と維 を	持管理が行れ 必要性の理り)貸与により の程度・F 理由/期待以 竟への配慮 た	由> 、円滑な活動が行 内容	○ 要要要
2. 事 (1) 背 市 あ (市 :	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) をかっと要性はかっと要性の必要性) をかっまたの必要性)	市内の公園は、「すっぱい」 「	とんどが街区公園の (大)	事 ! と呼ばれる小規模なもまにいるいのと、のというには実施でしていていいると、のとしていていいないをとができないるとができない。 まのもままが、	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、た、公園内に捨てられるゴミ、な、大きとって必ずしもな活動を支援し、なっちに、市が管理している時に比べて、 ・	なく、市民にとって身近な空間などの養害、公園内樹木のていない状況です。こうした色のある公園になり、 とのある公園ではないない最近である。 見違えるような公園になり、 のののでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 □③定によりとした可 □③では、 □④では、 □③では、 □④では、 □○では、	定どおりでなかっっ 理由/でなおりしことではありてなった。 理由/でなり、ことでは、 想定園 団体効性の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本	でなかった原因〉、 れ でなかった原因〉、 れ でなかった原 原	を	にあった整備と維	持管理が行れ 必要性の理り)貸与により の程度・F 理由/期待以 竟への配慮 た	由> 、円滑な活動が行 内容 下であった原因>	○ ● 不不要要要
2. 事 (1) 事情 (1) 事情 (2) 市ある市: (3) 市本(市): (4) 市工(体制: (5) 市本(市): (6) 中工(体制: (7) 市本(市): (8) 中本(中本): (1) 目標 (1) 目標 (1) 目標 (1) 目標 (2) 市本(市): (3) 日本(中本): (4) 日本(中本): (5) 日本(中本): (6) 日本(中本): (7) 日本(中本): (8) 日本(中本): (1) 日本(中本): (2) 日本(中本): (3) 日本(中本): (4) 日本(中本): (5) 日本(中本): (6) 日本(中本): (7) 日本(中本): (8) 日本(中本): (9) 日本(中本): (1) 日本(中本): (1) 日本(中本): (2) 日本(中本): (3) 日本(中本): (4) 日本(中本): (5) 日本(中本): (7) 日本(中本): (8) 日本(中本): (9) 日本(中本): (1) 日本(中本): (1) 日本(中本): (2) 日本(中本): (3) 日本(中本): (4) 日本(中本): (5) 日本(中本): (6) 日本(中本): (7) 日本(中本): (7) 日本(中本): (7) 日本(中本): (7) 日本(中本): (7) 日本(中本): (7) 日本(中本):	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) をかっと要性はかっと要性の必要性) をかっまたの必要性)	市内の公園は、「すっぱい」 「	とんに対する活面を はいる はいる は は は は は は は は は は は は は は は は	事 は まなまに、	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた、公園内に合うに、公園内に含すられる活動を支援しい、特に、ののすりもな活動を支援しい、特に、市が管理している時に比べて、 ・	なく、市民にとって身近な空間などの大切では、公園内樹木のでいない状況です。こうした色のあるような公園になり、	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③電が主導さる。 □①民間企業、で役た 「便治の主境が改革がである。 □③市が生導され接が改革のでである。 □③では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	定どおりでなかった。 理由というなが、 ではおり、 ではおりでなから、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	でなかった原因〉、 れ でなかった原因〉、 れ でなかった原因〉、 れ で は 実施できなかっ	を でき	にあった整備と維 を	持管理が行れ 理り が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	曲 > 、 円滑な活動が行 内容 下であった原因 > 策について	○ ● 不不要要要
2. 事事 (1) 背 事事 事	で評価(DO+CHECK 評価項目 をが今必要である理由・ はな?(事業の必要性) をかっと要性はかっと要性の必要性) をかっまたの必要性)	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんに対する活動を はいる はいい はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	事 もまに、 は で は で は で は で は で は で は で ない	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた、公園内でものできたが、公園内に含する益な施設に、特にとって必ずしも活動を支援したべて、方式の自主的な活動に、市が管理している時に、市が管理している方式をの他の内容> 「本の他の内容> 「本の体の内容> 「本の体の内容>	ク% なく、市民にとって身近な空間のでは、	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③忠はは民間が全導で進とない。 ○③記ではないでは、 ○③記では、 ○』記では、 ○』記では、 ○』記では、 ○』記では、 ○』記では、 ○	定どおりでなかっった。 理由/でなおりした。 理由/でなった確供 を変える場合では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	でなかった原因〉、 れ でなかった原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち なかから 一直 献した は実施でた 層 した は (又の内容)ことがで 後、「は (マの内容)ことがで で 理をを行うことがで (全種 (本) で	を でき	にあった整備と維 を	持管理が行れ で 要性のよ と で で の 配慮 を た 原因 と に の の 配慮 を と に で の で が が が が が が が が が が が が が が が が が	由 > 、 円滑な活動が行 内容 下であった原因 > なかった	O ● A T B T T T T T T T T T T T T T T T T T
2. 事業 2. 事事 (1) 事情 かる市 (2) あん市 (2) あん市 (2) あん市 (3) 本のにしている。 (4) 環境への配慮 (5) したいでは、 (6) したいでは、 (7) 事情 (8) 事業を表現している。 (1) 目標 (2) 事いの記念 (3) 事業を表現している。 (4) 事業を表現している。 (5) 日本の記念 (6) 日本の記念 (7) 日本の記念 (8) 日本の記念 (9) 日本の記念 (1) 日本の記念 (1) 日本の記念 (2) 事に対している。 (2) 事に対している。 (3) 事業を表現している。 (4) 日本の記念 (5) 日本の記念 (6) 日本の記念 (7) 日本の記念 (8) 日本の記念 (9) 日本の記念 (1) 日本の記念 (2) 日本の記念 (2) 日本の記念 (2) 日本の記念 (3) 日本の記念 (4) 日本の記念 (5) 日本の記念 (6) 日本の記念 (7) 日本の記念 (7) 日本の記念 (7) 日本の記念 (7) 日本の記念 (7) 日本の記念 (7) 日本の記念 (9) 日本の記念 (1) 日本の記念 (2) 日本の記念 (2) 日本の記念 (2) 日本の記念 (2) 日本の記念 (3) 日本の記念<	で評価(DO+CHECK 評価項目 をか今必要である理由・ はで(事業の必要性) をはっているの必要性はかっているの必要性) 参加やあかっである理由・ をないっとの必要性はかかった。	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんに対する活下等は、という。活下で体が、身。活下で体がは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点で	事 !	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた、公園内でものできたが、公園内に含する益な施設に、特にとって必ずしも活動を支援したべて、方式の自主的な活動に、市が管理している時に、市が管理している方式をの他の内容> 「本の他の内容> 「本の体の内容> 「本の体の内容>	ク% なく、市民にとって身近な空間のでは、	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③をとおりとした。 □③では、 N P がま導で後た。 □③では、 N P がまず後に、 N P がまさればがまずるとのでは、 N P がまさればがままればが、 のでは、 N P がままれば、 のでは、 N P がままれば、 のでは、 N P がままれば、 のでは、 N P がままれば、 N P がままれば、 のでは、 N P がままれば、 N P がまます。	定どおりでなかっった。 理由というながられている。 をできまりでなからなった。 をできます。 ででは、	でなかった原因〉、 れ でなかった原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち なかから 一直 献した は実施でた 層 した は (又の内容)ことがで 後、「は (マの内容)ことがで で 理をを行うことがで (全種 (本) で	を でき	にあった整備と維 を	持管理が行れ で 要性のよ と で で の 配慮 を た 原因 と に の の 配慮 を と に で の で が が が が が が が が が が が が が が が が が	由 > 、 円滑な活動が行 内容 下であった原因 > なかった	O ● 不 要 要
2. 事業 (1) 書書業 (2) あのに (3) 本のに (4) 本のに (5) 本のに (6) 本のに (7) 本のに (8) 本のに (1) 書書 (2) 本のに (1) 目標 (2) 本のに (1) 目標 (2) 本のに (2) 本のに (3) 本のに (4) 本のに (5) 本のに (6) 本のに (7) 本のに (8) 本のに (9) 本のに (1) 日本 (2) 本のに (3) 本のに (4) 本のに (5) 本のに (6) 本のに (7) 本のに (7) 本のに (8) 本のに (9) 本のに (1) 本のに (2) 本のに (4) 本のに (5) 本のに (6) 本のに (7) 本のに (7) 本のに (7) 本のに (7) 本のに </th <td>で評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はな?(事業の必要性) が実施する必要性はかか? 実施する必要性はかか? である必要性はかか? ないである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を</td> <td>市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>とんに対する活下等は、という。活下で体が、身。活下で体がです。 とのにいる では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td>事 もまに、と呼ばれる現がでは、このでのでのでのでのでのでのでのでは、</td> <td>前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた、公園内でものできたが、公園内に含する益な施設に、特にとって必ずしも活動を支援したべて、方式の自主的な活動に、市が管理している時に、市が管理している方式をの他の内容> 「本の他の内容> 「本の体の内容> 「本の体の内容></td> <td>ク% なく、市民にとって身近な空間のでは、</td> <td>●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③忠は住民が参加・1回②市が生導たと、第一ででは、1を1のでは、1を1</td> <td>定どおりでなかっった。 理由というながられている。 をできまりでなからなった。 をできます。 ででは、</td> <td>でなかった原因〉、 れ でなかった原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち なかから 一直 献した は実施でた 層 した は (又の内容)ことがで 後、「は (マの内容)ことがで で 理をを行うことがで (全種 (本) で (本) で</td> <td>を でき</td> <td>にあった整備と維 を</td> <td>持管理が行れ で 要性 の と で が の 配慮 を た 原因 と に の の 配慮 を と ど おり で が まりり で が か か の で か か か り で が か か り で が か か か か か か か か か か か か か か か か か か</td> <td>由 > 、 円滑な活動が行 内容 下であった原因 > なかった</td> <td>O ● 不 要 要 要</td>	で評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はな?(事業の必要性) が実施する必要性はかか? 実施する必要性はかか? である必要性はかか? ないである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんに対する活下等は、という。活下で体が、身。活下で体がです。 とのにいる では、	事 もまに、と呼ばれる現がでは、このでのでのでのでのでのでのでのでは、	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた、公園内でものできたが、公園内に含する益な施設に、特にとって必ずしも活動を支援したべて、方式の自主的な活動に、市が管理している時に、市が管理している方式をの他の内容> 「本の他の内容> 「本の体の内容> 「本の体の内容>	ク% なく、市民にとって身近な空間のでは、	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③忠は住民が参加・1回②市が生導たと、第一ででは、1を1のでは、1を1	定どおりでなかっった。 理由というながられている。 をできまりでなからなった。 をできます。 ででは、	でなかった原因〉、 れ でなかった原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち なかから 一直 献した は実施でた 層 した は (又の内容)ことがで 後、「は (マの内容)ことがで で 理をを行うことがで (全種 (本) で	を でき	にあった整備と維 を	持管理が行れ で 要性 の と で が の 配慮 を た 原因 と に の の 配慮 を と ど おり で が まりり で が か か の で か か か り で が か か り で が か か か か か か か か か か か か か か か か か か	由 > 、 円滑な活動が行 内容 下であった原因 > なかった	O ● 不 要 要 要
2. 事業 2. 事業 (1) 背 市あら市: 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) 目標 事業 東のにした (2) 事い 東で (2) 事業 事業 (2) 事業 (3) 事業 (4) 事業 (5) 事業 (6) 日本 (7) 事業 (8) 事業 (9) 日本 (1) 日本 (1) 日本 第2 日本 (2) 事業 (3) 事業 (4) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (2) 日本 (2) 日本 (2) 日本 (2) 日本 (2) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (7) 日本 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (2) 日本 <td>で評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はな?(事業の必要性) が実施する必要性はかか? 実施する必要性はかか? である必要性はかか? ないである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を</td> <td>市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>とんに対しています。 との の内 りゅっこここれの で は しか に か で は しか に か で は しか に か で は と り い か が 進 提 保 こ る れ に い る の 内 り り し て こ て 正 成 歯 面 自 有 博 値 (b) (%) は る 事 業 費 削 減 額 (d) (千円) 26</td> <td>事 もまに、と呼ばれる現がでは、このでのでのでのでのでのでのでのでは、</td> <td>前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた、公園内でものできたが、公園内に含する益な施設に、特にとって必ずしも活動を支援したべて、方式の自主的な活動に、市が管理している時に、市が管理している方式をの他の内容> 「本の他の内容> 「本の体の内容> 「本の体の内容></td> <td>ク% なく、市民にとって身近な空間のでは、</td> <td>●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③忠は住民が参加・1回②市が生導たと、第一ででは、1を1のでは、1を1</td> <td>定どおりでなかっった。 理由というながられている。 をできまりでなからなった。 をできます。 ででは、</td> <td>でなかった原因〉、 れ でなかった原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち なかから 一直 献した は実施でた 層 した は (又の内容)ことがで 後、「は (マの内容)ことがで で 理をを行うことがで (全種 (本) で (本) で</td> <td>を でき</td> <td>にあった整備と維 を</td> <td>持管理が行れ で 要性 の と で が の 配慮 を た 原因 と に の の 配慮 を と ど おり で が まりり で が か か の で か か か り で が か か り で が か か か か か か か か か か か か か か か か か か</td> <td>由 > 、 円滑な活動が行 内容 下であった原因 > なかった</td> <td>○ ● 不不要要</td>	で評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はな?(事業の必要性) が実施する必要性はかか? 実施する必要性はかか? である必要性はかか? ないである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかでである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 要性はなかである。 を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を	市内の公園は、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とんに対しています。 との の内 りゅっこここれの で は しか に か で は しか に か で は しか に か で は と り い か が 進 提 保 こ る れ に い る の 内 り り し て こ て 正 成 歯 面 自 有 博 値 (b) (%) は る 事 業 費 削 減 額 (d) (千円) 26	事 もまに、と呼ばれる現がでは、このでのでのでのでのでのでのでのでは、	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた、公園内でものできたが、公園内に含する益な施設に、特にとって必ずしも活動を支援したべて、方式の自主的な活動に、市が管理している時に、市が管理している方式をの他の内容> 「本の他の内容> 「本の体の内容> 「本の体の内容>	ク% なく、市民にとって身近な空間のでは、	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③忠は住民が参加・1回②市が生導たと、第一ででは、1を1のでは、1を1	定どおりでなかっった。 理由というながられている。 をできまりでなからなった。 をできます。 ででは、	でなかった原因〉、 れ でなかった原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち かった 原持ち なかから 一直 献した は実施でた 層 した は (又の内容)ことがで 後、「は (マの内容)ことがで で 理をを行うことがで (全種 (本) で	を でき	にあった整備と維 を	持管理が行れ で 要性 の と で が の 配慮 を た 原因 と に の の 配慮 を と ど おり で が まりり で が か か の で か か か り で が か か り で が か か か か か か か か か か か か か か か か か か	由 > 、 円滑な活動が行 内容 下であった原因 > なかった	○ ● 不不要要
2. 事業業 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 が (1) 事情 市本(市) 市工(体 環い (1) 目標 事い 事い 事が	で評価(DO+CHECK 評価項目 が今必要である理由・ はな?(事業の必要性) が実施する必要性は がの必要性) 参加やおのの必要性) 参加やるか? だいり) 配慮して事業を進めて な数定は適切か?	市内の公園は、「・「・「・「・「・「・「・「・」・「・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」	とんに対する活すに、という。 活りで体が お導流ス援図 という。 まり で体が は 世の はいがいまうに かい は では という は では かい	事	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた。公園内でも高端を含めているができないでは、特別によっている時には、市が管理している時には、市が管理している時にはない。 マその他の内容> 大きの他の内容> 「はない、中がでしている。 大きの対策の実施でいる。 「はない、中がでしている。 「はないるいるいるいる。 「はないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	なく、市民にとって身近な空間の大きにとって身近な空間がない。 などの状況です。と進るとのでは、 のの状況では、 のの状況では、 ののでは、 ののでは	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③忠は住民が参加・1回②市が生導たと、第一ででは、1を1のでは、1を1	定どおりでなかった。 理由というながられている。 理由というながられている。 では、対すながいでは、対すなが、では、対している。 を作性になった。	でなかった原内へ、インストリー・マンストリー・アンストリー・マンストリー・マンストリー・マンストリー・マンストリー・マンストリー・アンスト	を でき	にあった整備と維 を	持管理が行れ理りの登上には、「国際をはいる。」では、「国際はいる。」では、「国際をはいる。」では、「国際のは、」」では、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国の、」」のは、「国の、「国際のは、「国際のは、「国際のは	由 > 内容	○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○●
2. 事業業 2. 事業業 (1) 背 市ある市: 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) 目標である。 (2) か 準さる。 構成のにか 標準である。 (3) 投資 (3) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (5) 日本のにか 標準である。 (6) 日本のにか にか 標準である。 (7) 日本のに か にか 標準である。 (8) 日本のに か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	を対する。 を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して	市内の公園は、「・「・「・「・「・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「	とんに対する活動を では とんに対する では とんに対する では とんに対する では とんに対する では とんに対する では とんに対する です でない から 導施ス援図 かった が 進提保証 こる から できた とこる よい かき 参き と声 にして では 協働 画画 直接 かいる ここに 市な こま で にんじ は 他	事 もまに、 ない、現様すには、 はい、現様すには、 はい、現様すには、 はい、のい。 のいのという。 のいのできたがです。 はいでは、 ないのできたがです。 はいでは、 ないのできたがです。 はいのでするという。 はいのでするという。 はいのでするという。 はいのでするという。 はいのでするという。 はいのでは、 ないのでは、 ないのでするという。 はいのでは、 ないのでするという。 はいのでするという。 はいのでするというではいいいのでするというではいいいでするといいではいいでするというではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいでは	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大きな、公園内でものできた。	なく、市民にとって身近な空間ないない。	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③定がま導で役となりとした。 ○③では、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	定どおりでなかっつ 理由と いおりし でなった を は かって と がり でなから で と がり し で なった を は し た の なった を は 体 性 に か の は で の れ を 体 体 性 に か の な の な の な の な の な が し た の の る あ る が の ら れ の の る の る の る の る の る の る の な が い の と で の れ の な で が い の な で が い の な で が い の な で が い の な で が い の な で が い の な で が い の な で が い の の な で が い の の な で が い の の な で が い の の な で が い の な で が い の の な で が い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	でなかった原因〉、 れでよりでは、 でなかった原内 かった原内 かった原内 かった原内 かった 原内 かった 原内 かった では、	を で	にあった整備と雑 を	持管理が行れ理りの登上には、「国際をはいる。」では、「国際はいる。」では、「国際をはいる。」では、「国際のは、」」では、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国の、」」のは、「国の、「国際のは、「国際のは、「国際のは	由 > 内容	○ ● ▼ 要 要 要
2. 事業業 2. 事業業 (1) 背 市ある市: 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) 目標である。 (2) か 準さる。 構成のにか 標準である。 (3) 投資 (3) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (5) 日本のにか 標準である。 (6) 日本のにか にか 標準である。 (7) 日本のに か にか 標準である。 (8) 日本のに か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	で評価(DO+CHECK 評価項目 この評価(DO+CHECK 評価項目 この評価のの必要性は のの必要性は のの必要性は のの必要性は のの必要性は のの必要性は のの必要性 このの必要性は のの必要性 このの必要性 こののの こののの こののの こののの こののの こののの こののの こ	市内の公園は、「・「・「・「・「・「・「・「・」・「・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」	とんに対する活動を では とんに対する では とんに対する では とんに対する では とんに対する では とんに対する では とんに対する です でない から 導施ス援図 かった が 進提保証 こる から できた とこる よい かき 参き と声 にして では 協働 画画 直接 かいる ここに 市な こま で にんじ は 他	事 もまに、 ない は でい ない	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、 た、公園内に捨てられるゴミになっちに、公園内に捨てられるゴミになっちにとって必ずしもな活動を支援し、べて、 での他の内容〉 「大きの他の内容〉 「大きの他の内	なく、市民にとって身近な空間ないない。	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③をとどおりとした。 ○③では、NPMので	定どおりでなかった。 理由/とどおりでなかった。 理由/とどおりでなから、 理由/とどおりでなから、 でとおりでなった。 でとおりでなった。 にとおりでなった。 にとおりでなった。 にとおりでは、 のなった。 にとおりでは、 のなった。 にとおりでは、 のなった。 にとおりでは、 のなった。 にはというでは、 のなった。 にはというでは、 のなった。 には、 のなった。 のは、 のない	でなかった原内	を で	にあった整備と雑 を	持管理が行れ理りの登上には、「国際をはいる。」では、「国際はいる。」では、「国際をはいる。」では、「国際のは、」」では、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国の、」」のは、「国の、「国際のは、「国際のは、「国際のは	由 > 内容	O ●
2. 事業業 2. 事業業 (1) 背 市ある市: 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) 目標である。 (2) か 準さる。 構成のにか 標準である。 (3) 投資 (3) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (4) 日本のにか 標準である。 (5) 日本のにか 標準である。 (6) 日本のにか にか 標準である。 (7) 日本のに か にか 標準である。 (8) 日本のに か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	を対する過程を実現である。 「ないでは、 をできます。 をできます。 をできます。 をできます。 をできます。 をできます。 をできません。 をできま	市内の公園は、「・「・「・「・「・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「	とんに対することが街されています。 との 内別 では、 との 内別 では、 との にから、 身。 活りで体 か は に と り い か は で は と り い か は 進 な ま 立 こ こ こ こ れ い な の 内り り し て こ こ に い か で ま で は 像 面 面 直 携 で は し い な る 事 業 費 削 減 額 (の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事 もまに、 ない は でい ない	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が、 た、公園内に捨てられるゴミになっちに、公園内に捨てられるゴミになっちにとって必ずしもな活動を支援し、べて、 での他の内容〉 「大きの他の内容〉 「大きの他の内	なく、市民にとって身近な空間ないない。	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③申前を記での想 ○③同かまででは、	定どおりでなかった。 理由と、おりしています。 理由とではおりでなから、 理由とではなりにできます。 でではないます。 でではないます。 でのはないではないます。 でのはないではないではないでは、 でのはないではないではないでは、 でのはないではないではないでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 で	でなかった原内	を で	にあった整備と雑 を	持管理が行れ理りの登上には、「国際をはいる。」では、「国際はいる。」では、「国際をはいる。」では、「国際のは、」」では、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国の、」」のは、「国の、「国際のは、「国際のは、「国際のは	由 > 内容	O ●
2. 事業業 2. 事業業 (1) 背書 市 ある市: (2) あんで 市工体 環いる (1) 目標 事業者 おおお市: (2) いまり (3) 投行 (3) 投行 (4) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (1) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (7) 日本 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (1) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (7) 日本 (7) 日本 (7) 日本 (7) 日	で評価(DO+CHECK 評価(DO+CHECK 評価項目 この評価(DO+CHECK 評価項目 この評価ののの必要性と このでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	市内の公園は、「・「・「・「・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」	とんに対することが街されています。 との 内別 では、 との 内別 では、 との にから、 身。 活りで体 か は に と り い か は で は と り い か は 進 な ま 立 こ こ こ こ れ い な の 内り り し て こ こ に い か で ま で は 像 面 面 直 携 で は し い な る 事 業 費 削 減 額 (の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事 もまに、と呼ばれる現状で域では、この場合では、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、この	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた。公園内においる時にもな活動を支援しい、特市民の自主のの内容> <その他の内容> <その他の内容> <その他の内容> 「市民の自主的な活動に、市が物が料、レンガ等の支給、草刈機のが料、レンガ等の支給、草刈機のが料、レンガ等の支給、草刈機のが料、レンガ等の支給、草刈機のがおります。 「国標値の妥当性のチェッータ・事実に受しているとがいるといいではないはない対象が有る場合、比較対象例におけてある。実施予定の対策の対応の対応の実施。 「国語を対象が有る場合、上、数対象例におけてある。実施予定の対策の対応の実施。」 「国語を対象が有る場合、上、数対象例におけてある。実施予定の対策の対応ではない対象が同じ。受益の対域である。 「国語を対象が有る場合、上、数対象が同じ、日本の対域である。また。予定の対策の対域である。また。予定の対策の対域である。また。予定の対策の対域である。また。予定の対策の対域である。また。予定の対策の対域である。また。「国語を対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対	なく、市民にとって身近な空間ないない。	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③申前を記での想 ○③同かまででは、	定どおりでなかった。 理由と、おりしています。 理由とではおりでなから、 理由とではなりにできます。 でではないます。 でではないます。 でのはないではないます。 でのはないではないではないでは、 でのはないではないではないでは、 でのはないではないではないでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 で	でなかった原内	を で	にあった整備と雑 を	持管理が行れ理りの登上には、「国際をはいる。」では、「国際はいる。」では、「国際をはいる。」では、「国際のは、」」では、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国の、」」のは、「国の、「国際のは、「国際のは、「国際のは	由 > 内容	O ●
2. 事業 (1) 背 (1) 背 (1) 背 (2) ホーム (1) 目 (2) ホーム (1) 目 (3) 投 (2) まい 目 (4) 日 (4) 日 (5) 日 (6) 日 (7) 日 (8) 日 (8) 日 (9) 日 (9) 日 (1)	(大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)	市内の公園は、「・「・「・「・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」	とんに対する活面を はいる はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから	事	前 評 価 ので、施設内容が画一的で特色が大いた。公園内においる時に大公園内においる時にしている時にして、特別は、市が管理している時に、市が管理しているできません。 マーク・事実にもいんである。 「世界ではない。」 「はない。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	なく、市民にとって身近な空間ないない。	●①事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○②事前確認での想 ○③申前を記での想 ○③同かまででは、	定どおりでなかった。 理由と、おりしています。 理由とではおりでなから、 理由とではなりにできます。 でではないます。 でではないます。 でのはないではないます。 でのはないではないではないでは、 でのはないではないではないでは、 でのはないではないではないでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 で	でなかった でなかった にはより でもより でもなった にはなかかった にはなかがした にはなかがした でもなができた でもなができた でもなができた でもなができた でもながでする。 でもなった でもながでする。 でもなった でもなった でもなった でもなった。 では、 できなののでは、 でもないでする。 では、 でもないでする。 では、 でもないでする。 では、 でもないでする。 では、 でもないでする。 では、 でもないでする。 では、 でもないでする。 では、 でもないでする。 では、 でもないでする。 でもないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	を で	にあった整備と雑していた。 を動文を を動文を を動文を を動文を を動文を を動文を を動文を を動文を を動文を を動力したとする ないとなる をおりりでなかった ののでです。 ののででする ののでです。 ののでです。 ののででする ののででする	持管理が行れ理りの登上には、「国際をはいる。」では、「国際はいる。」では、「国際をはいる。」では、「国際のは、」」では、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国際のは、「国の、」」のは、「国の、「国際のは、「国際のは、「国際のは	由 > 内容	O ●

事	業コード	809		課コード		0704	会計種	引 一般会	計			予算の種	重類 ■i	政策 □経常	□なし	:L
1	事業の概要 (PLAN)															
••	字末VW女(I LAN)		基本事業 公園	園維持管理				宇施計	†画への							
		①事業名	個別事業 公園	園のバリアフリー化推進					づけ	• ;	有 〇無	(2)	部課名	都市部・公園緑地課		
		③事業主体 ⑤事業期間	●市 C	〇その他(2年度 ~			④対象地⑥担当暗		□我孫子		湖北 3 人	□新木 (換算人数	□布佐 ■全市 0.25 人)		
(1)事	業概要	(7)事業費		<u>₩</u>						(当 初)) 入) 千円	(ラち人件費	2,175 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円			当該(開	開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費	千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	62101		プロジェクト	重点 2		画地区別)位置づけ	0:	有 ●無	台	門別計画への	(計画名)		
		### D ##		持つ機能に配慮し、市内		の位置づけ や城跡、古墳などの歴史的	り・文化的資源を活		位直つけ		・園とするため、適正	な公園管理	位置づけ を行なう			
(2)目	的	施策目的 · 展開方向	ながら、市街地	地で公園が不足している	一部の区域において	公園の整備を検討します。 主要公園における遊具の3	また、誰もが安心	して 事業	目的							
			誰もが安心・安		よう出入口や園路等	のバリアフリー化の修繕コ					バリアフリー化工事 あたっては、公共施					
			民公園となる	5. 7. 四正な配が自在でし	,				核年度 5計画	ず木とログに	ODIC J CIGC A PAIL	以 寸 旭 工 日	在推進事本頃で	1/13 7 · 0 °		
(3)事	業内容	内 容						+ 741.	10112							
								当該	 核年度	手賀沼公園のバ	リアフリー化工事の	完了		想。想	定値	1
									吉果指標						績値	0
	成目標(期待する成果)	市民が安全かつ安	心して利用できる	達成目 る公園として、大規模公	標(期待する成果)	備をする。			票種類	バリアフリー化	指 修繕工事による快適		園 数	単位 (5)現況		6) 目標値
	該年度			る公園として、大規模公					ī接 		実施の公園調査			箇所	10	11
	和 3年度			る公園として、大規模公					ī接 		修繕工事による快適	な大規模公	園 数	箇所		11
令	和 4年度 					ため、段差解消などのバリ	アフリー化が上り	·	ī接 ————	7.7777 10	11岁間エチ155 0 1大陸	-87/36/22	m 3A	箇所		11
(7)事	業実施上の課題と対応	となっている。		E O JE O COM	ini o a ne ce co o	CONTRACTOR CONTRACTOR	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		案検討	0;	有 ●無					
			平成31年度	Į		令和 2年度				- 令和	1 3年度			令和 4年度		
		政 策	内 容	金額(千円)	策 :	内 容	予算額(千円) 決	5	₹:	内 容		額(千円)	政策	内 容		額(千円)
		*: 布佐南公園バリ				リアフリー整備工事(事故 オ価格調査業務委託	31, 449 495	0 396	* バリア	フリー未実施公園	の調査	0	*:柴崎台中央公	公園出入口等バリアフリ	一化	2, 000
		* 便所新築工事監	盖理業務委託	500	0											

(8) 施名	実施内容															
(0) ///	世 費 用															
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率		39, 98	0 補助率	<u>計</u> 0 %	31, 944 0	396	補助率	合 計	0 %	0	補助率	合 計 0 %		2, 000 0
(O) FI+3	県支出金 起債	補助率 充当率		% 32, 400	- IIII-931-	0 % 90 %	25, 400	0	 充当率		0 %	0	110 12 1	0 %		0
(9) 財	源内訳 一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口その	7,58 の他 (益 口基金 口その他	6, 544	396 0		会 口受益 口基金	口その他	0	□特会□□	受益 口基金 口その他		2, 000
	換算人数(人)			0. 25	5		0. 25 2. 175	0. 25 2. 175				0. 25 2. 175				0. 25 2, 175
(10)人	件費等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			(•		0	0				0				0
	(予算(決算)額+正職員人件費) 並位費用)		42, 18			34, 119	2, 571				2, 175				4, 175
(2	事業費/活動結果指標)		42, 187千円/			34,119千円/件		0								
2.	事業の評価(D0+CHECH	0														
	評価項目	********	に八国を使用でき		前評価	修繕工事を行い、快適なス	► 担供 八国 L ナンフ	●①事前確認	1111の相中		価(評価結果に応じ	、改善案検	討(拡充も含む))		改善検討
	1) 古来なるとまままで	よう適正な維持管		さるより正人口や風路寺	Fのハッテフッ―16の	修繕工事を打い、伏週など	へ 祝侯公園となる			どおりでなかった	:					O.#
	1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)									由/想定どおりで		= 16=0 = 0.		V-12 /		〇要 ●不要
											沼公園は、園路や修り					
必		(理由) ■法令等	で市が実施するこ	*等では実施できない ことが定められている	< その他の内容>	>		□②市が主導	草で進めな	ければ実効性がな	かった		具体的な内容・』 である市が事業を	必要性の理由> を実施する必要がある。		
要		□提供主□その他	体が市しかない					□③市が先導 促進され		たことで市民へ普	F及が一層					
性 (2	2)市が実施する必要性は	○②自治体である	る市が推進すべき	きである	くその他の内容と	>		□④市の支援 □⑤サービス		施策の目標の実現保された	に貢献した					〇要
	あるか? (市実施の必要性)			により実効性が得られる とにより、良質で安定し				□⑥サービス □⑦その他	スの安定供	給基盤が確保され	た					●不要
		サービ	スが保証される					<その他の内	容>		1					
			図られる	//////////////////////////////////////												
		二、〇一世	参加・協働の	内容		工夫の具体的な内容				動の具体的な内容 えられる場合には			参加・協働	の程度・内容		
参		〇①事業計画時に 〇②事業実施時に						該当なし	am (#) () 15 /	1 v	· · · / 1 日 /	= ::::	朝待した以上 朝待したとおり			1
参加市	5民の参加や市民との協働を	○③管理・運営に	こ市民の参画有り	J									明侍したどあり の期待以下			○ ≖
協して	こ夫しているか? 体制づくり)	〇億市民の自主的		くしいの								<期待した	以上となった理E	由/期待以下であった原	(因)	_ 〇要 ●不要
協働の工夫		●⑥その他 < るの他の中容>														
		< その他の内容> 該当なし														
+			配慮の視点	点		取組む内容			実施	した具体的な内容			環境	への配慮		
		□①自然環境を生 □②生き物と共存	上かしている					再生材を使用		への配慮を行った		●①想定。 ○②想定。				
	環境に配慮して事業を進めて	□③手賀沼を意識	載している													_ _
	いるか?	□④環境負荷低源 ■⑤その他	双に貝厭している	J								∖忠定どお	りでなかった原図	u /		○要●不要
慮		<その他の内容>														
		該当なし														
		現況値(a)(箇所)	目標値(b)(箇序		目標値の妥 -タ・事実に基づき説	当性のチェック			達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成					
(1	1)目標設定は適切か?	10	11	■②現況値と比べ	ベ実現性が乏しい値で	きはない		実績値(f)(箇		達放率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理	由/未達成	となった原因>			· ○要 ● 不 更
		10	11	□④適当な比較対		、 交対象例における目標値(と	:現況値の差)と	10		90. 91				いったため、事故繰越と	なった。	●不要
		対策実施によ	 る事業費削減	同等の水準で		5定の対策			実施状況	ļ.	●①想定事業費未減		事業費	で の削減対策について		
ᅔ		事業費(c)(千円)	事業費削減額(千円)	(d) ■①国・県助成制 □②現有体制での		□⑤ P F I 等民間資 □⑥受益者負担	本の活用	実績値(g)(千		対事業費(%) (g/c)×100	○②概ね想定事業費 ○③想定事業費超過		●①事前の想定 ○②事前の想定	ごどおり ごどおりでなかった		
効	2)事業費削減の工夫をして	34, 119	8, 068	□③維持管理費(□④民間委託		口の受益有其担口⑦その他		2, 571		7. 54				さとおりでなかつに 或できなかった原因>		〇要
性	いるか?	事業費肖		□(4)民間委託 <削減の内容>				<超過理由等					、心にこのり削》	»、cとはルドフに原囚>		●不要
		10). 12					事業未達のた	d)							
											A 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	12=0	性いしした		+ E:	
_	3)目標値を実現する為に		目標値対事業費(○①単年度の指揮・	計算方法 目標値×費用単位/事業	書		達成状況] 対目標値(%)	●①目標値以上 ○②目標値と同程的		値以上となった理 未達となったため	閏由/目標値以下であっ)	た原因>	O要
(3	AUGUS 7 TE AND AND LEVEL T 1. O		<u> </u>	単位 費用単位		日保恒~資用年位/ 争采 :(目標值-現況值)×費		実績値(h)		(h/e) × 100	○③目標値以下					●不要
(3	投じる事業費は適正か? (目標対費用)	0	1									1			1	I
	(目標対費用)	0		箇所 10万円				0	N	laN(非数値)						
3.	(目標対費用) 事後評価				の本地でいて	0	10\	0	N	IaN(非数值)						
3.	(目標対費用)				〇事業手法見直し	○その他(事業完了な	ど)	0	N	VAN(非数値)	改善策及び	《展開方向				
3 .	(目標対費用) 事後評価	〇縮小	○結合 ○依 診		○事業手法見直し	〇その他(事業完了な	ど)	0	N	laN (非数値)	改善策及で	《展開方向				

様式第3号							事務事業評価	ארון אבו	2年度)								
事業コード		816			課コード		0704	会計種別	一般会計				予算	の種類	■政策	■経常	□なし
1. 事業の概要	(PI AN)																
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. (基本事業	公園維持管	·····································				実施計画	<u>ν</u> σ							
		①事業名	個別事業	公園施設維	推持管理				位置づけ		● 有	〇無		②部課名	都市部	・公園緑地課	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他		2年度 ~)	④対象地区 ⑥担当職員数	***	口我孫子	口天王台	□湖北 11 人	□新木 (換算人数	□布佐	1.25 人)	
(1)事業概要		⑦事業費			<u> </u>					(월	当 初)	4	47,518 千円	(うち人件費	<u>.</u>	10,875 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(開始)	年度 (変	変更後)	5	50,706 千円	(うち人件費		10,875 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		62101		プロジェクト の位置づけ	重点 2	基本計画地 計画への位置		〇有	●無		部門別計画への 位置づけ	の(計画名	i)	
		施策目的・	公園・緑地が			 に残る貴重な樹林地	ーーー や城跡、古墳などの歴史的		L	安	全・安心な公園	 とするために	こ、適正な公		良を行なう	•	
(2)目的		展開方向					公園の整備を検討します。 主要公園における遊具の3			勺							
							、及び公園の清掃管理を表 ように、遊具施設など危限				i険性を有するも : して複合遊具の			修繕・改良工事は	は、点検をも	とに行なう。若い世	世代の定住化促済
			改良工事を行	行い、適正	Eな維持管理を行	う。			当該年原 執行計画		用者の多い手質	『沼公園に、複	复合遊具の設施	置及び園路の補修	等の工事を	行う。	
(3)事業内容		内 容															
									当該年原	5	園緑地面積				į	想定值 単位 ha	
(4)達成目標(期待する	る成里)				達成日	標(期待する成果)			活動結果打			-	指標		i	単位 (5)現況値	(6)目標値
当該年度	₩ <i>X</i>	安全に安心して利力	用できるよう	維持管理を		IX (70) 14 7 W 1803(7)			間接		くの市民が安心			園面積		ha 150	
		安全に安心して利力	用できるよう	維持管理を	を行う				間接	多	くの市民が安心	して利用でき	る施設の公	園面積		ha	150
令和 4年度		安全に安心して利力	用できるよう	維持管理を	を行う				間接	多	らくの市民が安心	して利用でき	る施設の公	園面積		ha	15
(7)事業実施上の課題	ると対応	昭和40年~50	年代に開発・	帰属された	た公園が多く、老	朽化による修繕・エ	事が多いため、新規施設の	の設置が難しい。	代替案検	-=4	O.5	●無					
(7) 爭呆天旭工切牀恩	로 C 저 心			-					10百米快	ניה.							
		卧:	平成31年	丰度	金額(千円)	政	令和 2年度	予算額(千円) 決算	菊(土田) 政		令和 3	3年度	金額(千円	1) 政		令和 4年度	金額(千円)
		策: 公園施設工事・	内 容 修繕		21,000	策	内 容 ・修繕【流用・3月補正】	23, 816	束:	公園施設工	事・修繕		21, (策	内 _{设工事・修繕}		21,000
		嘱託職員(3名* 手賀沼公園トイ		L事	1, 588 2, 600		(手賀沼公園) 会計年度任用職員(技能員(12, 650 1, 099			事(柴崎台西公 イム会計年度任用					台西公園・柴崎台は 度任用職員(技能員	
		* 遊具設置工事 (* 船戸ときわ台公	(たけのこ広場	易)	1, 291 842	(うち9月補正	分42千円を含む)	1, 276	1, 265								,
		* 複合遊具の設置			0	(12月補正)	- 1		0 990								
	実施内容					* (3月補正)公園	遊具更新工事(明許繰越 宮ノ森・手賀沼・天王台	0	0								
(8)施行事項	費用					* (3月補正)公園	遊具更新調査業務委託	0	0								
							遊具更新工事資材価格調	0	0								
							いあい橋床板交換工事	0	0								
						(事故繰越)											
7.0	httr / N.L. Antr \ shat		=1		07.001		A =1	00.001	04 500		A =1		05.4			=1	05.053
玉	算(決算)額 庫支出金	補助率	計	0 %	27, 321	補助率	合計 0%	39, 831		助率	合 計	0 %	35, (0 補助率	合	0 %	35, 057 0
(0) 財源内部	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %	0	充当率	50 % 0 %	400	0 充	助率 当率		0 %	05.4	0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	C
70	一般財源の他の財源	□特会 □受益	・口 金基口 益	その他	27, 321	□特会 □受	益 ■基金 □その他	29, 431 10, 000	24, 196 10, 000	□特会□	□受益 □基金 [□その他	35, (0 □特会	: 口受益 口:	基金 口その他	35, 057 0
(10) 人 件 费生 正期	算人数(人) 職員人件費				1. 1 9, 680)		1. 25 10, 875	1. 25 10, 875				9, 5	1. 1 570			1. 1 9, 570
鳴託 臨時	E職員報酬額 F職員賃金額				1, 588)		0 0	0				,	0 0			1, 057
事業費(予算(決算)額+1 (11)単位費用			246. 67千円		37, 001	1		50, 706	45, 471				44, 6	527			44, 627
(事業費/活動結	6朱拍悰》						338. 04千円/ha		303. 14								
2. 事業の評価	(DO+CHECK)					338.04千円/ha		303. 14								
2. 事業の評価 評価項目)			事 į	前評価	338. 04千円∕ha		303. 14		事後評価	面(評価結果に	こ応じ、改善	案検討(拡充も含	含む))		改善検討
2. 事業の評価 評価項目		都市公園としての会			るおいとやすらぎ	き与えてくれるとと	もに、災害時には避難場		①事前確認での	の想定どお	s ij	五(評価結果に	こ応じ、改善:	案検討(拡充も含	含む))		改善検討
評価項目 (1)事業が今必要	そである理由・	都市公園としての会			るおいとやすらぎ	き与えてくれるとと		禄地管理を進めて(●①事前確認での ○②事前確認での	の想定どお の想定どお	らり らりでなかった		こ応じ、改善:	案検討(拡充も含	含む))		O要
評価項目	そである理由・	都市公園としての行有する大切な空間			るおいとやすらぎ	き与えてくれるとと	もに、災害時には避難場	禄地管理を進めて(●①事前確認での ○②事前確認での 想定どおりとし	D想定どお D想定どお た理由/	s ij	かった原因>			含む))		
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業	そである理由・	都市公園としての: 有する大切な空間: いく。 ●①民間企業、N	であるため、	これらの機	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない	き与えてくれるとと	もに、災害時には避難場所 きるよう、良好な公園・新	禄地管理を進めて(①事前確認での ②事前確認での 想定どおりとし もが安心して利	の想定どお の想定どお た理由/ 加 け用できる。 N P O 、市	3り 3りでなかった 想定どおりでな; ように、公園・? 5民団体等では実	かった原因> 緑地を良好に E施できなかっ	保つことがでった <市実)	ききた。	字・必要性の		O要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事事	そである理由・	都市公園としての 有する大切な空間 いく。 ●①民間企業、N (理由) ■ 法令等 □提供主(であるため、 IPO、市民団で市が実施する	これらの機 団体等では3 ることが定	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない	で を与えてくれるとと もが安心して利用で	もに、災害時には避難場所 きるよう、良好な公園・新	禄地管理を進めて (こ	①事前確認での ②事前確認での 想定どおりとし もが安心して利 1①民間企業で 1②市が主導では 1③市が先導役と	D 想定どお D 想定どお た理由/ た理由/ 同用できる。 市 も も も も も も も も も も も も も も も も も も	らり らりでなかった 想定どおりでな; ように、公園・?	かった原因> 緑地を良好に 産施できなかっ	保つことがでった <市実)	ききた。	字・必要性の	理由> 行う必要がある。	O要
評価項目 (1)事業が今必要	である理由・ 業の必要性)	都市公園としての有する大切な空間いく。 ●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主	であるため、 IPO、市民団 で市が実施す 体が市しかない	これらの機 団体等では! ることが定 い	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない 定められている	を与えてくれるとともが安心して利用で そその他の内容	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船	禄地管理を進めて (①事前確認での ②②事前確認での 想定どおりとし もが安心して利 ②市が走導た。 ②市が先導た ③②市が表現た ③②市が表現た	か想定 どおお で が で が で が で が れ に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	らりでなかった 想定どおりでな; ように、公園・デ 可民団体等では実 にば実効性がなか ことで市民へ普及 後の目標の実現に	かった原因> 緑地を良好に 足施できなかっ いった なが一層	保つことがでった <市実)	ききた。	字・必要性の		○ 要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事系) 必 要	である理由・ 業の必要性)	都市公園としての 有する大切な空間 いく。 ●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主 □その他 ○②自治体である (理由) □市が主	IPO、市民団で市が実施すいは、 で市が実施すいは、 で市が推進すべき。 ですが進めるこ	これらの機団体等ではことが定しませるい さきでより きょうしょ	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない 官められている	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船		①事前確認での ②事前確認での 想定どおりとして利 10日間では事項と (促進さ導で) (促進された) (促進された) (には、10日間では、10日はでは、10日間では、10日間では、10日間では、10日間では、10日間では、10日には、10日には、10日には、10日には、10日には、10日間	D.想定どおお D.想定どおお 理由さる。 市れこ 乗が確保さ を集が	らりでなかった 想定どおりでな; ように、公園・デ 可民団体等では実 にば実効性がなか ことで市民へ普及 後の目標の実現に	かった原因> 緑地を良好に R施できなかっ いった なが一層 貢献した	保つことがでった <市実)	ききた。	字・必要性の		〇要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか?	である理由・ 業の必要性)	都市公園としての有する大切な空間いく。 ●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主任 □その他 ○②自治体である (理由) □市が実 サービ	であるため、 IPO、市民団で体が市市市市の主機では、 市が推進の供することでは、 では、保証され、 では、保証され、	これらの機 団体等では で で が き に と が き に と じ よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と対している と対している と対している と対している	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船		●①事前確認での ②②事前確認での 想定どおりとし もが安心して利 ■②民間企業で ③②市が主導でと の 促進された ③②市か支援が ②は市の支援が ③のサービスが ③のサービスが	DDD た用 Number DDD た用 Pめなっ ・確保 をがこ ではない ででは ではない ででは ではない では できる できる できる できる できる かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	らり らりでなかった 想定どおりでな; ように、公園・ 「瓦民団体等ではま にば実効性がなか ことで市民へ等及 ほの目標の実現に	かった原因> 緑地を良好に R施できなかっ いった なが一層 貢献した	保つことがでった <市実)	ききた。	字・必要性の		O要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか?	である理由・ 業の必要性)	都市公園としての有する大切な空間いく。 ●①民間企業、N (理由) ■法検主・ □提表・等・ □提表・ □相の他 ○②自治体である (理由) □市が支注・ □市が支げ・ □市が支げ・	であるため、 IPO、市民団で体が市市市市の主機では、 市が推進の供することでは、 では、保証され、 では、保証され、	これらの機 団体等では で で が き に と が き に と じ よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない 官められている	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船		①事前確認での②事前確認での②事前確認での ②事前確認での 想定どおりとし もが安心して利 ①②市が先導れた ②3市が先導れた 13市の支援が認 13・サービスの 30・サービスの	DDD た用 Number DDD た用 Pめなっ ・確保 をがこ ではない ででは ではない ででは ではない では できる できる できる できる できる かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	らり らりでなかった 想定どおりでな; ように、公園・ 「瓦民団体等ではま にば実効性がなか ことで市民へ等及 ほの目標の実現に	かった原因> 緑地を良好に R施できなかっ いった なが一層 貢献した	保つことがでった <市実)	ききた。	字・必要性の		○ 要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか?	である理由・ 業の必要性)	都市公園としての 有する大切な空間 いく。 ●①民間企業、N (理由) ■提供主 □提行である。 (理由) □市市が実 サービ、□市が支 実現が	であるため、、 IP Oがました。 ・実施ないでは、 ・である。 ・ではないる。 ・ではないるないる。 ・ではないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	これらの棚間体等ではまた。 はいかい いきである まりょり とこと より 政策・	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と対している と対している と対している と対している	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船		●①事前確認での ②②事前確認での 想定どおりと刊 もが安心して利 ■②民間企業で改 ②流市が先導でも 「図本市な支援がお 「③サービスの5 ③でサービスの5 ③でするの他の内容〉	D 想定 定と で で の の た 用 P を で の で の で の で の な で の な の な の な の な の な の を に に に に に に に に に に に に に	らりでなかった 想定どおりでなさように、公園・デ まうに、公園・デ 「E民団体等ではまかました。 にとでではまかました。 まなではなかました。 ま盤が確保された。	かった原因> 緑地を良好に 診施できなかっ たか一層 二貢献した	保つことがでった <市実)	きた。 施の具体的な内容 緑地の設置管理者	字・必要性の	行う必要がある。	O要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要 性(2)市が実施するあるか? (市実施の必要)	である理由・ 業の必要性)	都市公園としての 有する大切な空間 いく。 ●①民間企業、N (理由) ■提供主 □提行である。 (理由) □市市が実 サービ、□市が支 実現が	であるため、、 IPO、実際では、 TPOが実しが、 TPOが実しが、 TPのが実しが、 TPのが実しが、 TPのが実ができる。 TPのが実ができる。 TPのでは、 T	これらの機関体等では変素を表している。 これらの はまた ありょに ひまま はいまま ままり ない ない ない ない ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう しょう はい かい ちゅう ちゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と対している と対している と対している と対している	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船	禄地管理を進めて (①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定どおりとて利 1①民間を主導で役 促進されたい 1③市が先されたい 1③サービスの 3〇サービスの 3〇サービスの 4〇サービスの 4〇サービスの 50サービスの 50サービスの 60サービスの 60サービスの 70千の他 70千の他 70千の他 70千の他 80加・協 80加・協	D D D D D D D D D D D D D D	らり は定どおりでなかった 想定どおりでな; ように、公園・ 「民団体等では実 にば実効性がなか とで市民へ普及 後の目標の実現に まれた ま盤が確保された	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで った 〈市実 公園・: 	きた。 施の具体的な内容 緑地の設置管理者	字・必要性の 音である市が 協働の程度	行う必要がある。	O要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか? (市実施の必要)	である理由・業の必要性)	都市公園としての 有する大切な空間 いく。 ●①民間企業、N (理由) ■ ほん にその等。 □提の他 ○②自治体である。 (理由) □市が実に サー・ビュー ・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・	であるたた。 RP で体がが進提解の のががが進提解るれかの参参参 である。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	これららの情報 はた あい くところよ かの ちょう でにとい 政 容 のりりりり	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定 ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船	禄地管理を進めて (①事前確認では ②事前確認では ②定事前確認では 想定どおりとし利 ②定市が失さを楽で後 。 ②1②市がたれたでは のではできっている。 「選等サービスのう」 ②でサービスのう 」で、の他の内容> 実施した。協 優進要委託をし	D D D D D D D D D D D D D D	は は は は ま うに、公園・ に は まうに、公園・ に は は は は は は な な は は と で な は と で は な で は た と で は た で は な で は た さ に と ま の は ま の は た さ も た と を で は ま が は た も れ た を ま れ た ま れ た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで った <市実 公園・: 公園・: (本) (**) (*	きた。 施の具体的な内容 緑地の設置管理者 参加・ 参加・	字・必要性の 音である市が 協働の程度	行う必要がある。	O要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか? (市実施の必要)	である理由・業の必要性)	都市公園としての有する大切な空間いく。 ●①民間企業、N (理由) ■法供生化 □ その他 ○②自治体である。 □ は中かが実践のです。 □ できる。 「現かり、「できる。 「できる。 「できる。 「できる。」 「できる。 「できる。」 「できる。 「できる。」 「できる。 「できる。」 「できる。。」 「できる。」 「できる。」 「できる。。」 「できる。。」 「できる。。」 「できる。。」 「できる。。」 「できる。。」 「できる。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	であるたため、、 IP のがは はの はの はの はの はの はの はの	これららの情報 はた あい くところよ かの ちょう でにとい 政 容 のりりりり	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定 ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船	禄地管理を進めて (①事前確認では ②事前確認では ②定事前確認では 想定どおりとし利 ②定市が失さを楽で後 。 ②1②市がたれたでは のではできっている。 「選等サービスのう」 ②でサービスのう 」で、の他の内容> 実施した。協 優進要委託をし	D D D D D D D D D D D D D D	は は は は ま うに、公園・ に は まうに、公園・ に は は は は は は な な は は と で な は と で は な で は た と で は た で は な で は た さ に と ま の は ま の は た さ も た と を で は ま が は た も れ た を ま れ た ま れ た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで マ市実 公園・ 検を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きた。 施の具体的な内容 緑地の設置管理者 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字・必要性の 音である市が 協働の程度 り	行う必要がある。	○要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか? (市実施の必要)	である理由・業の必要性)	都市公園としての有する大切な空間いく。 ●①民間企業、等(理由) ■提表のである。 ○②自治体でが主要である。 ○②自治体でが主要できます。 ○②事業業を選挙主義を選挙主義を選挙主義を選挙される。	であるたため、、 IP のがは はの はの はの はの はの はの はの	これららの情報 はた あい くところよ かの ちょう でにとい 政 容 のりりりり	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている を対性が得られる り、良質で安定 ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船	禄地管理を進めて (①事前確認では ②事前確認では ②定事前確認では 想定どおりとし利 ②定市が失さを楽で後 。 ②1②市がたれたでは のではできっている。 「選等サービスのう」 ②でサービスのう 」で、の他の内容> 実施した。協 優進要委託をし	D D D D D D D D D D D D D D	は は は は ま うに、公園・ に は まうに、公園・ に は は は は は は な な は は と で な は と で は な で は た と で は た で は な で は た さ に と ま の は ま の は た さ も た と を で は ま が は た も れ た を ま れ た ま れ た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで マ市実 公園・ 検を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きた。 施の具体的な内容 緑地の設置管理者 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字・必要性の 音である市が 協働の程度 り	・内容	○要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか? (市実施の必要)	である理由・業の必要性)	都市公園としてのでするようでは、	であるため、、 IPOが体が、作性のは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	これらの 棚 横 で かっぱい で かっぱい で かっぱい で かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と効性が得らなもり、 り、良質で安し ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船	禄地管理を進めて (①事前確認では ②事前確認では ②定事前確認では 想定どおりとし利 ②定市が失さを楽で後 。 ②1②市がたれたでは のではできっている。 「選等サービスのう」 ②でサービスのう 」で、の他の内容> 実施した。協 優進要委託をし	D D D D D D D D D D D D D D	は は は は ま うに、公園・ に は まうに、公園・ に は は は は は は な な は は と で な は と で は な で は た と で は た で は な で は た さ に と ま の は ま の は た さ も た と を で は ま が は た も れ た を ま れ た ま れ た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで マ市実 公園・ 検を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きた。 施の具体的な内容 緑地の設置管理者 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字・必要性の 音である市が 協働の程度 り	・内容	○要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要背景は?(事業) 必要性(2)市が実施するあるか? (市実施の必要)	である理由・業の必要性)	都市公園としての間になった。 ●①民間企業、等等には、「理由」 ●②自治には、「日本のでは、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	であるたため、、	これらの 棚 樹 本 これらの 物 で は だ な まい さ とこるよ り 内 内 り り り り り り り い へ 園 施 語	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と効性が得らなもり、 り、良質で安し ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容:	もに、災害時には避難場が きるよう、良好な公園・船	禄地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定どおりして利 ■②市が進ち導ったが ■②市が進ち連ったが はのするでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	は は は は ま うに、公園・ に は まうに、公園・ に は は は は は は な な は は と で な は と で は な で は た と で は た で は な で は た さ に と ま の は ま の は た さ も た と を で は ま が は た も れ た を ま れ た ま れ た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで く市実 公園・i 検を ●②当 <期待	を かっと	字・必要性の 音である市が 協働の程度 り	・内容	○要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事事) が会必要 (2)市が実施する ある実施の必動 市民人の参加や市かっ (本制づくり)	である理由・業の必要性)	都市公園としての門のでは、 N では、 N	であるたため、、	これらの 棚 樹 本 これらの 物 で は だ な まい さ とこるよ り 内 内 り り り り り り り い へ 園 施 語	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と効性が得らなもり、 り、良質で安し ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容:	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希	禄地管理を進めて (①事前確認では ②事前確認では ②定事前確認では 想定どおりとし利 ②定市が失さを楽で後 。 ②1②市がたれたでは のではできっている。 「選等サービスのう 」で、の他の内容 を協した。協 を協した。協 を関管理委託をし	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで マホ実 公園・i 検を ○①②当 <期待	をから、 をの具体的な内容 を対しています。 を対したといます。 を対したといます。 を対したとなった。 となった。	字・必要性の 含である市が 協働の程度 り 二理由/期待	・内容	○要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (2)市が実施する の参加や市かった。(本書) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	である理由・業の必要性) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市公園としての間のでは、	で IPで体 「中華に Y C C C C C C C C C C C C C C C C C C	これららの 機構 は ない くとこるより 内 りょう しょう でいた かい ちょう かん いい ない	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と効性が得らなもり、 り、良質で安し ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容:	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希	禄地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定どおりして利 ■②市が進ち導ったが ■②市が進ち連ったが はのするでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ	きた。 施の具体的な内容 緑地の設置管理者 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容・必要性の 含である市が 協働の程度 り と理由/期待 環境への配慮 った	・内容	○要 ● 不要 ● 不要 ● 不 要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (2)市が実施する の参加や市かった。(本書) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	である理由・業の必要性) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市公園としての間のような空間のでは、	で IPで体 「中華に Y C C C C C C C C C C C C C C C C C C	これららの 機構 は ない くとこるより 内 りょう しょう でいた かい ちょう かん いい ない	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と効性が得らなもり、 り、良質で安し ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容:	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希	禄地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定どおりして利 ■②市が進ち導ったが ■②市が進ち連ったが はのするでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ	参加・ 参加・ 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容・必要性の 含である市が 協働の程度 り と理由/期待 環境への配慮 った	・内容	○要 ●不要 ○要要要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (1)事業が今必要 情景になって、「本事なのがない。 (2)市が実施する のかる (本事なのがない。) (本事なのがないないない。) (本事なのがないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	である理由・業の必要性) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市公園としての間のでは、	で IPで体 「中華に Y C C C C C C C C C C C C C C C C C C	これららの 機構 は ない くとこるより 内 りょう しょう でいた かい ちょう かん いい ない	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と効性が得らなもり、 り、良質で安し ・施策の目標の	を与えてくれるとと もが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容:	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希	禄地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定どおりして利 ■②市が進ち導ったが ■②市が進ち連ったが はのするでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かった原因> 緑地を良好に 認施できなかっ たった 大が一層 こ貢献した こ で で で で で なが一層 こ で の 内 で の の の の の の の の の の の の の	保つことがで マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ マカナ	参加・ 参加・ 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容・必要性の 含である市が 協働の程度 り と理由/期待 環境への配慮 った	・内容	○要 ● 不要 ● 不要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (2)市が実施する の参加や市かった。(本書) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	である理由・業の必要性) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市公園としての間	で IPで体 「中華に Y C C C C C C C C C C C C C C C C C C	こ 団るい くとこるよ かり 与 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できない をめられている と効性が得らなもり、 り、良質で安し ・施策の目標の	を与えてくれるとともが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容: ・た	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希	禄地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定ど安い として利 ■②で表示ない。 全導で後とで安い。 ではです。 ではです。 ではです。 ではです。 では、	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいいなかった 想定どおいなかった 想定どおいない。 はまうに、公のでない。 には大きないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	かった原因> 原因> 原因> にできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でできなかった。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい	保つことがで <市実: 公園・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	参加・ 参加・ 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容・必要性の 含である市が 協働の程度 り と理由/期待 環境への配慮 った	・内容	○要 ● 不要 ● 不要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (1)事業が今必要 情景は?(事業) (2)市が実施する の参加や市かった。(本書) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	である理由・ 業の必要性) ら必要性は 要性) 民との協働を	都市公園としての間のでは、 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 」 」 「中国の 」 「中国の 」 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「	で IPで体 ので体 ので体 ので体 ので体 ので体 ので体 ので体 の	これ	るおいとやすらぎ 機能を維持し、誰 実施できないる 実施られている を対し、 を対した できない。 を対した できない。 を対した できない。 を対した できない。 を対した できない。 を対した できない。 を対した できない。 を対した をした。 を対した。 をがした。 を対した。 をがし。 をがし。 をがし。 をがし。 をがし。 をがし。 をがし。 をがし	を与えてくれるとともが安心して利用で <その他の内容: <その他の内容: ・た	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希 エ夫の具体的な内容 取組む内容 当性のチェック 設定している	環地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定ど安い として利 ■②で表示ない。 全導で後とで安い。 ではです。 ではです。 ではです。 ではです。 では、	DD た用 N単立 文準ケ DD た用 N単立 文準ケ D が T N N N N N N N N N N N N N N N N N N	はいい は は は ない かった	かった原因> 原好に を良好に をおかった。 なが一層 こ貢献した。 こ で で で で で で で の の の の の の の の の の の の の	保つことがでくす。	きた。 施の具体的な内容 縁地の設置管理者 参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容・必要性のが 協働の程度 り と理由/期待 環境への配慮 った。	・内容	○要 ● 不要 ● 不要 ● 不要 ● 不要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今の要 情景は?(事業) (1)事業が今の要 情景は?(事業) (1)事業が今の要 が実施する のの表 では、できない。 では、できない。 は、できない。 は、できないい。 は、できないい。 は、できないい。 は、できないい。 は、できないいい。 は、できないいい。 は、できないいいい。 は、できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	である理由・ 業の必要性) ら必要性は 要性) 民との協働を	都市公園としての間のでは、 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 」 」 「中国の 」 「中国の 」 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 」 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「中国の 「	で IPで体 ので体 ので体 ので体 ので体 ので体 ので体 ので体 の	これ あい くところよ か り 有 有 り り り り り り り り し 公 魚 (ha)	るおいとやすら 機能を維持し、 と と と を と を と を と を と を と を を と な に ら な に ら に も の に も の に の に の に の に の の に の の の の の の の の の の の の の	を与えてくれるとともが安心して利用で < その他の内容: < その他の内容:	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希 工夫の具体的な内容 取組む内容 当性のチェック 設定している ごはない	環地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での 想定とどのして利 「と同じを実施した。 ②②市が生みれた。 ③③では、 ②③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ○○では ○○で ○○で	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいい は は が な かった 想定 ど お い の で な ・	かった原因 大の内容	保つことがで く市実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を かった できた。 施 の具体的な を	容・必要性のが 協働の程度 り 理由/期待 環境への配慮 った	・内容	○要 ● 不 要 要 要
評価項目 (1)事業が今必要 背景は?(事業) (1)事業が今の要 情景は?(事業) (1)事業が今の要 情景は?(事業) (1)事業が今の要 が実施する のの表 では、できない。 では、できない。 は、できない。 は、できないい。 は、できないい。 は、できないい。 は、できないい。 は、できないいい。 は、できないいい。 は、できないいいい。 は、できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	である理由・ 業の必要性) ら必要性は 要性) 民との協働を	都市公園としての間のようでは、	で IPで体 「市導施ス援図	これ	るおいとやすら 機能を維持し、 と と と を と を と を と を と を と を を と な に ら な に ら に も の に も の に の に の に の に の の に の の の の の の の の の の の の の	を与えてくれるとともが安心して利用で くその他の内容: くその他の内容: た (その他の内容: た だ実現性が値できばらいではない表対象が有る場合、比較するある	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希 エ夫の具体的な内容 取組む内容 当性のチェック 設定している ではない な対象例における目標値(と	環地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認 ②②を受ける をでする をでする のでする のでする のでする のでする のでは、でででする のでは、でででする のでは、でででする のでする のでする のでする のでする のでする のでする のでする	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいい はいかった 想定 どおいかった 想定 どおいの はまかい でない はまかい ではいい ではいい ではない ではない ではない ではない できない できない できない できない できない できない できない でき	かった原因>に 原因>に 原因>に 原因>に できなかった。 できながった。 できなができながった。 できながった。 できながった。 できなができながった。 できなができながった。 できなができなができなができなができなができなができなができなができなができなが	保つことがで く市実・・ (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	を かった を で で なかった で で ない かった と なるな で ない かった と で ない で ない かった と で ない で ない かった で ない で ない かった と で ない で ない かった に 原 に 市 に 市 に 市 に 市 に 市 に 市 に 市 に 市 に 市	協働の程度 りン理由/期待 環境への配慮 った に原因〉	・内容 ・内容 以下であった原因 であった原因	○ 要 要 要 要
評価項目 (1)事業が今必要事 (1)事業が今の要 情報を表 (1)事業が今のでは、 (1)事業が今のでは、 (1)事業が今のでは、 (1)事業が今のでは、 (1)事業が今のでは、 (1)事業が今のでは、 (1)事業が今のでは、 (1)事業がのでは、 (1)事業ができません。 (1)事業がで	である理由・ 業の必要性) ら必要性は 要性) 民との協働を	都市公園としての間	で IPで体 市準体ス保図 市市市な事 で IPで体 市準体ス保図 市市市な事 に	こ	るおいとやすし、 の機能を維持し、 の機能を維持し、 を表し、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	を与えてくれるとともが安かして利用で	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着をよう、良好な公園・着をあまり、良好な公園・着をあるよう、良好な公園・着をあるよう、良好な公園・利力をおります。	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認 ②②を受ける をでする をでする のでする のでする のでする のでする のでは、でででする のでは、でででする のでは、でででする のでする のでする のでする のでする のでする のでする のでする	D D D た用 N L L S 文 S で L M T N L L S C S C S C S C S C S C S C S C S C	はいい は は ない ない は ま ない ない は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	かった原因 タ に かった 原因 タ に かった 原因 タ に かった 良好 に かった ア で ア で ア の の の 節 易 的 な 点	保った (本) (**)	************************************	協働の程度 場合の配慮 である市が 協働の程度 である市が は、 のである市が は、 のである市が は、 のである市が は、 のである市が は、 のである市が は、 のである市が は、 のである市が は、 のである市が のである市が のである市が のである市が のである市が のである市が のであるである。 のであるであるである。 のであるであるである。 のであるであるである。 のであるであるである。 のであるであるである。 のであるであるである。 のであるであるであるである。 のであるであるであるである。 のであるであるであるである。 のであるであるであるであるである。 のであるであるであるである。 のであるであるであるであるであるである。 のであるであるであるであるであるであるであるである。 のであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるで	・内容 ・内容 ・内容 であった原因 であった原因 で利用できる公園と	○要 ● 不 要 要 要
評価項目 (1)事業が今の要素 (1)事業が今のでは、 (1)事業が今のでは、 (2)市がまた。 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (3)市あいた。 (4)のでは、 (4)のでは、 (5)のでは、 (5)のでは、 (5)のでは、 (6)のでは、 (6)のでは、 (6)のでは、 (7)のでは、 (7)のでは、 (7)のでは、 (8)のでは、 (7)のでは、 (8)のでは、 (である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	都市公園としての問いての問いて、	で IPで体	こ	るおいとやすし、 ・ と を 持 ・ と を 持 ・ と を が は し に を で れ て い る し と と を な い い る い る し の で 表 切 い 食 の の 簡 易 な な と と と と 水 本 の よ に ん を な と と と と と な 水 で の の で 果 の は に と と と な 水 で の の で 異 切 適 に 国 国 の で 異 の は と と と な 来 で の で 2 の 報 で 費 の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で	を与えてくれるとともが安かである。 「本を与えてくれるとともが安かである。 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をのも値である。 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのもである。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希 エ夫の具体的な内容 取組む内容 当性のチェック 設定しているではない。 対対象例における目標値(と	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	① 事前確認での② 事前確認での②② 事前確認での②② 事前確認での②② 事前確認での② 想定 おりとて利利 1 ② 1 ② 1 ② 1 ② 1 ② 1 ② 1 ② 1 ③ 1 ③ 1 ④ 1 ④ 1 ④ 1 ④ 1 ④ 1 ④ 1 ④ 1 ④	D D D た用 P L E と 文単ケ P M T T T T T T T T T T T T T T T T T T	は は は な は な か か か か か か か か か か か か か か	か緑 で	保った (本) (**)	を を を を を を を を を を を を を を	協働の程度 り・理由/期待 である市がが 協働の程度 の配慮 である。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるであるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるであるである。 であるであるである。 であるであるである。 であるであるであるである。 であるであるであるである。 であるであるである。 であるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるで	・内容 ・内容 ・内容 であった原因 で利用できる公園と 対策について でなかった	● 不要要
評価項目 (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今の配慮 (2)事に (1)事業がの配慮 (2)事に (1)事業を (2)事に (3)事に (4)事に (4)事に (4)事に (5)事に (5)	である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	都市公園としての間のようでは、	で IPで体	こ 型ない くとこるよ	るおいとやすし、 ・ と を がすし、 ・ と を がすし、 ・ と と が で き で き で で で で で で で で で で で で で で で	を与えてくれるとともが安かである。 「本を与えてくれるとともが安かである。 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をのも値である。 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのもである。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着をよう、良好な公園・着をあるよう、良好な公園・着をあるよう、東京の具体的な内容をはない。 当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(ときなり、大きなの対策 「⑤PFI等民間資金を受益者負担」	最地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での ②②事前では 認認では ②②市が生きれば、スの ③③促症の支ビビ他の内容 > 字施に加水るの ③③でもの他の内容 > 字を理する。 当なし	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいい は は は な が み は は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	か緑 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	保った (本) (**)	を を を を を を を を を を を を を を	協働の程度 り・理由/期待 である市がが 協働の程度 の配慮 である。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるであるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるであるである。 であるであるである。 であるであるである。 であるであるであるである。 であるであるであるである。 であるであるである。 であるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるで	・内容 ・内容 ・内容 であった原因 であった原因 で利用できる公園と	○ 要 要 要 要
評価項目 (1)事業が今?(事業) (1)事業 (1)事業 (1)事業 (1)事業 (1)事業 (1)事業 (1)事業 (2)事 (1)事業 (2)事 (1)事業 (2)事 (1)申標 (1)事 (1)申標 (1)申# (1	である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	都市公園としな空間	で IPで体	こ 型ない くとこるよ	るおいを維持し、 に を を で が で が で が で が で が で が で が で が で が	を与えてくれるとともが安かである。 「本を与えてくれるとともが安かである。 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をのも値である。 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのもである。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着をよう、良好な公園・着をあるよう、良好な公園・着をあるよう、東京の具体的な内容をはない。 当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(ときなり、大きなの対策 「⑤PFI等民間資金を受益者負担」	最地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認での ②②事前では 認認では ②②市が生きれば、スの ③③促症の支ビビ他の内容 > 字施に加水るの ③③でもの他の内容 > 字を理する。 当なし	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	はいい は は ない ない は まかい ない	か緑 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	保った (本) (**)	を を を を を を を を を を を を を を	協働の程度 り・理由/期待 である市がが 協働の程度 の配慮 である。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 である市がが のである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるであるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるである。 であるであるである。 であるであるである。 であるであるである。 であるであるであるである。 であるであるであるである。 であるであるである。 であるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるである。 であるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるで	・内容 ・内容 ・内容 であった原因 で利用できる公園と 対策について でなかった	○●不要要要要要要要要要要要要要○●不要要要要要要要要要要要要
評価項目 (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今の配慮 (2)事に (1)事業がの配慮 (2)事に (1)事業を (2)事に (3)事に (4)事に (4)事に (4)事に (5)事に (5)	である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	都市公園としての間ではない。 ●①日田 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で IPで体 市等施水援図 市市市な事 で IPで体 市等施水 がすら 参 民民民活業	こ	るおいを維持し、 に を を で が で が で が で が で が で が で が で が で が	を与えてくれるとともが安かである。 「本を与えてくれるとともが安かである。 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をの他の内容」 「本をのも値である。 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのも値である。」 「本をのもである。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」 「本をのもできないまた。」 「本をのもできないまたる。」	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着	最地管理を進めて (① 事前確認での 2 を 1 を 2 を 3 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4	の た用 P と と 文 を か で	8 り で な かった 想定 に な かった 想定 に な かった 想定 に な かった ま ら に は か 公 園 で な が 公 園 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で は な か 子 で か か な 内 な に は か か な 内 な に な か か な 内 な に な か か な 内 な に な か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な に か か な 内 な な な か か な 内 な に か か な 内 な は な な な な な か か か か な れ か な か か な れ か な な な な	か緑 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	保つことがでます。	きた。 施緑地のの設置管理者者 参加・上とおりにた以下った。 を放とになったが、 は初期の期上とおりでなかったが、 は定どおりでなかったが、 は定じがよりでなかったが、 でななななが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ない である る 市 が が は	・内容 ・内容 ・内容 であった原因 ・対策について でなかった でなかった かった原因	●
評価項目 (1)事業が今?(事事) (1)事業が今?(事事) (2)市あら市あら市あら市本(本部) (本部) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	E である理由・ を業の必要性) S を との 協働を R である要性 が で して で は で で ある 海に	都市公園としての間ではない。 ●①日田 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で IPで体	こ da	るおいとやすし、 の機能を維持し、 の機能を維持し、 を表し、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	を与えてくれるととも を与えてくれるととも をお安かして	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着 という、良好な公園・着 をあまう、良好な公園・着 をあまり、現場では、 ない。 を対象例における目標値(と を定しているではない。 を対象例における目標値(と を定しているではない。 を対象例における目標値(と を定しているではない。 を対象例における目標値(と を定している。 を対象例における目標値(と を定している。 を対象例における目標値(と を表する。	最地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認認とし利 ■②示が述立時では 図③市が述立時に対するの ③③では、ででした。 ●②③では、ででした。 ●②③では、ででした。 ●②③では、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、できない。 ●③のできない。 ●③のでは、 ●○のでは、 ●	D D た用 P L D 文 E V E V E V E V E V E V E V E V E V E	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かは でた	保った	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ない はい	・内容 ・内容 ・内容 であった原因 で利用できる公園と 対策について でなかった	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要 要
評価項目 (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業が今?(事業) (1)事業がある実施の必要 (2)市がまか施ののしず、(4)事がある実施ののしず、(4)事がある実施ののしず、(4)事がある。(4)事がある実施のの記慮 (1)事業がある。(5)事業がある。(1)事業がある。(1)事業がある。(1)事業がある。(1)事業がある。(1)事業がある。(1)事業がある。(1)事業がある。(1)事業がある。(2)事業がある。(2)事業がある。(3)事業がある。(4)事業がある。(4)事業がある。(4)事業がある。(5	要である要性は 要性は 要性は 要性は の協働を も も も も も も も も も も も も も も も も も も も	都市公園としての間ではない。 ●①日田 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で IPで体 市等施水援図 市市市な事 で IPで体 市等施水 がすら 参 民民民活業	こ	るおいとやすし、 の機能を維持する。 の機能を維持する。 でもている。 を対し、 をして、 を対し、 をがし、	で与えてくれるとともが安心して利用で 「その他の内容」 「その他の内容」 「その他の内容」 「おっている。 「特別を持ている。 「中央ではいる。」 「中央で	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着	は 地管理を進めて (●①事前確認での	D D た用 N L L と 女 集 が 定定 由き 、 けた 施保給	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かは でた	保った	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ない はい	・内容 ・内容 ・内容 であった原因: ズ利用できる公園と 対策について でなかった。 標値以下であった。 標値以下であった。	●
要性 (2) 市がかか を 性 (2) 市がかか を 性 (2) 市がかか を で (4) 市あい (4) 市あい (5) 市あい (5) 市あい (6) 市あい (6) 市あい (7) で (7)	要である要性は 要性は 要性は 要性は の協働を も も も も も も も も も も も も も も も も も も も	都市公園としての間のようでは、	で IPで体 市等施水援図 市市市な事 で IPで体 市等施水 がすら 参 民民民活業	こ da	るおいとやすし、 ・ と を がましている。 ・ と を がましている。 ・ と で がいいる。 ・ と で がいいる。 ・ に な と いか、	で与えてくれるとともが安心して利用で 「その他の内容」 「その他の内容」 「その他の内容」 「おっている。 「特別を持ている。 「中央ではいる。」 「中央で	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・希 エ夫の具体的な内容 取組む内容 当性のチェック 設定しているではない。 対象例における目標値(と P定の対策 □⑤・Pを益め他 計算方法 目標値×費用単位/事業	は 地管理を進めて (●①事前確認での ②②事前確認での ②②事前確認認とし利 ■②示が述立時では 図③市が述立時に対するの ③③では、ででした。 ●②③では、ででした。 ●②③では、ででした。 ●②③では、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、ででした。 ●③のでは、できない。 ●③のできない。 ●③のでは、 ●○のでは、 ●	D D た用 N L L と 女 集 が 定定 由き 、 けた 施保給	はいる はいかった 想定によい はな はな がい はな で ない はな で ない はな で が へ 実 さ れ た で は な を ない ない は ない は	かは でた	保った	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ない はい	・内容 ・内容 ・内容 であった原因: ズ利用できる公園と 対策について でなかった。 標値以下であった。 標値以下であった。	○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要
評価項目 (1)事業が今?(事業) (2)事務は、(2)事務に、(3)事務に、(3)事業のの記慮 (1)目標には、(3)事のの記念 (3)事業のの記念 (4)事業のの記念 (5)事がある。(4)事がある。(5)事がある。(5)事がある。(5)事がある。(6)事がある。(6)事がある。(6)事がある。(7)事がある。(7)事がある。(7)事がある。(7)事がある。(8)事がある。(8)事がある。(1)事業のの記念 (1)事業が今の記念 (2)事がある。(2)事がある。(3)事業の記念 (3)事業を評価 (3)事業を評価	E である理由・ を業の必要性) S を 要性 との 協働を といる a で は は が ? ここで a で は で は で は で で は で で は で で で で で で	都市公園としての間のようでは、 「中国	で IPで体	こ 型	るおいを維持し、 に を を を を を を を を を を を を を を を を を を	で与えてくれるとともが安かして、インスを与えてくれるとともが安かして、インスをある。 「「「「「「「「「「」」」」を表する。 「「「」」である。 「「」」である。 「「」」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」で	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着きるよう、良好な公園・着います。 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 ではない 対象例における目標値(とび)を受ける ではない 対象のにおける目標値(とび)を引きるといるではない。 対象のにおける目標値(とび)をできる。 はいます できる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	最地管理を進めて (●①事前確認での	D D た用 N L L と 女 集 が 定定 由き 、 けた 施保給	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かは でた	保った	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ない はい	・内容 ・内容 ・内容 であった原因: ズ利用できる公園と 対策について でなかった。 標値以下であった。 標値以下であった。	●
評価項目 (1)事業が今?(事事) (1)事業が今?(事事) (1)事業が今?(事事) (2)市あがかか施のの必要 (2)市あがあか施ののしかです。 (2)市あがたがかがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたが、 (4)市のには、 (5)中のには、 (5)中のには、 (6)中のには、 (6)中のには、 (7)中のには、 (7)中のには、 (8)中のには、 (8)中のには、 (9)中のには、 (1)中のには、 (1)中のには、 (1)中のには、 (2)中のには、 (3)中のには、 (4)中のには、 (4)中のには、 (5)中のには、	要である理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市公園としての間のようでは、	で IPで体 が が が で IPで体 が 市 準 か ス	こ	るおいとやすし、	で与えてくれるととも で与えてくれるととも である。 くその他の内容: くその他の内容: である。 「特別では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着きるよう、良好な公園・着います。 エ夫の具体的な内容 当性のチェック 設定しているではない、 対象例における目標値(との)であるではない。 対象例における目標値でであるではない。 対象例における目標値でであるではない。 対象側における目標値であるではない。 対象側における目標値であるではない。 対象側における目標値であるではない。 対象側における目標値である。 「はない」 「はない」 「はない」 「はない」 「な対象側における目標値である。」 「はない」 「な対象側における目標値である。」 「はない」 「な対象側における目標値である。」 「はない」 「な対象側における目標値である。」 「はない」 「な対象側における目標値である。」 「はない」 「ながまればい」 「ながまればい」 「ないのでは、ままればい」 「ないのでは、ままればいる。」	最地管理を進めて (●①事前確認での	D D た用 N L L と 女 集 が 定定 由き 、 けた 施保給	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かは でた	保った	きた。 を	ない はい	・内容 ・内容 ・内容 であった原因: ズ利用できる公園と 対策について でなかった。 標値以下であった。 標値以下であった。	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要
評価項目 (1)事業が今?(事事) (1)事業が今?(事事) (1)事業が今?(事事) (2)市あがあか施の必要 (2)市あがあか施のの必要 (2)市あがあか施ののとは (1)目標とは「できませい。 (1)目標とは「できませい。 (1)目標とは「できませい。 (1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標というできませい。 (1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標といるが、(1)目標というできませい。 (1)目標というできませい。 (1)目標といき	である要性は 要性の必要性は 要性はの協働を ととの協働を ままを進めて の協働を である要性は の協働を である要性は の協働を である適正のない。	都市公園としての間のようでは、	で IPで体 が が が で IPで体 が 市 準 か ス	こ	るおいとやすし、	で与えてくれるととも で与えてくれるととも である。 くその他の内容: くその他の内容: である。 「一ク・現のである。 「はな比較である。 「はないして、 「ないして、 「な	もに、災害時には避難場きるよう、良好な公園・着きるよう、良好な公園・着います。 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 ではない 対象例における目標値(とび)を受ける ではない 対象のにおける目標値(とび)を引きるといるではない。 対象のにおける目標値(とび)をできる。 はいます できる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	最地管理を進めて (●①事前確認での	D D た用 N L L と 女 集 が 定定 由き 、 けた 施保給	はいます。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	かは でた	保った	きた。 を	ない はい	・内容 ・内容 ・内容 であった原因: ズ利用できる公園と 対策について でなかった。 標値以下であった。 標値以下であった。	● 不要 要 要 要 要 要 要

事業コ	- F	817		課コード	0704	:	会計種別	一般会計			予算の種	■政策	■経常	□なし
1. 事刻	集の概要(PLAN)													
		①事業名		園維持管理				実施計画へ		●有 ○無	(2)i	部課名都市	ī部・公園緑地課	
		③事業主体		園維持管理 ○その他()	位置づけ ④対象地区	□我孫·	子 □天王台	□湖北	□新木 □布		
(1)事業概	要	⑤事業期間			~			⑥担当職員数			12 人	(換算人数	6.05 人)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円			当該(開始):	年度 (当 初)	<u>`</u>	713 千円	(うち人件費 (うち人件費	52,635 千円) 52,635 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	62101	重点プロジェクト	重点 2		基本計画地		○有 ●無	剖	『門別計画への (計画	画名)	
		施策目的・]] -		への位置づけ 内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳など			計画への位置		これ こな維持管理業務を行し	・ 快適で利用	位直づけ		
(2)目的		展開方向	利用できるよ	う公園のバリアフリー	る一部の区域において公園の整備を検討 化を進めるとともに、主要公園における	6遊具の充実を図り、	子どもたち	事業目的						
(3) 事業内:	容	内 容	う 道正な維持 、 第二 、 第二	管理を行う。また、公 険に加入など(千葉県 (開発面積の6%)につ 、施設、植栽等の指導 成、用地取得・工事等 こととする。	定、公園の清掃及び遊具の定期点検など 園を快適に安全・安心して利用できるよ 縁化推進委員会等への負担金を含む。) いて、我孫子市公園緑地設置基準に基づ を行う。開発事業完了後は工事完了検査 に伴い公園台帳を作成する。公園台帳・ め、根戸船戸緑地内にある病害樹木の伐	、う水道の利用、賃貸を行う。公園施設と を行う。公園施設と がき緑の基盤をつくる を及び帰属手続きを行 公園マップについて	土地の更新 して帰属と ため、公園 う。帰属に	当該年度執行計画	根戸船戸総長	な公園とするため、通 地の病害樹木の伐採を 可積			本への病気の伝染を防力 単位 ha 想定値 実績値	150
(4)達成目	標(期待する成果)			達成	目標(期待する成果)			指標種類	1	指			単位 (5)現況値	(6)目標値
当該年	度	快適に利用できる						直接		いけ適に利用できるた			ha 150	0 150
令和 3		快適に利用できる						直接		こが快適に利用できるた こが快適に利用できるた			ha	150
令和 4	年度 ————————————————————————————————————				滅されていくため、委託内容の検討、現	見場作業方法、賃料な	どを見直す	直接	3 (O III B	この大道に利用 じょるだ	この707公園飛行	官理即慎	ha	150
(7)事業実	施上の課題と対応		, 12.77	751 4250000				代替案検	討	○有 ●無				
		76	平成31年月		- :	1 2年度		-L:	•	令和 3年度		-L:	令和 4年度	
		策公園維持管理	内 容	金額(千円	東	予算額(千) 28,		(千円) 政策 26,095 公	内 内	容	金額(千円)	策 - 公園維持管理	P 容	金額(千円)
		樹木剪定業務委託	委託	36, 8 48, 6	45 樹木剪定業務委託(3月補正)	36, 8 50, 8	350 3	36,836 植	村木剪定業務委託 以業務委託		36, 850 50, 850	樹木剪定業務委記 草刈業務委託	ŧ	36, 850 50, 850
		遊具定期点検診 清掃、管理委託	モ(高齢者雇用)	2, 7 19, 3	93 清掃、管理委託(高齢者雇用)	3, 20,	336 2	20, 336 清	望具定期点検業務委請, 管理委託(高	齢者雇用)	3, 146 20, 336	遊具定期点検業系 清掃、管理委託((高齢者雇用)	3, 146 20, 336
	実施内容	清掃、管理委請清掃、管理委請清掃、管理委請 嘱託職員(3名	氏(民間委託)	10, 3 8, 7 4, 7	58 清掃、管理委託(民間委託)			8, 910 津	情掃、管理委託(福 情掃、管理委託(民 5犯カメラ保守点核	間委託)	10, 664 9, 170 86	清掃、管理委託(清掃、管理委託(防犯カメラ保守点	(民間委託)	10, 664 9, 170 86
(8) 施行事:		臨時職員(5月/ 負担金		3, 5		正 !	576 118	429 2	プルカグラはり点で 担金		576 117	: 励犯カグラ保守 # : 公園台帳(1ヵ所 : 負担金		576 117
			時職員賃金を除 時職員賃金)		49 開発協議、申請、検査、帰属事		0 0	0 閉	マーエ 開発協議、申請、核 8合型GISシステム		0	開発協議、申請、 *:総合型GISシステ		
		開発協議、申請	所)の作成及び傾 青、検査、帰属事	事務	0 パートタイム会計年度任用職員	(技能員 3, 2	185 298	3, 226		度任用職員(技能員	1, 485 3, 171	パートタイム会言	計年度任用職員(技能員 計年度任用職員2名(事	務 2,578
		* 根戸船戸緑地湾	ップのデジタルイ 構腐病樹木伐採 を掛まな図典数3	3, 8		2名(事務 2,		2, 450	t能 労務職会計年度	F度任用職員2名(事務 要任用職員5名	2, 578 3, 456	技能労務職会計年 一般事務費	丰度任用職員5名	3, 456 2, 462
		*: 五本松公園病 嘱託職員(一·	害樹木伐採業務委 号嘱託)	安託 2,9 1,6				2, 607 2, 108	-般事務費		2, 462			
	予算(決算)額	1	計	175, 1	29 合計	173,	206 16	63, 111	合	計	173, 078		計	171, 593
	国庫支出金 県支出金	補助率 補助率	C) %) %	0 補助率 0	%	0	0 補	助率 助率	0 % 0 %	0	補助率	0 % 0 %	0
(9) 財源内	一般財源	充当率		169, 1	29	% 173, 1	0 206 16	63, 111	当率	0 %	173, 078	,,,,	0 %	171, 593
	その他の財源 換算人数(人) 正職員人件費	□特会□受	益 ■基金 □そ	<u>の他</u> 6,0 5. 46.2	25		05 325 F	6. 05 52. 635	□特会 □受益 □	基金 □その他	5. 25 45. 675	□特会 □受益	□基金 □その他	5. 25 45, 675
(10) 人件費	選等 「嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			6, 3 4, 5	83	32,1	0	0			5, 753 4, 508			5, 753 4, 508
事業費(予算 (11) 単位費	(決算)額+正職員人件費)	1. 475. 53千円	221, 3		225, 8	341 21	15, 746 438, 31			218, 753			217, 268
	費/活動結果指標) 集の評価 (D0+CHEC I	K)	1, 475. 55十円	1/ 11a	1,505.01十円/	r iia	1, 4	430. 31						
,	評価項目	<u> </u>		事			<u> </u>		事 後	評 価 (評価結果に応	むじ、改善案検	討(拡充も含む))		改善改善検討
					ぎを与えてくれるとともに、災害時には 誰もが安心して利用できるよう、良好な			〕事前確認での ・事前確認での)想定どおり)想定どおりでなか) o t-				
	業が今必要である理由 景は?(事業の必要性)			10 50 12 12 14 50		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				りでなかった原因>				O要 ●不要
										たことで、良好な公園				
必		(理由) □法令等		本等では実施できない ことが定められている	<その他の内容>		■ ②	②市が主導で進	IPO、市民団体∜ ≝めなければ実効性 ∶なったことで市員				生の理由> 寺管理は市が主体とな	って行
要性 (2) 击		□その他		•				促進された	女策・施策の目標の		プ必安かめ	10/E07。		
b	が実施する必要性は るか? お実施の必要性)	●②自治体である (理由) □市が主		きである により実効性が得られ	<その他の内容> る		□ ⑤ □ ⑥	うサービス水準 うサービスの安	≝が確保された ₹定供給基盤が確保					〇要 ●不要
(1)	1天他000安江/	サービ	スが保証される					⑦その他 の他の内容>						
		実現が	図られる	り政策・施策の目標の										
		□その他	参加・協働の)内容	工夫の具体的が	な内容			・協働の具体的な が考えられる場合			参加・協働の程	程度・内容	
参加		〇①事業計画時(〇②事業実施時(2 13 m	70 -177E 340 0-87E	11-10 (47) 11/		明待した以上 明待したとおり		
 市民σ 	D参加や市民との協働を しているか?	〇④市氏の目王田	内な活動と連携し									D期待以下		〇要_
	づくり)	○⑤市民と共同で ●⑥その他	で事業を実施								<期待した	以上となった理由/乳	朝待以下であった原因	> ●不要
夫		<その他の内容> 該当なし												
			配慮の視	点	取組む内容	容			実施した具体的な	:内容		環境への	配慮	
理		□①自然環境を生 □②生き物と共存	±かしている		2011 U F 37						●①想定 & ○②想定 &			
環 境 環境に いるか	こ配慮して事業を進めて	□③手賀沼を意言□④環境負荷低減	能している	3								りでなかった原因>		〇要
境 環境に でるか 虚	r f	■⑤その他												● 不要
		<その他の内容> 該当なし												
		現況値(a)(ha)	目標値(b)(h		目標値の妥当性のチェック			達原		●①目標値達成 ○②目標値未達				
(1)目:	標設定は適切か?	150	150	■②現況値と比	データ・事実に基づき設定している とべ実現性が乏しい値ではない		実約	績値(f)(ha)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した		となった原因>		—— O要 ● 不 更
		150	150)差が小さい値ではない 対対象が有る場合、比較対象例における[セである	目標値(と現況値の差	ع (150	100	予定通りの公園・				●不要
		対策実施に。	よる事業費削減		実施予定の対策	**		実加	↓ 拖状況 ┃ ☆素素素 (2/)	○①想定事業費●②概ね想定事			川減対策について	
効		事業費(c)(千円)	事業費削減額(千円)	■②現有体制で □②維持管理期	での対応 □⑥受益者負	等民間資本の活用 負担		賃値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○③想定事業費		●①事前の想定どお ○②事前の想定どお		
+ い	業費削減の工夫をして るか?	225, 841	△4,512	□③維持管理第 □④民間委託 <削減の内容>				215,746 過理由等>	95. 53			<想定どおり削減でき	きなかった原因>	 ○要 ●不要
性							1 72							
		Δ	2. 04											
	標値を実現する為に		目標値対事業費	学(e) 単位 費用単位	計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用単位			達病 実績値(h)	成状況 対目標値(%)	○①目標値以上●②目標値と同様○③目標値以下	程度	ll 以上となった理由∕	∕目標値以下であった♬	O要
	じる事業費は適正か? 目標対費用)	0. 07		ha 10万円	- 〇②複数年度の指標:(目標値-現況	R値)×費用単位/事業	費	美額値(n) 0.07	(h/e) × 100	し の口标 個以下				●不要
3. 事徒	後評価				<u> </u>			•	1					
●現状と	ごおり推進 〇拡充	〇縮小		休止 〇廃止	〇事業手法見直し 〇その他(事業	業完了など)								
評 環境へ	への配慮や就労の確保な	どを行いながら、公		評価コメント 『を進めていく必要があ	<u> </u>					改善策》	及び展開方向			
						I								

	事業コード	818		1 1	課コード	0704		会計種別	一般会計	 			- 予:	算の種類	□政策			■なし
Ξ		010		μ.	и— I	5751		公田主が	мхда	''			,	弁の住が			□経常	
1.	事業の概要(PLAN)		基本事業	公園維持管理	III				1					1				
		①事業名		公園維持官場公園許可事利					実施計画 位置で		(○ 有 ●無		②部課名	都	市部・公	園緑地課	
		③事業主体	●市	〇その他	()	④対象地区	×	口我孫子	口天王台	口湖北	□新木	. :	布佐	■全市	
(1)	事業概要	⑤事業期間				~			⑥担当職員	員数	(当 初)		2 人	(換算人 子 子 子 (うち人			0.15 人)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(開始	始)年度	(変更後)		1, 303 TT 千円				千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策		62101	重点プロジェクト	重点	2	基本計画			○有 ●無		部門別計画		+画名)		
			コード 公園・緑地	他が持つ機能(への位置づけ への位置づけ に残る貴重な樹林地や城跡、古墳			計画への位	立置づけ		公園維持のための	商切な利用の	位置づ)指導と許可	(† \ \			
(2)	目的	施策目的 · 展開方向	ながら、市	ト街地で公園 が	が不足している	一部の区域において公園の整備を を進めるとともに、主要公園にお	検討します。また、	誰もが安心し	て 事業目	目的	17.22 O 11.11 2	, market 1-1 es / C es es /	<u> </u>	71047 (2011)				
						6条占用許可、都市公園条例第2			3		法令に遵守し	て管理運営する	とともに、『	申請に対して円	滑な指導、	許可の事	務を行う。	
									当該年執行計									
(3)	事業内容	内 容							+74111									
									当該年	丰度	申請件数					単位	想定值件	400
(1)	*************				***	17 (10 A 1 A 1 B 1 B 1 B 1 B 1 B 1 B 1 B 1 B 1			活動結果				15. 150				実績値	
_	達成目標(期待する成果) 当該年度	安全・安心な公園	のため、適切	切な許可を行		標(期待する成果)			指標和		都市公園内の	D行為、占用、設	指 標 置管理の申記	青件数		単位件	(5) 現況値	(6)目標値
-		安全・安心な公園	のため、適切	切な許可を行	う				直接		都市公園内の)行為、占用、設	置管理の申請	青件数		件		400
-	令和 4年度	安全・安心な公園	のため、適切	切な許可を行	う				直接		都市公園内の)行為、占用、設	置管理の申記	青件数		件		400
			公園利用者は	あるいは、占月	用、設置物で未	:申請物件がある。判明次第、指導	を行い適切な申請手	続きを行うよ	j j									
(/)	事業実施上の課題と対応	促す。				_			代替案	検討		O有 ●無 —————						
		Thr :	平成31	年度	A# (7 m)		令和 2年度	E/- EN 14 M	· # / ~ m \	:		分和 3年度	A # (-				4年度	A#=(T.FR)
		策 申請件数 400 ⁴	内 容 件		金額(千円)	政策 内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(十円) 决昇	額(千円) 政策		内 400件	容	金額(千	策 :	f件数 400f	内 容		金額(千円)
		1 4611 34				1 1011 30 2 1111				1 4611 2					111 22 1001			
	実施内容																	
(8)	施行事項 費 用																	
	予算(決算)額	<u> </u>	計		(0	0		合 言	†		0	合	計		0
	国庫支出金 県支出金	補助率 補助率		0 %) 補助率) 補助率	0 %	0		補助率 補助率		0 % 0 %		0 補助 0 補助	<u> </u>		0 % 0 %	0
(9)	財源内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	(0 %	0	0	充当率		0 %		0 充当2			0 %	0
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受拍	益 □基金 □	こその他	0. 15		その他	0 0. 15	0 0. 15	□特会	· 口受益 口基	金 口その他		0. 15	特会 口受益	金基口益金	□その他	0. 15
(10	人件費等 正職員人件費 嘱託職員報酬額)		1, 305	1, 305 0				1	, 305				1, 305 0
事業	臨時職員賃金額 費(予算(決算)額+正職員人件費)				1, 320			0 1, 305	0 1, 305				1	, 305				0 1, 305
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		3.3千円	9/件		3.26千円	1 / 1/4		5. 35									
						·	1/1+		5. 35									
2.	事業の評価(D0+CHECK)					1/ 11		5. 35									
2	事業の評価 (DO+CHECK _{評価項目}					前 評 価						平 価(評価結果	に応じ、改訂	善 善案検討(拡充	きも含む))			改善検討
2.	評価項目	多くの市民にとっ			とするため、都	前 評 価 3市公園法第5条設置・管理許可、 い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都		5.35 ●①事前確認で ○②事前確認で		ビおり		に応じ、改む	善案検討(拡充	€も含む))			
2.		多くの市民にとっ			とするため、都	『市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都	<	●①事前確認で ○②事前確認で 想定どおりと	での想定とした理由	ごおり ごおりでなかっ /想定どおり	った でなかった原因>	·			47-14	lêw + 4	改善検討 ○要 ●不要
2.	評価項目 (1)事業が今必要である理由・	多くの市民にとつ 例第2条行為許可	の公園利用申	申請に対して打	とするため、都 指導と許可を行	市公園法第5条設置・管理許可、 い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都	(公 公	●①事前確認で ○②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可	での想定とした理由	ごおり ごおりでなかっ /想定どおり どの申請に対	った でなかった原因> して適切に許可及	ひ指導を行	い、公園の維持	持管理に努め			O要
2.	評価項目 (1)事業が今必要である理由・	多くの市民にとつ 例第2条行為許可 ●①民間企業、N (理由) ■法令等	の公園利用申 IPO、市民 で市が実施す	申請に対して打 団体等では実 することが定る	とするため、都 指導と許可を行	『市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都	(公 ((●①事前確認で ②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ■①民間企業、 □②市が主導で	での想定と した理由 「、占用な NPO、 で進めなけ	ごおり ごおりでなかっ /想定どおり との申請に対 市民団体等で †れば実効性が	った でなかった原因> して適切に許可及 では実施できなか がなかった	。 なび指導を行 った	い、公園の維持	持管理に努む	性の理由		●不要
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・	多くの市民にとつ 例第2条行為許可 ●①民間企業、N (理由) ■法令等	の公園利用申 NPO、市民で市が実施す	申請に対して打 団体等では実 することが定る	とするため、都 指導と許可を行	市公園法第5条設置・管理許可、 い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都	<!--</th--><th>●①事前確認で ○②事前確認で 想定どおりと 圏の行為許可 ■①民間企業で ②高市が主導で 促進された</th><th>での想定と した日本 いもので いで いなった</th><th>どおりでなかっ /想定どおり との申請に対 市民団東効性だっ ナればとで市民へ</th><th>った でなかった原因〉 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層</th><th>。 なび指導を行 った</th><th>い、公園の維持</th><th>持管理に努む</th><th>性の理由</th><th>1></th><th>○要●不要</th>	●①事前確認で ○②事前確認で 想定どおりと 圏の行為許可 ■①民間企業で ②高市が主導で 促進された	での想定と した日本 いもので いで いなった	どおりでなかっ /想定どおり との申請に対 市民団東効性だっ ナればとで市民へ	った でなかった原因〉 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層	。 なび指導を行 った	い、公園の維持	持管理に努む	性の理由	1>	○要●不要
必	評価項目 (1)事業が今必要である理由・	多くの市民にとつ 例第2条行為許可 ●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主・□その他	の公園利用申 IPO、市民で市が実施す 体が市しかな	申請に対して打団体等では実 することが定と ない	とするため、都 指導と許可を行 が を を が さない が られている	がおいますのでは、 おけない関連を行う必要 「おい、適切な公園の管理を行う必要 「おい、適切な公園の管理を行う必要 「おいます」では、 「まいます」では、 「まいますます」では、 「まいますます」では、 「まいますます」では、 「まいますます」では、 「まいますます」では、 「まいますます」では、 「まいますますますます。 「まいますますますますます。 「まいますますますますますます。 「まいますますますますますますますますますますますますますますますますますますま	第6条占用許可、都	(公 公 (公 () ()	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ■①民間企業。 ②②市が先導導の 促進された ②④市の支援が ③・サービスカ	での想 した占 いが で と は は は は は り い は と い 進 と い さ が れ が れ が れ が れ が れ が れ が れ が れ が れ が	どおりでなかっ /想定どおり どの申請に対 市民団体外性だっ たことでの目標の写 を楽のれた	った でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層	。 なび指導を行 った	い、公園の維持	持管理に努む	性の理由	1>	● 不要
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は	多くの市民にとうの 例第2条行為許可の ●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主 □ □ 日	の公園利用申 IPO、市施かない実しかが市が推めのは進するででは、 いまでは進せのは、またのではでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは	申請に対して打 団体等では実 することが定と ない べきである ことにより実り、	とするため、都 指導と許可を行 が を を が さない が られている	は市公園法第5条設置・管理許可、 はい、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都	(公 公 (公 () () () () () ()	●①事前確認で ○②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ●①民間企業で ②市が生き導行 促進ので支援が にのサービスが ②のするのでである。	での想 せい	どおりでなかっ /想定どおり どの申請に対 市民団体外性だっ たことでの目標の写 を楽のれた	った でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層	。 なび指導を行 った	い、公園の維持	持管理に努む	性の理由	1>	○ 要 ●不要
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	多くの市民にとつの例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例如。 ●①民間企業、トロットのでは、日本の他のでは、日本の他のでは、日本の他のでは、日本	の公園利用用 「Pで体が市で推進の供証と 「市がで推進の供証と でなすされた。 「ではなすされた。 「ではないする。」 「ではないする。」 「ではないする。」 「ではないまする。 「ではないまする。 「ではないないまする。 「ではないないまする。 「ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	申請に対してす 団体等では実 することが定る ない べきである ことによりり、 れる	とするため、都指導と許可を行 指導と許可を行 を施できない められている 効性が得られる	は市公園法第5条設置・管理許可、 はい、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都	(公 公 (公 () () () () () ()	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行間を導導で ②③市が生き導行 促進ので提ぶ (2、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	での想 せい	どおりでなかっ /想定どおり どの申請に対 市民団体外性だっ たことでの目標の写 を楽のれた	った でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層	。 なび指導を行 った	い、公園の維持	持管理に努む	性の理由	1>	● 不要
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	多くの市民にとつの例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例如。 ●①民間企業、トロットのでは、日本の他のでは、日本の他のでは、日本の他のでは、日本	の公園利用申 Pの公園利用申 で体が市市では現までは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	申請に対してす 団体等では実 することが することがある ことにより実 ることにより、 ることにより、 ることにより、 るこより政策・計	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのも はないできない。 かられている が性が得られる。 かられるし	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要 <その他の内容> <その他の内容>	第6条占用許可、都 がある。	(公 公 (公 () () () () () ()	●①事前確認で ○②事前確認で 想定どおりと ■①民間企業で ②高市がきき導行 促進市の支援力 1③サービスの ③・サービスの ○・サービスの	で した 田田 ロト ロト ロト ロト ロト ロト ロト ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー	どおりでなかっという。 どの申請に対する。 での申請に対する。 市民団体等では、 たことでの目標の写 を策の目標の写 果された。 会基盤が確保さ	った でなかった原因〉 して適切に許可及 では実施できなか がなかった N普及が一層 実現に貢献した	。 なび指導を行 った	い、公園の維 実施の具体的な 公園法に基づき	持管理に努め な内容・必要 ・・公園管理	性の理由	> 行う必要がある	● 不要
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	多くの市民にとつの例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例如。 ②自治体では、 ○②自治体である(理由) □ 市が実い □ 市が実い □ 中が支い 実現がい □ その他	の公園利用申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申	申請に対してする 団体等では実む することが であることにより ことにより ることより なるこより の内容	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのも はないできない。 かられている が性が得られる。 かられるし	は市公園法第5条設置・管理許可、 はい、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都 がある。	C C C C C C C C C C	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ③②市が先さ準導行 「②市が先されたが に進かサービスの 「③サービスの 「②・サービスの その他の内容 実施した参 参加・協	でのし、 には には には には には には には には には には	どおりでなかっという。 どの申請に対する。 での申請に対する。 市民団体等では、 たことでの目標の写 を策の目標の写 果された。 会基盤が確保さ	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	・なび指導を行った <市事業を行った <市事業を行った	い、公園の維 関施の具体的な 公園法に基づき	持管理に努め (内容・必要等) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	性の理由	> 行う必要がある	● 不要
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	多くの市民にとうの 例第2条行為許可の ●①民間企業、N (理由) ■法会等 □提供主 □ こまるである。 (理由) □市がまり □ 市が実り 中が支援。 マの他	の公園利用申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申	申請に対してす 団体等とがは定さいである。ことにとし、政策・ 動の内容	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのも はないできない。 かられている が性が得られる。 かられるし	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要 <その他の内容> <その他の内容>	第6条占用許可、都 がある。	C C C C C C C C C C	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおり許可 「包用間企業。 ②②市が先き消化 (必市の支援、 ③・サービスの 1○・サービスの ・で、の他の内容 実施した参	でのし、 には には には には には には には には には には	どおりでなか。 / 想定と請(対 / をの申請(対 市民は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	び指導を行った <市事本市イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い、公園の維持 を施の具体的な を公園法に基づき 参 参 当初期待したに 当初期待したた	特管理に努る (内容・必要 (大公園管理 加・協働の 以上 とおり	性の理由	> 行う必要がある	○要 ●不要 5 。
必要性参加・	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?	多くの市民にとつ例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の例第 2 条行為許可の目標 1 回転 1 回	の公園 和用 中 中 市	申請に対 では まない べことこ ない から でよい な まっと い な まっと い な 策 の 内 の 内 りり て する で り い い る 実り い ・ か か の 内 で り り し い の な の の の の の の の の の の の の の の の の の	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのも はないできない。 かられている が性が得られる。 かられるし	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要 <その他の内容> <その他の内容>	第6条占用許可、都 がある。	C C C C C C C C C C	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ③②市が先さ準導行 「②市が先されたが に進かサービスの 「③サービスの 「②・サービスの その他の内容 実施した参 参加・協	でのし、 には には には には には には には には には には	どおりでなか。 / 想定と請(対 / をの申請(対 市民は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	→ なび指導を行った	い、公園の維持 を施の具体的な を を を を を を を を を を を を を	持管理に努め な内容・必要管理 か・協働の 以上 とと下	程度・内	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 る。 ○要 ●不要
必要性参加・	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	多くの市民にとつ 例第 2 条行為許可の	の公園 和用 中 中 市	申請に対 では まない べことこ ない から でよい な まっと い な まっと い な 策 の 内 の 内 りり て する で り い い る 実り い ・ か か の 内 で り り し い の な の の の の の の の の の の の の の の の の の	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのも はないできない。 かられている が性が得られる。 かられるし	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要 <その他の内容> <その他の内容>	第6条占用許可、都 がある。	C C C C C C C C C C	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ③②市が先さ準導行 「②市が先されたが に進かサービスの 「③サービスの 「②・サービスの その他の内容 実施した参 参加・協	でのし、 には には には には には には には には には には	どおりでなか。 / 想定と請(対 / をの申請(対 市民は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	→ なび指導を行った	い、公園の維持 を施の具体的な を を を を を を を を を を を を を	持管理に努め な内容・必要管理 か・協働の 以上 とと下	程度・内	> 行う必要がある	○要 ●不要 る。 ○要 ●不要
必要性参	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?	多くの市民にとつ例第 2 条行為許可の第 2 条行為許可の第 2 条行為許可の第 2 条行為許可の第 2 条行為許可の第 2 条等 2 日本 1 日本	の公園 日本	申請に対 では まない べことこ ない から でよい な まっと い な まっと い な 策 の 内 の 内 りり て する で り い い る 実り い ・ か か の 内 で り り し い の な の の の の の の の の の の の の の の の の の	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのも はないできない。 かられている が性が得られる。 かられるし	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要 <その他の内容> <その他の内容>	第6条占用許可、都 がある。	C C C C C C C C C C	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ③②市が先さ準導行 「②市が先されたが に進かサービスの 「③サービスの 「②・サービスの その他の内容 実施した参 参加・協	でのし、 には には には には には には には には には には	どおりでなか。 / 想定と請に対すてなか。 / 想定と請に対すた。 市民は一般ないでは、 市民は一般ないでは、 市民は一般ないでは、 を果る基盤が確保できる。 の具体的なない。	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 では実施できなか がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	→ なび指導を行った	い、公園の維持 を施の具体的な を を を を を を を を を を を を を	持管理に努め な内容・必要管理 か・協働の 以上 とと下	程度・内	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 る。 ○要 ●不要
必要性参加・	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?	多くの市民にとつの	の	申請に対してする は定さ は は で が は ま で が は ま で が い き に よ に み な い と こる い よ に み な の 内 り り り り し て い る 気 が い か な の 内 り り し て い る の の の の の の の の の の の の の の の の の の	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのも はないできない。 かられている が性が得られる。 かられるし	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。	C C C C C C C C C C	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ③②市が先さ準導行 「②市が先されたが に進かサービスの 「③サービスの 「②・サービスの その他の内容 実施した参 参加・協	で で し、 で と は 日 日 日 日 日 日 日 の な の た は 日 の は の た は の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	どおりでなか。 / 想を がありでなか。 / 想を があります。 があります。 がまればといる。 を を を を を を を を を を を を を	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 には実施できなかがなかった 一層 実現に 貢献 したされた	→ なび指導を行った	い、公園の維持 を施の具体的な を を を を を を を を を を を を を	持管理に努めない。 なけるのとの管理 からいという。 からいという。 からいのでは、 もっと。 からいのでは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。	程度・内	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 る。 ○要 ●不要
必 要 性 参加・協働のH夫	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?	多くの市民にとって 多くの市民にとって 多くの市民にとって 多くの市民にとって 今(理由) □ 日間 □ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	の公園 「中で体」の導施ス援図 「中で体」のでは、するするとは、 は、 できるするとは、 は、 できるできるとは、 は、 できるできるとは、 は、 できるできるとは、 は、 できるできるとは、 は、 できるとは、 は、 は	申請に対してする は定さ は なっこ ない は なっこ ない ない さい ない	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのものできない。 というないできない。 かられている が性が得られる。 が、良質で安定し	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要 <その他の内容> <その他の内容>	第6条占用許可、都がある。	(公公)	●①事前確認で ②②事前確認で 想定どおりと 園の行為許可 ③②市が先さ準導行 「②市が先されたが に進かサービスの 「③サービスの 「②・サービスの その他の内容 実施した参 参加・協	で で し、 で と は 日 日 日 日 日 日 日 の な の た は 日 の は の た は の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	どおりでなか。 / 想定と請に対すてなか。 / 想定と請に対すた。 市民は一般ないでは、 市民は一般ないでは、 市民は一般ないでは、 を果る基盤が確保できる。 の具体的なない。	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 には実施できなかがなかった 一層 実現に 貢献 したされた	・ なび指導を行った	い、公園の維持 実施の具体的なき 会園法に基づき 当初期特もした。 当初の期特したという 当もした以上となる	持管理に努め な内容・必要 加・協働の 以上と下 なった・理由/	程度・内	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 る。 ○要 ●不要
必 要 性 参加・協働の工夫 環	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?	多くの市民にとつ「 ●① (理由) □ (型・単二) (型・単)	の	申請に対 して す	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのものできない。 というないできない。 かられている が性が得られる。 が、良質で安定し	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。	(公公)	●①事前確認で ②②事前確認で 想園の行為によりと可 ②の行為にはなる。 ②の市のでは、 ②の市のでは、 ②の市のでは、 ②の中一ビーのの内容 を必要して、 ※一の他の内容 を必要した。 ※一の他の内容	で で し、 で と は 日 日 日 日 日 日 日 の な の た は 日 の は の た は の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	どおりでなか。 / 想を がありでなか。 / 想を があります。 があります。 がまればといる。 を を を を を を を を を を を を を	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 には実施できなかがなかった 一層 実現に 貢献 したされた	をび指導を行った	い、公園の維 を を を の具体的なき を の の とい の の の の の の の の の の の の の	持管理に努め に内容・必要理 加・協働の 以上 と下 にった理由/ 環境への なかった	程度・内別待以下	1> 1行う必要がある	●
必要性 参加・協働のH夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	多くの市民にとつの (理由) □ (型度) □ (□ (ZE) □	の	申請に対 して す	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのものできない。 というないできない。 かられている が性が得られる。 が、良質で安定し	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。	(公公)	●①事前確認で ②②事前確認で 想園の行為によりと可 ②の行為にはなる。 ②の市のでは、 ②の市のでは、 ②の市のでは、 ②の中一ビーのの内容 を必要して、 ※一の他の内容 を必要した。 ※一の他の内容	で で し、 で と は 日 日 日 日 日 日 日 の な の た は 日 の は の た は の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	どおりでなか。 / 想を がありでなか。 / 想を があります。 があります。 がまればといる。 を を を を を を を を を を を を を	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 には実施できなかがなかった 一層 実現に 貢献 したされた	をび指導を行った	い、公園の維持 実施の具体的なき 会園法に基づき 当初期特もした。 当初の期特したという 当もした以上となる	持管理に努め に内容・必要理 加・協働の 以上 と下 にった理由/ 環境への なかった	程度・内別待以下	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 る。 ○要 ●不要
必 要 性 参加・協働の工夫 環	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	多くの市民にとつの第2条行為許可の第2条行為許可の第2条行為許可の第2条行為許可の第2条行為許可の目標由の日本法提そのからの第2年のとの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	の Pで体 高導施ス援図 Pの市が市が進提保証こる 大実し 推め供証こる ・ 参考と民民活業 でいい、献 に市市市な事 にでいい、献 のの参数をと にでいい、献 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	申請に対 して す	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのものできない。 というないできない。 かられている が性が得られる。 が、良質で安定し	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。	(公公)	●①事前確認で ②②事前確認で 想園の行為によりと可 ②の行為にはなる。 ②の市のでは、 ②の市のでは、 ②の市のでは、 ②の中一ビーのの内容 を必要して、 ※一の他の内容 を必要した。 ※一の他の内容	で で し、 で と は 日 日 日 日 日 日 日 の な の た は 日 の は の た は の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	どおりでなか。 / 想を がありでなか。 / 想を があります。 があります。 がまればといる。 を を を を を を を を を を を を を	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 には実施できなかがなかった 一層 実現に 貢献 したされた	をび指導を行った	い、公園の維 を を を の具体的なき を の の とい の の の の の の の の の の の の の	持管理に努め に内容・必要理 加・協働の 以上 と下 にった理由/ 環境への なかった	程度・内別待以下	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 5。 ○要要要 ● 不要
必要性 参加・協働のH夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	多くの市民にと可いの第2条行為許可いの第2条行為許可いの第2条行為許可いの第2条行為許可いの第2条行為計画の記憶には、第4件のののでは、第4件のののでは、第4件のののでは、第4件ののでは、第4件ののでは、第4件のでは、第4	の Pで体 の導施ス援図 Pの市が が進提保るれ 加ののの動を ではいいが でいいが でいいが でいいが でいいが でいが でいが で	申請 団ない べことこるよい しし は 定じ る 実り 、 が ありり て でよに と	とするため、都行 指導と許可を行 にできない。 というないる はないできない。 というないのものできない。 というないできない。 かられている が性が得られる。 が、良質で安定し	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、 適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。	(公公)	●①事前確認で ②②事前確認で ②②事前確認で 想園の行間が失さに ③②は市ででで ③②では、 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	で で し、 で ひと で ひと で で ひと で の で の で の た は に に の な の た の に に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に 。 に の に 。 。 に 。 。	どおりでなか。 / 想を がありでなか。 / 想を があります。 があります。 がまればといる。 を を を を を を を を を を を を を	でなかった原因ス でなかった原因ス して適切に許可及 では実施できなか がなかった を 現に貢献した された 1容(又は今後、 はその内容)	では、 のび指導を行った である。 のでは、	い、公園の維 を を を の具体的なき を の の とい の の の の の の の の の の の の の	持管理に努め に内容・必要理 加・協働の 以上 と下 にった理由/ 環境への なかった	程度・内別待以下	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 5。 ○要要要 ● 不要
必要性 参加・協働のH夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	多くの市民にとつの第2条行為許可の第2条行為許可の第2条行為許可の第2条行為許可の第2条行為許可の目標由の日本法提そのからの第2年のとの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	の Pで体 高導施ス援図 Pの市が市が進提保証こる 大実し 推め供証こる ・ 参考と民民活業 でいい、献 に市市市な事 にでいい、献 のの参数をと にでいい、献 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	申請に対 で は 定 は	とするため、 指導と許可 を行 を を を で きない め られている が は の は が の の に を の の の の の の の の の の の の の	京市公園法第5条設置・管理許可、 京い、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。	(公公	●①事前確認で ②②事前確認で ②②事前確認で ②②事所確認で ②②市市経済を ②②市市経済を ③③②では、 ②③では、 ②④では、 ②④では、 ②○では、 ○○では ○○で ○○で	で で し に で し に で し に で し に の た は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっというでは、おりでなかった。 生活の 中間 はった に 年 は との 中間 は から は か	でなかった原因> して適切に許可及 して適切に許可及 には実施できなかがなかった 一層 実現に 貢献 したされた	をび指導を行った 本市イタ 本市イタ 本市イタ 本市イタ 本市イタ 本市イタ 本市イタ 本市イタ	い、公園の維 を を を の具体的なき を の の とい の の の の の の の の の の の の の	持管理に努め に内容・必要理 加・協働の 以上 と下 にった理由/ 環境への なかった	程度・内別待以下	1> 1行う必要がある	●
必要性 参加・協働のH夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	多くの市民にと可いの第2条行為許可いの第2条行為許可いの第2条行為許可いの第2条行為許可いの第2条行為計画の記憶には、第4件のののでは、第4件のののでは、第4件のののでは、第4件ののでは、第4件ののでは、第4件のでは、第4	の Pで体 の導施ス援図 Pの市が が進提保るれ 加ののの動を ではいいが でいいが でいいが でいいが でいいが でいが でいが で	申請 団はい べことこ 働 有有有携 いっか (件) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	とするため、を行行を行うという。 とも でもない をおいる という でもない あいまない でもない でもない でもない でもない できない できない できない できない できない できない のも 観知 (2) 現現 沢畑 (2) 現現 沢畑 (3) 現現 にんきょく にんきょう はんしょう はんしょう はんきょう はんきょう はんきょう はんきょう はんきょう はんきょう はんしょう はんきょう はんしょう はんしょう はんしょう はんきょう はんきんきょう はんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんき	は市公園法第5条設置・管理許可、 はい、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。	C	●①事前確認で ②②事前確認で ②②事前確認で 想園の行間がよさりと可 ③②は市がたされたが ○②では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	で で し に で し に で し に で し に の た は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかかりという。 がというでは、 がおりでなかかりというできます。 では、 がおりでなかかります。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	った でななかった原因ス でして適切にきなか が普 に は実施でた 層 に はなかが一層 はなかが一層 はなかが、 をれた (又内内容) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	では、 のは、 のは、 のでは、	い、公園の維持を はい ない	持管理に努めを理理に努めを理理に必要理に必要理に必要理に必要理理に必要理理を必要理理を対象を理理を対象を理理を対象をできません。 「「「「「」」には、「「」」には、「」には、「	程度・内の配慮	1> 1行う必要がある	○要 ●不要 5。 ○要要要 ● 不要
必要性 参加・協働のH夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	多くの市民にとつの場合を担います。 ●① (理由) □ (型)	の	申請 団はい べことこ 働 有有有携 いっか (件) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	とするため、を行行を行うという。 とも でもない をおいる という でもない あいまない でもない でもない でもない でもない できない できない できない できない できない できない のも 観知 (2) 現現 沢畑 (2) 現現 沢畑 (3) 現現 にんきょく にんきょう はんしょう はんしょう はんきょう はんきょう はんきょう はんきょう はんきょう はんきょう はんしょう はんきょう はんしょう はんしょう はんしょう はんきょう はんきんきょう はんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんき	は、 適切な公園の管理を行う必要 (その他の内容) (その他の内容) (その他の内容) (大た) (大た) (本表) (大た) (本表) (大た) (本表) (本表) (本表) (本表) (本表) (本表) (本表) (本表	第6条占用許可、都がある。	C	●①事前確認で ②②事前確認で ②②事前確認で ②②事所確認で ②②市市経済を ②②市市経済を ③③②では、 ②③では、 ②④では、 ②④では、 ②○では、 ○○では ○○で ○○で	で で し に で し に で し に で し に の た は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっというでは、おりでなかった。 生活の 中間 はった に 年 は との 中間 は から は か	でなかった原因ス でなかった原因ス して適切に許する がが、音なかが一層 には実施できなか が、音 限 した をれた ② (又は今後、 にはその内容) ② (型) 標標値 を (マローナウィル)	及び指導を行った 都市イン	い、公園の維持を はい ない	持管理に努めを理理に努めを理理に必要理に必要理に必要理に必要理理に必要理理を必要理理を対象を理理を対象を理理を対象をできません。 「「「「「」」には、「「」」には、「」には、「	程度・内の配慮	1> 1行う必要がある	●
必要性 参加・協働のH夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	多くの市民にと可い	の	申請 団はい べとこる り の 内 りりりして いま定と り の 内 りりりして いること り の 内 りりりして いること り の の 回	とするため、都を行ります。 とするため、を行いているという。 というない という はいい という はい はい という はい はい という はい	は市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都がある。	(公公) (1)	●①事前確認で ②②事前確認で ②②事前確認で 想園の行間が生きに ②②市がたさきに ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ②③では、 ②③では、 ③③では、 ③③では、 ②③では、 ③③では、 ②③では、 ②③では、 ③③では、 ②③では、 ③。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ⑥~では、 ○では ○では ○では ○では ○では ○では ○では ○で	で し、 Cで役とが体の C	どおりでなかっ ジと ありでなかっ ジと 市民 は いまり対 大と 市民 は と の 明田 東	でなな適切に表する。 では、	A び 指導 を 行	い、公園の維オ (公園の集本) (公園の集本) (公園の集本) (公園の集本) (公園) (公園) (公園) (公園) (公園) (公園) (公園) (公園	持管理に努めている。 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	程度・内 アンドル (中の市が) (利利の)	容であった原因〉	●
必要性 参加・協働のH夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	多くの市民にとつ「 ●① (理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	の	申請 団 は で が	と指導と指導と指導と指導と指導と指導と指導と指導と指導とを指導とを指導とを表している。 たいい る は で で れて いい る いっこう で は で れて が で 質 現 現 況 況 遠 の いっこう で し と と 比 準 で に く き な と い 軟 単 で に く き な は の で に く き な ま な に の で に く き な ま な に の で に く き な ま な に の で に く き な ま な に の で に く き な ま な に の で に く き な ま な に の で に く き な ま な に の で に く き な ま な に の で の に の で の に の ま な	は市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 に内容 ク する目標値(と現況値 ま者負担	(公公) (1)	●①事前確認で ②②事前確認で 想園の行場ではあります。 ②②まずとある。 ②ではあるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	で し、 Cで设と W 本の C かん M で の と	どおりでなかったというでは、	でなかった原因ス でなかった原因ス では、変にできなかい。 ではなかなが、音になかが、音になかが、音になかが、音になかが、音になかが、音にないをにないが、音にないが、音にないが、音にないが、音にないが、音にないが、音にないが、音にないが、音にないが、音にない	A び 指導 を 行	い、公園の維オ を を を を を を を を を を を を を	特管理に努めている。 かい は 動の かい は 動の かい は 動の かい は しょ にった で 理由 ノ で ないった 原利用 と は ないった と ト は かいった と かいった と ト は かいった と と は かいった と ト は かいった と は な と	程 を	容 であった原因ン	●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	多くの市民に為許可の	の	申請 団は	と指導と指導と指導と指導と指導と指導と指導と指導と指導とを指導とを指導とを表している。 たいい る は で で れて いい る いっこう で は で れて が で 質 現 現 況 況 遠 の いっこう で し い 教 連 で は と と 比 準 で に い き な の は 値 と と 比 準 で に い き な の は 値 と と 比 準 で 成 で の は の は の は の は の は の は の は の は の は の	は市公園法第5条設置・管理許可、 はい、適切な公園の管理を行う必要	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 に内容 ク する目標値(と現況値 ま者負担	(●①事前確認で ②②事前確認で ②②事前確認で 想園の行間が生きに ②②市がたさきに ③③では、 ③③では、 ③③では、 ③③では、 ②③では、 ②③では、 ③③では、 ③③では、 ②③では、 ③③では、 ②③では、 ②③では、 ③③では、 ②③では、 ③。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ④。では、 ⑥~では、 ○では ○では ○では ○では ○では ○では ○では ○で	で し、 Cで设とが W P D C P M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかかり対しています。 では、	でなな適切に表する。 では、	A び 指導 を 行	い、公園の維オ を	持管理に努めて 理に必要理 は かい	程	容 容 について かった	●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	多くの市民に為許可の	の	申請 団は	と指導を作っている と	は市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 に内容 ク する目標値(と現況値 ま者負担	(●①事前確認で ②②事前確認で 想園の行場ではありいます。 ②ではあれたがまさまで、このでは、1000円では、1	で し、 Cで设とが W P D C P M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかったというでは、	でなな適切に表する。 では、	A び 指導 を 行	い、公園の維オ を	持管理に努めで (本)	程	容 容 について かった	○要不要要 ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	多くの市民に為許可の	の	申請 団は	と指導を作っている と	は市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 に内容 ク する目標値(と現況値 ま者負担	(●①事前確認で ②②事前確認で 想園の行場ではありいます。 ②ではあれたがまさまで、このでは、1000円では、1	で し、 Cで设とが W P D C P M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかったというでは、	でなな適切に表する。 では、	A び 指導 を 行	い、公園の維オ を	持管理に努めで (本)	程	容 容 について かった	○要不要要 ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	多くの市民に為常子によって、	の	申請 団 は	と指導を行う と	は市公園法第5条設置・管理許可、 はい、適切な公園の管理を行う必要 くその他の内容> くその他の内容> した 工夫の具体 取組む 取組む 取組む ないまが乏しい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 別度活用 口⑤ P F の別減策の実施 口⑦ その	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 ウ ク 1 等民間資本の活用 1 発負担 法	(●①事前確認で 想園の(日間が終れさきとなる) ②の (日間ががたさきとなる) ②の (日間ががたさきとなる) ③の (日間ががたさきとなる) ③の (日間ががたさきとなる) ③の (日間ががたさきとなる) 「一〇の他の内容 を動ししたが 当なし 当なし 当なし ※実績値(f)(件) 244 とは、(g)(千円 1、305 >	で し、 Cで役とが水の C か M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなか。 どおりでなか。 どの中間は 大とでは 大にでは 大にでいる。 では、 では、とのでは、 では、とのでは、 では、とのでは、 では、とのでは、 では、とのでは、 では、とのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	でなな適切に表する。 では、	び指導を行った 都市 か	い、公園の維持 ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 会別の ・ 会別の ・ となりのでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでない。 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ こことをは、 ・ ここと	持管では、 かん	性者 程 期 D 減 削 おおき / ののの ・ 以 減りりな すびかりな は か 対でか 様なっっ 値 ・ し でか 値	容 容 について かった	●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	多くの市民に為常子によって、	の	申請 団 は い	と指導を かい なと いっこう できない ない から なと いっこう できない ない から など は で おてい ない から など ない から 体質 の の 目 で おてい など ない から 値 と 比 から など と は で で は で は	は市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 ク ナる目標値(と現況値 1等民間資本の活用 1時間 1十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	が (公公 (で (で (で (で (で) (で) (で) (で) (で	●①事前確認では 想図の行きにより許可 ●②②事が発さされるのででは、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 一○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	でし、 Cでといいなり か MM を Tan O なっ ・確供 MR を Han O なっ ・確供 MR 実施 状 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	どおりでなかか。 どとの B では おりでなかかった。 を B では との B では ない ない はい 対 では にん ない はい	った でなな適切に まなかった原因の では 実施った でして (な) できなか でき に でき	び指導を行 が	い、公園の維持 ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 会別の ・ 会別の ・ となりのでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでない。 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ こことをは、 ・ ここと	持管では、 かん	性者 程 期 D 減 削おおき / ののの ・ 以 減りりな すびかりな は か 対でか 様なっっ 値 ・ し でか 値	容 であった原因ン について かった 原因ン た 原	○● ● ● ● <t< td=""></t<>
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (1)目標対費用)	多くの市民に為許の事情にという。 ●① (理由)	の	申請 団 は	と指導を行う と	は、	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 ク ナる目標値(と現況値 1等民間資本の活用 1時間 1十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	が (公公 (で (で (で (で (で) (で) (で) (で) (で	●①事前確認で 想園の(具面) ではおきない。 「具面) ではないでは、 「具面) では、 「は、 「は、 「は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	でし、 Cでといいなり か MM を Tan O なっ ・確供 MR を Han O なっ ・確供 MR 実施 状 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	どおりでなかった と	でなな適切である。 でなな適切である。 では実施った では実施った では実施った では実施った ではなか及 貢献 した ではなか及 では (文内内容) 「102 標・クークではるではです。 「202 標・クークでは、 「202 では、 「202 では、 「302 では、 「302 では、 「303 では	び指導を行 が	い、公園の維持 ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 会別の ・ 会別の ・ となりのでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでない。 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ こことをは、 ・ ここと	持管では、 かん	性者 程 期 D 減 削おおき / ののの ・ 以 減りりな すびかりな は か 対でか 様なっっ 値 ・ し でか 値	容 であった原因ン について かった 原因ン た 原	○● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ○● ● ○● ● ○● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加·協働の工夫 環境への配慮 効率性 3	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する海に投じる事業費に通便に発じる事業費に必要性)	多くの市民に為許可の事業では、「等主体」という。 (理由) □□は、「等主体」では、「等性」では、	の	申請 団 は ない さい で は 定 さい で が	と指導でれている と指導 でれている かけり の かりり でれている かけり の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	は市公園法第5条設置・管理許可、	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 ク ク は (と現況値	が (な) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	●①事前確認では 想図の行きにより許可 ●②②事が発さされるのででは、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 一○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	でし、 Cでといいなり か MM を Tan O なっ ・確供 MR を Han O なっ ・確供 MR 実施 状 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	どおりでなかか。 どとの B では おりでなかかった。 を B では との B では ない ない はい 対 では にん ない はい	でなな適切である。 でなな適切である。 では実施った では実施った では実施った では実施った ではなか及 貢献 した ではなか及 では (文内内容) 「102 標・クークではるではです。 「202 標・クークでは、 「202 では、 「202 では、 「302 では、 「302 では、 「303 では	び指導を行 が	い、公園の維持 ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 会別の ・ 会別の ・ となりのでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでなかりでない。 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ 会別では、 ・ こことをは、 ・ ここと	持管では、 かん	性者 程 期 D 減 削おおき / ののの ・ 以 減りりな すびかりな は か 対でか 様なっっ 値 ・ し でか 値	容 であった原因ン について かった 原因ン た 原	○● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ○● ● ○● ● ○● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加·協働の工夫 環境への配慮 効率性 3	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用) 事後評価 現状どおり推進 〇拡充	多くの市民に為所でいる。	の	申請 団 は	と指導を行う と	は「京の場合」 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	第6条占用許可、都がある。 本的な内容 ク ナる目標値(と現況値 1等民間資本の活用 1時間 1番単位 大きでである。	が (な) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	●①事前確認では 想図の行きにより許可 ●②②事が発さされるのででは、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 ●③②③では、 一○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	でし、 Cでといいなり か MM を Tan O なっ ・確供 MR を Han O なっ ・確供 MR 実施 状 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	どおりでなかか。 どとの B に と で は な に で は に な に で は に な に で は に な に で な た に を に な た 性 に で な れ な か に で は れ な ら に で は た と の 目 た が 確 保 で な か は の れ る	ででなかったに でなな適能のようでは しては実かかす。 ではまかみです。 ではなかみです。 ではなかみです。 ではなかみです。 ではなかみです。 ではなかみです。 ではなかみでする。 ではなかみでする。 ではなかみでする。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなかるです。 ではなが、 ではないでする。 ではないです。 ではないでする。 ではないではないです。 ではないでする。 ではないでする。 ではないでする。 ではないではないです。 ではないではないです。 ではないではないです。 ではないではないではないです。 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	び指導を行 が	い、公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ 公園の ・ は、 ・ といる ・ このでも ・ こ	持管では、 かん	性者 程 期 D 減 削おおき / ののの ・ 以 減りりな すびかりな は か 対でか 様なっっ 値 ・ し でか 値	容 であった原因ン について かった 原因ン た 原	○● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ○● ● ○● ● ○● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

March Marc	東式第3号				争務争	莱 評価表(令札	1 2平度)						
Table	事業コード	821		課コード	0704	会計種	別一般会計				予算の種類	□政策 ■経常	□なし
Table	1. 事業の概要(PLAN)												
March Marc		() + db 5	基本事業 緑化	·推進事業			実施計画へ	· Ø		0.5	(a) + n = m + n		
Color		①事業名	個別事業 保存	戸緑地・保存樹木					● 有	〇無	②部課名	都市部・公園緑地課	
Section Process Proc			●市 C	その他(□我孫子				
Column C	1)事業概要	0.1			~		⑥担当職員数		坐 対 □)				
## 1500-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-			総事業費		0 千円		当該(開始)	年度 ——		3, 140			
Company Comp		@#####################################	施策	11001	重点プロジェクト	æ.F.,	基本計画地[O.fm		2	
The content of the		8)施策の位置つけ	コード		への位置づけ		計画への位置	づけ			位置づけ	(計画名) 緑の基本計画	
Table	(2)目的									を有する緑地や樹木:	を保全することで、市具	民が健康で文化的な日常生活を営	めるよう環境
April Apri		放用刀叫						年	間を通じて保存	F緑地・樹木の適切▽	な維持管理の指導及び持	指定の拡充を図り、条例に基づく	助成を行う。
March Marc			保存緑地・保存	F樹木として指定し、管理	!費助成と、倒木等による近隣への		負担			, 44.0			
STATE STAT	(A) = * + = =		+±//5,007/2007, 1].	712650 飞浪日和庚夏江水	PETENDATO CU-100								
Control Cont	の 手来内谷												
Part									存緑地指定面積	Ę		単位 ㎡	
March	(4) 達成日煙 (期待する成里)			達成日標	(期待する成里)					指	堙		
Part		根戸の森などの地	権者と交渉を進め						存緑地指定面積	***	1216		
Section	今和 3年度	緑地指定面積の拡	大を図る。				直接	保		ŧ		m	260 (
STATE CANADA 1		良好な自然環境を	有する緑地や樹木	トの指定を進め、我孫子ら	しい自然環境を保全する。			保		ŧ			200, 0
### 14 PROPERTY OF THE PROPERT	节和 4年度 ————————————————————————————————————					らの苦情もあり、既指定緑地等				•			
Part	(7) 事業実施上の課題と対応							討	〇有	●無			
### APPARAMENT 1.50			平成31年度			令和 2年度			令和:	3年度		令和 4年度	
### PART PART		政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(千円) 🧎	·算額(千円) 政		内 容	金	額(千円) 政	内 容	金額(千円
Section for to belief supple 20 Seales (which is brilling 1 0 Seales (which is brilling 1 1 0 Seales (which is brilling 1 1 1 1 1 1 1 1 1													
本語の							1 : "						
本語の													
本語の													
1988年 19													
現場の表現 1984 1985 1984 1985 1984 1985 1984 1985 1984 1985 1984 1985	(8) 施行爭項 費 用												
株式製造機・													
株式製造機・													
株式製造機・													
株式製造機・													
株式製造機・													
### 1							,	助家	合 計	0 %			6, 90
1888 1988 1988 1989	県支出金	補助率	0	% 0	補助率	0 % 0	0 補	助率		0 %	0 補助率	0 %	
10 日本の日本	(9) 財源内訳 一般財源			6, 898		6, 968	6, 835		784 C#A		6, 968		
10 日本では、	換算人数(人)	□ □符会 □党:	益 □基金 □その	0. 25	□符会 □党金 □基金 □1	0. 25	0. 25	□符会□	」	□その他	0. 25	《 口党益 口基金 口その他	
### 1	(10) 人件實等 嘱託職員報酬額			0		0	0				0		,
1995年 1	■ 臨時職員賃金額 事業費(予算(決算)額+正職員人件費			•									9, 14
# 1 F 2	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.04千円/m	ที	0.04千円	∕ m³	0. 04						
日本の中央の会が大きた。	2. 事業の評価(DO+CHEC	К)											
10 日本の大きに入口には、	評価項目			事前					事後評価	西(評価結果に応じ	、改善案検討(拡充も	<u></u> 含む))	改善検討
(1) 自身の意見を含め、													
### (もとでは緑の保全	策として限界はあ	ある。しかし条例にもとつ									
1	背景は?(事業の必要性)	乱開発防止に一定	の効果をあげてい	いると考えられる。							:に効果を得ている。		●不要
日東北京都内に向いた		O①民間企業、N	NPO、市民団体 ²	等では実施できない	<その他の内容>		■①民間企業、N	IPO、市	万民団体等では実	実施できなかった	<市実施の具体的な内容	字・必要性の理由>	
日本の地域	必			ことが定められている								か加入	
● 含色が生きる。表別を表別できる。 (中の一部できる。	要						促進された						
日本の金融であるという。					<その他の内容>		□⑤サービス水準	が確保さ	きれた				
□ 四次の接触されたにより設計・直接の内容	(市実施の必要性)	口市が実	施・提供すること				□⑦その他	(正供稻基	を盛か催保された	5			●不要
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日)政策・施策の目標の			<その他の内容>						
### 1.58 (1997年)													
の ①事業計画体に成の少量性が					工夫の具体	 的な内容					参加・	協働の程度・内容	
### (### 2 **) (### 2 **)	参						地権者の協力を得る	ながら市民	民開放型保存緑	地として、根戸地			
(特徴でくり) (特徴でくり) (特徴でくり) (特徴でくり) (特徴でくり) (特徴でくり) (特徴でくり) (特徴でとり) (日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の	市民の参加や市民との協働を	○③管理・運営に	こ市民の参画有り	T1.7	は、かとりのパランティアが幅	持官生に参加している。		心儿正氏	四体による林の	他可旨生に未がり		9	0.75
できる他の内容 日本の他の内容 日本の中の内容 日本の中の内	協 工夫しているか? 動 (体制づくり)	○⑤市民と共同で		(No						-	<期待した以上となっ	と理由/期待以下であった原因>	
お題の理念 数据の内容 接近への配慮 接近への配慮 接近への配慮 接近への配慮 接近への配慮 接近への配慮 接近への配慮 接近を物と木材している 日間に変更を作している 日間にない 日にない 日間にない 日間にない 日間にない 日間にない 日間にない 日間にない	が エ 夫												
■①自然報告を生めれている □を建物と作用でいる □を建物と発行している □を持たという。 □を表現のである。 □を表現のであ		<その他の内容>											
■①自然報告を生めれている □を建物と作用でいる □を建物と発行している □を持たという。 □を表現のである。 □を表現のであ			配慮の担占	i	Bit 4P ± \	内容		実施した	具体的な内容			環境への配慮	
■			上かしている	`	緑地を保全することで、生き物	の生息環境を守り、ヒートア				を確保している。	●①想定どおり		
日本報資商機(本) - 日本報道の 日本述述の	環 境 ・環境に配慮して事業を進めて	■③手賀沼を意識	載している		イランド現家の緩和も担ってい 	·6.							
10 目標設定は適切か? 225.963 250.0000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.000 250.0000 250.000 250.00000 250.0000 250.0000 250.0000 250.0000 250.0000 250.00000 250.00000 250.00000 250.00000 250.00000 250.00000000 250.000000000000000 250.00000000000000000000000000000000000	のいるか?	□□④ 填現貝何低源	域に貢献している								<想定どおりでなかっ)	に原因>	
1 日標値の実当性のチェック 達成状況 25,963 250,000 225,963 250,000 226,963を テータ・事実に基づき設定している 三級別能とのチェック 226,963 250,000 268般的なデータ・事実に基づき設定している 三級別能との表が小さい間ではない 三級別能を上の表が小さい間ではない 三級別能との表が小さい間ではない 三級の別能にはない 三級の別能にはない 三級の別能との表が小さい間ではない 三級の別別にはない 三級の別別別にはない 三級の別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別	慮												
(1) 目標設定は適切か?													
(1)目標設定は適切か?		現況値(a)(m³)	目標値(b)(m ²	?)	目標値の妥当性のチェック	ל	·						
225, 963	(1)目標設定は適切か?						実績値(f)(m³)		以平 (%) h x 100)		+ /+ · + · · · · · · · · · · · · · · · ·	18	〇要
対策実施による事業費削減 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ②数本業費(%) ②連素費(%) ②表表表 ③表表表 ②表表表 ②表表表表 ②表表表表 ②表表表表 ②表表表表 ②表表表表 ②表表表表 ②表表表表 ②表表表 ②表表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表表 ②表表 ②表表表 ②表表 ②表表表 ②表表 ②表表 ②表表 ②A.		225, 963	250, 000	□③現況値との差が	が小さい値ではない	る目標値(と現況値の差)と	222 597	. ,				N /	
本業費削減の工夫をしているか?		±156	- 7 古 米 井 小 1 1 1		<u>ある</u>		,			○①相空車拳拳士冲		5 坐 本 の 地 1 一	
# (2) 事業費削減の工夫をして				(d) □①国・県助成制F		I 等民間資本の活用			業弗 (04)	●②概ね想定事業費	以内		
章 (1) 事業費削減0 上大をしているか? 1	効		(千円)	■②現有体制での対	対応 □⑥受益:	者負担	F 11711	(g/c	c) × 100	∪⊍忍疋事業質超過			
□ 日標値対事業費(e) 日標値対事業費(e) 日標値対事業費(e) 日標値対事業費(e) 日標値と変現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用) 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円	いるか?			□④民間委託		· -] 9	98. 55		<想定どお	J削減できなかった原因>	
日標値対事業費(e) 計算方法 達成状況 全様値以上となった理由/目標値以下であった原因> (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用) 10万円	生	事業費肖	减平(%)	<削減の内容>									●小姜
(3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用) 2,734.33 単位 費用単位 可 10万円 ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 実績値(h) 対目標値(%) (n/e) × 100 2,470.55 90.35 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 ●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)		۵	0. 49										
(3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用) 2,734.33 単位 費用単位 可 10万円 ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 実績値(h) 対目標値(%) (n/e) × 100 2,470.55 90.35 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 ●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)			目標値対事業费/	(e)	計笛士	±	李月	龙状 湿		〇①目標値以上		った理由/目標値以下であった原	因>
②複数年度の指標:(目標値→現況値)×費用単位/事業費 (h/e)×100 (h/e)×100 (2,470.55 90.35 (h/e)×100 2,470.55 (h/e				位 費用単位	①単年度の指標:目標値×費用	単位/事業費		対目	標値(%)	●②目標値と同程度			〇要
3. 事後評価 ●現状どおり推進 O拡充 O縮小 O結合 O休止 O廃止 O事業手法見直し Oその他(事業完了など)		2, 734.	33)②複数年度の指標:(目標値-3	記況値)×費用単位/事業費 			e) × 100	○◎□™胆以 ľ			●不要
●現状どおり推進 〇拡充 〇縮小 〇結合 〇休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)	2 東後部体			,			2, 4/0. 55	9	90. 00				
		C link !	O#7	- th	市業工计日本! 0 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	古坐ウフむ!**							
11 日子です! ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ	●現状とおり推進 〇拡充	D M M M			⇒耒于法見旦し ○その他(⁾	∌未元∫など)				改善策及パ	展開方向		
	進していく。												

_表 式第3号 ————————————————————————————————————				事務争 ————	莱評恤表 (令札 ————	」						
事業コード	822		課コード	0704	会計種	別 一般会計			予算の種類	□政策	■経常 [コなし
1. 事業の概要(PLAN)												
	①事業名	基本事業 公園維	持管理			実施計画への	0	有 〇無	②部課名	都市	部・公園緑地課	
	③事業主体		掃(自治会委託) の他(位置づけ) ④対象地区	□我孫子		湖北 口新木			
	⑤事業期間	Tip O'E	の に(~		⑥担当職員数	山松珠丁		2 人 (換算人		0.15 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費		0 千円		当該(開始)年	(当初)	2, 71	9 千円 (うち人	、件費	1,305 千円)	
	(人件費含む)	心于木具		V 113		当成(開始) 牛	(変更後)		千円 (うち人	件費	千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62102	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地区計画への位置で)有 ●無	部門別計 位置つ		i名)	
(a) = #	施策目的・)、地域住民の主体的な公園づく「)活動を支援するとともに、4		多くの市民が	快適に利用できる公園	とするため適正なな	公園管理を行う	. I	
(2) 目的	展開方向		自主的な活動を広げて			事業目的						
		公園・緑地の清掃	、管理業務を自治会に	三委託する。			74公園を3	5 自治会に委託する。				
						当該年度 執行計画						
(3) 事業内容	内 容											
						当該年度	委託公園数				想定値 単位 箇所	
(4)達成目標(期待する成果)			達成日標	『(期待する成果)		活動結果指標 指標種類	示	指	堙		学位 (5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	快適に利用できる	よう維持管理を行う				間接	多くの市民が	快適に利用できるため		適所数	箇所 70	(0) [1] (8)
	快適に利用できる	よう維持管理を行う				間接	多くの市民が	快適に利用できるため	の公園清掃・管理領	·	箇所	
令和 4年度	快適に利用できる	よう維持管理を行う				間接	多くの市民が	快適に利用できるため	の公園清掃・管理師	·	箇所	
711 1412	高齢化により管理	委託をやめる自治会	が出てきている。			旧印英						
7) 事業実施上の課題と対応						代替案検討)有 〇無				
		平成31年度			令和 2年度		令	和 3年度			令和 4年度	
	政 策	内 容		政 内容		央算額(千円) 政 策	内	金	額(千円) 政策		容	金額(千円
	清掃、管理委託 (35自治会、7		1, 414	清掃、管理委託 (33自治会、70公園)	1, 414		帚、管理委託 5自治会、74公園)		1,414 清持	帚、管理委託 15自治会、74公	園)	1, 4
実施内容 8)施行事項 ## B												
世 曹 明												
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計 0%	1, 414		1, 414 0 % 0	1,354 補助	<u>合計</u> 率	0 %	1,414	<u>合</u> 率	計 0 %	1, 4
県支出金起債	補助率 充当率	0 % 0 %	0	補助率 充当率	0 % 0	0 補助 0 充当		0 % 0 %	0 補助 0 充当		0 % 0 %	
(9) 財源内訳 一般財源 その他の財源		益 □基金 □その他	1, 414	□特会 □受益 □基金 □	1, 414	1, 354	·]特会 □受益 □基:		1, 414		□基金 □その他	1, 4
換算人数(人) 正職員人件費			0. 15 1, 320		0. 15 1. 305	0. 15 1. 305			0. 15 1. 305			0. 1 1, 30
(10) 人件實等 嘱託職員報酬額			0		0	0			0			1, 30
│ 臨時職員賃金額 事業費(予算(決算)額+正職員人件費			2, 734		2, 719	2, 659			2, 719			2, 71
(11)単位費用 (事業費/活動結果指標)		36.95千円/箇所		36.74千円/	′箇所	37. 99						
2. 事業の評価(DO+CHEC	ЭК)											
評価項目				評価				価(評価結果に応じ	、改善案検討(拡き	充も含む))		改善検
	有する大切な空間			⊱与えてくれるとともに、災害時 ₹心して利用できるよう、良好な:		●①事前確認での想 ○②事前確認での想		<i>t</i> =				
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)						<想定どおりとした	理由/想定どおりつ	でなかった原因>				○要 ●不要
						自治会に公園等の維 きた。	持管理を委託するこ	ことにより、地域住民に	こ公園に親しみを持	ってもらうとと	: もに交流を図ることが	ि
ž.		IPO、市民団体等で で市が実施すること		<その他の内容>		□①民間企業、NF ■②市が主導で進め		は実施できなかった なかった	<市実施の具体的が 地域の公園への興味		の理由> ることで、より利用し	易く
要		体が市しかない				□③市が先導役とた 促進された					に管理を委託している。	
性 (2) 市が実施する必要性は		市が推進すべきでも	± Z	<その他の内容>		□④市の支援が政策 □⑤サービス水準が		現に貢献した				O要
あるか? (市実施の必要性)	(理由) 口市が主	導で進めることによ	り実効性が得られる			口⑥サービスの安定		れた				●不要
	サービ	スが保証される	より、良質で安定した	=		□⑦その他 <その他の内容>						
	実現が	援することにより政 図られる	策・施策の目標の									
	□その他		3		的加索	実施した参加・	協働の具体的な内	容(又は今後、		2 hn . 45 #1 ~ **	+ . 巾⇔	
	〇①事業計画時(参加・協働の内容		工夫の具体自治会に委託し、公園の清掃・		参加・協働が	べ考えられる場合に		○①当初期待した	診加・協働の程』 □ULF	度・内容	
参 ho	〇②事業実施時に	市民の参画有り		日加玄に安配し、五國の清师	他は無限を打りている。	した。	00、日加云10月172	くび 地政 無快寺 と安心	●②当初期待した	とおり		
市民の参加や市民との協働。	■ ○○○ 市民の目主日	りな活動と連携してい	いる						○③当初の期待以			〇要
動 (体制づくり)	○⑤市民と共同で ○⑥その他	: 争業を実施							<期待した以上と7	なった埋田/期	待以下であった原因>	●不要
工 夫	<その他の内容>					-						
		配慮の視点		取組む	为容		尾施した具体的な内	容	A@##	環境への配	2庫	
環	□①自然環境を生 □②生き物と共存	すしている				該当なし			●①想定どおり ○②想定どおりで	なかった		
焼 境 □環境に配慮して事業を進めて	□③手賀沼を意識	ŧしている ホに貢献している						-	<想定どおりでなが	かった原因>		〇要
のしいるか?	□ □④ 填現貝何低淵											● 不要
スプ いるか? 配 計	□④環項負何低源 ■⑤その他											
か いるか? 配置	□ □④ 填現貝何低淵											
の 記 蔵	□ 個環境員何低源 ■ ⑤ その他 <その他の内容> 該当なし	日堙ሴ /ト\ / 炊元\		日堙値の亞坐糾のエニ …	7	** (* 1	状 湿					
	□(4) 環境負荷低源 ■⑤その他 <その他の内容>	目標値(b)(箇所)		目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している	7	達成 実績値(f)(箇所)	達成率(%)	●①目標値達成 - ○②目標値未達成				
の 記載 (1)目標設定は適切か?	□ 個環境員何低源 ■ ⑤ その他 <その他の内容> 該当なし	目標値(b)(箇所)	□②現況値と比べ □③現況値との差が	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない		実績値(f)(箇所)	達成率(%) (f/b×100)	○②目標値未達成 <目標を達成した理			スーレポポキャ	○要 ●不要
	□ (3 現現員何低海 ■ (5 その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所)		□②現況値と比べ □③現況値との差が	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ			達成率(%)	〇②目標値未達成			ることができた。	
	□ (3 現現員何悠海 ■ (5 その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所)	74	□②現況値と比べ □③現況値との差が □④適当な比較対象 同等の水準である。	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策	る目標値(と現況値の差)と	実績値(f)(箇所)	達成率(%) (f/b×100) 94.59 状況	○②目標値未達成 - <目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○① 想定事業費未済	自治会と連携を図り	りながら委託す 事業費の削減	減対策について	
(1)目標設定は適切か?	□ (3 現現員何悠海 ■ (5 その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所)	74	□②現況値と比べ。 □③現況値との差が回答の水準である。 □①国・県助成制が回②現有体制でのある。	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤PF 対応 ロ⑥受益	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	実績値(f)(箇所) 70	達成率(%) (f/b×100) 94.59	〇②目標値未達成 <目標を達成した理 コロナ禍の中でも、	自治会と連携を図り 高 貴以内 ■ ① 事	りながら委託す	減対策について	
(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして	□ (3 環境資価化減 ■ (5 その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所) 70 対策実施によ 事業費 (c) (千円)	74 る事業費削減 事業費削減額(d)	□②現況値と比べ。 □③現況値との差が □③明況値との差が 同等の水準である。 □①国・県助成制が	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤PF 対応 ロ⑥受益	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	実績値(f)(箇所) 70 実施4 実績値(g)(千円) 2,659	達成率(%) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%)	○②目標値未達成 - <目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未減 ●②概ね想定事業業	自治会と連携を図り	事業費の削減額の想定どおいます。	減対策について	●不要 ————————————————————————————————————
(1)目標設定は適切か? by (2)事業費削減の工夫をして いるか?	□ (3)環境資何後減 ■(5)その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(箇所) 70 対策実施によ 事業費(c)(千円) 2,719	74 る事業費削減 事業費削減額 (d) (千円)	□②現況値と比べ。 □③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 □②現有体制での □③維持管理費の 同・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤PF 対応 ロ⑥受益	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	実績値(f)(箇所) 70 実施4 実績値(g)(千円)	達成率(%) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%) (g/c)×100	○②目標値未達成 - <目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未減 ●②概ね想定事業業	自治会と連携を図り	事業費の削減額の想定どおいます。	戚対策について り りでなかった	●不要 ————————————————————————————————————
(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか?	□ (3)環境資価(を) ■ (5) その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(箇所) 70 対策実施によ 事業費(c)(千円) 2,719 事業費肖	74 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 15	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差 □④適当な比較対対 同等の水準で。 □①国・県助成制。 □②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤PF 対応 ロ⑥受益	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	実績値(f)(箇所) 70 実施4 実績値(g)(千円) 2,659	達成率(%) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%) (g/c)×100	○②目標値未達成 - <目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未減 ●②概ね想定事業業	自治会と連携を図り	事業費の削減額の想定どおいます。	戚対策について り りでなかった	●不要 ————————————————————————————————————
(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか?	□ (3)環境資価化準 ■ (5) その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所) 70 対策実施によ 事業費 (c) (千円) 2,719 事業費首	74 - る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 15 減率(%)	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差 □④適当な比較対対 同等の水準で。 □①国・県助成制。 □②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象方。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥受益 判滅策の実施 □⑦その	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 他	実績値(f)(箇所) 70 実施 実績値(g)(千円) 2,659 <超過理由等>	達成率(%6) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%) (g/c)×100 97.79	○②目標値未達成 <目標を達成した理 コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未満 ●②概ね想定事業費 ○③想定事業費超過	自治会と連携を図り	事業費の削減でき	滅対策について り りでなかった なかった原因>	●不要 ○ ● ● 不要
(1) 目標設定は適切か? 対 (2) 事業費削減の工夫をしているか? (3) 目標値を実現する為に	□ (3)環境資何低減 ■(5)その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(箇所) 70 対策実施によ 事業費(c)(千円) 2,719 事業費前	74 - る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 15 - 減率(%) 55 - 目標値対事業費(e)	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差対 同等の水準で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象がある場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥受益 削減策の実施 □⑦その	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 他	実績値(f)(箇所) 70 実績値(g)(千円) 2,659 <超過理由等> 達成利	達成率(%6) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%6) (g/c)×100 97.79	○②目標値未達成 ○②目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未決 ●②概ね想定事業費超近 ○③想定事業費超近 ○③目標値以上 ●②目標値と同程度	自治会と連携を図り 「 「 し で で で で で で で で で で で で で	事業費の削減でき	戚対策について り りでなかった	●不要 ○要 ●不要
配慮 (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか?	□ (3)環境資何低減 ■(5)その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(箇所) 70 対策実施によ 事業費(c)(千円) 2,719 事業費前	74 - る事業費削減 - 事業費削減額 (d) (千円) 15 - 15 - 1減率 (%) 55 - 目標値対事業費 (e) 単位	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値ととの差対 □(多数では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象方。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥受益 判滅策の実施 □⑦その	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也	実績値(f)(箇所) 70 実績値(g)(千円) 2,659 <超過理由等> 達成科 実績値(h)	達成率(%6) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%) (g/c)×100 97.79	○②目標値未達成 <目標を達成した理 コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未減 ●②概ね想定事業費 ○③想定事業費超過	自治会と連携を図り 「 「 し で で で で で で で で で で で で で	事業費の削減でき	滅対策について り りでなかった なかった原因>	●不要 ○要 ●不要
(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	□ (3)環境資価化減 ■ (5) その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所) 70 対策実施によ 事業費 (c) (千円) 2,719 事業費肖	74 - る事業費削減 事業費削減額 (d) (千円) 15 - 減率(%) 55 目標値対事業費(e) 単位	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値ととの差対 □(多数では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥ 受益 削減策の実施 □⑦ その 計算方;	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也	実績値(f)(箇所) 70 実績値(g)(千円) 2,659 <超過理由等> 達成利	達成率 (%6) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費 (%6) (g/c)×100 97.79 状況 対目標値 (%6)	○②目標値未達成 ○②目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未決 ●②概ね想定事業費超近 ○③想定事業費超近 ○③目標値以上 ●②目標値と同程度	自治会と連携を図り 「 「 し で で で で で で で で で で で で で	事業費の削減でき	滅対策について り りでなかった なかった原因>	●不要 ○要 ●不要
(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	□ (3)環境資価係減 ■ (5) その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所) 70 対策実施によ 事業費 (c) (千円) 2,719 事業費背 0	74 - る事業費削減 - 事業費削減額(d) (千円) 15 (1)減率(%) 55 単位 箇所	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差対 同等の水準で □①国・県財成制。 □②現有特管理費の。 □③経情管理費の。 ④後間委託 <削減の内容>	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PF 対応 □⑥ 受益 判滅策の実施 □⑦ その 計算方 ●①単年度の指標:目標値×費用 〕②複数年度の指標:(目標値-到	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 他	実績値(f)(箇所) 70 実績値(g)(千円) 2,659 <超過理由等> 達成科 実績値(h)	達成率(%6) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%) (g/c)×100 97.79	○②目標値未達成 ○②目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未決 ●②概ね想定事業費超近 ○③想定事業費超近 ○③目標値以上 ●②目標値と同程度	自治会と連携を図り 「 「 し で で で で で で で で で で で で で	事業費の削減でき	滅対策について り りでなかった なかった原因>	●不要 ○要 ●不要
(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	□ (3)環境資価係減 ■ (5) その他 <その他の内容> 該当なし 現況値 (a) (箇所) 70 対策実施によ 事業費 (c) (千円) 2,719 事業費背 0	74 - る事業費削減 - 事業費削減額 (d) (千円) - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 同等の水準で。 □①国・県財成制。 □②現有特管理費の。 □③経民間委託 <削減の内容> 費用単位 10万円	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 変活用 □⑤PF 対応 □⑥受益 判滅策の実施 □⑦その 計算方 ●①単年度の指標:目標値×費用 □②複数年度の指標:(目標値-現	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也	実績値(f)(箇所) 70 実績値(g)(千円) 2,659 <超過理由等> 達成科 実績値(h)	達成率(%6) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%) (g/c)×100 97.79	○②目標値未達成 ○②目標値未達成 ○目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費素計 ●②概ね想定事業費超過 ○③想定事業費超過 ○③目標値以上 ●②目標値以下	自治会と連携を図り 高 費以内 ○②事 <想定と	事業費の削減でき	滅対策について り りでなかった なかった原因>	●不要 ○要 ●不要
(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) 3. 事後評価 ●現状どおり推進 ○拡手	□ (3)環境資価化減 ■ (5) その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(簡所) 70 対策実施によ 事業費(c)(千円) 2,719 事業費肖 0	74 - る事業費削減 - 事業費削減額 (d) (千円) 15 - 訓滅率(%) 55 - 目標値対事業費(e) 単位 箇所 - ○結合 ○休止 - 評価	□②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差対 ・ 同等の水準で、 □①国・県財成での。 □③現有体制理費の。 □④は精管要託 <削減の内容> ・ 関射値(・ 10万円	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PF 対応 □⑥ 受益 判滅策の実施 □⑦ その 計算方 ●①単年度の指標:目標値×費用 〕②複数年度の指標:(目標値-到	る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也 基 単位/事業費 記況値)×費用単位/事業費	実績値(f)(箇所) 70 実績値(g)(千円) 2,659 <超過理由等> 達成科 実績値(h)	達成率(%6) (f/b×100) 94.59 状況 対事業費(%) (g/c)×100 97.79	○②目標値未達成 ○②目標を達成した理コロナ禍の中でも、 ○①想定事業費未決 ●②概ね想定事業費超近 ○③想定事業費超近 ○③目標値以上 ●②目標値と同程度	自治会と連携を図り 高 費以内 ○②事 <想定と	事業費の削減でき	滅対策について り りでなかった なかった原因>	●不要 ○要 ●不要

							事務事業 計		2-1-12/								
事業コード		1450			課コード		0704	会計種類	一般会	計			予算の種	重 類	□政策	■経常	□なし
1. 事業の概	要(PLAN)																
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		(C) = 411. 5	基本事業						実施計	画への				to am to		7.42 td 500	
		①事業名	個別事業 8	みどりのオ	ドランティアの充写	実			位置	づけ	04	● 無	(2)	部課名	都市部・公園	副 禄地課	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	Oそのft	也 (~			④対象地⑥担当職		□我孫子		湖北 	□新木 (換算人数	□布佐	■全市 0.42 人)	
(1)事業概要		⑦事業費							0,22		(当 初)		。入 99 千円	(うち人件費		,654 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(開	始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		11302		プロジェクト	重点なし	基本計画		04	●無	音	P門別計画への は でんけい	(計画名) 糸	录の基本計画	
		******		的な環境係	呆全活動が広がる。		の位置づけ 出と情報提供など支援	内容の充実を図るとと	計画への	位直づけ	緑の質の向上を	図るとともに緑に関	心を持つ市	位置づけ 民を増やしてい	\\\.		
(2)目的		施策目的 · 展開方向	、さまざまた	な団体が村	相互に連携・協力で	できるよう支援して	いきます。		事業	目的							
								民の自主的な参加によ いく。市としては、活				の登録、活動のため 、ゴミ袋等資機材の					
			所の確保や資	資機材の扱	是供、貸し出し等の	の支援を行う。	対応するため、緑の講		当該執行			ニュースの印刷・面		200			
(3)事業内容		内 容	5/2 4//2	9.27.19.02 H	E JA C 70 30 -90 771 C 71		- 10 1 - 0 1	a A C.E.B. / U.	7713	1112							
									当該	年度	参加延べ人数				単位	想定值	42
/ N									活動結							実績値	18
(4)達成目標(期待)	する成果)	緑の保全に関心を	持つ市民を増	やす	達成日禄	標(期待する成果)			指標間		参加延べ人数	指	標		単位人	(5)現況値 340	(6)目標値
ラ		緑の保全に関心を	持つ市民を増	やす					間		参加延べ人数					040	43
		緑の保全に関心を	持つ市民を増	やす					間		参加延べ人数						44
令和 4年度 		参加者の高齢化に			を呼びかける				[8]	技					人		44
(7) 事業実施上の課	課題と対応								代替第	尾検討	04	●無					
			平成31年	度			令和 2年	度			令和	3年度			令和	4年度	
		束:	内 容		金額(千円)	政 策	内 容		算額(千円) 政策		内 容	Ś	金額(千円)	政 策	内 容		金額(千円)
		需用費 委託料			55 45	委託料		55 45	45	需用費 委託料			55 45	委託料			5
		原材料 備品購入費			45 20			45	6	原材料			45	原材料			4
	実施内容																
(8) 施行事項	費 用																
	ų m																
-	予算(決算)額		計 計		165		合 計	145	65	<u>!</u>	合 計		145		合 計		14
	国庫支出金県支出金	補助率補助率		0 %	0	11.07 12 1	0 % 0 %	0	0	補助率		0 %	0	110-23 1		0 % 0 %	(
(9)財源内訳	起債	充当率		0 %	0 165		0 %	0 145	0 65	充当率		0 %	0 145	充当率		0 %	14!
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	トロ 金基口 益	その他	0.37	□特会 □受	益 □基金 □その他	0 0 42	0 0. 42	□特会	会 □受益 □基金	口その他	0.37	□特会□	□受益 □基金	□その他	0.3
(10) 人	正職員人件費				3, 256			3, 654	3, 654				3, 219				3, 219
臨	高時職員賃金額				0			0 0	0				0				(
事業費(予算(決算)額 (11)単位費用			8. 15千円。		3, 421		9.05千円/人	3, 799	3, 719 20. 43				3, 364				3, 364
(事業費/活動		0															
評価項					+						± // ==	(三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三)					
	貝日				事 扉	前 評 価					争 俊 評	1曲(計1曲結果に応し	、战毒条筷	討(拡充も含む	;))		改善検討
	貝目				ィア活動への参加が	意欲が高まりを見せ	ている反面、人手不足		●①事前確認		どおり		ン、改善条検	討(拡充も含む	3))		改善検討
	必要である理由・	などにより、管理: 再生・活用」や「	が十分行き届か市民の自主的が	かない緑 ^は なまちづく	ィア活動への参加が 地が増えている。で くり活動への支援」	意欲が高まりを見せ 市の基本構想では、 」を施策の大綱にし	「手賀沼をはじめとす 、基本計画におけるリ	る自然環境の保全・ ーディングプランと	○②事前確認	での想定。	どおり どおりでなかった	:	び、改善条検	討(拡充も含む	3))		O要
		などにより、管理 再生・活用」や「 して位置づけてい 掲げており、緑に	が十分行き届か 市民の自主的な る。また、緑の 関する普及・様	かない緑 ⁵ なまちづく の基本計画 啓発ととも	ィア活動への参加。 せが増えている。で くり活動への支援」 画では「緑を守る、 もに緑を育む取り#	意欲が高まりを見せ 市の基本構想では、 」を施策の大綱にし 、つくる、育てる」 組みや緑を支える人	「手賀沼をはじめとすい、基本計画におけるリ 、「市民参加を進める でくりを進めることが	る自然環境の保全・ ーディングプランと 」ことを基本方針に 重要としている。以	○②事前確認 <想定どおりと	での想定。	どおり どおりでなかった 1/想定どおりで ³	:			3))		
	必要である理由・	などにより、管理 再生・活用」や「 して位置づけてい 掲げており、緑に	が十分行き届れ 市民の自主的な る。また、緑の 関する普及・様 民がこうしただ	かない緑 ⁵ なまちづく の基本計画 啓発ととす 活動に自言	ィア活動への参加。 地が増えている。で くり活動への支援」 画では「緑を守る、 もに緑を育む取り ま的にかつ積極的し	意欲が高まりを見せ 市の基本構想では、 」を施策の大綱にし 、つくる、育てる」 組みや緑を支える人	「手賀沼をはじめとす、基本計画におけるリ、「市民参加を進める 、「市民参加を進める、づくりを進めることが い組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングプランと 」ことを基本方針に 重要としている。以	○②事前確認 <想定どおりと 緑の保全に対す	での想定。 こした理由 トる意識や	どおり どおりでなかった a/想定どおりで? pボランティア活動	なかった原因>	まっている。			>	O要
背景は?(3	必要である理由・	などにより、管理 再生・活用」や「 して位置づけてい 掲げており、緑に 上のことから、「 〇①民間企業、 N (理由) 口法令等	が十分行き届が 市民の自主的が る。また、緑の 関する普及・特 民がこうした IPO、市民団	かない緑りなまなまな基本計画 啓発しまる 11年 では 11年 では 11年 では 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11	イア活動への参加派 せが増えている。で くり活動への支援」 動では「緑を守る もに緑を育む取り終 主的にかつ積極的」 実施できない	意欲が高まりを見せ、 市の基本構想では、 」を施策の大網にし、 つくる、育てる」 組みや緑を支える人 に参加できるよう取	「手賀沼をはじめとす、基本計画におけるリ、「市民参加を進める 、「市民参加を進める、づくりを進めることが い組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングプランと 」ことを基本方針に 重要としている。以	○②事前確認 <想定どおりと 緑の保全に対す □①民間企業 ■②市が主導	での想定。 : した理由 : る意識や 、NPO、 で進めな!	どおり どおりでなかった a/想定どおりで? pボランティア活動	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった	まっている。 <市実施の ボランティ	具体的な内容・	必要性の理由 『高く、活動場	所や手法、専門知	○要 ●不要
背景は?(3	必要である理由・ 事業の必要性)	などにより、管理 再生・活用」や「 して位置づけてい 掲げており、緑に 上のことから、「 〇①民間企業、 N (理由) 口法令等	が十分行き届in 市民の自主的in る。また、緑 関する音及・ 長 <mark>がこうした</mark> IPO、市 にで で 市が 市しかな に なが で が な が よ る き る き る き る き る き る き る き る き る き る	かない緑りなまなまな基本計画 啓発しまる 11年 では 11年 では 11年 では 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11	イア活動への参加派 せが増えている。で くり活動への支援」 動では「緑を守る もに緑を育む取り終 主的にかつ積極的」 実施できない	意欲が高まりを見せ、 市の基本構想では、 」を施策の大網にし、 つくる、育てる」 組みや緑を支える人 に参加できるよう取	「手賀沼をはじめとす、基本計画におけるリ、「市民参加を進める 、「市民参加を進める、づくりを進めることが い組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングプランと 」ことを基本方針に 重要としている。以	○②事前確認 <想定どおりと 縁の保全に対す □①民間企業 ■②市が先導 □③市が先導 促進され	での想定 した理由 たる意識や 、NPO、 で進めない で進となった	どおり どおりでなかった a/想定どおりです pボランティア活! . 市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層	まっている。 <市実施の ボランティ	具体的な内容・ アの活動意識が	必要性の理由 『高く、活動場	所や手法、専門知	○要 ●不要
背景は?(3 必 要 性 (2) 市が実施す あるか?	必要である理由・ (事業の必要性)	などにより、管理 再生・活用」や「 して位置づけてい、掲げており、、木 〇①民間企業、N (理由) □法令等・ □提供主・ □ で他	が十分行きを 市大の自主を 関する。まるを 関する。まるを 関大がこので にでいる。 にでいる。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	かない緑はなまちいる 本書 という なま 本計画 きょう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう あい こう こう こう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	イア活動への参加消 也が増えている。 でくり活動への支援 画では「緑を守る。 もに緑を育む取好り 上実施できない 定められている	意欲が高まりを見せ 市の基本構想では、」 を施策の大綱にし、つくる、育てる」 組みや緑を支える人に参加できるよう取 <その他の内容:	「手賀沼をはじめとす。、基本計画におけるり、、「市民参加を進める、「市民参加ることかでくりを進めていく必く	る自然環境の保全・ ーディングプランと 」ことを基本方針に 重要としている。以	○②事前確認 <想定どおりと ※の保全に対す □①民間が主流の一次では ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での想定。 こした理由 にも意識や 、で役と 、で役と が 、で役 たが 、 が 準 が 準 が が 準 が が 準 が が が が が が が が	どおりでなかった 1/想定どおりでなかった 1/想定どおりででが、ボランティア活! ホ市民団効・民団が等では、 けれとでする。 施策の目標の実現	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層	まっている。 <市実施の ボランティ	具体的な内容・ アの活動意識が	必要性の理由 『高く、活動場	所や手法、専門知	○要 ●不要 知識
背景は?(i 必 要 性 (2)市が実施す	必要である理由・ (事業の必要性)	などにより、管理 再生・活用」や「 して位置づけない、 掲げており、緑、市 〇①民間企業へ等 口提供の他	が十分の自主ない。 が十分の自主ない。 を関していますが、 はいまが、 はいまが、	かなまな基本と自言ない できにとことにとこと ありまし	イア活動への参加消 也が増えている。 でくり活動への支援 画では「緑を守る。 もに緑を育む取好り 主実施できない 定められている	意欲が高まりを見せ 市の基本構想では、」 っを施策の大綱にし、 っくる、育える」 組みや緑を支える」 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす。、基本計画におけるり、、「市民参加を進める、「づくりを進めることかり。 り組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングプランと 」ことを基本方針に 重要としている。以	○②事前確認 <想定どお対す は別とする。 ○②事前確認 ○③申請のでは、対する。 ○③申請のでは、対する。 ○③申請のでは、対する。 ○③申請のでは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	での想定 した意 N進と のなった で役たが水の で役たが水の	どおり どおりでなかった ロ/想定どおりでなかった ロ/想定とおりでなかった。 市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層	まっている。 <市実施の ボランティ	具体的な内容・ アの活動意識が	必要性の理由 『高く、活動場	所や手法、専門知	●不要
背景は?(i 必 要 性 (2)市が実施す あるか?	必要である理由・ (事業の必要性)	などにより、管理、 再生・活用」や「して位置づけて緑にして位置がして緑げて緑い、シ、木の①民間企業、下等には、ののでは、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中	が 中分 の は の は の に の に で は の に で に の に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	かなの啓活性ない きとこる かなま基本と 目前できるい きとこと でよとしていた ありより	イア活動への参加派 セが増えている表 くり活動への支援。 もに続を育む取り終 主的にかつ積極的に 実施できない をめられている	意欲が高まりを見せ 市の基本構想では、」 っを施策の大綱にし、 っくる、育える」 組みや緑を支える」 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす。、基本計画におけるり、、「市民参加を進める、「づくりを進めることかり。 り組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングプランと 」ことを基本方針に 重要としている。以	○②事前確認 <想定どおりと 縁の保全に対す。 □①民間企業導 □②市が進支享 ④である。 ●②のよれ援 □③のサービス □⑥サービス	での想定 した意 N進と のなった で役たが水の で役たが水の	どおりでなかった 1/想定どおりでなかった 1/想定どおりででが、ボランティア活! ホ市民団効・民団が等では、 けれとでする。 施策の目標の実現	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層	まっている。 <市実施の ボランティ	具体的な内容・ アの活動意識が	必要性の理由 『高く、活動場	所や手法、専門知	○要 ●不要 知識
背景は?(i 必 要 性 (2)市が実施す あるか?	必要である理由・ (事業の必要性)	などにより、管理、 再生・活用」や「して位置づけて緑にして位置がして緑げて緑い、シ、木の①民間企業、下等には、ののでは、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中	が十分の 市民の 市民の まる 関民が のまた 等かこの では では では では では では では では では では	かなある とこるよい ないまち 計画 はいまち 計画 はいまない まちま 発 とし では とい ひょう とこる より まい まいまい まいまい まいまい まいまい まいまい まいまい まいま	イア活動への参加派 セが増えている。 くり活動への支援。 重では「緑を守取りが 最もにかって積極的に 実施できない。 主的にかるない。 を対している と対している。 とがしている。 とがしないる。 とがしない。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしない。 とがしない。 とがしない。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしない。 とがしな。 とが	意欲が高まりを見せ 市の基本構想では、」 っを施策の大綱にし、 っくる、育える」 組みや緑を支える」 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす、、基本計画におけるり、、「市民参加を進めることではりを進めることない。 ではりを進めることないと必 とは組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方針に 重要としている。以 要である。	○②事前確認 〈縁の保 民間企業導通の一つ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での想定 した意 N進とな 、で役と、政策が失 のなっ ・確供 が来の N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	どおりでなかったというでは、市民団体性では、市民団体性がは、市民団体性がなきがいた。 をいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる は	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した	まっている。 <市実施の ボランティ	具体的な内容・アの活動意識が アの活動意識が て市が支援確保	必要性の理由 ぐ高く、活動場 していく必要	所や手法、専門策がある。	○要 ●不要 知識
背景は?(3 必 要 性 (2) 市が実施す あるか?	必要である理由・ (事業の必要性)	などにより、 ** を ** で ** で ** で ** で ** で ** で **	が十分の自主、終している。 お市民のまた書から、「中では、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いま	かなあり かな かな ありまり かな あい こう かい さき	イア活動への参加派 セが増えている。 くり活動への支援。 重では「緑を守取りが 最もにかって積極的に 実施できない。 主的にかるない。 を対している と対している。 とがしている。 とがしないる。 とがしない。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしない。 とがしない。 とがしない。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしない。 とがしな。 とが	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、」った。 は、」った。 を施策の大気にし、、 は、」のを施策の大気にし、のは、 を発表をする。 を発表をきるよう取る。 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす、、基本計画におけるり、、「市民参加を進めることがでくりを進めることがは組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方部に 重要としている。以 要である。	②②事前確認 りず 楽	で の想 定 由	どおりでなかった I / 想定どおりでなかった I / 想定どおりで活りできた。 I 市民団体等性がな I けれことでも標の実現 I はなな盤が確保され I はななななないないないないないないないないないないないないないないないないない	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、	まっている。 <市実施の ポランティ 等を継続し	具体的な内容・アの活動意識が アの活動意識が で市が支援確保	必要性の理由 『高く、活動場	所や手法、専門策がある。	○要 ●不要 知識
背景は?(3) 必要性 (2)市が実施す あるか? (市実施の2	必要である理由・ (事業の必要性)	などにより、や「いは、中でにより、できた。 できた	が市民の関民アード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かなの啓活がなの啓活がない。 ことこるより 内のいち 本計と自己は でんとい 政内のよう ない こく ままる 第一個 では 第一個 では 第一個 では 第一個 では かいまかい こうしょう かいまい こうしょう かいまい こうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょう	イア活動への参加派 セが増えている。 くり活動への支援。 重では「緑を守取りが 最もにかって積極的に 実施できない。 主的にかるない。 を対している と対している。 とがしている。 とがしないる。 とがしない。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしない。 とがしない。 とがしない。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしないる。 とがしない。 とがしな。 とが	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、」った。 は、」った。 を施策の大気にし、、 は、」のを施策の大気にし、のは、 を発表をする。 を発表をきるよう取る。 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす、、基本計画におけるり、、「市民参加を進めることがでくりを進めることがは組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方針に 重要としている。以 要である。	②②②・	で で い に で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでは、 「おりでは、 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 市民の森が中中国市民 毎月会員が作成した	まっている。 <市実施の ボランティ 等を継続し ○①当初 ●②当初	具体的な内容。 アの活動意識か て市が支援確保 参加・協 明待した以上 明待したとより	必要性の理由 ぐ高く、活動場 していく必要	所や手法、専門策がある。	○要 ●不要 知識
背景は?(3) 必 要 性 (2) 市が実施す あるか? (市実施の) ************************************	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などにより、 や い は が が が が が が が が が が が が が が が が が が	が市民の調味が、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	かなの啓活体るい きところよ の りにする ま 年 知られていた ありよ 策 をこと り 内 りりりり	イア活動への参加派 セが増強している。 でくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、」った。 は、」った。 を施策の大気にし、、 は、」のを施策の大気にし、のは、 を発表をする。 を発表をきるよう取る。 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす、、基本計画におけるり、、「市民参加を進めることがでくりを進めることがは組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方部に 重要としている。以 要である。	②②②・	で で い に で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでは、する場合では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 市民の森が中中国市民 毎月会員が作成した	まっている。 <市実施の ボランディ 等を継続し 〇①当初 ●②当初 ○③当初 ○③当初	具体的な内容・アの活動意識が アの活動意識が て市が支援確保 参加・協 明待した以上 明待したとおり の期待以下	必要性の理由 (高く、活動場 していく必要 働の程度・内容	所や手法、専門祭 がある。 容	●●不要
参加・協働の (体制づくり)	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などにより、 やい は	が市民の調味が、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	かなの啓活体るい きところよ の りにする ま 年 知られていた ありよ 策 をこと り 内 りりりり	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、」った。 は、」った。 を施策の大気にし、、 は、」のを施策の大気にし、のは、 を発表をする。 を発表をきるよう取る。 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす、、基本計画におけるり、、「市民参加を進めることがでくりを進めることがは組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方部に 重要としている。以 要である。	②②②・	で で い に で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでは、 「おりでは、 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 市民の森が中中国市民 毎月会員が作成した	まっている。 <市実施の ボランディ 等を継続し 〇①当初 ●②当初 ○③当初 ○③当初	具体的な内容・アの活動意識が アの活動意識が て市が支援確保 参加・協 明待した以上 明待したとおり の期待以下	必要性の理由 (高く、活動場 していく必要 働の程度・内容	所や手法、専門策がある。	○要●不要
 背景は?(3) 必要性(2)市が実施するか?(市実施のがである) 市民民の参加がるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などにより、 やい は が が が が が が が が が が が が が が が が が が	が市民の調味が、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、」、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	かなの啓活体るい きところよ の りにする ま 年 知られていた ありよ 策 をこと り 内 りりりり	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、」った。 は、」った。 を施策の大気にし、、 は、」のを施策の大気にし、のは、 を発表をする。 を発表をきるよう取る。 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす、、基本計画におけるり、、「市民参加を進めることがでくりを進めることがは組みを進めていく必	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方部に 重要としている。以 要である。	②②②・	で で い に で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでなかった」 「おりでは、 「おりでは、 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった」 「おいった	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 市民の森が中中国市民 毎月会員が作成した	まっている。 <市実施の ボランディ 等を継続し 〇①当初 ●②当初 ○③当初 ○③当初	具体的な内容・アの活動意識が アの活動意識が て市が支援確保 参加・協 明待した以上 明待したとおり の期待以下	必要性の理由 (高く、活動場 していく必要 働の程度・内容	所や手法、専門祭 がある。 容	○要●不要
参加・協働の (体制づくり)	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などにより、	が中の場合 が中のまること 分のまること かのまること かのまること かのまること かのまること かのまること かのまること かのまること かのまること かのまること がのがすいが 進め供証こる かのまること がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がのでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは がののでは のののののでは のののののでは のののののでは ののののでは ののののでは ののののでは ののののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のので のでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは	かなの啓活(するい きとこるよ の りりりりしていた事とと ありよ 策 容 いい 内 りりりしている ありよ 策 でんし か おりりりしている るりょ (を) かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、」った。 は、」った。 を施策の大気にし、、 は、」のを施策の大気にし、のは、 を発表をする。 を発表をきるよう取る。 くその他の内容:	「手賀沼をはじめとす。、基本計画におけるりる、、「市民を加を進めることが、「市民を進めることが、り組みを進めていく必となっている。」 工夫の具体的な内容では、「サイン・「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」では、「アード」が、アード」が、「アード」が、アードは、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アード」が、アードード」が、アードード」が、アードーは、アーは	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方部に 重要としている。以 要である。	②②②・	で とし 、で役たが水の Py 参 Mast B コュー に 理識 P めなっ ・確供 原 P めなっ ・確供 M M S を A M M S の M S を A M M S の M S を A M M S の M M S を A M M S の M M S を A M M S の M M S を A M M S の M M S を A M M S の M M M S の M M S の M M S の M M S の M M S の M M S の M M S の M M S の M M M S の M M M S の M M M M	どおりでなかった 1/想定というでは、	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に 責献した た (又は今後、 その内容) 市民日会員が作成した	まっている。 <市実施の ボランディ 等を継続し 〇①当初 ●②当初 ○③当初 ○③当初	具体的な内容が 関でである 参加・協 場待した以とおり の期待しなと 以上となった理	必要性の理由 高く、活動場 としていく必要 働の程度・内容	所や手法、専門祭 がある。 容	●●不要
参加・協働の (体制づく)(4)	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などにより、	が中のでは が中のまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 かのまるこ、 をしてでは がのでが がのでがでががでがでがが	かなの啓活(するい きとこるよ の りりりりしていた事とと ありよ 策 容 いい 内 りりりしている ありよ 策 でんし か おりりりしている るりょ (を) かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、したのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	「手賀沼をはじめとす。、基本計画におけるりる、、「市民を進めることがです。 でいくりを進めていく必 とからない といく といく といく といく といく といく といく といく といく とい	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本分割に 重要としている。以 要である。	○②② 生産 は は は は は は は は は は は は は は は は は な 生	で で た 記 に に で と の な に で の た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の に の の に の の に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 「はいまりでなかった」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするまするます。 「ないまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	なかった原因>動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容と中里市民 長の森や中東市民	まっている。 <市実施の ボランディ 等を継続し 〇①当初 ●②当初 ○③当初 ○③当初	具体的な内容施 関アの活動意識が で市が支援確保 参加・協 明待した以とおり の期待以下 以上となった理 環境	必要性の理由 (高く、活動場 していく必要 働の程度・内容	所や手法、専門祭 がある。 容	○要●不要
必 要 性 (2) 市が実施を (2) 市がるか実施 (2) 市がるか実施 (4) 市 大 (4) 市 工 (4 は) (4 は) (4 は) (5 は) (6 は) (6 は) (7	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などにより、」は、	が市る関民がでない。 が市る関民Pではいる。 が市のまるこのが市がが進提保されい。 が高導施スをはいる。 が高等施工をはいる。 が高導施スをはいる。 が高導施スをはいる。 が高導施スをはいる。 が高導施スをはいる。 が高導施スをはいる。 が高速をはいる。 でい。 でいる。	かなの啓活(するい きとこるよ の りりりりしていた事とと ありよ 策 容 いい 内 りりりしている ありよ 策 でんし か おりりりしている るりょ (を) かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せ市の基本構想では、したのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	「手賀沼をはじめとす。 「・、基本計画におけるリス、 、「市民参加ることとから でくりを進めていく必 ン エ夫の具体的な内容 ディアによる公園や緑 取組む内容 ことで生物の生息環境	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本方部に 重要としている。以 要である。	○②② 生産 は は は は は は は は は は は は は は は は は な 生	で で た 記 に に で と の な に で の た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の に の の に の の に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 「はいまりでなかった」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするまするます。 「ないまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	なかった原因>動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容と中里市民 長の森や中東市民	まっている。 <ホ実施ティ ・ボラを継続し 〇①当初初初 ・ ②3当初の ・ 以持した ・ 別待した	具体的な内容施 関アの活動意識が で市が支援確保 参加・協 明待した以とおり の期待以下 以上となった理 環境	必要性の理理場合に (本語の)	所や手法、専門祭 がある。 容	○要●不要
必 要 性 (2) 市が実施施? (3) 市ある水連施 (4) 市工(体制の工夫 環境 (4) である。 (4) である。 (4) である。 (5) である。 (5) である。 (6) である。 (6	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などに・活動では、	が中る関氏Pで体 が中る関大Pで体 が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは 進め供証こる が一段のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに がのでは では がは にでは はのも はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にいるる にしてい に	かなの啓活da on さとこるよ の りりりし 見なお基発動等と ではに 政 内 りりりし 点 なりよ 策 容	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せた。 市の基本構想のでは、し、ののでは、し、ののでは、にし、ののでは、にし、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	「手賀沼をはじめとす。 「・、基本計画におけるリス、 、「市民参加ることとから でくりを進めていく必 ン エ夫の具体的な内容 ディアによる公園や緑 取組む内容 ことで生物の生息環境	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本分割に 重要としている。以 要である。	②②②・	で で た 記 に に で と の な に で の た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の に の の に の の に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 「はいまりでなかった」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするまするます。 「ないまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	なかった原因>動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容と中里市民 長の森や中東市民	まっている。 <ホ実施の <ホラン継続し ①①当初初初初初初初初初初初初初初初日 ○四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	具体的な内容が 東の活動意識作 学加・協 朝待したと下 以上となった理 環却	必要性の理由 高く、活動場 としていく必要 働の程度・内容 単由/期待以下	所や手法、専門祭 がある。 容	● 要要要 要要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必 要 性 (2) 市が実施施? (3) 市ある水連施 (4) 市工(体制の工夫 環境 (4) である。 (4) である。 (4) である。 (5) である。 (5) である。 (6) である。 (6	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などに、たいでは、	が中る関氏Pで体 が中る関大Pで体 が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは 進め供証こる が一段のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに がのでは では がは にでは はのは はのは はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にいるる にしてい にし	かなの啓活da on さとこるよ の りりりし 見なお基発動等と ではに 政 内 りりりし 点 なりよ 策 容	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せた。 市の基本構想のでは、し、ののでは、し、ののでは、にし、ののでは、にし、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	「手賀沼をはじめとす。 「・、基本計画におけるリス、 、「市民参加ることとから でくりを進めていく必 ン エ夫の具体的な内容 ディアによる公園や緑 取組む内容 ことで生物の生息環境	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本分割に 重要としている。以 要である。	②②②・	で で た 記 に に で と の な に で の た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の に の の に の の に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 「はいまりでなかった」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするまするます。 「ないまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	なかった原因>動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容と中里市民 長の森や中東市民	まっている。 <ホ実施の <ホラン継続し ①①当初初初初初初初初初初初初初初初日 ○四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	具体的な内容施 関係した 事情したと 場所をしたと 関係したと 関係したと 関係した 以上となった 理 は は は は は は は は は は は は は	必要性の理由 高く、活動場 としていく必要 働の程度・内容 単由/期待以下	所や手法、専門祭 がある。 容	○要 ●不要 ●不 ● 不 ● 不
必 要 性 (2) 市が実施施? (3) 市ある水連施 (4) 市工(体制の工夫 環境 (4) である。 (4) である。 (4) である。 (5) である。 (5) である。 (6) である。 (6	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などに・活動では、	が中る関氏Pで体 が中る関大Pで体 が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは 進め供証こる が一段のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに がのでは では がは にでは はのは はのは はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にいるる にしてい にし	かなの啓活da on さとこるよ の りりりし 見なお基発動等と ではに 政 内 りりりし 点 なりよ 策 容	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せた。 市の基本構想のでは、し、ののでは、し、ののでは、にし、ののでは、にし、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	「手賀沼をはじめとす。 「・、基本計画におけるリス、 、「市民参加ることとから でくりを進めていく必 ン エ夫の具体的な内容 ディアによる公園や緑 取組む内容 ことで生物の生息環境	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本分割に 重要としている。以 要である。	②②②・	で で た 記 に に で と の な に で の た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の に の の に の の に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 「はいまりでなかった」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「はいます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないます」 「ないます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするます」 「ないまするまするます。 「ないまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	なかった原因>動への参加意識が高 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容と中里市民 長の森や中東市民	まっている。 <ホ実施の <ホラン継続し ①①当初初初初初初初初初初初初初初初日 ○四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	具体的な内容施 関係した 事情したと 場所をしたと 関係したと 関係したと 関係した 以上となった 理 は は は は は は は は は は は は は	必要性の理由 高く、活動場 としていく必要 働の程度・内容 単由/期待以下	所や手法、専門祭 がある。 容	● 要要要 要要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必 要 性 (2) 市が実施を (2) 市がるか実施 (2) 市がるか実施 (4) 市 大 (4) 市 工 (4 は) (4 は) (4 は) (5 は) (6 は) (6 は) (7	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性)	などに、たいでは、	が中る関氏Pで体 が中る関大Pで体 が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは が中のまることでは 進め供証こる が一段のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに が中のまるに がのでは では がは にでは はのは はのは はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にしてい はのも にいるる にしてい にし	かなの啓活体るい さとこるよ の りりりし 点 いち本をにでが ありよ 策 容 いうし 点 るうちい ちょ	イア活動への参加派 セが増強している。 そくり活は「緑を育む取ら もに終を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を育む取ら を対してきない を対してきない を対している。 を対している。 をがしている。 をがしる	意欲が高まりを見せた。 市の基本は、している。 市の基本策の大きなは、している。 「は、にしている。 「は、にしている。 「ないる。 「ないる。」 「ないるいる。」 「ないるいる。」 「ないるいる。」 「ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	「手賀沼をはじめとす。 「・、基本計画におけるリス、 、「市民参加ることとから でくりを進めていく必 ン エ夫の具体的な内容 ディアによる公園や緑 取組む内容 ことで生物の生息環境	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本分割に 重要としている。以 要である。	○② 事前 放 対 業 準 神 根 か 対 す 業 神 前	で で た 記 に に で と の な に で の た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の に の の に の の に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 はいまりでなかった。 はいますでは、 はいますではいますでは、 はいますではいますでは、 はいますではいますではいますでは、 はいますではいますではいますでは、	なかった原因> 動への参加 意識が高 実施できなかった かった かった できなかった かった であった であった であった であった での内容 が作成した での内容 が作成した にま での内容 では今後 での内容 である ののでは である ののでは である ののでは では でののでは では でののでは では でののでは では でののでは では でののでは では でののでは でののでは では で	まっている。 <ホ実施の <ホラン継続し ①①当初初初初初初初初初初初初初初初日 ○四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	具体的な内容施 関係した 事情したと 場所をしたと 関係したと 関係したと 関係した 以上となった 理 は は は は は は は は は は は は は	必要性の理由 高く、活動場 としていく必要 働の程度・内容 単由/期待以下	所や手法、専門祭 がある。 容	● 要要要 要要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必 要 性 (2) 市が実施施? (3) 市ある水連施 (4) 市工(体制の工夫 環境 (4) である。 (4) である。 (4) である。 (5) である。 (5) である。 (6) である。 (6	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性) か市民との協働を で事業を進めて	などに・活動では、	が市る関氏Pで体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かなの啓活da on さとこるよ の j j j j j j l l l l l l l l l l l l l	イア活動への参加派のの参加派のの参加派のの参加派のの参加派のの参加派ののできまた。 というには終われているをできまた。 を対したできない。 を対したができない。 「を表現的なデーー」 「本述的などからない。」 「本述的などからない。 「本述的などからない。」 「本述的ない。」 「本述的ないるい。」 「本述的ないるい。」 「本述的ないるいるい。」 「本述的ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	意欲が高まりを見せた。 市の基本は、している。 市の基本策の大きなは、している。 「は、にしている。 「は、にしている。 「ないる。 「ないる。」 「ないるいる。」 「ないるいる。」 「ないるいる。」 「ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	「手賀沼をはじめとす」 「東賀沼を描したけるりる 、基本計画を進めていくが 、「市民を進めていくが 」がはいることが とが、「中民を進めていくが 」がはいることが ないり組みを進めている。 「本書のでは、「本書のでは、「本書のでは、「本書のでは、「本書のでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、「ないでは、」」」 「ないでは、」」」 「ないでは、」」 「ないでは、」」」 「ないでは、」」 「ないでは、」 「ないでは、」」 「ないでは、」」 「ないでは、」」 「ないでは、」 「ないでは、」」 「ないでは、」」 「ないでは、」 「ないでは、」 「ないでは、」」 「ないでは、」 「ないではいいでは、」 「ないで	る自然環境の保全・ ーディングブランと 」ことを基本分割に 重要としている。以 要である。	○② 事前 放 対 業 準 神 根 か 対 す 業 神 前	で い N で役たが水の P 参 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかっただけ、	なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった 変かった 変がった なかった なかった なかった なかった なかった なかった といた 「又は今後、 その内容) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まっている。 <ポート	具体的な内容が 東アで市が支援確保 参加 ・協 物時した以上 明特した以上 りのがなかった 環境があった。 はどどよりでなかった原	必要性の理理場所に対していく必要を で高く、いく必要を は、これでは、の程度・内容を を表していく必要を 動の程度・内容を を表していく必要を を表していく必要を を表していく必要を を表していく必要を を表していく必要を を表していくの配慮を たっこの たっこの たっこの たっこの たっこの たっこの たっこの たっこの	所や手法、専門祭 がある。 容	● 要要要 要要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性 (2) 市が実施施 (2) 市かま施施 (2) 市かまた (4) 市 (4) 市 (4) 市 (5) 市 (必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性) か市民との協働を で事業を進めて	などに・活動では、	が市る関氏Pで体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かなの啓活体るい きとこるよ の りりりし 見 る (人) おお 本 の で で い の りりりし	イア活動への参のである。 ・ かかった かいった かいった かいった かいった かいった かいった かいった	意欲が高まりを見せ、	「手賀・大田 では、 本本 は に がける と は に がける と は に がける いる に れ で は か と が な に れ で が る に れ で か な の な で な が る 。 エ 大 の 具体 的な 内 に か で な が る 。 エ 大 の 具体 的な 内 に で か が る 。 当性 の チェック 受定 し な い い か の で に る で い る で い る で い ふ で い か い い か の で か い い か の で か い か の で か い か の で か い か の で い か の で い か い か の で か の で い か の で い か の で い か の で い か の で い か い か の で い か い か の で い か い か の で い か い か の で か の で か の で か の で い か の で い か い か の で か の で い か い か の で か の で か の で か の で い か の で い か の で い か い か の で か の で か い か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か か の で か の で か か の で か の	る自然環境の保全・ ーディング本プランと リニンとをはいる。以 重要としている。以 要である。	○② (全) (本) (+)	で い N で役たが水の P 参 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかった 1/想定とおりでなかった 1/想定とティインでは、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方に	なかった原因> なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった 変がたた。 である。 である。 での内容的中中成成した での内容の表質が作れている。 ・に、 での自標標値成成で ・に、 でのではできなかでは、 での内容のでは、 での内容のでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでのでのでのででのでのでのでのでででのででのでででいるででででいでででい	まっている。	具体的な内容が 場所の活が支援権係 参加 ・協 明特したと下 が以とと下 がなかった 再 がなかった 原 となっった 原 となっった 原	必要性の理由場場に		○
必要性 (2) 市が実施施 (2) 市かま施施 (2) 市かまた (4) 市 (4) 市 (4) 市 (5) 市 (必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性) か市民との協働を で事業を進めて	などより、」は、「ない」は、「ない」は、「ない」は、「はいい」は、「ない、「ない」は、「ない」は、「ない」は、「ない」は、「ない」は、「ない」は、「ない」は、「ない」は、「ない、」は、「な	が中る関氏Pで体 ・ 中華に ・ 一等で ・ では ・ でいいす ・ でいいでいいが ・ でいいでいいが ・ でいいが ・ でいが ・ でいがが ・ でいが ・ でいが ・ でいが ・ でいがが ・ でいがが ・ でいが ・ でいが ・ でい	かなの啓活da on さとこるよ の りりりし 点 なりよ 策 容 いい さとこるよ の りりりし 点 の りりりし 点 の りりりし かん の の りりりし かん の の の の の の の の の の の の の の の の の の	イア活動への参のである。 ・ かかった かいった かいった かいった かいった かいった かいった かいった	意欲が高まりを見せ、 ・	「手賀計画 はいける目標における日本のではいいない。 「中間 はいける日本のでは、本本の具体的な内ができません。 「からないないない」 「本のではないないないないないない。 「本のではないないないないないないない。 「本のではないないないないないないないないない。 「本のではないないないないないないない。 「本のではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	る自然環境の保全・ ーディング本プランと リニンとをはいる。以 重要としている。以 要である。	○② 実績値 (f) (人 182	で とし 、で役たが水の P 参 M M S P 的なっ ・確供 「 P 的なっ ・確供 「 P の協っ P の協っ P のなっ ・確供 「 R P のなっ ・確供 「 R P のなっ ・確供 「 R P のなっ ・ で R P のなっ ・ で R P のなっ ・ で R P の R	どおりでなかった。 1/想定とかった。 1/想定とする場合では、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、	なかった原因> なかった原因> 動への参加意識が高 実施できなかった 変がたった のできた。 をたった での内容の での内容の での内容の での内容の での内容の でのした。 でのし。 でのした。 でのした。 でのした。 でのした。 でのした。 でのし。 でのした。 でのした。 でのし。	まっている。 <ホラン継続・し ・ホラン継続・し ・ホラン継続・し ・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	具体的なな動態機体 係	必要性の理由 必高く、このでは の程度・内容 を関する。 の配慮 たででは、 にできる。 にできる。 では、 にできる。 にでを。 にでをと。 にでをと。 にでをと。 にでをとでをと。 にでをと。 にでをと。 にでをと。 にでを	アクラス であった原因 > いまり、参加者が少り	○
必要性 (2) 市が実施施 (2) 市かま施施 (2) 市かまた (4) 市 (4) 市 (4) 市 (5) 市 (必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性) か市民との協働を で事業を進めて	などに、	が中る関氏Pで体 が中る関氏Pで体 が中でな が中でな が中でな が中でな が中でがすい が連提保るれ かのまるこ、では 進め供証こる が登場と を がは提保のも がのまるに、では がは、では がいる がは、では がは がは、では がは がは、では がは、では がは、では がは がは、では がは がは がは がな がは がは がは がは がは がは がは がは がは がは	かなの啓活da con さとこるよ の りりりりし	イア が は か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	意欲が高まりを見せ、 ・ 高まりを見せ、 ・ の必能本策の必能本策のの表情を ・ でのの内容 ・ でのの内容 ・ でのの内容 ・ でのの内容 ・ でのの内容 ・ でのの内容 ・ でのの内容 ・ でののできにをしている。 ・ でのきにできる。 ・ でのきにできる。 ・ でのできにできる。 ・ でのできにできる。 ・ でのできにできる。 ・ でのできにできる。 ・ でのできにできる。 ・ でのできにできる。 ・ でのできにできる。 ・ でのできにできる。 ・ できにできる。 ・ できたできる。 ・ できたできる。 ・ できたできる。 ・ できたできる。 ・ できたできた。 ・ できたできたできた。 ・ できたできたできた。 ・ できたできたできたできた。 ・ できたできたできたできたできたできたできたできた。 ・ できたできたできたできたできたできたできたできたできたできたできたできたできたで	「手賀・大田 では、 本本 は に がける と は に がける と は に がける いる に れ で は か と が な に れ で が る に れ で か な の な で な が る 。 エ 大 の 具体 的な 内 に か で な が る 。 エ 大 の 具体 的な 内 に で か が る 。 当性 の チェック 受定 し な い い か の で に る で い る で い る で い ふ で い か い い か の で か い い か の で か い か の で か い か の で か い か の で い か の で い か い か の で か の で い か の で い か の で い か の で い か の で い か い か の で い か い か の で い か い か の で い か い か の で か の で か の で か の で い か の で い か い か の で か の で い か い か の で か の で か の で か の で い か の で い か の で い か い か の で か の で か い か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か の で か か の で か の で か か の で か の	る自然環境の保全・ ーディング本プランと 」ことを基でいる。以 更要としている。以 要である。	○②事 が	で cub Cで役たが水の Sy Substem 2 と で cub Cで役たが水の Sy Substance	どおりでなかった。 1/想定とかった。 1/想定とする場合では、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、 1/表のでは、	なかった原因> なかっの参加を 実かなかった 実かなかった 実かなから 震施さた 層 また に で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	まっている。のでは、	具体的なな動態機体 係	必要性の理動場のでは、 のでは、 のでは、 のの配慮 たででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	アクラス であった原因 > いまり、参加者が少り	○
必要性 (2) 市が実施施 (2) 市あのが (本) 市本(人の配慮 (1) 目標 (2) は (1) 目標 (2) は (1) 目標 (3) は (1) 目標 (3) は (1) 目標 (4) は (1) は	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は が必要性) で事業を進めて な適切か?	などようでは、	が中る関氏Pで体 が中る関氏Pで体 が中でな がりでな がし	かなの啓活da on さとこるよ の りりりし 見 る (人) 額 (d)	イア活動への参るでは、 ・ 一次のである。 ・ 一次のでは、 ・ では、 ・ では、	意然が高ままりをでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、こうないでは	「手賀本計画かにおせるとも、	る自然環境の保全・ ーディング本プランと 」ことを基でいる。以 更要としている。以 要である。	○② 字 後	で とし 、 で役たが水の P	どおりでなかった。 ボース で	なかった原因と なかった原因と 動への参いきなかった 磨かたのとの 変施った 層 に た (又は今後、 その内の森が作成した その内の森が作成したと ・ はは今後、 その内の森が作成したと ・ はは今後、 その内の森が作成したと ・ はは今後、 その内の森が作成したと ・ はは今後、 その内の森が作成したと ・ はは今後、 その内の森が作成したと ・ は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	まっている。のでは、	具体的なな動物を 場所である 場所を 場所を 場所を はいまする 場所のは はいまする 場所のは はいまする はいまな はいまな はいまる は	必要性の理動場のでは、 のでは、 のでは、 のの配慮 たででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	所や手法、専門知がある。 であった原因> より、参加者が少 こついて	○
が 要 性 (2) 市が実施 (2) 市 (4) では (2) 事い (3) では (4) か ない (4) では (5) で	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は 必要性) か市民との協働を で事業を進めて	などよ・活面の	が中る関氏で体 市専施ス援図 市市市な事 かししに 目標 様 (b) 高可楽 (大田) は (b) は (b) は (b) は (c) は (c) は (d) は (d) は (e) は (f) は	かなの啓活da co さとこるよ の りりりし 見 る (人) を 額 co	イアが見いた。 本の は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	意然が高ままりをでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、こうないでは	「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「おけれた進むとく必 「おけれた進むとく必 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりををはまります。」 「なりをはいる。」 「なりをはいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるではいるでは、 「なりまするではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではい	る自然環境の保全・ ーディング本プランと 」ことを基でいる。以 更要としている。以 要である。	○② 字 後 値 (g) (干 f 3, 719	で とし 、で役たが水の F	どおりでなかった。 「はたいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	なかった原因> なかっの参加を 実かなかった 実かなかった 実かなから 震施さた 層 また に で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	まっている。のでは、	具体的なな動物を 場所である 場所を 場所を 場所を はいまする 場所のは はいまする 場所のは はいまする はいまな はいまな はいまる は	必要性の理動場要が高くていくの配慮を 動の程度・内容をというの配慮を たででは、大きないでは、まないでは、大きないでは、まないでは	容 であった原因 > より、参加者が少こついて	○● 要要要要要要要要要要要要○● 不要要要要要要要○● 不要要要要要○● 不要要要要
び 要 生 (2) 市がる動の工夫 環境 (2) 市がる東か施・ でく (2) 市がる東か施・ でく が 実かか施・ でく が 実かが施・ でく が でいく (4) 中心 (4) 中心 (4) 中心 (5) 中心 (5) 中心 (6) 中心 (6) 中心 (7) 中	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は が必要性) で事業を進めて な適切か?	などよ・活面の	が中る関氏Pで体 が中る関氏Pで体 が中でな がりでな がし	かなの啓活da co さとこるよ の りりりし 見 る (人) を 額 co	イアが見かられた。	意然が高ままりをでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、こうないでは	「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「おけれた進むとく必 「おけれた進むとく必 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりををはまります。」 「なりをはいる。」 「なりをはいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるではいるでは、 「なりまするではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではい	る自然環境の保全・ ーディング本プランと 」ことを基でいる。以 更要としている。以 要である。	○② 字 後	で とし 、で役たが水の F	どおりでなかった。 ボース で	なかった原因> なかっの参加を 実かなかった 実かなかった 実かなから 震施さた 層 また に で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	まっている。のでは、	具体的なな動態機像 場所の表 場所の表 場の表 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 。 のでる。 。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 。 。	必要性の理動場要が高くていくの配慮を 動の程度・内容をというの配慮を たででは、大きないでは、まないでは、大きないでは、まないでは	容 であった原因 > より、参加者が少こついて	○●本の要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更
必要性 (2) 市が実施を介える(できる) では、	必要である理由・ 事業の必要性) する必要性は が必要性) で事業を進めて な適切か?	などよ・活動により、」 いい は で で で で で で で で で で で で で で で で で	が中る関氏で体 市専施ス援図 市市市な事 かししに 目標 様 (b) 高可楽 (大田) は (b) は (b) は (b) は (c) は (c) は (d) は (d) は (e) は (f) は	かなの啓活da co さとこるよ の りりりし 見 る (人) を 額 co	イアが見いた。 本の は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	意然が高ままりをでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、こうないでは	「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「おけれた進むとく必 「おけれた進むとく必 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりををはまります。」 「なりをはいる。」 「なりをはいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるではいるでは、 「なりまするではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではい	る自然環境の保全・ ーディング本プランと 」ことを基でいる。以 更要としている。以 要である。	○② 字 後 値 (g) (干 f 3, 719	で とし 、で役たが水の F	どおりでなかった。 ボース で	なかった原因> なかっの参加を 実かなかった 実かなかった 実かなから 震施さた 層 また に で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	まっている。のでは、	具体的なな動態機像 場所の表 場所の表 場の表 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 。 のでる。 。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 。 。	必要性の理動場要が高くていくの配慮を 動の程度・内容をというの配慮を たででは、大きないでは、まないでは、大きないでは、まないでは	容 であった原因 > より、参加者が少こついて	○●本の要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更
必要性 参加・協働のH夫 電境への配慮 (2) 市あの・ 市工(体 環い 配字 (2) 事い 機器 費か (1) 目標 業の (1) 目標 業の (1) 目標 業の (2) 別別 (2) 別別 (2) 別別 (3) 別別 (4) 日本 (4) 別別 (5) 日本 (4) 別別 (6) 日本 (5) 別別 (7) 日本 (6) 別別 (7) 日本 (7) 別別 (8) 日本 (7) 別別 (9) 日本 (7) 別別 (1) 日本 (7) 別別 (2) 日本 (7) 別別 (1) 日本 (7) 別別 (2) 日本 (7) 別別 (7) 日本 (7) 別別 (7) 日本 (7) 別別 (8) 日本 (7) 別別 (9) 日本 (7) 別別 (1) 日本 (必要である理由・ する必要性は か必要性は か必要性) で市民との協働を で事業を進めて よ適切か?	などよ、活面 は	が中のまるこのでは、	かなの啓洒da Constant Co	イアが見いた。 本の は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	意然が高ままりをでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、こうないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、こうないでは	「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「おけれた進むとく必 「おけれた進むとく必 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進めのでは、 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりをを進める。」 「なりををはまります。」 「なりをはいる。」 「なりをはいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるでは、 「なりをはいるではいるではいるではいるでは、 「なりまするではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではい	る自然環境の保全・ ーディング本プランと 」ことを基でいる。以 更要としている。以 要である。	○②② 字 (金属) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	で とし 、で役たが水の F	どおりでなかった。 ボオンボース (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	なかった原因と はかった原因と が高にたかののできた。 をかみのできた。 をかみのできた。 では、ないでは、 でのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	まっている。	具アで 保存 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	必高していくない。 必高していくの配慮 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容	容 であった原因 > ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ ● 本□ ● 本
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 (2) 市あのできる。 市工(体 環いのしがあり) 市工(体 環いのしがあり) 日投 要かり、 (1) 目標 要かり、 (2) 事いのと 日投 (3) 日投 と事業 (3) 日本 により、 (3) 日本 により、 (4) 日本 により、 (5) 日本 により、 (6) 日本 により、 (7) 日本 により、 (8) 日本 により、 (9) 日本 により、 (1) 日本 により、 (2) 日本 により、 (3) 日本 により、 (3) 日本 により、 (4) 日本 により、 (5) 日本 により、 (6) 日本 により、 (7) 日本 により、 (8) 日本 により、 (9) 日本 により、 (1) 日本 により、 (2) 日本 により、 (3) 日本 により、 (4) 日本 により、 (5) 日本 により、 (5) 日本 により、 (6) 日本 により、 (7) 日本 により、 (7) 日本 により、 (8) 日本 により、 (9) 日本 により、 (1) 日本 により、 (2) 日本	必要である理由・ する必要性) する必要性は が要性) で事業を進めて で事業を進めて は適切か? して は高値が?	などよ、活面 (理由) □ ● (理由) □ ○ (型) ●	が中のまるこ、では、	かなの啓洒da Constant Co	イア が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	意欲が高ままりを見せ、している。 また で	「手質本計画を進めとすりるい。 本語 は は は は は は は は は と ま り ま な い な が な い か な か な か な か な か な か な か な か な か な	る自然環境の保全・ 一デニとをして デニとをして 重要として 重要として を 中への維持管理の参加 を を は は は は は は は は は は は は は は は は は	○②② 字 (金属) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	で い No Control of the control of t	どおりでなかった。 ボオンボース (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	なかった原因と なかった原因と はかった原加 きなか た の できた	ま マボ等 マ	具アで 保存 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	必高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高いた。 中国 中国 はいまれば はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	RY である。 RY であった 原因 A であった 原因 A であった 原のでする A がり たく のでする たく のでする たく のでする にく のでする にいる にく のでする にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	□ ● 本□ ● 本
必 要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率 性 の で (2) 本 (2) 本 (4) 本 (4) 本 (4) 本 (4) 本 (5) 本 (5) 本 (6) 本 (7)	必要である理由・ する必要性) する必要性は が要性) で事業を進めて で事業を進めて は適切か? して は高値が?	などよ、活面 は	が中のまるこ、では、	かなの啓活体るい さところよ の ff ff ff ff f l l l l l l l l l l l l l l l	イア が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	意欲が高ままりを見せ、している。 また で	「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「手質本計画からない。」 「おけれることでは、ではいるでは、ではいるとのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	る自然環境の保全・ 一デニとをして デニとをして 重要として 重要として を 中への維持管理の参加 を を は は は は は は は は は は は は は は は は は	○②② 実績値 (g) (千斤 3,719 等)	で い No Control of the control of t	どおりでなかった 1/根定ンティックでは、	なかった原因と識が高 まかっの参いを 施った 層 施った 層 に た (文の内容) 中中成 した た (文の内容) 中中成 した まの で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ま マボ等 マ	具アで 保体の活が支援 確保 保 を	必高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高いた。 中国 中国 はいまれば はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	RY である。 RY であった 原因 A であった 原因 A であった 原のでする A がり たく のでする たく のでする たく のでする にく のでする にいる にく のでする にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 (2) 市あのできる。 市工(体 環いのしがあり) 市工(体 環いのしがあり) 日投 要かり、 (1) 目標 要かり、 (2) 事いのと 日投 (3) 日投 と事業 (3) 日本 により、 (3) 日本 により、 (4) 日本 により、 (5) 日本 により、 (6) 日本 により、 (7) 日本 により、 (8) 日本 により、 (9) 日本 により、 (1) 日本 により、 (2) 日本 により、 (3) 日本 により、 (3) 日本 により、 (4) 日本 により、 (5) 日本 により、 (6) 日本 により、 (7) 日本 により、 (8) 日本 により、 (9) 日本 により、 (1) 日本 により、 (2) 日本 により、 (3) 日本 により、 (4) 日本 により、 (5) 日本 により、 (5) 日本 により、 (6) 日本 により、 (7) 日本 により、 (7) 日本 により、 (8) 日本 により、 (9) 日本 により、 (1) 日本 により、 (2) 日本	必要である理由・ する必要性) する必要性は が要性は がのである要性は がのである。 はのがのである。 はのできる。 はのできる。 はのできる。 はのできる。 はのできる。 はのできる。 はのできる。 はのできる。 はのできる。 はのできる。	などよ、活面 (理由) □ ● (理由) □ ○ (型) ●	が中のまるこ、では、	かなの啓活da るい さとこるよ の りりりし	イア 活動へている。	意欲が高ままりを見せ、している。 また で	「手質本計画を進めとすりるい。 本語 は は は は は は は は は と ま り ま な い な が な い か な か な か な か な か な か な か な か な か な	る自然環境の保全・ 一デニとをして デニとをして 重要として 重要として を 中への維持管理の参加 を を は は は は は は は は は は は は は は は は は	○②② 実験値 (f) (人 182 実験値 (h) 3,719 等)	で い No Control of the control of t	どおりでなかった。 ボオンボース で	なかった原因と識が高 まかっの参いを 施った 層 施った 層 に た (文の内容) 中中成 した た (文の内容) 中中成 した まの で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ま マボ等 マ	具アで 保体の活が支援 確保 保 を	必高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高いた。 中国 中国 はいまれば はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	RY である。 RY であった 原因 A であった 原因 A であった 原のでする A がり たく のでする たく のでする たく のでする にく のでする にいる にく のでする にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●
必要性 参加・協働のH夫 環景 (2) 市あの市 市本(本) (2) 市本(本) 市本(本) (3) 日投目標準 費か (4) 一次の別の (5) のしず (5) では (6) かいりり (1) 目投目標準 費か (2) を事費が (3) とします。 (3) とします。 (4) の配慮 (1) 目投目標準 (5) のより (2) を事業が (4) の配慮 (2) を事業が (5) のより (4) の配慮 (6) のより (1) のより (7) のより (2) のより (7) のより (2) のより (2) のより (3) のより (3) のより (4) のより (4) のより (4) のより (5) のより (4) のより (6) のより (4) のより (7) のより (4) のより (8) のより (4) のより (5) のより (5) のより (6) のより (5) のより (7) のより (4) のより (7) のより (4) のより (7) のより (4) のより (7) のより (4) のより (8) のより (4) のより (8) のより (4) のより	必要である理由・ する必要性は が要性は が表表を進めて で事業を進めて は適の工夫をも適になって は適になって は適になって は高いできます。	などよ・活面 は い い い い い い い い い い い い い い い い い い	が中のまることでは、	かなの啓活II るい きとこるよ の リリリリ し 点 る (人) に 額 で 単 人 休止 るりよ 策 (d) (d) (e) 位 人 休止	イアが高い。	意欲が高ままりを見せ、している。 また で	「手質本計画を進めとすりるい。 本語 は は は は は は は は は と ま り ま な い な が な い か な か な か な か な か な か な か な か な か な	るーデュと 一	○②② 実験値 (f) (人 182 実験値 (h) 3,719 等)	で い No Control of the control of t	どおりでなかった。 ボオンボース で	なかへの参いを なかへの参いできた。 変かできた。 変ができた。 変ができた。 変ができた。 変ができた。 変ができた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できないでする。 できないできないでする。 できないできないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないでする。 できないですないですないですないですないですないですないですないですないですないです	ま マボ等 マ	具アで 保体の活が支援 確保 保 を	必高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高いた。 中国 中国 はいまれば はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	RY である。 RY であった 原因 A であった 原因 A であった 原のでする A がり たく のでする たく のでする たく のでする にく のでする にいる にく のでする にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 参加・協働のH夫 環境への配慮 (2) おお 標に では できます (3) 投目 標本 学 が (3) 投目 保護 (4) できます (4) できます (4) できます (5) できます (5) できます (5) できます (6) できます (7) できます (6) できます (7) できます	び事業の必要性)・ する必要性は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	などよ・活動により、」 いい は では で で で で で で で で で で で で で で で で	が中のまるこ、	かなの啓活Mなるい さところよ の ff ff ff ff f l l l l l l l l l l l l l l l	イアが高い。	意物が高ままりを見せ、にも、	「手質本計画をはにおき進いとなり、「「大」」」 「「大」」」 「「大」」 「「大」」」 「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「大」」 「「「大」」 「「「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「「「「「大」」 「「「「「「「大」」 「「「大」」 「「「「「「「「	るーデュと 一	○②② 実験値 (f) (人 182 実験値 (h) 3,719 等)	で い No Control of the control of t	どおりでなかった。 ボオンボース で	なかへのからた。 実が及いに た (スの内容) できた	ま マボ等 マ	具アで 保体の活が支援 確保 保 を	必高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高していくが高いた。 中国 中国 はいまれば はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	RY である。 RY であった 原因 A であった 原因 A であった 原のでする A がり たく のでする たく のでする たく のでする にく のでする にいる にく のでする にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●

事業コード														
	1502		課コード	0704	会計種	別 一般会計				予算の種	類]政策	□経常	■なし
. 事業の概要(PLAN)														
		基本事業				実施計画・	<u>への</u>				to am to	+n-++n		
	①事業名	個別事業 墓地許	認可事務			位置づ		0:	有 ●無	(2)指	部課名	都市部・公	園緑地課	
	③事業主体	●市 ○そ	の他() ④対象地区		□我孫子	□天王台 □	湖北	□新木	口布佐	■全市	
)事業概要	⑤事業期間			~		⑥担当職員		In I			(換算人数		0.15 人)	
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)) 年度 📙	(当 初)	1, 30		(うち人件費	1	1,305 千円)	
	(XII gad)	+6-70-		# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		# + = 1 == 11		(変更後)					千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策 コード	61002	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地 計画への位		0:	有 ●無	出	3門別計画への 位置づけ	(計画名)	なし	
	施策目的・								管理が、住民の宗教	め感情に適	合し、かつ公衆	衛生その他公	共の福祉の見地	から、支障な
?)目的	展開方向	関する条例等に基	づき、開発行為や建築	受行為の適正な規制・誘導を進める	ます。	事業目	的	行われるよう審	査・指導する					
		墓地、埋設等に関 墓地経営予定者に		墓地等の経営の許可等に関する条例	列及びその他関係法令等を尊守	した		審査から経営計	F可まで					
		墨地框 占了是有10				当該年								
3)事業内容	内容					執行計	曲							
							_	審査件数					想定值	
						当該年月 活動結果	度	<u></u>				単位	件実績値	
1)達成目標(期待する成果)			達成目標	票(期待する成果)		指標種類	類		指			単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度	公共の福祉					直接		審査件数				件	0	
	公共の福祉					直接		審査件数				件		
	公共の福祉							審査件数						
令和 4年度 ————————————————————————————————————	五八〇二					直接		##II W				件		
()事業実施上の課題と対応						代替案核	食討	0:	有●無					
		平成31年度		,				Δ÷				Δŧn	1 4年度	
	T4:		会 類/エ四)			快算額(千円) 政				ト	т о :			☆短/エ田
	第 墓地の審査、計	内 容 * a	金額(千円)	政 策 内 容 	ア昇級(十円) 2	束:	草地の実	内 容	3	☆額(千円)	策 墓地の審査	内 容		金額(千円
	※地の番目、6	r eg		一		° l	を心の音	且、町町		١	本地の番目			
実施内容														
3)施行事項 費 用														
		s 計	0		0	0		合 計		0		合 計		
国庫支出金	補助率	0 %	0	補助率	0 % 0	0 補	助率	н н	0 %	0	補助率	н н	0 %	
県支出金	補助率 充当率	0 % 0 %	0	110 12 1	0 % 0 0 % 0		輔助率 <u></u> ℃当率		0 %	0	110 12 1		0 % 0 %	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□特会 □受	益 口基金 口その他	0	□特会 □受益 □基金 □	0 - の他 0	0	□特会	口受益 口基金	・ロその他	0	口特会 口	□受益 □基金	口その他	
換算人数(人) 正職員人件費			0. 15 1, 320		0. 15 1. 305	0. 15 1. 305				0. 15 1, 305	-175		_ (0. 1 1, 30
0) 人件實寺 嘱託職員報酬額			0		0	0				0				
■ 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費			0 1, 320		0 1, 305	1, 305				0 1, 305				1, 30
1)単位費用 (事業費/活動結果指標)		1,320千円/件		1,305千円	/件	1, 305								
2. 事業の評価 (DO+CHEC	(K)													
評価項目	T		車 前	· 評 価				事 後 評	価(評価結果に応じ	* 改善室給	計(拡充も会む	.))		改善検
II IM-X E	「墓地、埋葬等に	関する法律」及び「		□□□□□ 営の許可等に関する条例」に基づる	き、適切な審査を行なう必要	●①事前確認で	の想定ど		m (11 m 12 NC1 - 10 C	7 40 7 7	(pa) 0 L C			460
(1)事業が今必要である理由	がある					〇②事前確認で	の想定ど	: おりでなかった	=					〇要
背景は?(事業の必要性)						<想定どおりとし								— og ●不要
									可事務等を行った。					
		NPO、市民団体等で で市が実施すること		<その他の内容>		■①民間企業、 □②市が主導で:			t実施できなかった なかった		具体的な内容・ 例・規則に基づ			
:	□提供主	体が市しかない	,			□③市が先導役 促進された	となった				,, ,,,,,, <u> </u>		H 111 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
 	□その他					1定1年 ご オレノニ								
あるか?	○②白治体である					□④市の支援が	政策・施	策の目標の実現	に貢献した					
(市実施の必要性)		る市が推進すべきでも 導で進めることによ		<その他の内容>		□④市の支援が □⑤サービス水	準が確保	された						○要
	(理由) 口市が主 口市が実	導で進めることによ 施・提供することに	ある :り実効性が得られる :より、良質で安定した			□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスの □⑦その他	準が確保 安定供給	された						〇要 ●不要
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支	導で進めることによ 施・提供することに スが保証される 援することにより政	り実効性が得られる より、良質で安定した			□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスの	準が確保 安定供給	された						
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支	導で進めることによ施・提供することに スが保証される 援することにより政 図られる	り実効性が得られる より、良質で安定した			□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスの □⑦その他	準が確保 安定供給	された						
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支 実現が	導で進めることによ施・提供することに スが保証される 援することにより政 図られる	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の		的な内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加	準が確保安定供給	された 基盤が確保され	iた ! (又は今後、		参加・協	働の程度・内	容	
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が実 実現が □その他	導で進めることによ 施・提供することに 接供することに ス援することにより政 図られる 参加・協働の内容 こ市民の参画有り	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	=	的な内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加	準が確保安定供給	された 基盤が確保され	iた ! (又は今後、		明待した以上	働の程度・内	容	
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業来施時に	導で進めることによ 施・提供することに スポリスにといる 関いられる 参加・協働の内名 で市民の参画有り で市民の参画有り	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	=	的な内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協情	準が確保安定供給	された 基盤が確保され	iた ! (又は今後、	●②当初期	明待した以上 明待したとおり	働の程度・内	容	
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支 実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業・実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主部	導で進供することにより施・提供することによりなが保証ととにより取図られる。 参加・協働の内容に市民の参画面有りいた市民の参連携している。	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	=	的な内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協情	準が確保安定供給	された 基盤が確保され	iた ! (又は今後、	●②当初期 ○③当初の	明待した以上 明待したとおり D期待以下			●不要
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支 実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に	導で進供することにより施・提供することによりなが保証ととにより取図られる。 参加・協働の内容に市民の参画面有りいた市民の参連携している。	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	=	的な内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協情	準が確保安定供給	された 基盤が確保され	iた ! (又は今後、	●②当初期 ○③当初の	明待した以上 明待したとおり D期待以下		容 「であった原因>	●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか?	(理由) □市が主 □市が実 サーボを実現が □・市が支 実現が □・ででは ○②事業計画時に ○②管理・運営主 ○③管市民の自由で ●⑥その他 <その他の内容>	導で進供することにより施・提供するるる 表現することにより取図によりによりのを動画有りに市民の参画有りに市民の参連携していて事業を実施	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	=	的な内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協情	準が確保安定供給	された 基盤が確保され	iた ! (又は今後、	●②当初期 ○③当初の	明待した以上 明待したとおり D期待以下			●不要
	(理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支 実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③衛程の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	導で進供することにより施・提供するるる 表現することにより取図によりによりのを動画有りに市民の参画有りに市民の参連携していて事業を実施	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	=	的な内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協情	準が確保安定供給	された 基盤が確保され	iた ! (又は今後、	●②当初期 ○③当初の	明待した以上 明待したとおり D期待以下			●不要
	(理由) □市が主 □市が実 サーボを実現が □・市が支 実現が □・ででは ○②事業計画時に ○②管理・運営主 ○③管市民の自由で ●⑥その他 <その他の内容>	導で進供することにより施・提供するるる 表現することにより取図によりによりのを動画有りに市民の参画有りに市民の参連携していて事業を実施	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	=		□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービス水: □⑥サービスの □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協能 該当なし	準が確保給 かから かから かから かいた ないまする かいた かいた かいた ないまする かいた ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないます	された 基盤が確保され	uた ! (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の	明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理			●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	(理由) □市が主 □市が実 サーゲ ・ 中がする。 東京が・ できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	導で進供することにより、 を提供するころ 接付するころ 接付するころ 接付するころ 接付するころ を加・協働の内名 こ市市民の参参画有りい に市市民の動き連携 で事業を実施 配慮の視点 としている	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	工夫の具体		□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの: □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協情	準が確保給 かから かから かから かいた ないまする かいた かいた かいた ないまする かいた ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないます	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には	uた ! (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の <期待した	明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理 環境	由/期待以下		●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	(理由) □市が主 □市が実 □市市が実 □市市がま □ □ 市が表 □ □ □ 事業業の他 ○②事業業・運営に ○③管市民と共 ●⑥その他 <その他 <その他の内容> 該当なし □②生置質 □○②生置質 □○②生産でのは を共意 このもまき質 □○②まを共意	導施・提供するるとことにとに、 とこるり数を表するのののでは、 接供証さとには、 をからいるのののでは、 で進供では、 をからいるのののでは、 では、 でで、 でで、 をからいる。 でで、 でで、 は、 でで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	工夫の具体		□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービス水: □⑥サービスの □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協能 該当なし	準が確保給 かから かから かから かいた ないまする かいた かいた かいた ないまする かいた ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないます	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には	uた ! (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の <期待した ●①想定と ○②想定と	明待した以上 明待したとおり か期待以下 以上となった理 環境 ごおりでなかった	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	(理由) □市が主実 □市が主実 □市がま実 で □ 市がま 実 で □ 市	導施・提供するるとことにとに、 とこるり数を表するのののでは、 接供証さとには、 をからいるのののでは、 で進供では、 をからいるのののでは、 では、 でで、 でで、 をからいる。 でで、 でで、 は、 でで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	工夫の具体		□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービス水: □⑥サービスの □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協能 該当なし	準が確保給 かから かから かから かいた ないまする かいた かいた かいた ないまする かいた ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないます	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には	uた ! (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の <期待した ●①想定と ○②想定と	明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理 環境	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	(理由) □市が主実 □市が主実 □市が表 中が表 現 の他 □ 事業 実施時に ○② 事業 実施時に ○③ 管市民の 他 ○ (名市民の 他 ○ (本の 中容 >) 該 当 の (公本 中 の 中容 >) は が 別 を 任 で (回 ② 集 資 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 」 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 」 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ④ 環 負 荷 低 」 回 ④ 環 負 荷 低 「 回 ● 回 ● 回 ● 回 ● 回 ● 回 ● 回 ●	導施・経費を で進程を はいる はいる はいる では とことに とに とに とに が は 動 の 内 を に	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	工夫の具体		□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービス水: □⑥サービスの □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協能 該当なし	準が確保給 かから かから かから かいた ないまする かいた かいた かいた かいた かいた かいた かいた かい	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には	uた ! (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の <期待した ●①想定と ○②想定と	明待した以上 明待したとおり か期待以下 以上となった理 環境 ごおりでなかった	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	(理由) □市が主実 □市がま実 □市がま実 で □市域が □ で □ で で で で で で で で で で で で で で で で	導施・経費を で進程を はいる はいる はいる では とことに とに とに とに が は 動 の 内 を に	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	工夫の具体		□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービス水: □⑥サービスの □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協能 該当なし	準が確保給 かから かから かから かいた ないまする かいた かいた かいた かいた かいた かいた かいた かい	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には	uた ! (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の <期待した ●①想定と ○②想定と	明待した以上 明待したとおり か期待以下 以上となった理 環境 ごおりでなかった	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	(理由) □市が主 □市が実 □市が実 □市が現 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	導施・経費を で進程を はいる はいる はいる では とことに とに とに とに が は 動 の 内 を に	り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	工夫の具体	内容	□④市の支援が □⑤サービス水、 □⑥サービスの □⑦その他の内容〉 実施した参加・協修 該当なし	準が確保給 かから かから かから かいた ないまする かいた かいた かいた かいた かいた かいた かいた かい	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には	はた ・ (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の <期待した ●①想定と ○②想定と	明待した以上 明待したとおり か期待以下 以上となった理 環境 ごおりでなかった	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) : : 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □市が主実ビート (理由) □市が主実ビート (理由) □市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	導施・提供するれるよりは が保すされるよりは が保すされるよりは が保証さとによれて を表すられる。 参のの参参をに市市民の動と連施 で連携で連続を では、でするです。 では、でする。 でする。 で	り実効性が得られるより、良質で安定した 策・施策の目標の	工夫の具体 取組む 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している	内容	□④市の支援が □⑤サービス水、 □⑥サービスの □⑦その他の内容〉 実施した参加・協修 該当なし	準安 / 加動が 実施 しし は 状状 況 達成 大大 の は は は は は は は は は は は は は は は は は	はされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容	は (又は今後、 その内容)	●②当初期 ○③当初の <期待した ●①想定と ○②想定と	明待した以上 明待したとおり か期待以下 以上となった理 環境 ごおりでなかった	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		● 不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	(理由) □市が主実ビート (理由) □市が主実ビート (理由) □市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	導施・提供するれるよりは が保すされるよりは が保すされるよりは が保証さとによれて を表すられる。 参のの参参をに市市民の動と連施 で連携で連続を では、でするです。 では、でする。 でする。 で	り実効性が得られるより、良質で安定した で変更した で変更した で変現に で変現況値との差 のである。 のでででである。 のででである。 のででである。 のででである。 のででである。 のででする。 のでである。 のでである。 のでである。 のででする。 のででなででな。 のででなででな。 のでででなででででででででででででででででででででででででででででででででで	エ夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない	内容	□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスの □⑦チー他 <その他の内容> 実施した参加 参加・協 該当なし 該当なし	準安 / 加動が 実施 しし は 状状 況 達成 大大 の は は は は は は は は は は は は は は は は は	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容	・ (又は今後、 その内容) ●①目標値達成 ○②目標値未達成 <名目標を達成した理	●②当初期の ③当初の <期待した ●①想想定と <想定とお	明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理 環 どおりでなかった原 りでなかった原	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		●不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) : : 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □市が主実 □市が主実 □市が主実 □市が表 中が表 明 □市が現 回 で	導施・提供することにとに とことに とことに とここの を供いまれるより をはいまする。 をはないまする。 をはないまないまないまないまないまないまないまない。 をはないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	り実効性が得られるより、良質で安定した で変更した で変更した で変現に で変現況値との差 のである。 のでででである。 のででである。 のででである。 のででである。 のででである。 のででする。 のでである。 のでである。 のでである。 のででする。 のででなででな。 のででなででな。 のでででなででででででででででででででででででででででででででででででででで	工夫の具体	内容	□④市の支援が □⑤サービス水: □⑥サービスの □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協能 該当なし	準安 / 加動が 実施 しし は 状状 況 達成 大大 の は は は は は は は は は は は は は は は は は	はされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容	(又は今後、 その内容) ●①目標値達成 ○②目標値未達成	●②当初期の ③当初の <期待した ●①想想定と <想定とお	明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理 環 どおりでなかった原 りでなかった原	出由/期待以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		● 不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) : : 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □には、 □をは、 ○②事業業理・運営主司で ○④市民と共 ●⑥その他 <そのはし □②生手質境の他 <そりな □③環境と共意低派 ■⑥そのの内容 ○③であると、 □③は、 □③は、 □③は、 □○は □○は □	導施・発生とにとに ・ で進保すること ・ は、	り実効性が得られるより、良質・施策の目標の は策・施策の目標の で変現ので変定した で変現ので変更のである。 □①客観的なとしている。 □②現況値なとの較対している差対。 同等の水準でも、	工夫の具体 取組む 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない ながっちる場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策	内容 フラス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カ	□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスル □⑥サービの □⑦その他の内容> 実施した参加 参加・協信 該当なし	準安 〉 加動が 実施 しし が では が では が でん が でん は が でん が でん かい	た具体的な内容 た具体的な内容 た具体的な内容 100	は (又は今後、 その内容) ① 目標値達成 ○② 目標値未達成 ○② 目標を達成した理 墓地の許可変更届出	●②当初初の ③当初の <期待した ●①想定と <想定と <想定と <おかあった。 両	明待した以上 明待したとおり の期待以下 以上となった理 環境 以上となった理 はどおりでなかった原 りでなかった原 となった原因〉	他/期待以下	であった原因>	● 不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	(理由) □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □市が対 □には、 □をは、 ○②事業業理・運営主司で ○④市民と共 ●⑥その他 <そのはし □②生手質境の他 <そりな □③環境と共意低派 ■⑥そのの内容 ○③であると、 □③は、 □③は、 □③は、 □○は □○は □	導施・提供するによとにとは、 は供すされるより政 をしている。 をしていい。 をしてい。 をして、 をしてい。 をしてい。 をしてい。 をして、 をして、 をしてい。 をしてい。 をしてい。	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は、・施策の目標の 「会現現にはとの対するととの対す。」 「会現現にはとの対するとと、できる。」 「会現現にはとの対するとの対す。」 「の国・県助成制」	エ夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用	□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスル □⑥サービの □⑦その他の内容> 実施した参加 参加・協信 該当なし	準安 〉 加働 実施 しし	まされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 (%) 100	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●②当初の ②当初の ◇期待した ●①想想定と ◇想定と ◇想定と ◇想定と ◇想定と ◇想定と ◇想定と ◇想定と ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇	期待した以上 明待したとおり り期待以下 以上となった理 環 ば おりでなかった原 りでなかった原 と となった原因> 事業 ●①事前の想	他/期待以下 うへの配慮 で (因) で で で で で で で で で で で で で	であった原因>	● 不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	(理由) □市が主実 □市が主実 □市が主実 □市が表 で	導施・発生とにとに ・ で進保すること ・ は、	はり実効性が得られるより、良質・施策の目標の は、・施策の目標の は、・施策の目標の で客観別に値ととを でとして、 で名現別に値ととの数対で、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	正 工夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応 □⑤ ▽登益	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□④市の支援が □⑤サービス水、 □⑥サービスの □⑦チの他 <その他の内容> 実施した参加 参加・協 該当なし 該当なし	準安 〉 加働 実施 しし	た具体的な内容 た具体的な内容 た具体的な内容 100	・ (又は今後、 ・ (又は今後、 ・ その内容) ●①目標値達成 成	●②当初のの ②当初のの ②当初のの ●③当初のの ●③当初のの ●③1想想定とと ●③2想定とと をおった。 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの のののの のののののののののの	期待した以上 明待したとおり り期待以下 以上となった理 以上となった理 はごおりでなかった原 りでなかった原 となった原因〉 事業の想 ○②事前の想	きへの配慮 を を を を を を を と と と と と と と と と と と と	であった原因> について かった	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 B
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	(理由) □市が主 □市が実 □市が実 □市が実 □市が現 □でする。 ○(2事業 実施管: ○(3) 管下のの ○(3) 管理民のと共 ○(3) 管理民のと共 ○(4) 市市のの マの他の内容 を当なし □(2) 生き質境のを マの他の内容 は当りである。 □(2) は、表には、表には、表には、表には、表には、また。。 □(3) では、また。。 □(4) では、また。。 □(5) では、また。。 □(6) では、また。。 □(7) は、また。。 □(8) では、また。。 □(8) では、また。。 □(9) では、また。。 □(1) は、また。。 □(1) は、また。。 □(2) は、また。。 □(3) では、また。。 □(4) では、また。。 □(5) では、また。。 □(6) では、また。。 □(7) では、また。。 □(7) では、また。。 □(8) では、また。。 □(8) では、また。。 □(8) では、また。。 □(9) では、また。。 □(1) では、また。。。	導施・発生とにとにといる。 おいない おいない はいない はいない ないない ないないない ないないない ないないない ないないない ないないない ないないない ないないないない	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は、・施策の目標の で現現にはという。 「②現現にはという。」 「②現現にはという。」 「②現現にない水準で。」 「②現現にない水準で。」 「②現現にない水準で。」 「②現有体制にのの。」	工夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスの □⑦子の他 <その他の内容> 実施した参加 参加・協信 該当なし 譲当なし 注 実績値(f)(件)	準安 〉 加働 実施 しし	まされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 100 100 事業費(%) g/c)×100	・ (又は今後、 ・ (又は今後、 ・ その内容) ●①目標値達成 成	●②当初のの ②当初のの ②当初のの ●③当初のの ●③当初のの ●③1想想定とと ●③2想定とと をおった。 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの のののの のののののののののの	期待した以上 明待したとおり り期待以下 以上となった理 環 ば おりでなかった原 りでなかった原 と となった原因> 事業 ●①事前の想	きへの配慮 を を を を を を と と と と と と と と と と と と と	であった原因> について かった	● 不
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	(理由) □市が主 □市が実 □市が実 □市が実 □市が現 □でする。 ○(2事業 実施管: ○(3) 管下のの ○(3) 管理民のと共 ○(3) 管理民のと共 ○(4) 市市のの マの他の内容 を当なし □(2) 生き質境のを マの他の内容 は当りである。 □(2) は、表には、表には、表には、表には、表には、また。。 □(3) では、また。。 □(4) では、また。。 □(5) では、また。。 □(6) では、また。。 □(7) は、また。。 □(8) では、また。。 □(8) では、また。。 □(9) では、また。。 □(1) は、また。。 □(1) は、また。。 □(2) は、また。。 □(3) では、また。。 □(4) では、また。。 □(5) では、また。。 □(6) では、また。。 □(7) では、また。。 □(7) では、また。。 □(8) では、また。。 □(8) では、また。。 □(8) では、また。。 □(9) では、また。。 □(1) では、また。。。	導施・提供することにとに は供すされるより政 をとこるのの参とには、 を民民民活業を を民民民活業を を民民民活業を を民民民活業を を民民のの参と連施 をはいいのである。 をはいいのである。 をはいいのである。 をはいいのである。 をはいいのである。 をはいいのである。 をはいいのである。 ははには、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 は	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は、・施策の目標の 「空現現通にないた。との対す。 「国現特性では、一へ、差対。」 「国現特性のでの。 「国現特性のでの。」 「国現特性のでの、」 「	工夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスの □⑦子の他 <その他の内容> 実施した参加・協信 該当なし 該当なし i 漢 実績値(f)(件)	準安 〉 加働 実施 しし	まされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 100 100 事業費(%) g/c)×100	・ (又は今後、 ・ (又は今後、 ・ その内容) ●①目標値達成 成	●②当初のの ②当初のの ②当初のの ●③当初のの ●③当初のの ●③1想想定とと ●③2想定とと をおった。 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの のののの のののののののののの	期待した以上 明待したとおり り期待以下 以上となった理 以上となった理 はごおりでなかった原 りでなかった原 となった原因〉 事業の想 ○②事前の想	きへの配慮 を を を を を を と と と と と と と と と と と と と	であった原因> について かった	● 不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	(理由) □市が主実ビート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	導施・発生とにとにといる。 おいない おいない はいない はいない ないない ないないない ないないない ないないない ないないない ないないない ないないない ないないないない	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は、・施策の目標の 「空現現通にないた。との対す。 「国現特性では、一へ、差対。」 「国現特性のでの。 「国現特性のでの。」 「国現特性のでの、」 「	工夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□④市の支援が □⑤サービス水 □⑥サービスの □⑦子の他 <その他の内容> 実施した参加・協信 該当なし 該当なし i 漢 実績値(f)(件)	準安 〉 加働 実施 しし	まされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 100 100 事業費(%) g/c)×100	・ (又は今後、 ・ (又は今後、 ・ その内容) ●①目標値達成 成	●②当初のの ②当初のの ②当初のの ●③当初のの ●③当初のの ●③1想想定とと ●③2想定とと をおった。 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの 高数のの のののの のののののののののの	期待した以上 明待したとおり り期待以下 以上となった理 以上となった理 はごおりでなかった原 りでなかった原 となった原因〉 事業の想 ○②事前の想	きへの配慮 を を を を を を と と と と と と と と と と と と と	であった原因> について かった	● 不
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	(理由) □市が主実で サーバス (理由) □市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	導施・提供することにとに とことに とここの をしたで 提供することに をしたで をしたで をしたで をしたで をしたで をしたで をしたで でも をしたで でも をしたで でも をしたで でも をしたで でも でも でも でも でも でも でも でも でも で	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は、・施策の目標の 「空現現通にないた。との対す。 「国現特性では、一へ、差対。」 「国現特性のでの。 「国現特性のでの。」 「国現特性のでの、」 「	正 工夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない ないないものではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤・アチー 対応 削減策の実施 □⑦・その何	内容 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也	□④市の支援が □⑤サービスの □⑥サービスの □⑦その他の内容> 実施した参加 参加・協 該当なし 該当なし 演奏値(f)(件) 1 実績値(g)(千円) 1,305 く超過理由等>	準安 / 加動が 実施 状況 遠(は 大沢) が() が()	まされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 100 100 事業費(%) g/c)×100	・ (又は今後、 ・ (又は今後、 ・ その内容) ●①目標値達成 成	●②当初のの ②当初のの ●③当初のの ●③当初のの ●③当想想定とお ●③②想定とお を達定とお ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	期待した以上 明待した以上 明待したとおり 別上となった理 環 が さだおりでなかった原 となった原因> 事前前のの ②事事初想 利 く想定どおり削	由/期待以下 ^養 への配慮 た 因> 費の削減りりでない。 できない。 できない。	であった原因> について かった	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	(理由) □市が主実ビートが主張では、	導施・提供するにとにとにという。 はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は策・施策の目標の で客観別値はとの較対ではといるとと、 「国の現別当時のでのでのでのでのでのでのでは、 「国の関連を表現では、 「国のでは、 「は、 「国のでは、 「国のでは、 「ののでは、 「国のでは、 「国のでは、 「国のでは、 「国のでは、 「国のでは、	正式表の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実践性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤受益 削減策の実施 □⑦その 計算方法	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也 去 単位/事業費	□④市の支援が、□⑤サービスル、□⑥サービスの □⑦ライの他 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	準安 / 加動が 実	まされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 に成率(96) b/f×100) 100 事業費(96) 100	●① (又は今後、 その内容) ●① (1) 目標値値達成成成 (2) 目標値値 成 (1) 表 (2) 表 (2) 表 (2) 表 (3) 想 定 事 表 業 (3) 表 (3) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和	●②当初初の	期待した以上 明待した以上 明待したとおり 別上となった理 環 が さだおりでなかった原 となった原因> 事前前のの ②事事初想 利 く想定どおり削	由/期待以下 ^養 への配慮 た 因> 費の削減りりでない。 できない。 できない。	であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	(理由) □市が主実ビートが主張では、	導施・発生とことは、 ・ で提供するにより、 ・ はいかでは、 ・ はいかでは、 ・ はいかでは、 ・ はいかです。 ・ はいがです。 ・ はいがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがで	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は、・施策の目標の 「でを現現値を変定した。 「でも、では、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	正 工夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない か小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 削減策の実施 □⑦その分	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也 去 単位/事業費	□④市の支援が、□⑤サービスの・□グライの他の内容 > マルービスの・□グライの他の内容 > マルージスの・□グライの他の内容 > マルージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	準安 / 加動が 実	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 た具体的な内容 100 事業費(%) g/c)×100 100	●① (又は今後、その内容) ●① 目標値を達成 (文は (本)	●②当初初の	期待した以上 明待した以上 明待したとおり 別上となった理 環 が さだおりでなかった原 となった原因> 事前前のの ②事事初想 利 く想定どおり削	由/期待以下 ^養 への配慮 た 因> 費の削減りりでない。 できない。 できない。	であった原因> について かった た原因>	● 不要要要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	(理由) □市が主実で サーバス (理由) □市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	導施・提供することにより、 ・ で提供することにより、 をしていい。 ・ では、 ・ では	リ実効性が得られるより、良質・施策の目標の は策・施策の目標の で客観別値はとの較対ではといるとと、 「国の現別当時のでのでのでのでのでのでのでは、 「国の関連を表現では、 「国のでは、 「は、 「国のでは、 「国のでは、 「ののでは、 「国のでは、 「国のでは、 「国のでは、 「国のでは、 「国のでは、	正式表の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実践性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤受益 削減策の実施 □⑦その 計算方法	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也 去 単位/事業費	□④市の支援が、□⑤サービスル、□⑥サービスの □⑦ライの他 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	準安 / 加動が 実	まされた 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 に成率(96) b/f×100) 100 事業費(96) 100	●① (又は今後、 その内容) ●① (1) 目標値値達成成成 (2) 目標値値 成 (1) 表 (2) 表 (2) 表 (2) 表 (3) 想 定 事 表 業 (3) 表 (3) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和	●②当初初の	期待した以上 明待した以上 明待したとおり 別上となった理 環 が さだおりでなかった原 となった原因> 事前前のの ②事事初想 利 く想定どおり削	由/期待以下 ^養 への配慮 た 因> 費の削減りりでない。 できない。 できない。	であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	(理由) □市が主実 □市が主実 □市が主実 □市が表現の他 □(2事業業理 回り 回り 単業 単 回り 回り 回り 単二 単 の 回り 単	導施・発生とことは、 ・ で提供するにより、 ・ はいかでは、 ・ はいかでは、 ・ はいかでは、 ・ はいかです。 ・ はいがです。 ・ はいがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがで	リ実効性が得られるした。 は実効性が得いでは、 は策・施策の目標の 「でのでででは、 「でのでででででできます。」では、 「のでのでででできます。」では、 「のでのででできます。」では、 「のでのででできます。」では、 「のでのででできます。」では、 「のでのでできます。」では、 「のでのでできます。」では、 「のでのでできます。」では、 「のでのでできます。」では、 「のでできます。 「のでできます。	工夫の具体 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない かかっさい値ではない 象ある 実施予定の対策 度活用 □⑤受益・ 削減策の実施 □⑦その・ 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値−3	内容 7 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 也 去 単位/事業費	□④市の支援が、□⑤サービスの・□グライの他の内容 > マルービスの・□グライの他の内容 > マルージスの・□グライの他の内容 > マルージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	準安 / 加動が 実	された 基盤が確保され の具体的な内容 られる場合には た具体的な内容 た具体的な内容 100 事業費(%) g/c)×100 100	●① (又は今後、 その内容) ●① (1) 目標値値達成成成 (2) 目標値値 成 (1) 表 (2) 表 (2) 表 (2) 表 (3) 想 定 事 表 業 (3) 表 (3) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和	●②当初初の	期待した以上 明待した以上 明待したとおり 別上となった理 環 が さだおりでなかった原 となった原因> 事前前のの ②事事初想 利 く想定どおり削	由/期待以下 ^養 への配慮 た 因> 費の削減りりでない。 できない。 できない。	であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要

哥	業コード	1726			課コード		0704	会計程	重別 一般会	計			予算の種類	頁 ■	政策 □	経常	□なし
1.	事業の概要(PLAN)																
		①事業名	基本事業個別事業	公園の整	· 備					ŀ画への ₫づけ	•	有 〇無	②部	課名	都市部・公園緑	地課	
		③事業主体	●市	〇その) ④対象地	bΣ	■我孫子	□天王台 [□湖北	■新木	□布佐	□全市	
(1) 導	業概要	⑤事業期間 ⑦事業費			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	和 3年度 ~			⑥担当暗		(当 初)	23, 8		換算人数 うち人件費		(8 人) (6 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			0 千円				開始)年度	(変更後)	5, 5		うち人件費	1, 56	66 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		62101		プロジェクト D位置づけ	重点2		画地区別)位置づけ	•	●有 ○無		門別計画への 位置づけ	(計画名) 緑の	基本計画	
(2) 目	的	施策目的 · 展開方向	ながら、市	街地で公	園が不足してい	る一部の区域において	や城跡、古墳などの歴史的 公園の整備を検討します。	また、誰もが安心	ひして 事業	目的		や金塚古墳といった で公園の不足してい				#を検討する	。また、根戸地
		22,0075119	公園の不足	≧している			主要公園における遊具の3 を選定し、公園整備を検討				公園候補地の ・五本松公園	検討・公園施設整備 田地取得	の検討				
(3) 事	業内容	内 容	U/LAME	- 404)	正明でリノ。				執行 当該	を年度 計画 を年度 に実指標	・手賀沼公園 ・未利用公園	の賑わいづくりのた		活用したオー	プンカフェ設置 単位 作	想定值 実績値	1 0
	成目標(期待する成果)	公園候補地の検討	. 八周佐凯東	を供の投票		目標(期待する成果)				種類	小圏伝述地の	指 検討・公園施設整備	標の検討			(5) 現況値	(6)目標値
	該年度 ————————————————————————————————————	公園候補地地権者		11川 リノ (央 計)						[接 ———— [接	地権者の内諾		(5)快韵		件件	0	4
	和 4年度	地区の街区公園と	して利用して	こもらう						.1g 〔接	公園整備の完	7			件		4
(7) 国	業実施上の課題と対応	公園用地の選定と	地権者の承認	若					代替:	案検討)有 ●無					
(1)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		平成31	年度					141	~ (20)		和 3年度			令和 4年	 丰度	
(8)	実施内容 行事項 費 用	政策 歴史公園(手賀 根戸地区街区公 南新木沖田公園	公園の検討		金額(千円)	策 歷根 有	間の整備計画検討 関の整備検討 割書印紙代(3月減額補正 力産鑑定手数料 地測量(3月減額補正) 取得費(3月減額補正) 3公園便益施設設置予定者 設置重数料(明許繰越) 5位採業務委託	0 902 2,035 0	決算額(千円) 0 810 2,035 0 14 0 134 440 0 127 0	歴史公 根戸地 南新木	内 !! 園(手賀沼文化港 区街区公園の検 沖田公園の整備 区街区公園の整	ル点計画調整) 討 計画検討	金額(千円)	根戸地区街	内 容 ・賀沼文化拠点計 区公園の検討 公園の整備計画材 区公園の整備検言	食討	金額(千円)
(9)貝	予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 起債 一般財源	補助率 補助率 充当率	à	0 % 0 % 0 %		0 補助率 0 補助率 0 充当率 0	3	3, 954 0 0 0 0 3, 954	3, 560 0 0 0 0 3, 560	補助率 充当率	合 計	0 % 0 % 0 %	0 0 0 0	補助率補助率充当率	合 計	0 % 0 % 0 %	0 0 0 0
	その他の財源 換算人数(人) 正職員人件費	□特会 □受	益 □基金 □]その他	0. 1.5	18	益 □基金 □その他	0. 18 1, 566	0 0. 18 1. 566	□特:	会 口受益 口基	金 口その他	0 0. 18 1. 566	□特会□	受益 口基金 口	その他	0. 18 1, 566
(10)	人件費等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				1, 5	0 0		0	0				0				0
(11)	(予算(決算)額+正職員人件費) 単位費用		1, 584千日	——— 円/件	1, 5	84	5,520千円/件	5, 520	5, 126 0				1, 566				1, 566
	事業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK	0															
	評価項目			h er trongram		前評価						・ 価(評価結果に応	じ、改善案検討	付(拡充も含む)))		改善検討
	(1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	足している地域の	公園整備を模	食討する必			要がある。根戸地区などで 沖田公園で地域の市民ニ-		<想定どおり	での想定とした理印	どおりでなかっ	でなかった原因>					〇要 ●不要
必要性	② 市が実施する必要性は	口その他	で市が実施す 体が市しかな	けることが よい	だめられている				■②市が主導 □③市が先導 促進され □④市の支援	事で進めな 事役となっ いた 長が政策・	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	普及が一層			必要性の理由> する必要がある。		
	あるか?(市実施の必要性)	サービ 口市が支	導で進めるこ 施・提供する スが保証され 援することに 図られる	ことにより ることによ いる			•		口⑤サービス 口⑥サービス 口⑦その他 <その他の内!	の安定供	保された 給基盤が確保さ	れた					○要 ●不要
参加		●①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に	市民の参画	有り 有り		地域の意見をもと	工夫の具体的な内容 に公園候補地を検討して	いく。	参加・	協働が考え	働の具体的な内 えられる場合に 容には、地域住脈			待した以上 待したとおり	動の程度・内容		
協	市民の参加や市民との協働を □夫しているか? 体制づくり	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で 〇⑥その他	りな活動と連 で事業を実施	携している	3										由/期待以下でも	あった原因>	○要 ●不要
		、この四の四番/															
		■①自然環境を生				公園・緑地として	取組む内容 (自然環境を保全する。		周辺環境との		した具体的な内 る。	容	●①想定ど	おり	への配慮		
	環境に配慮して事業を進めて いるか?	□②生き物と共存 □③手賀沼を意証 □④環境負荷低調 □⑤その他 <その他の内容>	戦している 域に貢献して	いる										おりでなかった でなかった原			 ○ 要 ● 不要
		現況値(a)(件)	目標値(b) (件)		ータ・事実に基づき設			実績値(f)(作		達成率(%)	○①目標値達成 - ●②目標値未達成	ξ.				
	(1) 目標設定は適切か?	0	4		□③現況値との	ごべ実現性が乏しい値で)差が小さい値ではない 受対象が有る場合、比較		:現況値の差)と	0		(f/b×100)	- <目標を達成した: 不動産鑑定結果と			用地取得に至らな	いったため 。	○要●不要
		対策実施によ		減	同等の水準	である	:対象例における日標値(と 	シル //に	· ·	実施状況	-	〇①想定事業費未		事業者	費の削減対策につ	いて	
効		事業費(c)(千円)	事業費削減 (千円	或額(d)	□①国・県助成 □②現有体制で	制度活用	プログラス □⑤ P F I 等民間資 □⑥受益者負担	本の活用	実績値(g)(千	.ш.) ;	対事業費(%) (g/c)×100	● ②概ね想定事業 ○ ③ 想定事業費起	費以内	●①事前の想定			
	(2)事業費削減の工夫をして いるか?	5, 520	△3, 9	136	□③維持管理費 □④民間委託	の削減策の実施	口⑦その他		5, 126		92. 86				減できなかった原		 ○要
性			減率(%)		<削減の内容>				<超過理由等	>							●不要
		Δ2-	48. 48														
	③)目標値を実現する為に		目標値対事業	業費(e) 単位	費用単位	●①単年度の指揮·	計算方法 目標値×費用単位/事業	費		達成状況	対目標値(%)	〇①目標値以上 〇②目標値と同程	建度 不動産鑑	定結果と予算額	里由/目標値以下 領が乖離しており		
	投じる事業費は適正か? (目標対費用)	0. 07		件	10万円		日孫値へ負用年位2 事末 ::(目標値-現況値)×費		実績値(h) 0		(h/e) × 100	●③目標値以下	に至らな	かったため。			●不要
		I				İ			•	- 1	•	1					
3.	事後評価																
	事後評価 見状どおり推進 〇拡充	〇縮小	〇結合	〇休止	〇廃止 メント	〇事業手法見直し	〇その他(事業完了な	ビ)					なび展開方向				

事業コード	1731			課コード	0704		会計種別	一般会	会計			予算(の種類	■政策	□経常	□なし
1. 事業の概要(PLAN)																
	①事業名	基本事業							計画への	_	有 〇無		②部課名	都市部・公	周紀州部	
	①事業名	個別事業	市民の森・	・施設整備					置づけ	•	有 〇無		②部課名	都市部・公	(国	
	③事業主体	●市	〇その他		00 fr rfr)	4)対象		□我孫子	□天王台	■湖北	□新木	■布佐	□全市	
(1)事業概要	⑤事業期間			平 0.2	28年度 ~			⑥担当耶	献貝奴	(当 初)		2 人	(換算人数 (うち人件費		0.1 人)	
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(閉	開始)年度	(変更後)		10,138 千円	(うち人件費		870 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策		11301	重点プロジェクト	重点	1	基本計	·画地区別		有 ●無		部門別計画への	(計画名)	緑の基本計画	
	○ 応来の位置 バ]] -	148六年1->		への位置づけ				の位置づけ				位置づけ			*: *+ * ~ 7
(2)目的	施策目的 · 展開方向	辺の保全な	こどの核とな	なる事業を推進し	とができるよう、市民との連携に ます。また、くらしの中で自然が	が感じられるよう、「	手賀沼沿い斜面	事業	業目的		重することにより また、憩いの地)保全を図るととも 維持管理する。	らに、 市氏から	目然と親しみなか	り称を育てる
	ניין נלנתן אנו				の推進に関する条例」に基づく指 市民の森について、それぞれの整					貴重な緑地の保	果全					
		・活用と併	#せて、市民	民が利用しやすい。	よう整備する。			当意	核年度	市民の森施設等中里市民の森原	等の整備の検討 用地の取得					
(3)事業内容	内容								方計画 一計画	1 = 1,000						
(0) F X P 1 C	" =									+00++=0	* o * # o Wal					1
									该年度 結果指標	市民の森施設	等の整備の検討			単位	想定值 医所 実績値	
(4)達成目標(期待する成果)				達成日	標(期待する成果)				票種類		:	指標		単位		(6)目標値
当該年度	貴重な緑地の保全	:		72/74	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				直接	施設等の整備の		7111 177		箇所		(3) [1] [2]
	貴重な緑地の保全	<u> </u>							直接	施設等の整備の	の検討			箇所	;	
	貴重な緑地の保全	<u> </u>						<u> </u>		施設等の整備の	 D検討					
令和 4年度 ————————————————————————————————————	7								直接 —————			1		箇所		
(7)事業実施上の課題と対応								代替	案検討	0	有●無					
		平成314	年度			令和 2年度				I 令和	和 3年度	L		令和	1 4年度	
	政策	内 容		金額(千円)	政 内容	予算額	(千円) 決算額	頃(千円)	政	内 容		金額(千円))	内 容		金額(千円)
	地権者交渉			0	地権者交渉		0	0	地権者:	交渉			0 地権者交流	b		
					* 印紙購入費 * 不動産鑑定		20 744	2 810								
					* 用地測量 * 用地取得費		495 8, 750	462 7, 943								
					* 【流用】不動産鑑定(保険	1 to 1 to 1	66	.,								
実施内容					* 【3月補正】用地取得費	科がら)	△807									
(8)施行事項 費 用																
▽ //at //at / day / day		A =1		0	A =1		9. 268	0.017		A =1				A =1		
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	合計	0 %	0	補助率	0 %	0	9, 217	補助率	合 計	0 %		0 補助率	合 計	0 %	
県支出金 (9) 財源内訳 起債	補助率 充当率		0 %	0	1107-1-1	0 %	0	0	補助率 充当率		0 %		0 補助率 0 充当率		0 %	
(9) 対源内部 一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他	0]その他	1, 368 7, 900	1, 317 7, 900	口特会	会 □受益 □基金	☆ □その他		0 □特会 □	□受益 □基金	テ□その他	
換算人数(人)	CNA CX		1 (4) (5)	0. 1		3 (47 5	0. 1 870	0. 1 870	L 19 2			0.	.1			0.
(10) 人件費等 正職員人件費 嘱託職員報酬額				880 0			0	0					70 0			87
■ 臨時職員賃金額 事業費(予算(決算)額+正職員人件費				0 880			0 10, 138	10, 087					0 70			87
(11)単位費用 (事業費/活動結果指標)		880千円/	/箇所		10, 138千円	円/箇所		10, 087								
2. 事業の評価(DO+CHEC	CK)															
評価項目				事 前						事 後 評	価 (評価結果)	こ応じ、改善家	と検討(拡充も含む	C))		改善検言
評価項目				地権者からの用	市 評 価 地買取り申し出に対応する必要か	がある。また、市民の			認での想定	どおり		こ応じ、改善家	を検討(拡充も含む	2))		改善検討
評価項目 (1)事業が今必要である理由	が安全で利用しや			地権者からの用		がある。また、市民の						こ応じ、改善家	を検討(拡充も含む	ני))		改善検言
	が安全で利用しや			地権者からの用		がある。また、市民の	○ <	②事前確認	忍での想定 とした理由	どおり どおりでなかった i/想定どおりで	たなかった原因>				2.7	
(1)事業が今必要である理由	が安全で利用しや・	すくなるよう	が施設の整備	・地権者からの用 着が必要である。	地買取り申し出に対応する必要か	がある。また、市民の	〇 < 市 月	②事前確認 思定どおり 民が安心し	認での想定 とした理由 て自然と触	どおり どおりでなかった a/想定どおりで aれ合い利用でき	た なかった原因> る明るい森づく	りの上で、地	権者と交渉を行い	用地取得を行		O要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)	が安全で利用しや ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ママン NPO、市民E で市が実施す	が施設の整備 団体等では、 ることが定	地権者からの用 構が必要である。		がある。また、市民の	◆本市日	②事前確認 想定どおり 民が安心し ①民間企業 ②市が主義	認での想定とした理由で自然と例 ま、NPO、 算で進めなり	どおりでなかった。 1/想定どおりでなかった。 1/想定どおりではれ合い利用でき 、市民団体等でしたがは実効性がた。	た なかった原因> る明るい森づく よ実施できなかっ なかった	りの上で、地 った <市実旅 市民が多	権者と交渉を行い 他の具体的な内容 で心して利用するこ	用地取得を行 ・必要性の理 ことができる ぷ	由> なづくりの上で、	○ 要 ●不要
(1)事業が今必要である理由	が安全で利用しや ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ママン NPO、市民E で市が実施す 体が市しかな	が施設の整備 団体等では、 ることが定	地権者からの用 構が必要である。	地買取り申し出に対応する必要か	がある。また、市民の	◆本市日	②事前確認 想定どおり 民が安心し ①民間企業 ②市が主義	認での想定。 とした理由 て自然と削 業、NPO、 尊で進めなり 尊役となった。	どおり どおりでなかった 1/想定どおりで まれ合い利用でき 、市民団体等で1	た なかった原因> る明るい森づく よ実施できなかっ なかった	りの上で、地 った <市実旅 市民が多	権者と交渉を行い	用地取得を行 ・必要性の理 ことができる ぷ	由> なづくりの上で、	○ 要 ●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は	が安全で利用しや ・ ●①民間企業、ト (理由) □法令等 ■提供主 □その他	N P O 、市民[で市が実施す 体が市しかな	が 団体等では: 「ることが定い	地権者からの用 備が必要である。 実施できない 定められている	地買取り申し出に対応する必要が <その他の内容>	がある。また、市民の	○ <	②事前確 思定が安心 民が安心 (1) 民市がたる でである。 (4) 市の支援 (4) 市の支援	認での想定 とした理由 よて NPの 業 で で と い が し が し た で き う た で も と り た で も と り た で も っ で う た っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ	どおりでなかった。 は、一般定どおりできれ合い利用でき、 、市民団気効性がたければ実効性がたことで市民へも 施策の目標の実実	たなかった原因> る明るい森づく は実施できなかっ なかった 普及が一層	りの上で、地 った <市実旅 市民が多	権者と交渉を行い 他の具体的な内容 で心して利用するこ	用地取得を行 ・必要性の理 ことができる ぷ	由> なづくりの上で、	○要●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか?	が安全で利用しや ●①民間企業、「 (理由) □法令等 ■提供主 □その他 ○②自治体である (理由) □市が主	NPO、市民[で市が実施すな はが市しかな はずが推進すべ る事で進めるこ	がある。 団体等ではは であことが定い べきである。 ことによりま	地権者からの用 構が必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容>	がある。また、市民の	O <	②事前確請 おりし 記定 どおい 日民が安 間に 日本 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	認での想定 とした理由 とした理と例 、で進と 、で進と いが進が、 で確れ で確れ で確れ で確れ で確れ で確れ で確れ で確れ で確れ ででで ででで	どおりでなかった。 は、一般定どおりできれ合い利用でき、 、市民団気効性がたければ実効性がたことで市民へも 施策の目標の実実	た なかった原因> る明るい森づく は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した	りの上で、地 った <市実旅 市民が多	権者と交渉を行い 他の具体的な内容 で心して利用するこ	用地取得を行 ・必要性の理 ことができる ぷ	由> なづくりの上で、	○ 要 ●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は	が安全で利用しや ●①民間企業、N (理由) □法令第 ■是決令第 □その他 ○②自治体である (理由) □市が主	PT くなるよう NPO、市底になるよう NPO、市底になった。 NPO、市底になった。 NPOでは、 NPOで	が 施設の整備 団体等では でんこく できによい べきによによい ことによい	地権者からの用 備が必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られるし り、良質で安定し	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容>	がある。また、市民の	○ < t = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 =	②事前確請 思定どおりし 見定どおりし 引民が安心 間においる 間になる のでは、 のでは	認での想定とした理由 としたというでは、 ・でしたというでは、 ・で後というでは、 を対した。 が、準なに、 そのでは、 が、準なに、 そのでは、 そのでは、 そのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのででは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でいででがででがでは、 でのでででがでででがででがででがででがでがでがででがででがででがでがでがでがで	どおりでなかった。 が表現でなかった。 が表現ではおりできた。 本れ合い利用できた。 では実でする。 ではないでは、 ではないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできないできない。 にはないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	た なかった原因> る明るい森づく は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した	りの上で、地 った <市実旅 市民が多	権者と交渉を行い 他の具体的な内容 で心して利用するこ	用地取得を行 ・必要性の理 ことができる ぷ	由> なづくりの上で、	O要 ●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか?	が安全で利用しや ●①民間企業、「 (理由) □法令法 □ 世提供主 □ その他 ○②自治体である (理由) □市が対 □ 市が実 サービ □ 市が実 実現が	マイスなるよう NPO、実施では、 下で市が市で進みでは、 の導施の供証ことでは、 のではないできる。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	が 施設の整備 団体等では でんこく できによい べきによによい ことによい	地権者からの用 構が必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容>	がある。また、市民の	○ < t = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 =	②事前確請りしまる。 ままる はいしまる (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	認での想定とした理由 としたというでは、 ・でしたというでは、 ・で後というでは、 を対した。 が、準なに、 そのでは、 が、準なに、 そのでは、 そのでは、 そのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのででは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でいででがででがでは、 でのでは、 でのでででは、 でのでででがででがででがででがででがででがででがでがでがででがでがでがでで	どおりでなかった。 が表現でなかった。 が表現ではおりできた。 本れ合い利用できた。 では実でする。 ではないでは、 ではないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできないできない。 にはないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	た なかった原因> る明るい森づく は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した	りの上で、地 った <市実旅 市民が多	権者と交渉を行い 他の具体的な内容 で心して利用するこ	用地取得を行 ・必要性の理 ことができる ぷ	由> なづくりの上で、	O要 ●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか?	が安全で利用しや ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マイスなるよう NPO、実施である。 下底すながった。 で体が市が推進の供証では保証できた。 る導施が保証できた。 るでは、 ないではないできた。 ないでは、 ない	施設の整備 団体等ではだっていたが定いい べきであるりよりにとにといことにといる。 こより政策・	地権者からの用 備が必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られるし り、良質で安定し	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容>		○ < t = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 = 0 =	②事前確 また また また で で で で で で で で で で で で で	忍 とした とした とした とし しき とし しき とし しき いき とし いき いき いき いき いき でき でき でき でき でき でき でき でき できる から という	どおりでなかった。 が表現でなかった。 が表現ではおりできた。 本れ合い利用できた。 では実でする。 ではないでは、 ではないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできないできない。 にはないできないできない。 にはないできないできないできない。 にはないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	た なかった原因> る明るい森づく は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った <市実旅 市民が多	権者と交渉を行い 他の具体的な内容・ を心して利用するこ を含めた活用・整備	用地取得を行・必要性の理はことができる系 満が必要である	由> ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 はいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 もっと	O要 ●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか?	が安全で利用しや ●①民間企業、「等 ■提供主 □その他 ○②自治体である (理由) □市が主 □市ボッビ □市ボッビ □キの他	マイス なるよう	施設の整備 団体等ではだったい べきによい べきにとにといるもりは、第・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4	地権者からの用 備が必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られるし り、良質で安定し	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た	体的な内容	○ <	②事前 おい 企主学 民市市 化進力 サーク の 企主学 民市市 化進 市 サーク の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	②で とて と 単単と P O なった 企と で 強と で な 策 が 在 供 が 表 ス ス の 容 〉 ― 参 加 動 が 考 ぎ に 協 考 ぎ に か あ か ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	どおりでなかった。 A / 想定どおりでをはれ合い利用できまれ合い利用できます。 ければ一般ないではないではないではないではない。 はないないではないではない。 はないないないないない。 はないないないないないない。 ないの具体的なないではないない。 ないの具体的なないのではないない。 ないの具体的なないのではないない。 ないの具体的なないのではないない。 ないの具体の場合にはないないないない。	たなかった原因> る明るい森づく ま実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った <市実が 市民が好 の購入を	権者と交渉を行い 他の具体的な内容・ な心して利用すること を含めた活用・整備 参加・協	用地取得を行 ・必要性の理 ことができる ぷ	由> ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 はいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 もっと	O要 ●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか?	が安全で利用しや ●①民間企業、等 ■提供主 □その他 ○②自治体である (理由)□市市が実 □市市が実 □ネの他 ○①事業計画時(○②事業実施時(○②事業実施時(○②事業実施時(○②事業を受ける。)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マイス なるよう P で	施設の整備 団体ことによい ではたとことによい 動の内 の内 の のの のの	地権者からの用 備が必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られるし り、良質で安定し	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容>	体的な内容	O < \tau_{\tau_{\tau}}	②事前 おい 企主学 民市市 化進力 サーク の 企主学 民市市 化進 市 サーク の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	②で とて と 単単と P O なった 企と で 強と で な 策 が 在 供 が 表 ス ス の 容 〉 ― 参 加 動 が 考 ぎ に 協 考 ぎ に か あ か ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	どおりでなかった。 「おりでなかった。 「おんらい利用できない。」 「おんらい利用できない。 「おんらい利用できない。」 「おんらい利用できない。 「おんらい利用できない。」 「おんらい利用できない。 「おんらい利用できない。」 「おんらい) 「おん	たなかった原因> る明るい森づく ま実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った <市実が 市民が多 の購入 を	権者と交渉を行い 極の具体的な内容・ 安心して利用するこ 安心して活用・整備 参加・協 初期待したとより	用地取得を行・必要性の理はことができる系 満が必要である	由> ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 はいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 もっと	O要 ●不要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	が安全で利用しや ●①民間企業、「等 ■提供主 □ その他 ○②自治体でがま □ 市ホーゲービ □ 市ホーゲービ □ 市ボッビ □ 中部現が □ その他 ○③事業計画時に ○③事業・運営主 ○④命民の自	マイスなるよう P O が が で は で は で は で が で が で を で が で で が で が で で が で が で で が で が	施設 団ない べきにとい 政 有有有携 でいた るまり 条 ・ のりりているより 策 ・ ののりの いいている からしている からしん	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た	体的な内容	O < \tau_{\tau_{\tau}}	②事前確別のは、	②で とて と 単単と P O なった 企と で 強と で な 策 が 在 供 が 表 ス ス の 容 〉 ― 参 加 動 が 考 ぎ に 協 考 ぎ に か あ か ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	どおりでなかった。 A / 想定どおりでをはれ合い利用できまれ合い利用できます。 けれるとでする。 はなきないではない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないないない。 はないないないないない。 ないの具体的なない。 ないの具体的場合にはないないない。	たなかった原因> る明るい森づく ま実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った	権者と交渉を行い の具体的な内容・ をいして利用する。 をいして活用・整備 をかた活用・整備 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待したとおり	用地取得を行・必要性の理はことができる系 満が必要である。	由> 集づくりの上で、 5。	○要 ●不要 土地 ○要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	が安全で利用しや ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マイスなるよう P O が が で は で は で は で が で が で を で が で で が で が で で が で が で で が で が	施設 団ない べきにとい 政 有有有携 でいた るまり 条 ・ のりりているより 策 ・ ののりの いいている からしている からしん	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た	体的な内容	O < \tau_{\tau_{\tau}}	②事前確別のは、	②で とて と 単単と P O なった 企と で 強と で な 策 が 在 供 が 表 ス ス の 容 〉 ― 参 加 動 が 考 ぎ に 協 考 ぎ に か あ か ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	どおりでなかった。 A / 想定どおりでをはれ合い利用できまれ合い利用できます。 けれるとでする。 はなきないではない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないないない。 はないないないないない。 ないの具体的なない。 ないの具体的場合にはないないない。	たなかった原因> る明るい森づく ま実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った	権者と交渉を行い 極の具体的な内容・ 安心して利用するこ 安心して活用・整備 参加・協 初期待したとより	用地取得を行・必要性の理はことができる系 満が必要である。	由> 集づくりの上で、 5。	○要 ●不要 土地 ○要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	が安全で利用しや ●①民間企業、等 □ 提供の他 ○②自治体でがま □ 中が変化である (理由) □ 市が実 サーが表現が □ その他 ○③事業計画時に ○③市民と共 ○⑤市の他	すくなな	施設 団ない べきにとい 政 有有有携 でいた るまり 条 ・ のりりているより 策 ・ ののりの いいている からしている からしん	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た	体的な内容	O < \tau_{\tau_{\tau}}	②事前確別のは、	②で とて と 単単と P O なった 企と で 強と で な 策 が 在 供 が 表 ス ス の 容 〉 ― 参 加 動 が 考 ぎ に 協 考 ぎ に か あ か ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	どおりでなかった。 A / 想定どおりでをはれ合い利用できまれ合い利用できます。 けれるとでする。 はなきないではない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないないない。 はないないないないない。 ないの具体的なない。 ないの具体的場合にはないないない。	たなかった原因> る明るい森づく ま実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った	権者と交渉を行い の具体的な内容・ をいして利用する。 をいして活用・整備 をかた活用・整備 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待したとおり	用地取得を行・必要性の理はことができる系 満が必要である。	由> 集づくりの上で、 5。	○要 ●不要 土地 ○要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	が安全で利用しや ●①民間企業、「等 ■位法会共主 □ を	すくなな	施設 団ない べきにとい 政 有有有携 でいた るまり 条 ・ のりりているより 策 ・ ののりの いいている からしている からしん	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た	体的な内容	O < \tau_{\tau_{\tau}}	②事前確別のは、	②で とて と 単単と P O なった 企と で 強と で な 策 が 在 供 が 表 ス ス の 容 〉 ― 参 加 動 が 考 ぎ に 協 考 ぎ に か あ か ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	どおりでなかった。 A / 想定どおりでをはれ合い利用できまれ合い利用できます。 けれるとでする。 はなきないではない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないないない。 はないないないないない。 ないの具体的なない。 ないの具体的場合にはないないない。	たなかった原因> る明るい森づく ま実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った	権者と交渉を行い の具体的な内容・ をいして利用する。 をいして活用・整備 をかた活用・整備 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待したとおり	用地取得を行・必要性の理はことができる系 満が必要である。	由> 集づくりの上で、 5。	○要 ●不要 土地 ○要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	が安全で利用しや ●①民間企業、等 □ 提供の他 ○②自治体でがま □ 中が変化である (理由) □ 市が実 サーが表現が □ その他 ○③事業計画時に ○③市民と共 ○⑤市の他	すくなな	施設の 整備 はな ではた こうこく いっぱい できない べきではに いの 内内 りり ていた こうこく いっぱい でいた なり ちゅうり いっぱん ない ちゅうしょう いっぱん マー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディ	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具 みどりのボランティアによる	体的な内容	O < \tau_{\tau_{\tau}}	②事前確別のは、	認 とて 業 尊 尊 h	どおりでなかった。 A / 想定どおりでをはれ合い利用できまれ合い利用できます。 けれるとでする。 はなきないではない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないないない。 はないないないないない。 ないの具体的なない。 ないの具体的場合にはないないない。	たなかった原因> る明るい森づく は実施できなかっ なかった 登して、 できなかった はできなかった を はいった のは、 できなかった は、 できなかった は、 できなかった は、 できなかった は、 できなかった は、 ののできまなかった。 は、 ののできなかった。 は、 ののできなかった。 は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを は、 ののでを ののでを ののでを ののでを ののでを ののでを ののでを のので	りの上で、地 った	権者と交渉を行い をの具体的な内容。 を心して活用・整備 をかた活用・整備 参加・協 初期待したとより 初初期待したとおり でによった到	用地取得を行・必要性の理はことができる系 満が必要である。	由> 集づくりの上で、 5。	○要 ●不要 土地 ○要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	が安全で利用しや ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	すくなな	施設 団	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具 みどりのボランティアによる。 取組は 森を適切に維持管理し、鳥を	体的な内容 維持管理。 む内容	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ の と が で と と で と で と で と で と で と で と で と で	② とて 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 東 尊 静 化 素 次 東 東 地 と て 業 尊 尊 体 と 下 業 水 学 安 ・ 参 加 動 が ア ド に は か 子 ド に か か か 子 ド に か か 子 ド に か か 子 ド に か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か 子 ド に か か か か か 子 ド に か か か か か 子 に か か か か か か か か か か か か	どおり どおりでなかった a / 想定どおりでき はれ合い利用でき はれ合い利用でき けたこのでき けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで はなかに できれる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた	たなかった原因> る明るい森づく は実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 った	権者と交渉を行い をの具体的な内容。 をのして利用・整備 をのして利用・整備 参加・協 初期特したと下 た以上となった到 た以上となった到 定とおり	用地取得を行・必要性できる。 ことが必要である。 「動物の程度・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内・内	由> 集づくりの上で、 5。	○要 ●不要 土地 ○要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	が安全で利用しや ・	す	施設 の を	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具 みどりのボランティアによる。	体的な内容 維持管理。 む内容	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ の と が で と と で と で と で と で と で と で と で と で	② とて 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 東 尊 静 化 素 次 東 東 地 と て 業 尊 尊 体 と 下 業 水 学 安 ・ 参 加 動 が ア ド に は か 子 ド に か か か 子 ド に か か 子 ド に か か 子 ド に か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か 子 ド に か か か か か 子 ド に か か か か か 子 に か か か か か か か か か か か か	どおり どおりでなかった a / 想定どおりでき はれ合い利用でき はれ合い利用でき けたこのでき けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで はなかに できれる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた	たなかった原因> る明るい森づく は実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 「市実がするの購入を われ 〇①当当 <期待し ・ ○②想	権者と交渉を行い 他の具体的な内容。 を心して活用・整備 を心して活用・整備 参加・協 初期待したととおり でいしたり たいしたい たいとなった更 定どおりでなかっ	用地取得を行・必要性の理はことが必要である。 動の程度・内理由/期待以 環への配慮 た	由> 集づくりの上で、 5。	土地 ○要要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	が安全で利用しや ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	す	施設 の を	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具 みどりのボランティアによる。 取組は 森を適切に維持管理し、鳥を	体的な内容 維持管理。 む内容	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ の と が で と と で と で と で と で と で と で と で と で	② とて 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 東 尊 静 化 素 次 東 東 地 と て 業 尊 尊 体 と 下 業 水 学 安 ・ 参 加 動 が ア ド に は か 子 ド に か か か 子 ド に か か 子 ド に か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か か 子 に か か か か か か か か か か か か か	どおり どおりでなかった a / 想定どおりでき はれ合い利用でき はれ合い利用でき けたこのでき けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで はなかに できれる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた	たなかった原因> る明るい森づく は実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 「市実がするの購入を われ 〇①当当 <期待し ・ ○②想	権者と交渉を行い をの具体的な内容。 をのして利用・整備 をのして利用・整備 参加・協 初期特したと下 た以上となった到 た以上となった到 定とおり	用地取得を行・必要性の理はことが必要である。 動の程度・内理由/期待以 環への配慮 た	由> 集づくりの上で、 5。	○要 ●不要 土地 ○要要要
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	が安全で利用しや ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	す	施設 の を	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具 みどりのボランティアによる。 取組は 森を適切に維持管理し、鳥を	体的な内容 維持管理。 む内容	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ の と が で と と で と で と で と で と で と で と で と で	② とて 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 東 尊 静 化 素 次 東 東 地 と て 業 尊 尊 体 と 下 業 水 学 安 ・ 参 加 動 が ア ド に は か 子 ド に か か か 子 ド に か か 子 ド に か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か か 子 に か か か か か か か か か か か か か	どおり どおりでなかった a / 想定どおりでき はれ合い利用でき はれ合い利用でき けたこのでき けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで はなかに できれる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた	たなかった原因> る明るい森づく は実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 「市実がするの購入を われ 〇①当当 <期待し ・ ○②想	権者と交渉を行い 他の具体的な内容。 を心して活用・整備 を心して活用・整備 参加・協 初期待したととおり でいしたり たいしたい たいとなった更 定どおりでなかっ	用地取得を行・必要性の理はことが必要である。 動の程度・内理由/期待以 環への配慮 た	由> 集づくりの上で、 5。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ホ民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	が安全で利用しや ・	す	施設 の を	地権者からの用 構が必要である。 実施できない をあられている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具 みどりのボランティアによる。 取組は 森を適切に維持管理し、鳥を	体的な内容 維持管理。 む内容	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ の と が で と と で と で と で と で と で と で と で と で	② とて 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 東 尊 静 化 素 次 東 東 地 と て 業 尊 尊 体 と 下 業 水 学 安 ・ 参 加 動 が ア ド に は か 子 ド に か か か 子 ド に か か 子 ド に か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か 子 ド に か か か か 子 に か か か か か か か か か か か か か	どおり どおりでなかった a / 想定どおりでき はれ合い利用でき はれ合い利用でき けたこのでき けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで けたこのででで はなかに できれる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できたる。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた	たなかった原因> る明るい森づく は実施できなかった き及が一層 見に貢献した れた	りの上で、地 「市実がするの購入を われ 〇①当当 <期待し ・ ○②想	権者と交渉を行い 他の具体的な内容。 を心して活用・整備 を心して活用・整備 参加・協 初期待したととおり でいしたり たいしたい たいとなった更 定どおりでなかっ	用地取得を行・必要性の理はことが必要である。 動の程度・内理由/期待以 は、かの配慮	由> 集づくりの上で、 5。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	が安全で利用しや ・	す	施	地権者からの用 構が必要である。 実施できない 実められている 実効性が得られるし り、良質で安定	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た 工夫の具 みどりのボランティアによる。 取組 森を適切に維持管理し、鳥を を守る。	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ の と が で と と で と で と で と で と で と で と で と で	② とて 業尊尊に できます できます できます できます できます できます できます できます	どおり さい はい はい はい はい はい はい はい はい はい は	た なかった原因>く な明るいななかく ままかった 音及に 貢献した れた マスは今後、 はその内容理が行 できなから できなから できなから できなから できなから できなから できなから できなから できなから できなから できなから できなから できなから の大容り。 できながら できなから できなから できなから はなの内容 できながら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら できなががら でき	りの上で、地 <市実がよ 市度が入る われ 〇①当当 < 期待し 。 ●①想想	権者と交渉を行い 他の具体的な内容。 を心して活用・整備 を心して活用・整備 参加・協 初期待したととおり でいしたり たいしたい たいとなった更 定どおりでなかっ	用地取得を行・必要性の理はことが必要である。 動の程度・内理由/期待以 は、かの配慮	由> 集づくりの上で、 5。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ホモ民の参加や市民との協働を エ夫しづくり)	が安全で利用しや ・	す	施設 の で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	地権者からの用 構が必要である。 実施できない 定められている 実効性が得らなし ・施策の目標の	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た 工夫の具 みどりのボランティアによる。 取組は 森を適切に維持管理し、鳥を を守る。	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ の と が で と と で と で と で と で と で と で と で と で	認 とて ^業 尊 尊 h	どおりでなかった。	た なかった原因> るの明なできなかった	りの上で、地が	権者と交渉を行い をの具体的な内容。 をのして利用・整備 をのして利用・整備 参加・協 初期期待した以上 初期期待した以下 たと下 たといった理 定どおりでなかった原	用地取得を行いるという。	由> 集づくりの上で、 5。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	が安全で利用しや ・	す	施設 では では いっぱい できない できない できない できない からりり でいい できる ありよ 策 のりりり ていた ありよ 策 のりり ていい のりり ていい のりり ていい のりり ていい のうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいだ はんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいまい できる はいかい できる しゅうしゅう しゅう	地権者からの用 満が必要である。 実施できないる 実効性性質でもない。 実効性質では、 シラマン・ を変し、 を変し、 できない。 を変し、 を変し、 できない。 を変し、 できない。 を変し、 できない。 できな、 できなな、	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具 みどりのボランティアによる ない。 取組は 森を適切に維持管理し、鳥をを を守る。 目標値の妥当性のチェッ タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の	○	② また ①②③ ④⑤⑥⑦c を といる と は は し が と と と は し が と と と は し が と と と は し が と と と と と は し が と と と と と と と と と と と と と と と と と と	認 とて ^業 尊 尊 h	どおりでありできれる。 はれ合い別ではれるいできれる。 はれ合い別では、 はれ合い別では、 はない別では、 はない別では、 はないできれる。 はないのできれる。 はないできれる。 はないではないできれる。 はないできれる。 はないではないではないではなななななななななななななななななななななななななな	た なかった原因> く はなかった原因> く はまかった 暦 は た に 音 なかっき 音 でき 音 でき 音 でき でき またった 層 に する は な でき でき は で の 本 持 管 理 が 行 は な で で 単 で は で で 単 で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で で は で で で は で で で で は で	りの上で、地域 (本来) (本来) (本来) (本来) (本来) (本来) (本来) (本来)	権者と交渉を行い 他の具体的な内容。 を心して活用・整備 を心して活用・整備 参加・協 初期待したととおり でいしたり たいしたい たいとなった更 定どおりでなかっ	用地取得を行い必要性のきるる。 動物の程度・内の配慮 た 原因>	由> 集づくりの上で、 5。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ・ 市民の参加や市民との協働を エ夫しづくり) 環境に配慮して事業を進めて の配慮	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	す	施設 の で	地権者からの用 満が必要である。 実施できないる 実効性性質でもない。 実効性質では、 シラマン・ を変し、 を変し、 できない。 を変し、 を変し、 できない。 を変し、 できない。 を変し、 できない。 できな、 できなな、	地買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た 工夫の具 みどりのボランティアによる 森を適切に維持管理し、鳥をを守る。 取組に表する場合にはないとい値ではないと対象が有る場合、比較対象例においます。	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の	○	② また ①②③ ④⑤⑥⑦で ままれた。	認 とて ^業 尊 尊 h	どおりでなかった。	た なかった原因> く なかった原因> く ないのものできまかった 層 見に たいまなから	りの上で、地	権者と交渉を行いなの具体的利用・整体の見した活用・整体の見した活用・整体の別様に対したがあれて活用・整体の別様に対した。 おりり なった 野宝 とどおりでなかった 原因 となった 原因 となった 原因 と	用地取得を行い必要性のきるる。 動物の程度・内の配慮 た 原因>	由> 集づくりの上で、 5。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ・ 市民の参加や市民との協働を エ夫しづくり) 環境に配慮して事業を進めて の配慮	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	す	施設 の で は で は で ない べきにと し り 内 りりり に い で い で い で い で い で い で い で い で い か の りりり い い い い い の りりり に い の の りりり に い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	地権者からの用	世買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た 工夫の具 みどりのボランティアによる 取組 森を適切に維持管理し、鳥を を守る。 ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない がからい値ではない がかする場合、比較対象例にお ある 実施予定の対策	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の	○ <	② また ①②③ ④⑤⑥⑦c を といる と は は し が と と と は し が と と と は し が と と と は し が と と と と と は し が と と と と と と と と と と と と と と と と と と	② とて 業専専化 (どおりできない。	た なかった原因> く はなかった原因> く はまかった 暦 は た に 音 なかっき 音 でき 音 でき 音 でき でき またった 層 に する は な でき でき は で の 本 持 管 理 が 行 は な で で 単 で は で で 単 で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で は で で で は で で で は で で で で は で	りの上で、地 で、地 で、地 で、地 で、本 で、本 で、本 で、本 で、市 のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	権者と交渉を行い を	用地取得を行い必要性の理るまでである。 はいの理なが必要である。 はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいいでは、はいでは、はいでは、はいいでは	自〉 ながくりの上で、 ある。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市工夫しの協働を が工夫して事業を進めて (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて (1)目標設定は適切か?	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	す	施設 では でにといる から 有有有携 でいた でにといる からりりている いっさい できらない からりり ていた からない ままり からり では (箇所) 「「「「「「「「「「「」」」」」 「「「「「」」」」 「「「「」」」 「「「」」 「「」「「」	地権者からの用	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI等民間資本の活用 益者負担	○	② また ①②③ ④⑤⑥⑦c を といる と は は し が と と と は し が と と と は し が と と と は し が と と と と と は し が と と と と と と と と と と と と と と と と と と	認 とて 業 尊 尊 h	どおりでなかった。 Ta / 想なりでなかった。 Ta / 想なりでをおりできなから、 Ta / 想なりでをおりできながら、 Ta / 想なりできながら、 Ta / できながら、 Ta / できながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらな	た なかった原因 で	りの上で、地域では、 地域では、 本域では、 は、 は、 本域では、 は、 は	権者と交渉を行い を応じている。 をでしたでする。 をでいるのは、 をでいるのは、 をでいるのは、 をでいるのは、 をでいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をないるのは、 をないるのは、 をないるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのはいる。 をはいるいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのはいる。 をはいるいるのはいるのはいる。 をはいるいるのはいるのはいる。 をはいるいるのはいるのはいるいはいる。 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは	用地取得を行い必要性の理るまでである。 はいの理なが必要である。 はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいいでは、はいでは、はいでは、はいいでは	自> ながくりの上で、	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市工夫の参加や市民との協働を がない。(体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて、 (本制ができませんで、) (本制ができませんで、) (本制ができませんで、) (本制ができませんで、) (本制ができませんで、) (本制ができませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができまませんで、) (本制ができままないで、) (本制ができまないで、) (本)で) (本)で、) (本)で) (本)で) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	すく Nで体	施設	地権者からの用 構が必要である。 実施のはいる 実施のはできない。 実施のはできない。 のは、 は質のはできない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはではない。 のはなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	世買取り申し出に対応する必要か <その他の内容> <その他の内容> た 工夫の具 みどりのボランティアによる みどりのボランティアによる ない。 「実現性がらい値ではない。 はがから値ではない。 はがからしい値ではない。 はがする場合、比較対象例においまかする場合、比較対象例においまかする。 「実施予定の対策 「⑤PF」の対応	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI等民間資本の活用 益者負担	○	② また ①②③ ④5⑤⑦で を	認 とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た なかった 原因 マイマ ない で	りの上で、地域では、 地域では、 本域では、 は、 は、 本域では、 は、 は	権者と交渉を行い を応じている。 をでしたでする。 をでいるのは、 をでいるのは、 をでいるのは、 をでいるのは、 をでいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をかいるのは、 をないるのは、 をないるのは、 をないるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのはいる。 をはいるいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのは、 をはいるのはいるのはいる。 をはいるいるのはいるのはいる。 をはいるいるのはいるのはいる。 をはいるいるのはいるのはいるいはいる。 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは、 をはいるのは	用地取得を行い 必要性の理るが 必要性のでである る	自 >	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ************************************	・ が安全で利用しや *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	すく Nで体	施設 では で	地権者からのの用 構が必要である。 実施られている 実施られている 実施られている 実力、作質では、 実ののは、 実ののは、 実ののは、 実ののは、 でもない、 のののでは、 でもない、 のののでは、 でもない、 のののでは、 でもない。 でもない。 のののでは、 でもない。 のののでは、 でもない。 のののでは、 でもないが、 のののでは、 でもない。 のののでは、 でもない。 のののでは、 でもない。 のののでは、 の	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI等民間資本の活用 益者負担	○	② まえ ①②③ ④⑤⑤⑦・	認 とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た なかったい きない ったい きない の でた 層 に ないの でた 層 に たいまかん でき 層 に たいまかん でき 間 に たいな (文の内管 理が行う) は (本の 2) 日 標 で に で で で で で で で で で で で で で で で で で	りの上で、地域では、 地域では、 本域では、 は、 は、 本域では、 は、 は	権者と交渉を行い をの具体的な内容るを をのしたのものになった。 をないというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をいうでは、 はいいうには、 をいうでは、 をいるでは、 をいうでは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、	用地取得を行い 必要性の理るが 必要性のでである る	自 >	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ************************************	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マ	施設 では で	地権者のの用。 ・ 実定 が ないいる ・ 実定 が でれている ・ 実定 が でれている ・ 実定 が でれている ・ 実定 が ないいる ・ 実定 が でれている ・ 実定 が 質で ・ 実定 が でれている ・ 実定 が でれている ・ 実定 が ないいる ・ 実定 が でれている ・ 実定 が は ・ 実定 が は ・ 実定 が は ・ 実定 が は ・ またで ・ またでで ・ またで ・ またで ・ またで ・ またで ・ またで ・ またでで ・ またで	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI等民間資本の活用 益者負担	○	② また ① ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ で まいま を は は は は し が ま を と と は は は は し が ま と と は は は 値 (g) (千 10,087 に 1	認 とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た なかったい きない ったい きない の でた 層 に ないの でた 層 に たいまかん でき 層 に たいまかん でき 間 に たいな (文の内管 理が行う) は (本の 2) 日 標 で に で で で で で で で で で で で で で で で で で	りの上で、地域では、 地域では、 本域では、 は、 は、 本域では、 は、 は	権者と交渉を行い をの具体的な内容るを をのしたのものになった。 をないというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をいうでは、 はいいうには、 をいうでは、 をいるでは、 をいうでは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、	用地取得を行い 必要性の理るが 必要性のでである る	自 > なっと	±±± O ● ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ***********************************	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	すく Pで体! A 導施ス援図	施設 では で	地権者のの用。 ・ 実定 が ないいる ・ 実定 が でれている ・ 実定 が でれている ・ 実定 が でれている ・ 実定 が ないいる ・ 実定 が でれている ・ 実定 が 質で ・ 実定 が でれている ・ 実定 が でれている ・ 実定 が ないいる ・ 実定 が でれている ・ 実定 が は ・ 実定 が は ・ 実定 が は ・ 実定 が は ・ またで ・ またでで ・ またで ・ またで ・ またで ・ またで ・ またで ・ またでで ・ またで	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI等民間資本の活用 益者負担	○	② また ① ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ で まいま を は は は は し が ま を と と は は は は し が ま と と は は は 値 (g) (千 10,087 に 1	認 とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た ないの かった	りの上で、東が入る 本の	権者と交渉を行いを対している。 本語 は でいる は でいる は でいる で かい は で かい	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ************************************	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マ	施設 では	地権者からの用 構が必要である。 実施られている 実施られている 実施られている を表す、施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI負担	○	② また ① ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ で まいま を は は は は し が ま を と と は は は は し が ま と と は は は 値 (g) (千 10,087 に 1	② とて 業尊尊化 (どおりできない。	た なかった	りの上で、地 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	権者と交渉を行い をの具体的な内容るを をのしたのものになった。 をないというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をというでは、 をいうでは、 はいいうには、 をいうでは、 をいるでは、 をいうでは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、 をいいるは、	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	土地
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市工夫しつの協働を がない。 (本制づくり) 環境に配慮して事業を進めて、 (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Nで体	施設 では	地権者からある。 地権者要である。 実施られている 実施られている 実施られている 大教性良質では、 大学のののでは、 大学ののでは、 大学のののでは、 大学のでは、 いいいは、 大学のでは、 大学	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の はじめとする生き物の はように関資本の活用 益者他 に対して事業費	○ < 市目	② また ① ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ぞ で まいま を は は は は し が ま を と と は は は は し が ま と と は は は 値 (g) (千 10,087 に 1	② とて 業 尊 尊 h	どおりではおりできれる。	た ないの かった	りの上で、地流で、 本の で 本 実が入る で 本 実が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の で 本 実 が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	権者と交渉を行いを対している。 本語 は でいる は でいる は でいる で かい は で かい	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市工夫の参加や市民との協働を がである。 (体制づくり) 環境に配配して事業を進めて (本制がで) (1)目標設定は適切か?	・ が安全で利用しや ・ 「理由」 □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「日本 「大き提 で の あきま 「 日本 「中本 「大き 「 日本 「中本 「大き 「 日本 「 日	Nで体	施設 では	地権者からある。 地権者要である。 実施られている 実施られている 実施られている 大教性良質では、 大学のののでは、 大学ののでは、 大学のののでは、 大学のでは、 いいいは、 大学のでは、 大学	世買取り申し出に対応する必要か < その他の内容> < その他の内容>	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の はじめとする生き物の はように関資本の活用 益者他 に対して事業費	○ < 市目	② また ①②③ ④⑤⑥⑦・	② とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た はなかったい でた	りの上で、地流で、 本の で 本 実が入る で 本 実が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の で 本 実 が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	権者と交渉を行いを対している。 本語 は でいる は でいる は でいる で かい は で かい	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	土地 ○●
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市工夫しの協働を がでは、 (本制づくり) は環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Nで体	施設	地権者からの用	世買取り申し出に対応する必要か < その他の内容> < その他の内容>	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の はじめとする生き物の はように関資本の活用 益者他 に対して事業費	○ < 市目	② 見え ①②③ ④⑤⑥⑦ で	② とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た はなかったい でた	りの上で、地流で、 本の で 本 実が入る で 本 実が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の で 本 実 が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	権者と交渉を行いを対している。 本語 は でいる は でいる は でいる で かい は で かい	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	土地 ○●
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市工夫の参加や市民との協働を がでは、(本制づくりり) 環境に配慮して事業を進めて、(体制づくりり) (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	・ が安全で利用しや ・ 「(理由) □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「民間 □ 「日本 「大き、「等主 「日本 「大き、「等主 「日本 「大き、「等主 「日本	すく Pで体: る i	施設	地権を必要である。 東京 からある。 東京 からなどといる。 東京 からある。 東京 からある。 東京 からある。 東京 からある。 東京 がられてきる。 東京 がられる。 東京 がら	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の はじめとする生き物の はように関資本の活用 益者他 に対して事業費	○ < 市目	② 見え ①②③ ④⑤⑥⑦ で	② とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た はなかったい でた	りの上で、地流で、 本の で 本 実が入る で 本 実が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の で 本 実 が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	権者と交渉を行いを対している。 本語 は でいる は でいる は でいる で かい は で かい	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	土地 ○●
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は ある。 (市実施の必要性) 市工夫制づくりり) (本制づくりり) (本制づくりり) (本制が) (も制が) (もしい) (も制が) (もしい) (もし) (もし) (もし) (もし) (もし) (もし) (もし) (もし	・	Trock	施 か が では にと の では にと の の の の の の の の の の の の の	地権をからある。 東教・ に 実 に が で で れ い る し を まか い る し を な い い る し を な い い る し か に 実 に が 質 の 目 標 の の 値 値 と と 比 水 単 の で 現 雑 居 内 内 で の の 値 値 2 3 雑 民 内 内 で の の の の の の の の の の の の の の の の の	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI等民間資本の活用 益の他	○ < 市目	② 見え ①②③ ④⑤⑥⑦ で	② とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た なかったい でた	りの上で、地流で、 本の で 本 実が入る で 本 実が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の で 本 実 が入る で 本 下 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	権者と交渉を行い を	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	土地 ○●
び 要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (1) 事業が今必要性 (2) 市が実施する必要性はある。実施ののでである。実施ののでである。実施のでである。 (本) 市工大・制づくりり) おり、 (本) 事業を進めて、(本) 日標設定は適切か? (1) 日標設定は適切か? (2) 事業者が? (3) 日標設定は薄りで、(1) 日標設定はできままして、(1) 日標設定はである正か? (3) 日標はできままして、(1) 日標設定はできままして、(1) 日標設定はできままして、(1) 日標設定は適切か? (2) 事業者ができませば、(3) 日標設定は適切が? (3) 日標設定は適切が? (4) 日標設定は適切が? (4) 日標設定は適切が? (5) 日標設定は適切が? (5) 日標設定は適切が? (5) 日間によりまませば、(5) 日間によりまませば、(5) 日間によりまませば、(5) 日間によりまませば、(5) 日間によりまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	・	Trock	施 か が では にと の では にと の の の の の の の の の の の の の	地権をからある。 東教・ に 実 に が で で れ い る し を まか い る し を な い い る し を な い い る し か に 実 に が 質 の 目 標 の の 値 値 と と 比 水 単 の で 現 雑 居 内 内 で の の 値 値 2 3 雑 民 内 内 で の の の の の の の の の の の の の の の の の	世買取り申し出に対応する必要か	体的な内容 維持管理。 む内容 はじめとする生き物の ける目標値(と現況値 FI等民間資本の活用 益の他	○ < 市目	② 見え ①②③ ④⑤⑥⑦ で	② とて 業 尊 尊 h	どおりできない。	た なかったい でた	りの上で、 ・	権者と交渉を行い を	用地取得をである。 おいます。	由> はないの上で、 ないの上で、 をしていて なかった。 について なかった。 なかった。 なかった。 なかった。	土地 ○●

事業コー	ř	1881			課コード		0704	会計程	別 一般	会計			予算	の種類	■政策	□経常	□なし
1. 事業(の概要(PLAN)																
		①古类名	基本事業						実施	計画への		± 0 =		○如課名	#7 = #7	八国纪业组	
		①事業名		公園の放					位	置づけ		有 〇無		②部課名		・公園緑地課	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	Oその) ④対象 ⑥担当	地区 職員数	□我孫子	□天王台	□湖北 6 人	□□新木 □□□ (換算人数	□布佐	●全市 0.3 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	60 == alle ==				,				(当 初)	2	2,948 千円	(うち人件費		2,610 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			2,769 千円			当該((開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		12201		点プロジェクト への位置づけ	重点なし		計画地区別 の位置づけ)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名	i)	
		施策目的・	良好な生活			 朝的な環境調査や事	業所などへの監視・指導を		512.			公園とするため、	適切な公園で				
(2)目的		展開方向					対する監視や戸別指導を写 どの新たな環境問題につい			業目的							
(3)事業内容		内 容	射線量を領	毎時 0 . 2 本市独自の	3マイクロシー/	ベルト未満にするこ	く除染関係ガイドラインを とを目指す。 放射線量を毎時0. 235		⊧満に 当 執	該年度 行計画 該年度 結果指標		射線量を年 1 回測 を測定する公園数		O. 23μSv/hをi		の対応を自治会等 d 単位 箇所 要積値 実積値	ī 193
(4)達成目標	(期待する成果)				達成目	目標(期待する成果)				標種類		指	重 標		ì	単位 (5)現況値	(6)目標値
当該年度		安全・安心に利用	できる公園							直接	空間放射線量	の測定			Ê	箇所 193	3 193
令和 3年		安全・安心に利用	できる公園							直接	空間放射線量	の測定			Ê		0
令和 4年	度									-							0
(7) 事業実施.	上の課題と対応								代表	替案検討)有 ●無					
(1) 1 11 2 11 2			平成31	1左座				#		1		和 3年度				令和 4年度	
		政	内容	1年度	金額(千円)	政	内容			政策	内		金額(千円	3) 政	内		金額(千円)
(8) 施行事項	貸 用	<u>來</u> : * 放射線量測定 3	業務委託(年	E 1 (D)	33	39 * 放射線量測2	空業務委託(年1回)	338	331	本:	量測定業務委託	(年1回)	3	東: 338 * 放射線量	測定業務委	託 (年1回)	338
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %		0 補助率	合 計 0 %	338	331 0	補助率	合 計	0 %	3	338	合	計 0 %	338
(0) 肚流力部	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %		0 補助率 0 充当率	0 % 0 %	0	0	1119 12 1		0 %		0 補助率 0 充当率		0 %	0
(9)財源内訳	一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 □基金 ■	■その他		0 □特会 □	受益 □基金 ■その他	338	331 0	□特:	会 口受益 口基金	金 ■その他	3	0 □特会	口受益 口	基金 口その他	338 0
(40) 1 11 # 14	換算人数(人) 正職員人件費				0. 2. 6 ⁴			0. 3 2. 610	0. 3 2. 610					0. 3 610			0. 3 2, 610
(10) 人件費等	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額					0		0	0					0			0
事業費(予算(決 (11)単位費用	快算)額+正職員人件費)				2, 97	79		2, 948	2, 941				2, 9	948			2, 948
(事業費	/活動結果指標)		15. 44千円	4/箇所			15.27千円/箇所		15. 24								
, , , , ,	の評価 (DO+CHECK)							ı								<u> </u>
-	評価項目 	安全・安心して利	田できる公園	園とするた		前 評 価 低減する必要がある			●①惠前確	認での想定		価(評価結果に 	応じ、改善	案検討(拡充も含 	む))		改善検討
(1) 事業:	が今必要である理由・	X	M CC VA	mc / 0/c	の人が人が利が至る!	S/M 7 0 20 5 10 00 0					どおりでなかっ	<i>t</i> =					〇要
	は?(事業の必要性)											でなかった原因> うな空間放射線量の	カ併減対策を				●不要
		O①民間企業、N	NPO、市民	見団体等でに	は実施できない	<その他の内容	\$>					は実施できなかっ		施の具体的な内容	・必要性の	理由>	
必要		(理由) □法令等 □提供主	で市が実施す		定められている						ければ実効性が たことで市民へ			園の空間放射線量 を行うため。	を測定し、	基準値を超える公園	園の除
44	実施する必要性は	□その他							促進さ 口④市の支		施策の目標の実	現に貢献した					
ある		サービ 口市が支	導で進める。 施・提供する スが保証され	ことにより ることによ れる			\$ >			ļ.	保された 給基盤が確保さ	n <i>t</i> :					〇要 ●不要 ———
		□その他		bri -					室施Ⅰ	た参加・位	働の具体的な内容	容(又は今後			de les		
		〇①事業計画時に	参加・協				工夫の具体的な内容		参加	・協働が考	えられる場合に		金染 〇①业	参加・物質を表現の	協働の程度	・内容	
	^{&} 加や市民との協働を こいるか? くり)	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	こ市民の参画 こ市民の参画 りな活動と連	i有り i有り i携している	5				作業を行う。		,应加加。		●②≝ ○③≝	á初期待したとおり á初の期待以下		以下であった原因)	○要 > ●不要
^		<その他の内容> 該当なし															
			配盘(1	の視点			取組む内容			実施	した具体的な内容	容		Ŧ =	境への配慮		
環境への配慮	記慮して事業を進めて ・	□①自然環境を生 □②生き物と共存 □③手賀沼を意誰 □④環境負荷低源 ■⑤その他	上かしている 字している 戦している	5			NAME OF THE		該当なし	X	0125(1111) 011		O2#	限定どおり 限定どおりでなかっ どおりでなかった	o <i>t</i> =	•	〇 要 ● 不要
慮		<その他の内容>							1								
		該当なし										Laner					
		現況値(a)(箇所)	目標値(b))(箇所)	■①客観的かギ	目標値の 一タ・事実に基づき	妥当性のチェック:設定している		d= //= / · ·	達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 - ○②目標値未達					
(1)目標	設定は適切か?	193	193	3	□②現況値と比	べ実現性が乏しい値	iではない		実績値(f)(箇所)	達成率(%) (f/b×100)			達成となった原因と			○要 ●不要
		193	193	٠	□④適当な比較		い ン較対象例における目標値	(と現況値の差)と	193		100			放射線量の測定が			●小要
		対策実施によ	 よる事業費削	川減	同等の水準		施予定の対策			 実施状況	?	○①想定事業費		事美	業費の削減	対策について	
办		事業費(c)(千円)	事業費削		□①国・県助成 ■②現有体制で		□⑤PFI等民間: □⑥受益者負担	資本の活用	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●②概ね想定事 ○③想定事業費		〇①事前のた		でなかった	
	費削減の工夫をして	2, 948	31			の削減策の実施	口⑦その他		2, 941		99. 76	1		<想定どおり			 〇要
** いる: 性	か?	事業費肖	削減率(%)		□(4)氏間安託 <削減の内容>				〈超過理由	等>				- \@EC 8 91	13119 CCG	~ /に	●不要
		1	. 04														
														1	· m ·	無体い エイキ・・	5.00
	値を実現する為に		目標値対事	業費(e) 単位	費用単位	●①単年度の指揮	計算方法 3:目標値×費用単位/事	業費		達成状況	対目標値(%)	○①目標値以上●②目標値と同	司程度	ョ標値以上となった	に埋由/目	標値以下であった原	原因> 〇要
	る事業費は適正か?	6. 55		箇所	10万円		標:(目標值-現況值)×		実績値(n)	$(h/e) \times 100$	│ ○③目標値以下 -					●不要
O ==-//-				直が	בועייי				6. 56		100. 15						
3. 事後 〇現状どま		〇縮小	●結合	〇休止	〇廃止	○事業手法見直し	〇その他(事業完了)	ナンド)									
				評価コ	メント					alle :			を 及び展開方				
事 本事業と 実施して		島第一原発事故に伴	う放射能汚	染問題への	対応」は、同じ	目的を達成するため	に実施していることから、	. 結合して 令和3年	度から、本事	業を手賀沼	課所管の「福島	第一原発事故に伴	う放射能汚	梁問題への対応」	に結合し、	効果的・効率的に	実施していく。

^東						事務事未計1	世 文 (下 作	」 2 牛皮)							
事業コード	2153		Ē	課コード		0704	会計種	別一般会計			予算の	種類 □]政策 ■	■経常	□なし
1. 事業の概要(PLAN)															
	①事業名	基本事業						実施計画~		● 有 〇無	(2)部課名	都市部・公園	緑地課	
	③事業主体	個別事業□	さくらプロ: 〇その他					位置づい) ④対象地区	→ □我孫子]湖北	□新木	□布佐	■全市	
	⑤事業期間	● (i)	O T O TE		29年度 ~ 平			⑥担当職員数			6 人	 (換算人数		0.3 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費			0 千円			当該(開始)	年度 (当 初)	3, 4	71 千円	(うち人件費	2,	610 千円)	
	(人件費含む)								(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策 コード		11202		プロジェクト の位置づけ	重点 2	基本計画地 計画への位置		○有 ●無	i	部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(0) P 65	施策目的・					サインなどを整備するとのご思が期待されてる。				最大の観光資源である					
(2)目的	展開方向	、高野山桃၊	山公園、アロ	ビスタ、手賀沼	公園などの公共施設	の活用が期待される手賀や手賀沼周辺の歴史的・	文化的遺産をネット	-ワー	の拡大に繋	て、手賀沼沿いの桜を村げていきます。			てれを市内外へ	・発信すること!	こより父流入
		桜を楽しん	でいただける	るよう、市民を	から寄付していただ	をより一層高め、多くの いた桜の維持管理を行う	0		寄付された	あわせて手賀沼遊歩道の 桜の維持管理を行う。	り桜のフイー	トアッフを行う。			
		手賀沼親水/ 景観形成を[手賀沼遊歩道 <i>0</i>)ソメイヨシノを開花	時期にライトアップを行	い、人をひきつける	5光の 当該年度 執行計画							
(3) 事業内容	内 容														
								当該年度活動結果抗					単位	想定值 本 中 は は	
(4)達成目標(期待する成果)				達成月	標(期待する成果)			指標種类		指	標		単位	実績値 (5)現況値	(6)目標値
当該年度	手賀沼遊歩道の一	部80mの桜	のライトア		1 JA (79) 19 7 W 1907()			直接	灯具の基数	,,,	IV.		基	30	(0) [] []
	手賀沼遊歩道の一	部80mの桜	のライトア	ップ				直接	植樹本数				基		
								_							
					根張りなどについて	措置を講じる必要がある	ため、十分な調査等								
(7) 事業実施上の課題と対応	う。開花時期を見	足めライトア	ッフ期間を	決定する。				代替案検	討	○ 有 ●無					
	Th:	平成31年	F 度	T	Th.	令和 2年度				令和 3年度 		Th.:	令和 4	4年度	
	策・照明装置設置・	内容		金額(千円)	策:	内容	予算額(千円) 3 846	央算額(千円) 政 策	内 照明装置設置・撤去		金額(千円)	政 策 	内 容 置・撤去工事		金額(千円
	照明装直設直:	叔 女工争		84	4 照明装置設置· 盗難保険	・淑女工争	15		思明装直設直 · 献去 盆難保険	上争	15		直・椒太工事		8
実施内容															
(0) 恢行事項															
(O) 旭1J 爭境															
7 Mr (>4 Mr) 42		=1		0.4		A =1	001	707		=1	001		A =1		<u> </u>
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %		0 補助率	合 計 0 %	861		<u></u> 助率	0 %	861 0	補助率	合 計	0 %	8
県支出金 (9) 財源内訳 起債	補助率 充当率		0 %		0 補助率 0 充当率	0 % 0 %	0		助率 当率	0 % 0 %	0	/ Im#J—		0 %	
-般財源 その他の財源	□特会□受	益 口基金 口	その他	84		益 口基金 口その他	861	737	□特会 □受益 □	基金 □その他	861 0		□受益 □基金 [□その他	86
換算人数(人)	-1/2 -2.		V 12	0. 2. 64	3		0.3	0. 3 2. 610			0. 3 2, 610	3		- (- 10	
(10) 人件費等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				,	0		0	0			0)			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費 (11)単位費用)			3, 48	•		3, 471	3, 347			3, 471				86
(事業費/活動結果指標)		37.06千円]/本			36.93千円/本		35. 61							
2. 事業の評価(DO+CHEC	K)														
評価項目					前評価					評 価 (評価結果に応	じ、改善案権	検討(拡充も含む	;))		改善検討
	、交流人口の拡大	や市内への定	住化を促進	していくことか	「求められています。	し、まちの魅力や活力を 一方、本市には、手賀沼	をはじめとする豊	●①事前確認での○②事前確認での	D想定どおり D想定どおりでなか	った					
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)						した観光資源はこれまで メイヨシノや早咲きのサ		<想定どおりとし	た理由/想定どおり	「でなかった原因>					○要 ●不要
	賀沼周辺等の魅力	的な交流空間の	の充実を図	るため。				予定通りライトア	ップを実施できた。						
必	●①民間企業、N (理由) □法令等				<その他の内容>	>			NPO、市民団体等 進めなければ実効性	では実施できなかった がなかった		の具体的な内容・ エ事のため、公園			
要		体が市しかなり							となったことで市民			_,,,,,,,,,			
性 (2) 市が実施する必要性は	O②自治体である		* キ		<その他の内容>				数策・施策の目標の	実現に貢献した					〇要
あるか? (市実施の必要性)	(理由) 口市が主	導で進めるこ	とにより実		5			口⑥サービスの3	^{半か確保された} 安定供給基盤が確保	された					●不要
	サービ	スが保証され	る	、良質で安定し	, t=			□⑦その他 <その他の内容>							_
	実現が	図られる	より政策・カ	施策の目標の											
	□その他	参加・協働	の内容			工夫の具体的な内容			ロ・協働の具体的な[矣 to th	働の程度・内容	1	
	〇①事業計画時に					エ大の具体的な内容		参加・協働該当なし	が考えられる場合	こはその内容)	〇①当初	参加・励	ツログ ・ 四谷	•	
参 加 	〇②事業実施時に	市民の参画有	19								●②当初	期待したとおり の期待以下			
・ 市民の参加や市民との協働を協力 工夫しているか?	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	的な活動と連携										た以上となった理	由/期待以下で	であった百田へ	〇要 ●不要
協 工夫しているか? 動 (体制づくり) エ 夫	●⑥その他	チネと人心									7,0110 07		:ш/ <i>Ж</i> / М	(B) 5 (C) (K) (E) (F)	
X	<その他の内容> 桜の植樹費用を市	早かた実仕す	草ム		I			1							
	TXVI担関复用を巾								m#: =				*		
	■①自然環境を生	配慮の社 Eかしている	視点		手賀沼や白妖孺は	取組む内容 竟と調査のとれた植樹を行	うう。		実施した具体的な!		●①想定		危への配慮		
環	□②生き物と共存	すしている			7.人们下口然垛机	= 5 五 - ・ こ 1 マ / こ 1 世間 で 1			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			こあり ?どおりでなかっ/	t		
境 環境に配慮して事業を進めて へ いるか?	□④環境負荷低源		る								<想定ど	おりでなかった原	因>		○ 要
境 環境に配慮して事業を進めているか? 配配 虚	□⑤その他														● 不要
	<その他の内容>														
	現況値(a)(基)	目標値(b)	(基)		目標値の妥	当性のチェック		達月	成状況	●①目標値達成	<u> </u>				+
(1) 日極歌中は盗切れる			•		ータ・事実に基づき設	定している		実績値(f)(基)	達成率(%) (f/b×100)	〇②目標値未達成					O要
(1)目標設定は適切か?	30	30		33現況値との	ベ実現性が乏しい値で 差が小さい値ではない せ色が左え場合。 はお	١	し田辺はの光)	00		<目標を達成した5 ライトアップの場所					—— O要 ●不要
				34適当な比較 同等の水準	である	交対象例における目標値(ご現况他の差)と	30	100						
]①国・県助成領		予定の対策 □⑤PFI等民間資	大の任用		施状況 対事業費(%)	○①想定事業費未●②概ね想定事業	費以内	事業 ●①事前の想	費の削減対策に 定どおり	ついて	
		る事業費削減 - 事業費削減		」①国・県助成7 ■②現有体制で(□⑥受益者負担	T	実績値(g)(千円)	(g/c) × 100	〇③想定事業費超	過		定とおり 定どおりでなか	った	
勃	事業費(c)(千円)	事業費削減 (千円)	=		の当ば年の中生	ログスカル		3, 347	96. 43			L			
	事業費(c)(千円) 3,471	事業費削減 (千円) 13		3維持管理費(34民間委託	の削減策の実施	□⑦その他		, ,				<想定どおり削	減できなかった	:原因>	O要
効 変 (2)事業費削減の工夫をして	事業費(c)(千円) 3,471	事業費削減 (千円)		3 維持管理費	の削減策の実施	□⑦その他		<超過理由等>				<想定どおり削 	滅できなかった	:原因>	
効 _筆 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	事業費(c)(千円) 3,471 事業費肖	事業費削減 (千円) 13		3維持管理費(34民間委託	の削減策の実施	□⑦その他		, ,				<想定どおり削 	滅できなかった	:原因>	
効 _筆 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	事業費(c)(千円) 3,471 事業費肖	事業費削減 (千円) 13)	3維持管理費(34民間委託	の削減策の実施			<超過理由等>		↑↑日標はいよ	_/ + 1				●不要
効 (2)事業費削減の工夫をして いるか? 性 (3)目標値を実現する為に	事業費(c)(千円) 3,471 事業費肖	事業費削減 (千円) 13 川減率(%)) □ □ < i i e	3(維持管理費(3(4) 展間委託 削減の内容>		□⑦その他 計算方法 目標値×費用単位/事業	类費	<超過理由等> 達	成状況 対目標値(%)	○①目標値以上 ●②目標値と同程 ○○○日標度と同様		<想定どおり削 			●不要
効 率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	事業費(c)(千円) 3,471 事業費肖	事業費削減 (千円) 13 川減率(%) 37 目標値対事業	■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	③維持管理費 ③ (会開委託 削減の内容> 費用単位	●①単年度の指標:	計算方法		《超過理由等》 達/ 実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100						●不要 因> ○要
効 (2)事業費削減の工夫をしているか? 性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	事業費(c)(千円) 3,471 事業費肖 0.	事業費削減 (千円) 13 川減率(%) 37 目標値対事業) □ □ < i i e	3(維持管理費(3(4) 展間委託 削減の内容>	●①単年度の指標:	計算方法 目標値×費用単位/事業		<超過理由等> 達	対目標値(%)	●②目標値と同程					●不要 本本要 本本
効 (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) 3.事後評価	事業費 (c) (千円) 3, 471 事業費肖 0.	事業費削減 (千円) 13 減率(%) 37 目標値対事業	■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①③維持管理費 ①4.民間委託 削減の内容> 費用単位 10万円	●①単年度の指標: ○②複数年度の指標	計算方法 目標値×費用単位/事業 『:(目標値-現況値)×費	を用単位/事業費	《超過理由等》 達/ 実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	●②目標値と同程					●不要 本本 本本
効 (2)事業費削減の工夫をしているか? 性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	事業費 (c) (千円) 3, 471 事業費肖 0.	事業費削減 (千円) 13 減率(%) 37 目標値対事業	● □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	① ②維持管理費①4 民間委託削減の内容>費用単位10万円○廃止	●①単年度の指標:	計算方法 目標値×費用単位/事業	を用単位/事業費	《超過理由等》 達/ 実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	●②目標値と同程 ○③目標値以下	度	標値以上となった			●不要 因>
効 (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) 3.事後評価	事業費(c)(千円) 3,471 事業費肖 0. 0.86	事業費削減 (千円) 13 13 1減率 (%) 37 目標値対事業	費(e) 単位 基	① ②維持管理費①4 民間委託削減の内容>費用単位10万円○廃止	●①単年度の指標: ○②複数年度の指標	計算方法 目標値×費用単位/事業 『:(目標値-現況値)×費	を用単位/事業費	《超過理由等》 達/ 実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	●②目標値と同程 ○③目標値以下		標値以上となった			●不要 本本要 本本